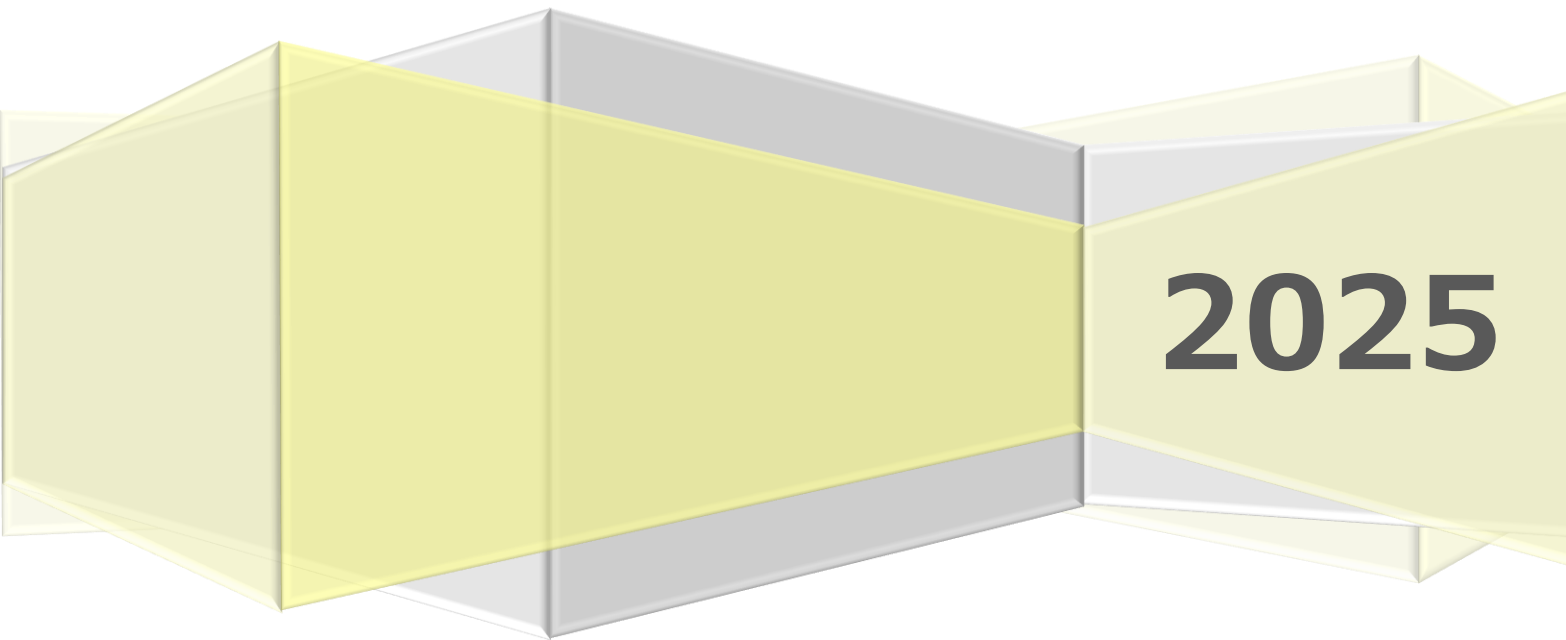


第25回市民意識調査 報告書



2025

令和7年11月

豊田市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査項目	1
3 調査方法と回収結果	1
（1）調査対象	1
（2）抽出方法	1
（3）調査方法	2
（4）調査期間	2
（5）回収結果	2
4 集計方法と結果の表示方法	2
（1）集計方法	2
（2）結果表示の留意点	3
5 調査地区区分図	4
【調査票 A】	
第2章 回答者の属性	5
1 性別	5
2 年齢	5
3 居住地区（中学校区）	6
4 居住形態	7
5 職業	7
6 通勤・通学先	7
7 出生地	8
8 居住年数	8
9 同居の家族構成	8
10 同居している家族	9
第3章 調査結果	10
1 豊田市のまち全般	10
（1）豊田市の住みよさ	10
（2）定住意識	16
（3）豊田市や居住地域への愛着	24
（4）豊田市の歴史・文化への愛着や誇り	29
2 普段の生活	33
（1）近所とのつきあい	33
（2）生きがいの有無	39
（3）人や地域とのつながり	43
（4）自分らしく過ごせる場所の有無	48

（５）こどもの意見の尊重	53
（６）要配慮者との意思疎通に関する意識	56
３ 災害への備え	60
（１）食料、飲料の備蓄	60
（２）家具の転倒防止対策	64
（３）危険箇所の認識	68
（４）避難情報の違いの認識	71
（５）防災訓練の参加状況	74
４ 自身の活動等	78
（１）自治区・地域活動への参加状況	78
（２）ボランティア・NPO活動への参加状況	84
（３）新たな活動や学びの機会への参加状況	89
（４）希望する働き方の実現	94
５ 豊田市のまちづくり	101
（１）行政サービスのデジタル化の利便性	101
（２）出産・子育てがしやすいまち	104
（３）地震や風水害に対して安心なまち	109
（４）快適な住環境が整備されているまち	112
（５）利用しやすい公共交通が整っているまち	115
（６）中心市街地のにぎわいや魅力の有無	119
（７）市民と行政が役割分担をしながらまちづくりを進めているまち	122
（８）公共施設が適切に維持・管理されているまち	125
【調査票 B】	
第４章 回答者の属性	128
１ 性別	128
２ 年齢	128
３ 居住地区（中学校区）	129
４ 居住形態	130
５ 職業	130
６ 通勤・通学先	130
７ 出生地	131
８ 居住年数	131
９ 同居の家族構成	131
10 同居している家族	132
第５章 調査結果	133
１ 普段の生活	133
（１）健康づくりへの取組状況	133
（２）かかりつけ医の有無	136

（３）夜間・休日の医療機関での受診	140
（４）市内産農産物の購入意識	143
（５）児童虐待発見時の対応	146
（６）自転車損害賠償保険等の加入状況	147
２ 自身の活動等	148
（１）児童生徒と行う地域活動への参加状況	148
（２）国際交流活動への参加状況.....	152
（３）外国住民への認識	154
３ 豊田市のまちづくり	157
（１）施策に対する満足度	157
参考資料	
（１）単純集計結果（調査票 A・B）	158
（２）調査票（日本語版）（調査票 A・B）	162

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、豊田市総合計画の推進に向けた各種指標の現状値を把握するとともに、市民の市政に対する評価とこれからのまちづくりに対するニーズや意識を統計的に把握・分析することを目的とします。

2 調査項目

第8次豊田市総合計画（令和6年度まで）に関する指標と、第9次豊田市総合計画（令和7年度から）に関する指標に必要な調査を行うため、次の2種類の調査を実施しました。

調査票 A（主に第9次豊田市総合計画に関する調査）

① 回答者の属性に関する設問	10 問
② 豊田市のまち全般に関する設問	4 問
③ 普段の生活に関する設問	6 問
④ 災害への備えに関する設問	5 問
⑤ 活動等に関する設問	4 問
⑥ 豊田のまちづくりに関する設問	8 問

調査票 B（主に第8次豊田市総合計画に関する調査）

① 回答者の属性に関する設問	10 問
② 普段の生活に関する設問	6 問
③ 活動等に関する設問	3 問
④ 施策の満足度に関する設問	1 問（13 施策）

3 調査方法と回収結果

（1）調査対象

令和7年4月末時点で豊田市在住3か月以上の満18歳以上の13,000人（調査票A・Bそれぞれ6,500人ずつ）を対象としました。

（2）抽出方法

各地区の分析を行う際の統計的な精度を高めるため、地区別の人口構成比に基づき住民基本台帳から調査票A、調査票B合わせて11,653人を抽出しました。また、地区別の抽出数が300人に満たなかった9地区（石野、猿投、松平、旭、足助、稲武、小原、下山、藤岡）については、各地区300人になるように合計1,347人を追加抽出しました。

(3) 調査方法

調査票を郵送により配布しました。

また、回収は、郵送又はインターネットによる回答により行いました。

日本語の調査票の他に、英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語の調査票を作成し、配布・回収しました。

さらに、調査期間中に1回、お礼状を兼ねて未提出の方に対して調査票の回答を促すはがきを郵送しました。

(4) 調査期間

令和7年6月5日～6月26日

(5) 回収結果

調査票 A

有効配布数※1	有効回答数※2	有効回答率
6,483人	3,951人	60.9%

※1：配布した6,500通のうち住所不定等で返信された17通を除いています。

※2：各設問の回答者数は、地区別の補正係数をかけるため、3,481人となります。

補正係数に関しては、4(1)集計方法をご参照ください。

※2：「全体の回答が3割未満」又は「全体の回答が5割未満かつ問3を無回答」の場合は無効回答としました。

※2：インターネットによる回答数は1,615人（全体比40.9%）です。

調査票 B

有効配布数※1	有効回答数※2	有効回答率
6,491人	3,897人	60.0%

※1：配布した6,500通のうち住所不定等で返信された9通を除いています。

※2：各設問の回答者数は、地区別の補正係数をかけるため、3,445人となります。

補正係数に関しては、4(1)集計方法をご参照ください。

※2：「全体の回答が3割未満」又は「全体の回答が5割未満かつ問3を無回答」の場合は無効回答としました。

※2：インターネットによる回答数は1,626人（全体比41.7%）です。

4 集計方法と結果の表示方法

(1) 集計方法

3(2)のとおり、図表1-1の9地区に関しては、無作為抽出した数よりも多く配布したため、補正係数を用いて回答の重みを調整しています。

例 石野地区では、本来調査すべき無作為抽出数120に対して300票を送付しています。そのため、地区の対象数に対する抽出数の割合が他の地区と異なり、1つの回答の重みが変わります。そこで、地区別集計以外では、得られた回答数に補正係数0.4000をかけ、1つの回答を5分の2(0.4000)の回答として扱っています。

図表 1-1 追加抽出数と補正係数

中学校区	A:無作為抽出数	B:追加抽出数	C:配布数	D:補正係数 (A/C)
石野	120	180	300	0.4000
猿投	252	48	300	0.8400
松平	253	47	300	0.8433
旭	63	237	300	0.2100
足助	186	114	300	0.6200
稲武	54	246	300	0.1800
小原	89	211	300	0.2967
下山	110	190	300	0.3667
藤岡	226	74	300	0.7533

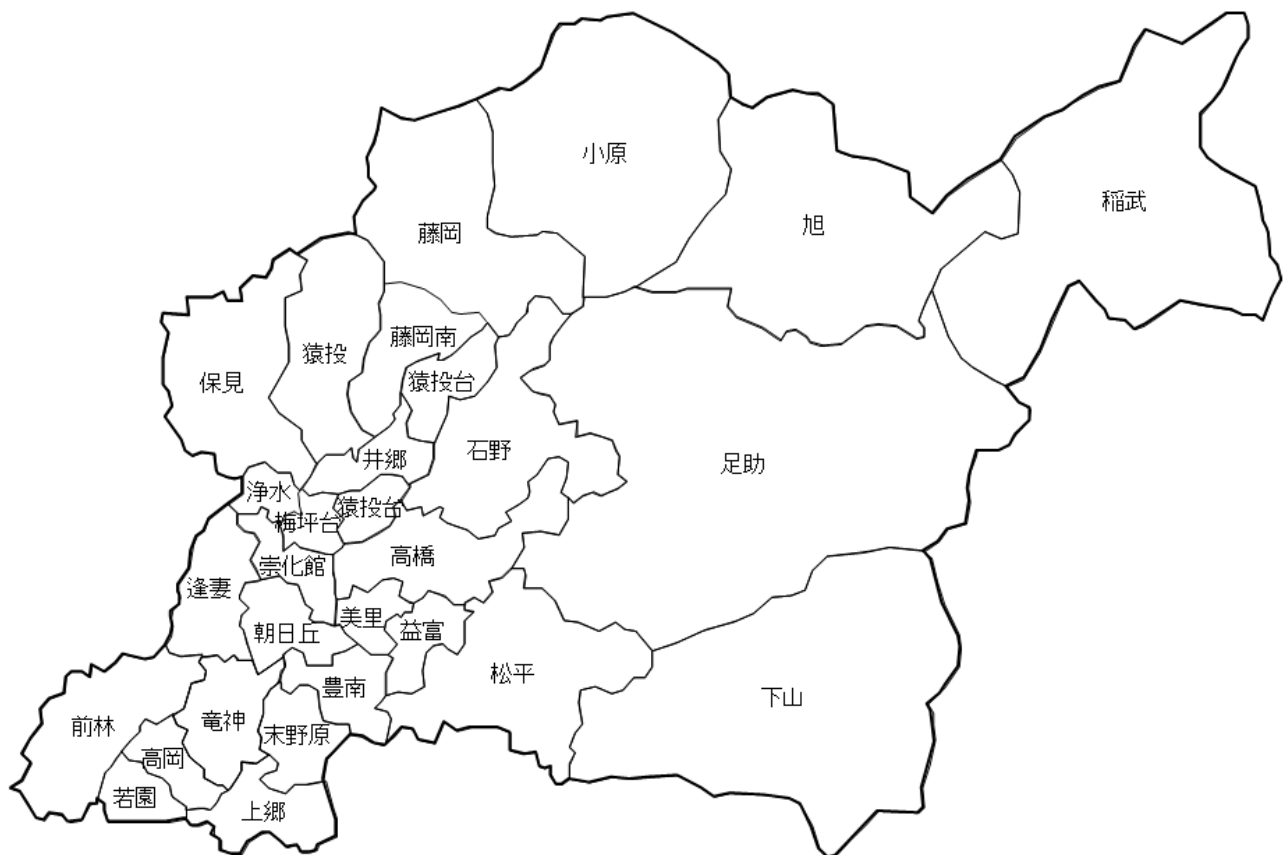
(2) 結果表示の留意点

- ① 図中の構成比(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%にはなりません。また、施策に対する満足度については、小数点第3位を四捨五入しています。
- ② 複数回答の場合の構成比(%)の合計は100.0%を超えます。
- ③ 判読不能の回答等は無回答に含めています。
- ④ 誤って指定数以上の選択肢を選択していた場合や本来回答すべきではない設問を回答してしまった場合は、集計に含めずに分析しています。
- ⑤ 各設問の全回答者数は、地区別の補正係数をかけているため、全体が調査票Aは3,481、調査票Bは3,445となります。そのため、地区別集計に表記した各地区の標本数の合計は全体集計の標本数と一致しません。
- ⑥ 一部の図表では、「無回答」を省略しています。また、設問・選択肢などの表現は意味が変わらない程度に一部省略している場合があります。

5 調査地区区分図

本調査における地区（中学校区）の区分は以下のとおりです。

図表 1-2 地区区分図



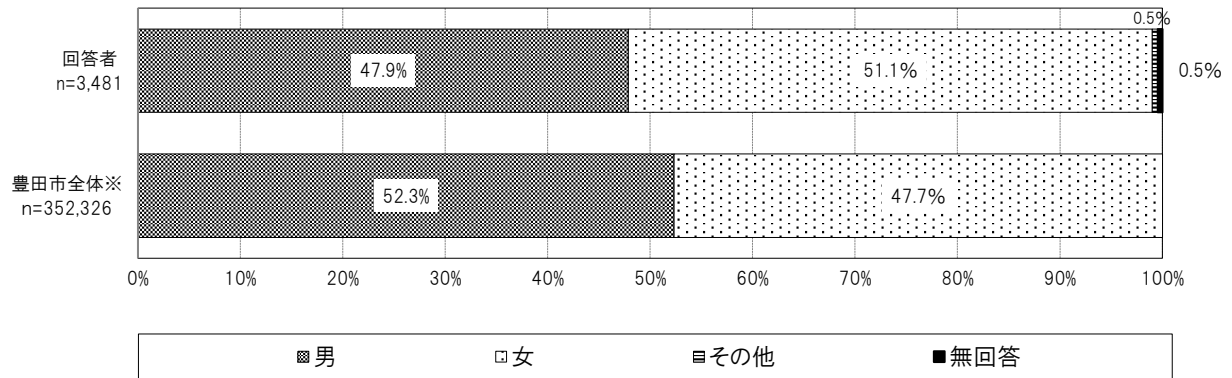
【調査票 A】

第2章 回答者の属性

1 性別

あなたの性別をお答えください。(1 つに○)

図表2-1 性別

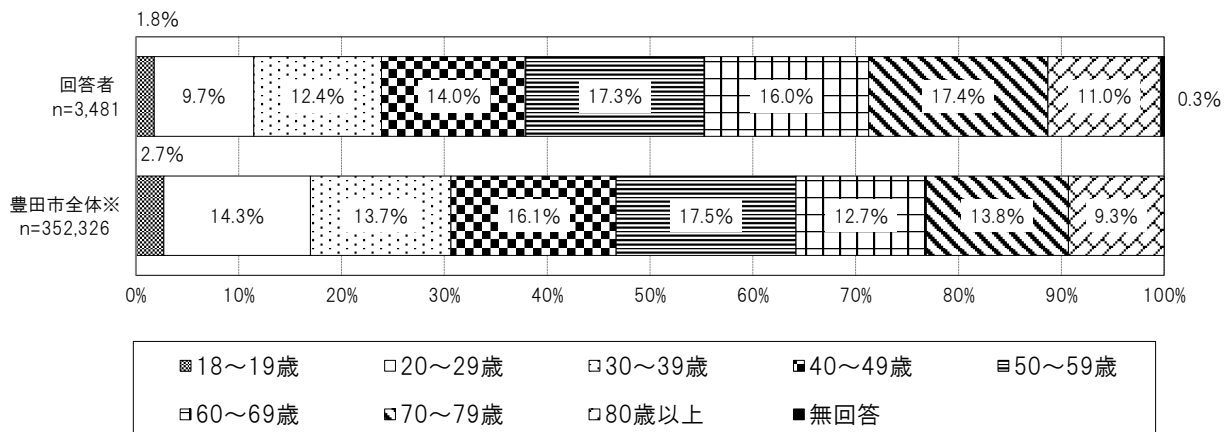


※令和7年5月1日時点での18歳以上の住民基本台帳人口

2 年齢

あなたの年齢をお答えください。(1 つに○)

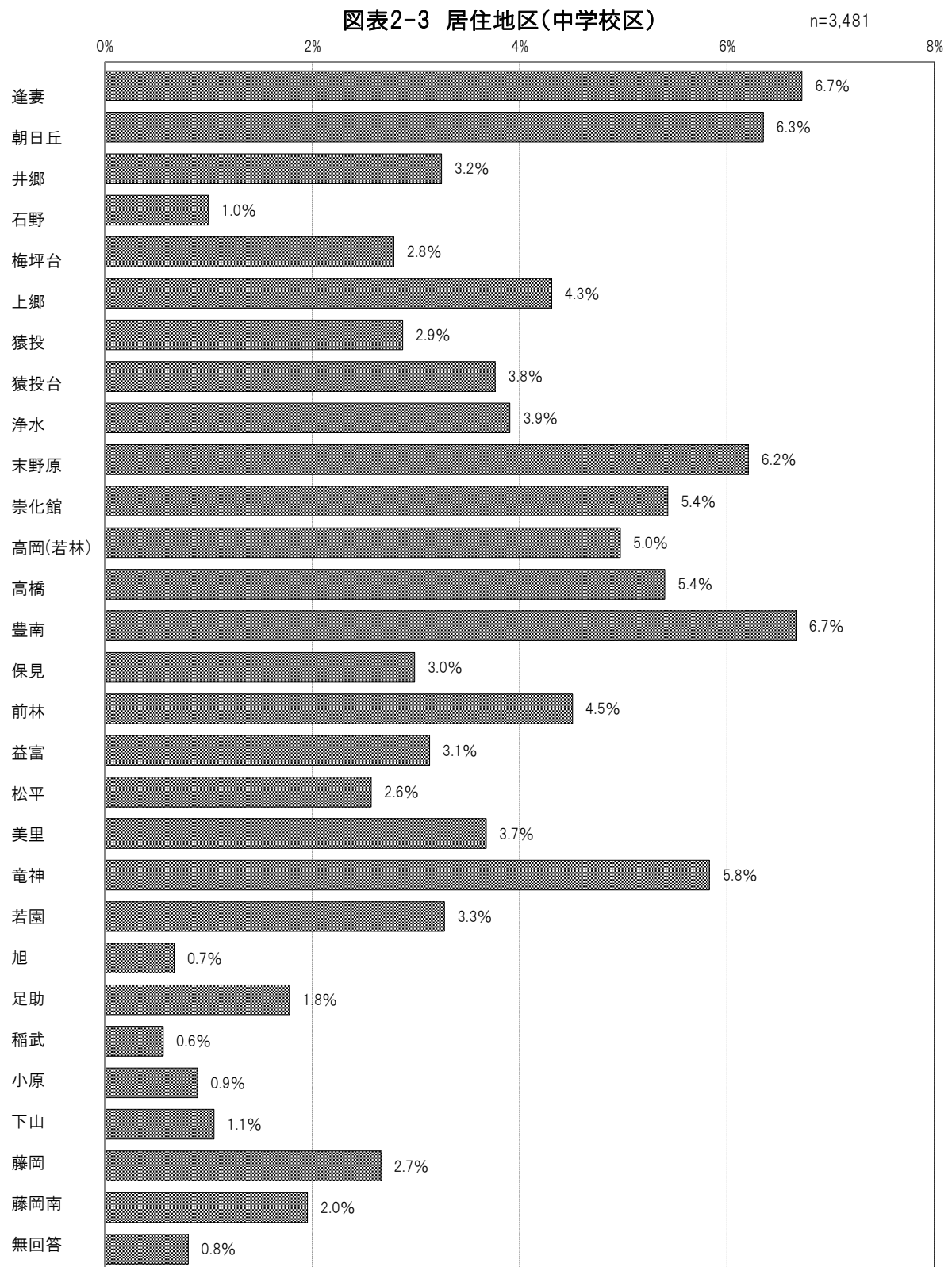
図表2-2 年齢



※令和7年5月1日時点での18歳以上の住民基本台帳人口

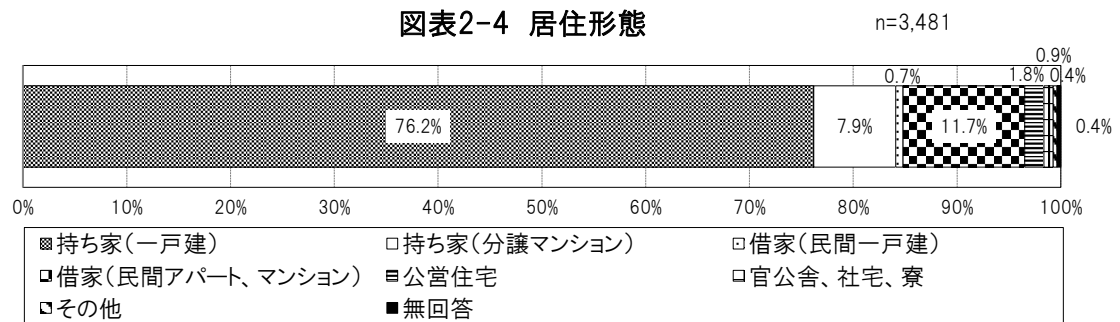
3 居住地区（中学校区）

あなたのお住まいは、どの地区（中学校区）にありますか。次の中から選んでください。地区がわからない場合は、町丁名を記入してください。（1つに○）



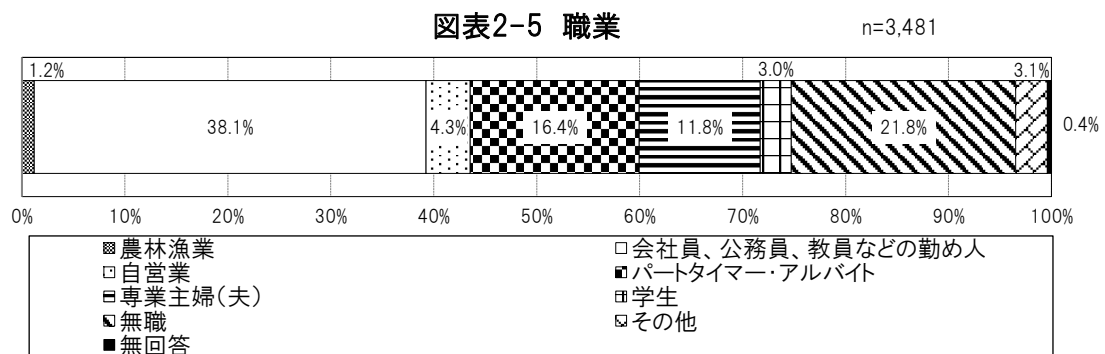
4 居住形態

あなたのお住まいの形態をお答えください。(1つに○)



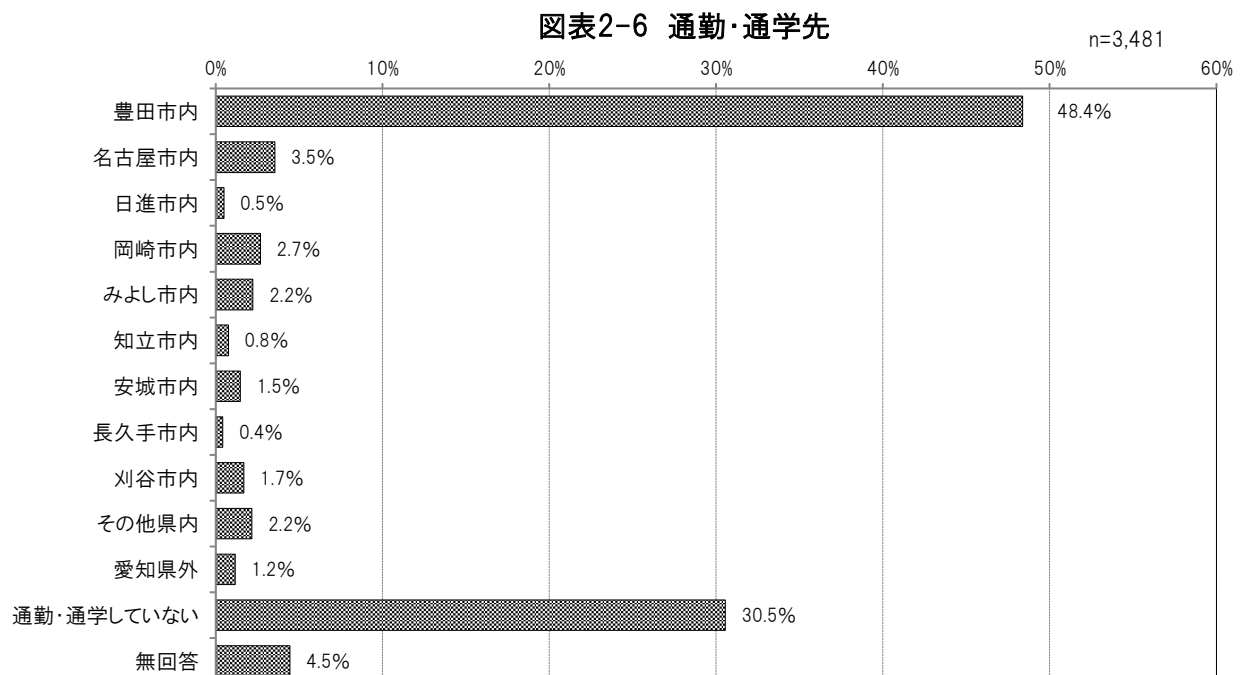
5 職業

あなたの主たる職業をお答えください。(1つに○)



6 通勤・通学先

あなたの通勤・通学先はどちらですか。(1つに○)

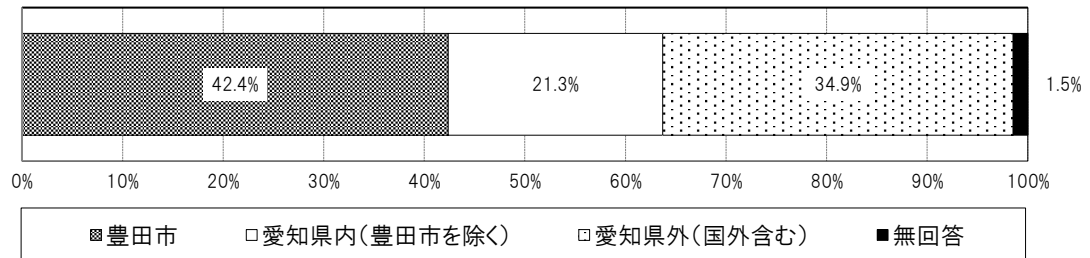


7 出生地

あなたの出生地（お生まれ）はどちらですか。（1 つに○）

図表2-7 出生地

n=3,481

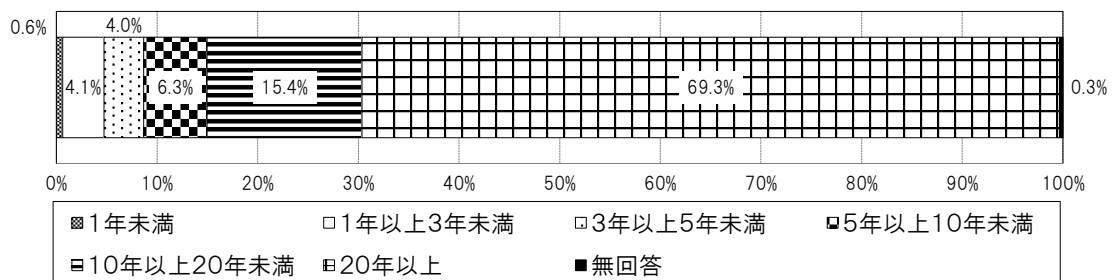


8 居住年数

前問で「2. 愛知県内（豊田市を除く）」、「3. 愛知県外（国外含む）」とお答えの方にお聞きします。あなたは、豊田市にお住まいになって何年になりますか。（1 つに○）

図表2-8 居住年数

n=1,955

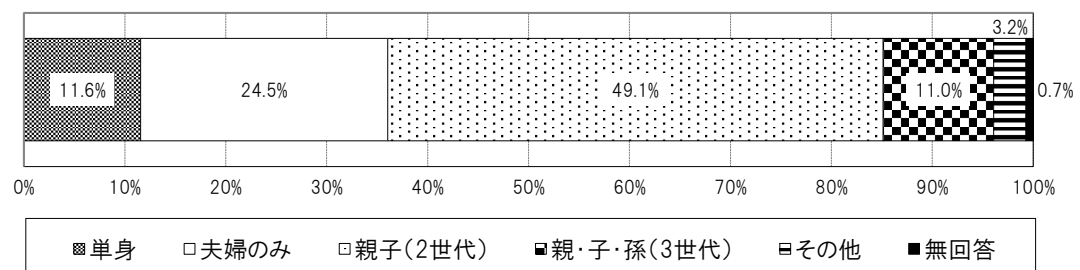


9 同居の家族構成

あなたの同居している家族構成をお答えください。（1 つに○）

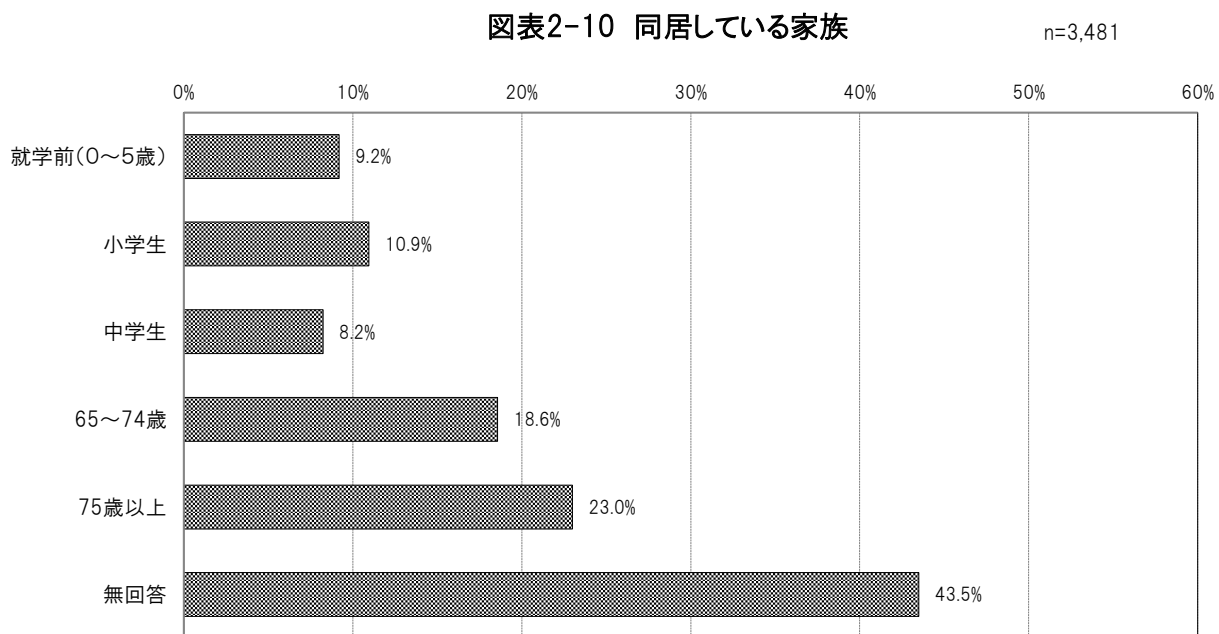
図表2-9 同居の家族構成

n=3,481



10 同居している家族

あなたの同居の家族に次の方はいますか。（当てはまるもの全てに○）



※無回答には、就学前や小中学生、65歳以上の方が「いない」人を含みます。

第3章 調査結果

1 豊田市のまち全般

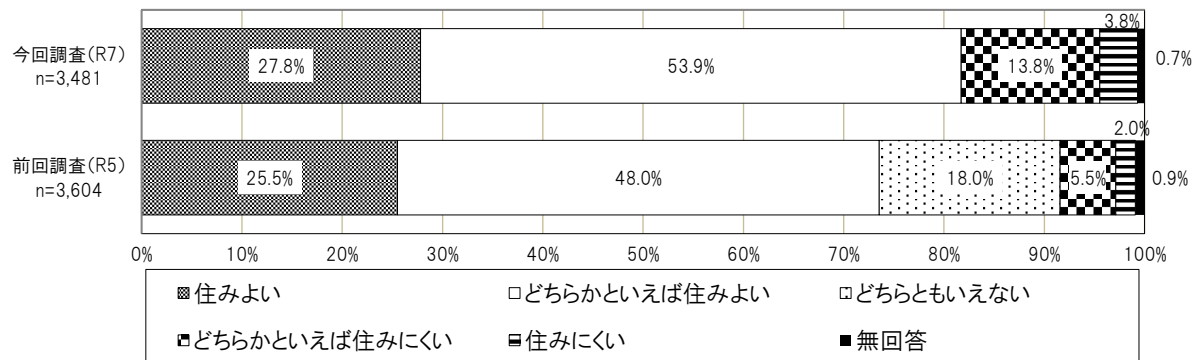
(1) 豊田市の住みよさ

問 11 あなたは、豊田市を住みよいまちだと思いますか。(1 つに○)

1) 全体集計結果

豊田市が住みよいまちだと思う市民の割合（「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」）は 81.7% となっており、前回調査と比較すると 8.2 ポイント増加しています。また、豊田市が住みにくいと思う市民の割合（「住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」）は 17.6% となっており、10.1 ポイント増加しています。

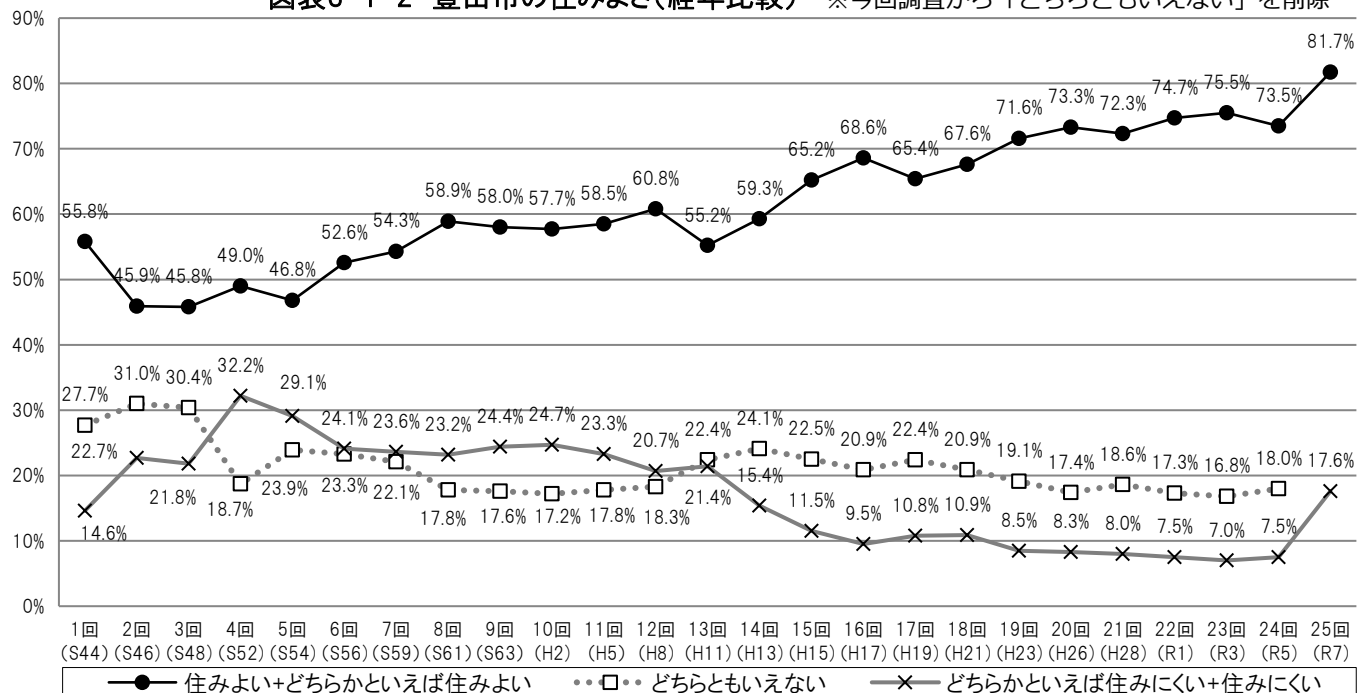
図表3-1-1 豊田市の住みよさ(前回調査との比較) ※今回調査から「どちらともいえない」を削除



2) 過去の調査との比較

第1回（昭和44年度実施）からの調査結果の推移をみると、豊田市が住みよいまちだと思う市民の割合は増加傾向で、第19回（平成23年度実施）以降は70%を超え、今回の調査では81.7%となっています。一方、豊田市が住みにくいと思う市民の割合は、第18回（平成21年度実施）以降、減少傾向にありましたが今回調査では17.6%となっています。

図表3-1-2 豊田市の住みよさ(経年比較) ※今回調査から「どちらともいえない」を削除



※調査方法については、第1回、第2回は「面接調査」、第3回～第12回までは、「調査員による配布・回収調査」、第13回以降は「郵送による配布・回収調査」、第23回以降は「郵送による配布・郵送又はインターネットによる回収調査」と手法が異なります。

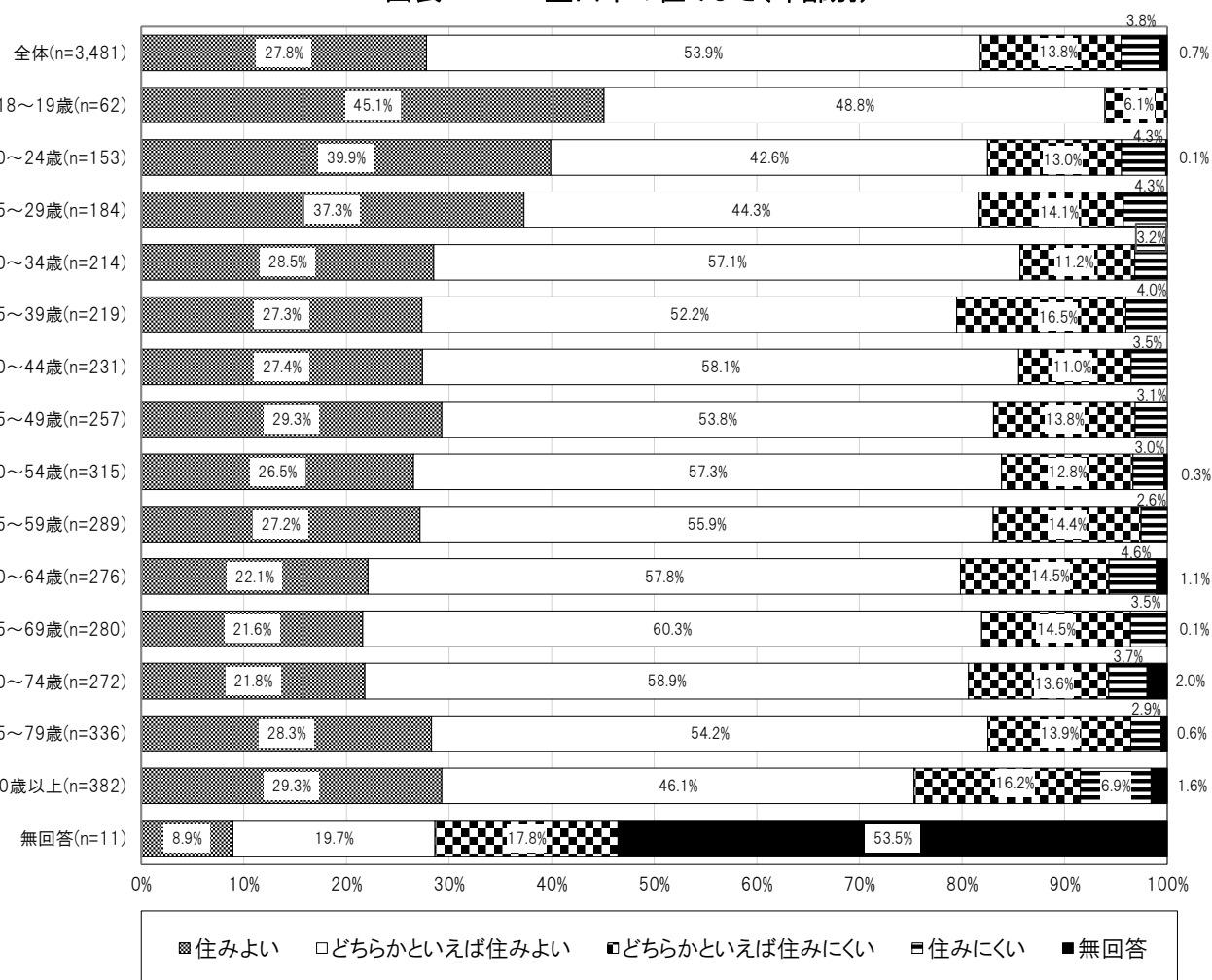
※調査対象の抽出方法及び調査対象者数については、第1回、第2回は「単純無作為二段階抽出法」（1,200件）、第3回「等間隔抽出法」（2,442件）、第4回～第12回「ゾーン別等間隔無作為抽出法」（約3,000件）、第13回～第17回「地区別等間隔無作為抽出法」（5,000～6,500件）、第18回～第25回は「等間隔無作為抽出法」を行った後、抽出数の少なかった地区についてそれぞれの調査で設定した条件を満たすよう対象者を追加しました。このように調査時期によって抽出方法、対象者数が異なります。

3) 属性分析結果

① 「住みよさ」×「年齢」

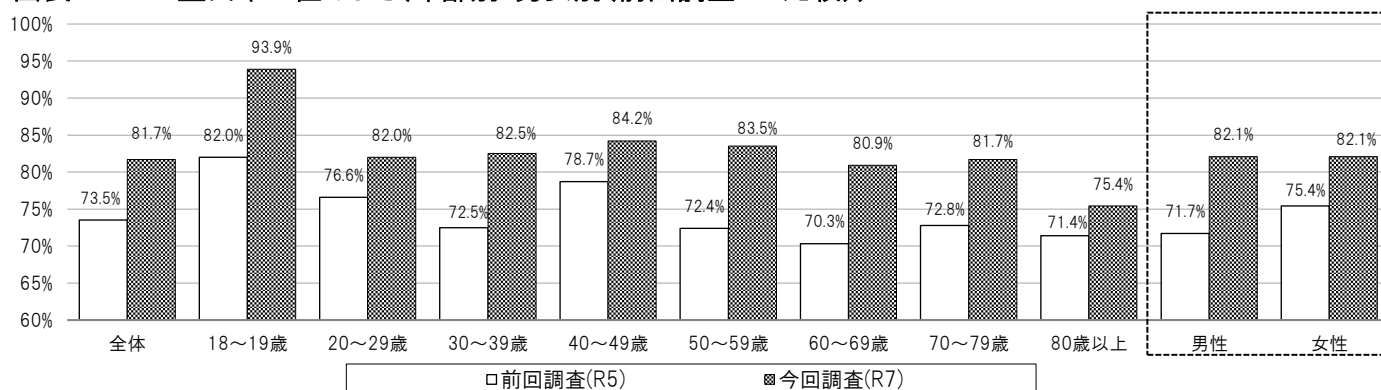
年齢別にみると、豊田市が住みよいまちだと思う市民の割合は、18～19 歳が 93.9%と最も高く、次いで 30～34 歳が 85.6%、40～44 歳が 85.5%となっています。一方、80 歳以上は 75.4%と低くなっています。

図表3-1-3 豊田市の住みよさ(年齢別)



前回調査と比較すると、全ての世代で豊田市が住みよいまちだと思う市民の割合が増加しています。特に 18～19 歳が 11.9 ポイント増加しています。

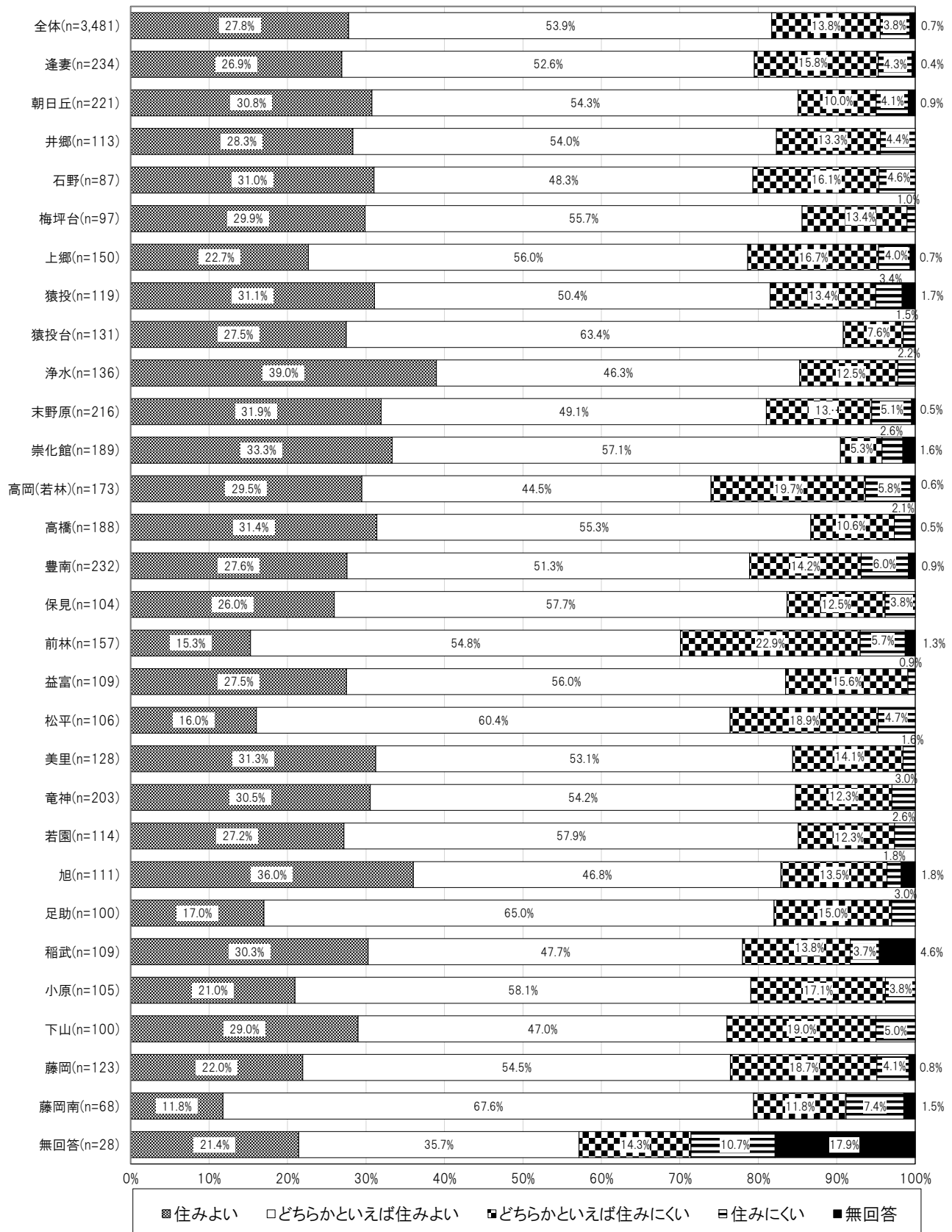
図表3-1-4 豊田市の住みよさ(年齢別・男女別(前回調査との比較)) ※今回調査から「どちらともいえない」を削除



② 「住みよさ」×「居住地区」

居住地区別にみると、豊田市が住みよいまちだと思う市民の割合は、猿投台が 90.9%と最も高く、次いで崇化館が 90.4%、高橋が 86.7%となっています。一方、前林が 70.1%、高岡(若林)が 74.0%、下山が 76.0%と低くなっています。

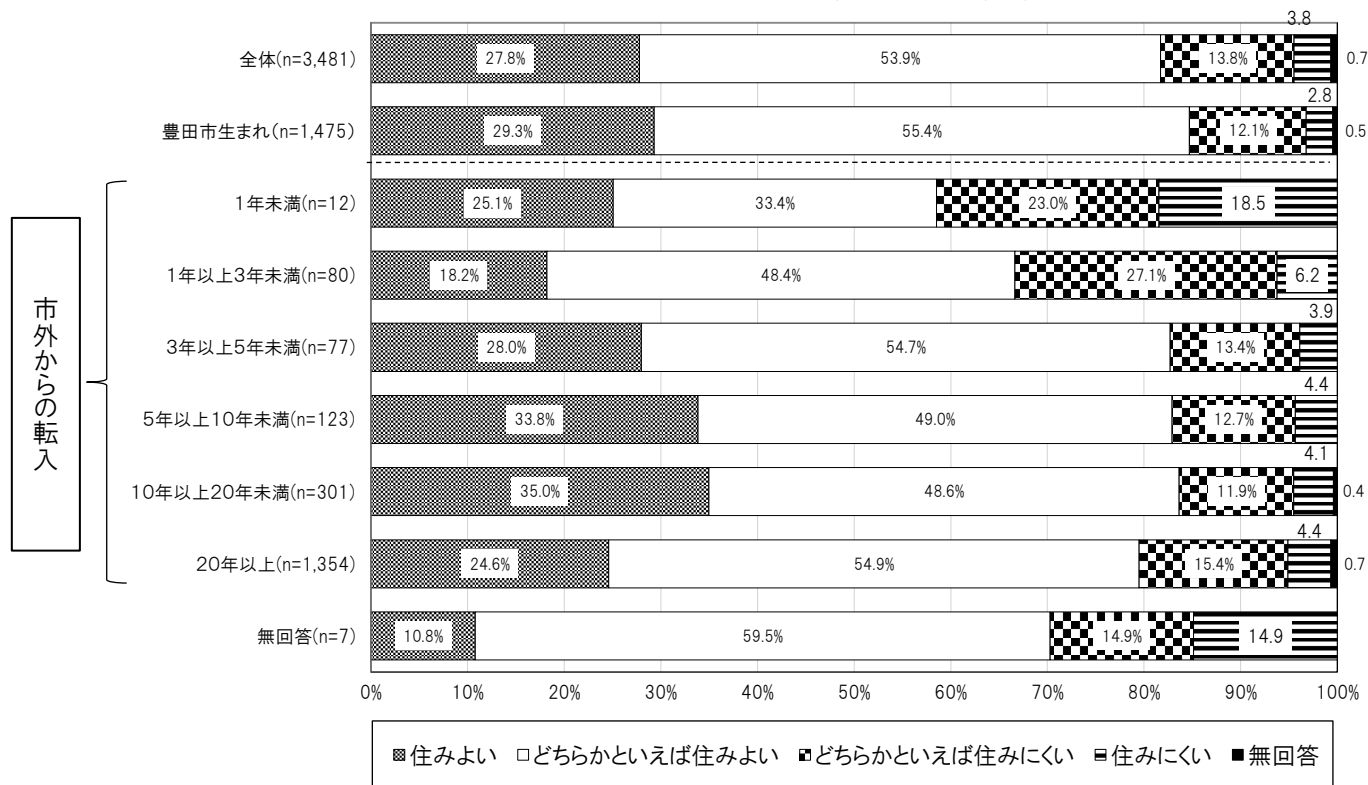
図表3-1-5 豊田市の住みよさ(居住地区別)



③ 「住みよさ」×「居住年数」

居住年数別にみると、豊田市が住みよいまちだと思う市民の割合は、概ね居住年数が長いほど高くなる傾向があります。

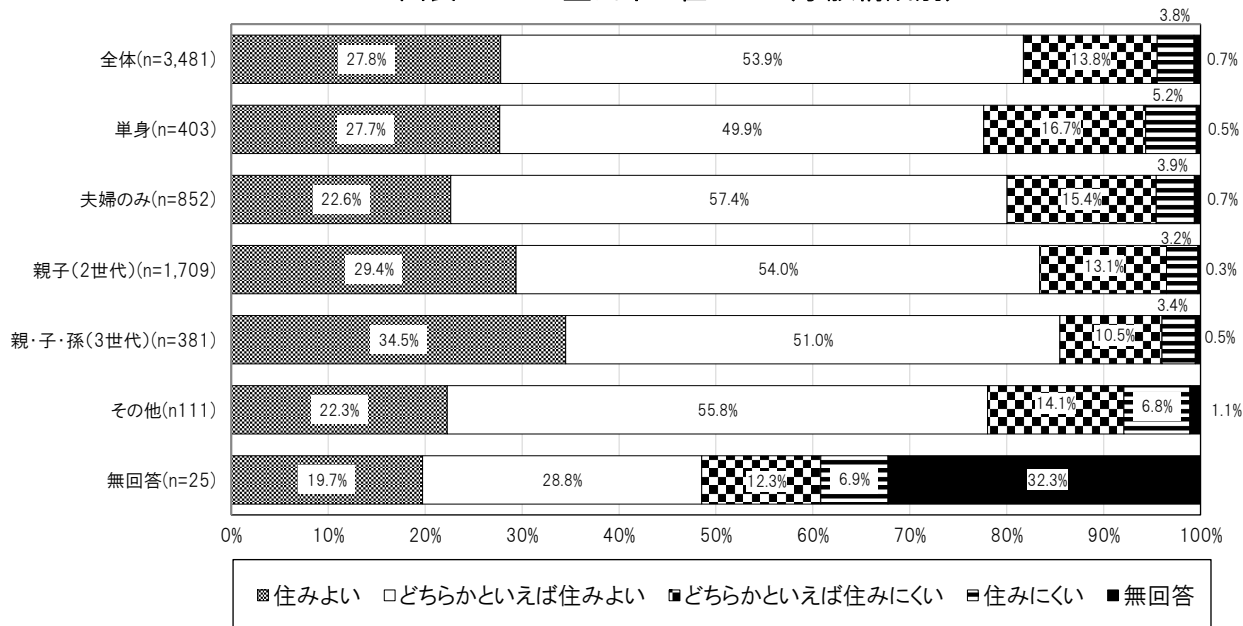
図表3-1-6 豊田市の住みよさ(居住年数別)



④ 「住みよさ」×「家族構成」

家族構成別にみると、豊田市が住みよいまちだと思う市民の割合は、親・子・孫（3世代）世帯で85.5%と最も高くなっています。

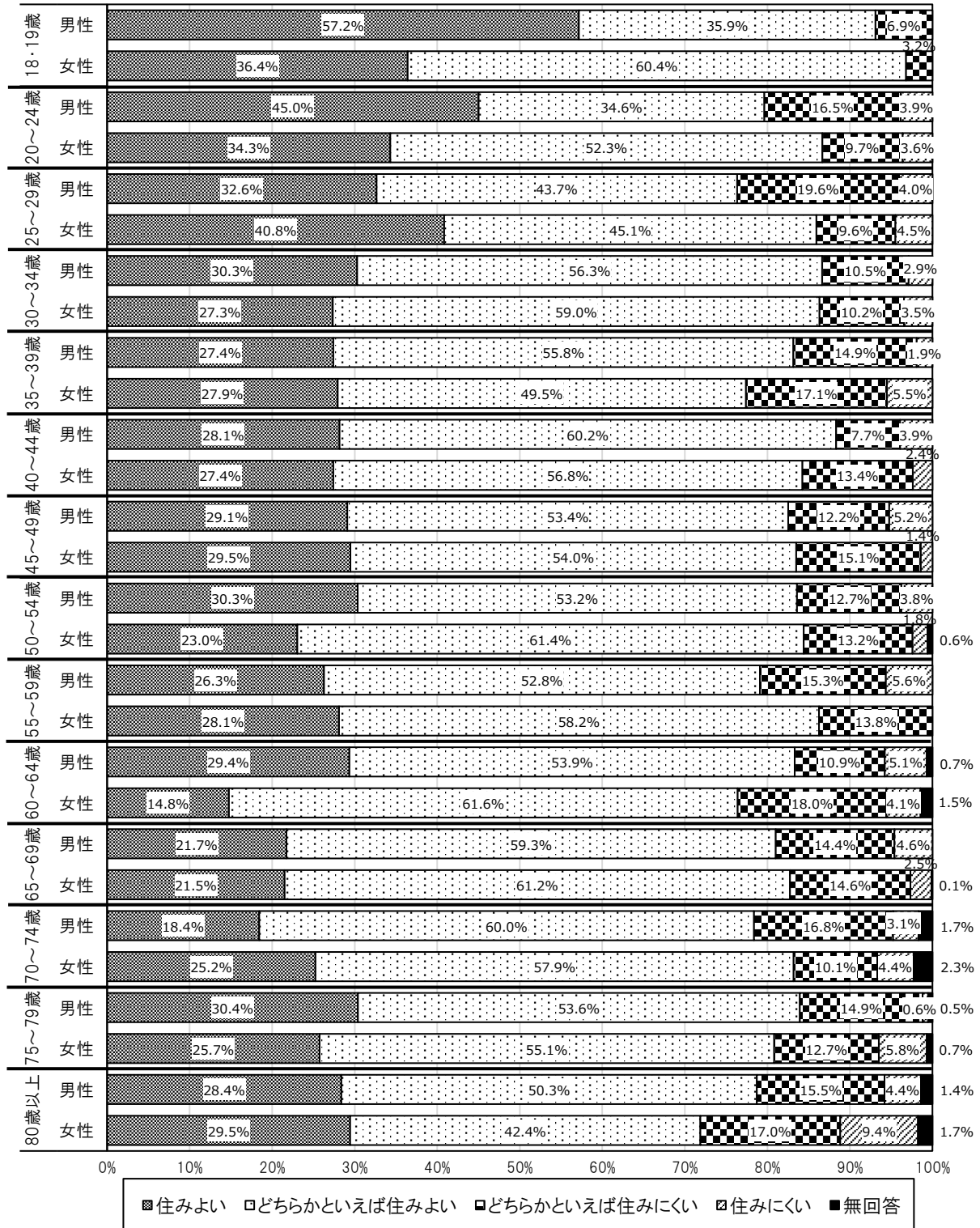
図表3-1-7 豊田市の住みよさ(家族構成別)



⑤ 「住みよさ」×「年齢」×「性別」

年齢別、性別でみると、豊田市が住みよいまちだと思う市民の割合は、18～19歳の女性で96.8%と最も高くなっています。一方、80歳以上の女性が71.9%と最も低くなっています。

図表3-1-8 豊田市の住みよさ(年齢別・性別)



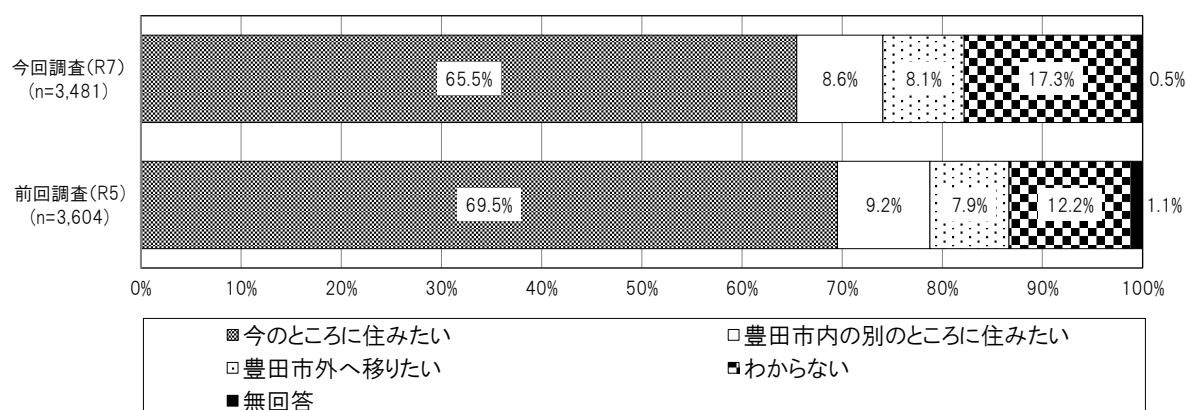
(2) 定住意識

問 12	あなたは、今住んでいるところに、これからも長く住みたいと思いますか。 (1 つに○)
------	---

1) 全体集計結果

豊田市に長く住みたいと思う市民の割合（「今のところに住みたい」＋「豊田市内の別の所に住みたい」）は 74.1%となっており、前回調査と比較すると、4.6 ポイント減少しています。一方、「豊田市外へ移りたい」と回答した市民の割合は 8.1%と前回調査より 0.2 ポイント増加しています。「わからない」と回答した割合が 17.3%と前回調査より 5.1 ポイント増加しています。

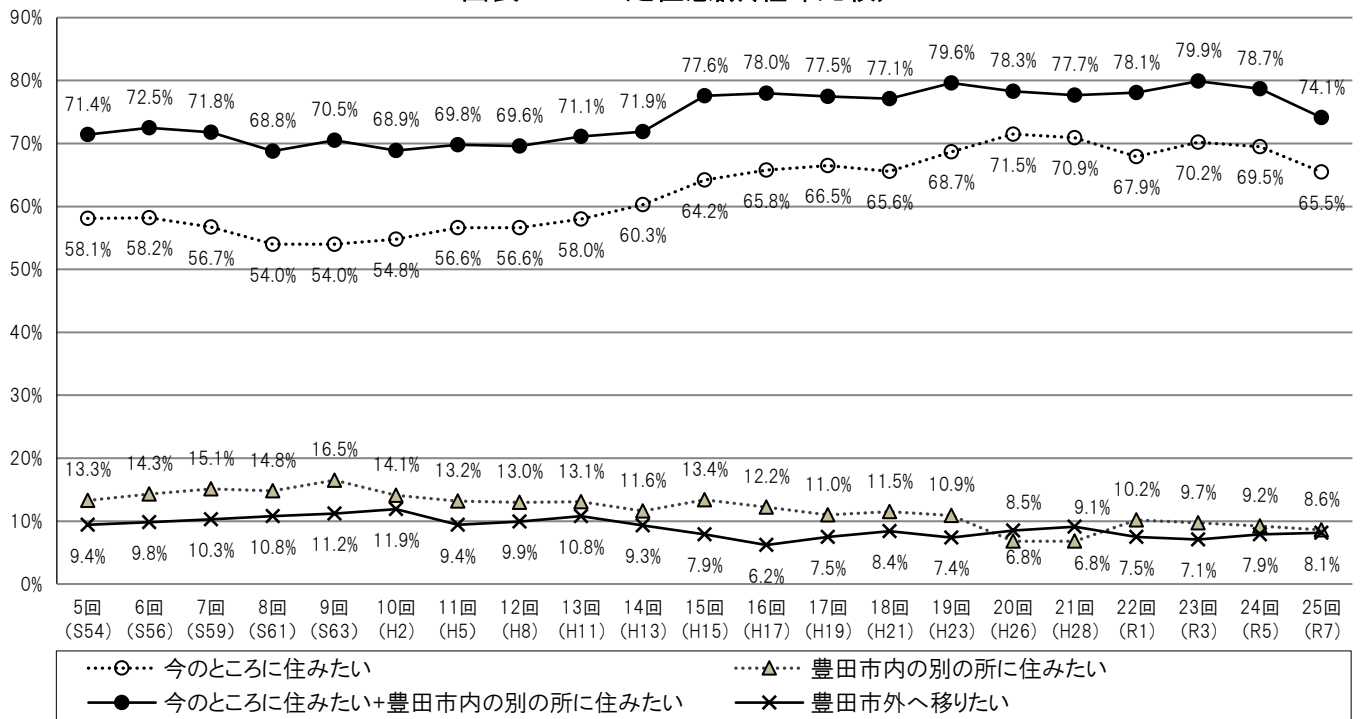
図表3-2-1 定住意識(前回調査との比較)



2) 過去の調査との比較

本問を設定した第5回（昭和54年度実施）からの調査結果の推移をみると、「今のところに住みたい」と回答した市民の割合は、第14回（平成13年度実施）以降、60%を超えています。一方、「豊田市外へ移りたい」と回答した市民の割合は、第14回（平成13年度実施）以降、10%未満で推移しています。

図表3-2-2 定住意識(経年比較)



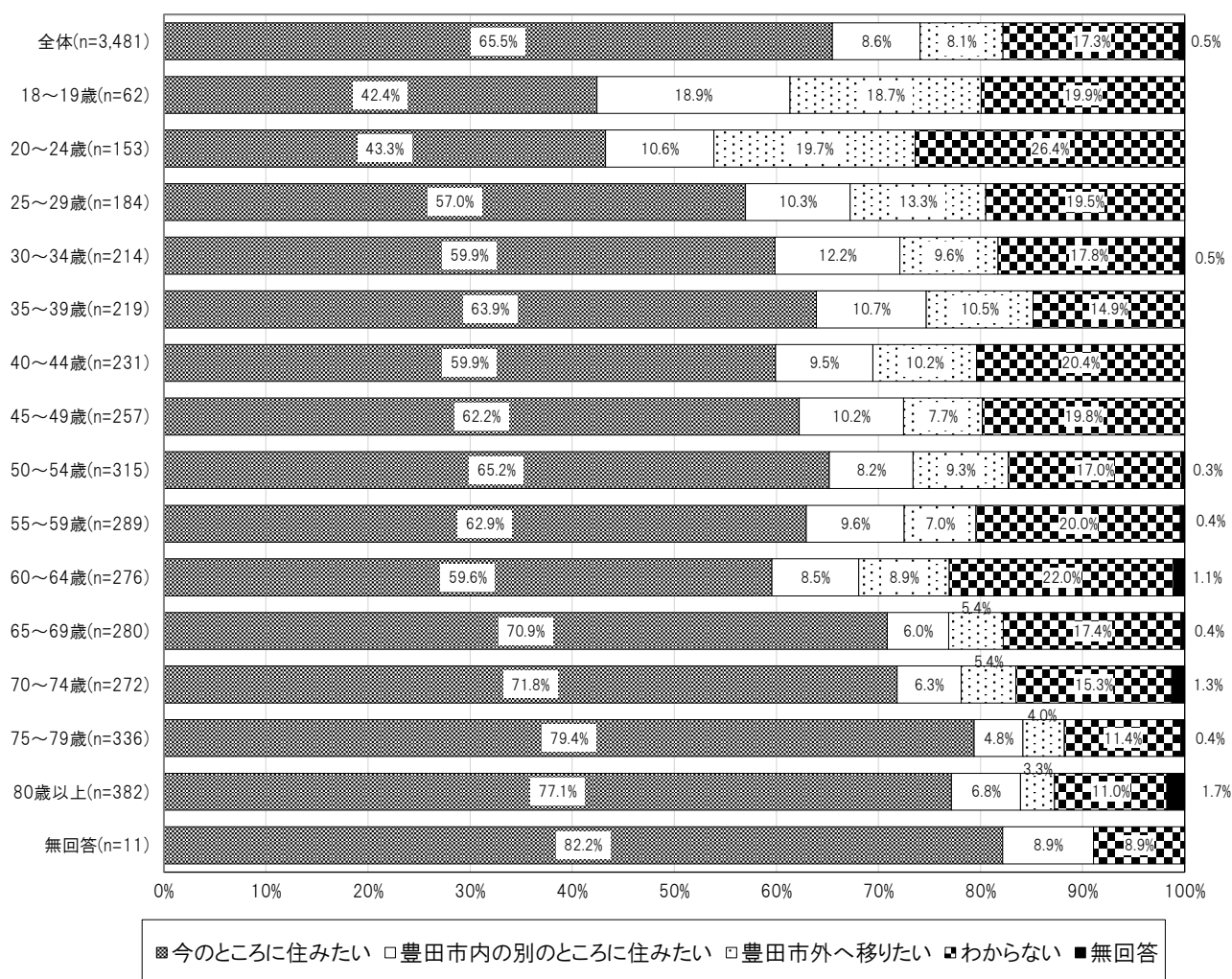
※11 ページの「豊田市の住みよさ」と同様に、調査方法、調査対象者抽出方法及びサンプル数は、実施年度ごとに異なります。

3) 属性分析結果

① 「定住意識」×「年齢」

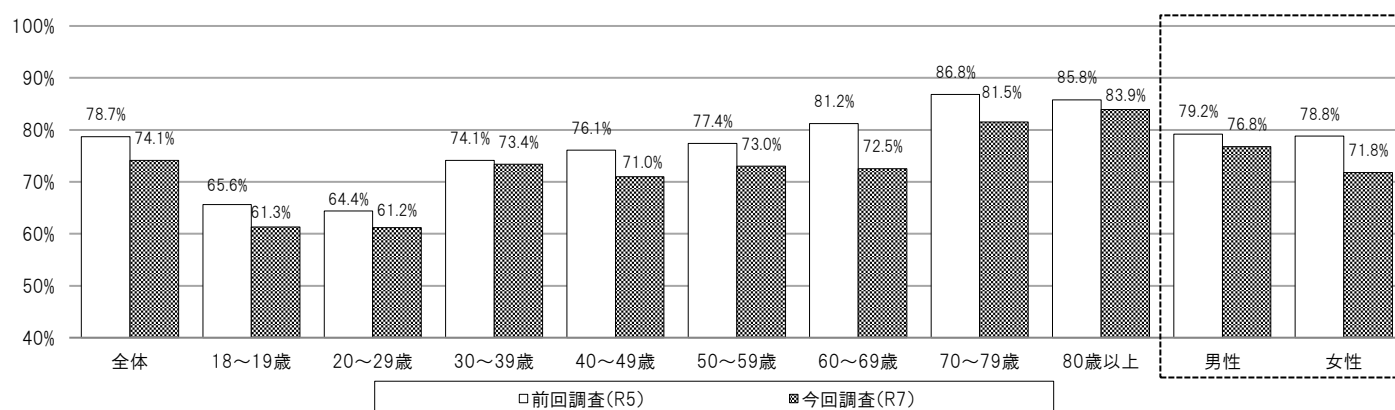
年齢別にみると、豊田市に長く住みたいと思う市民の割合は、75歳以上で80%を超えています。一方、20～24歳で53.9%、18～19歳で61.3%と低くなっています。

図表3-2-3 定住意識(年齢別)



前回調査と比較すると、どの年代も豊田市に長く住みたいと思う市民の割合が減少しており、60～69歳で8.7ポイント、70～79歳で5.3ポイント、40～49歳で5.1ポイント減少しています。また、性別では男女ともに豊田市に長く住みたいと思う割合が減少しています。特に女性が前回調査より7.0ポイント減少しています。

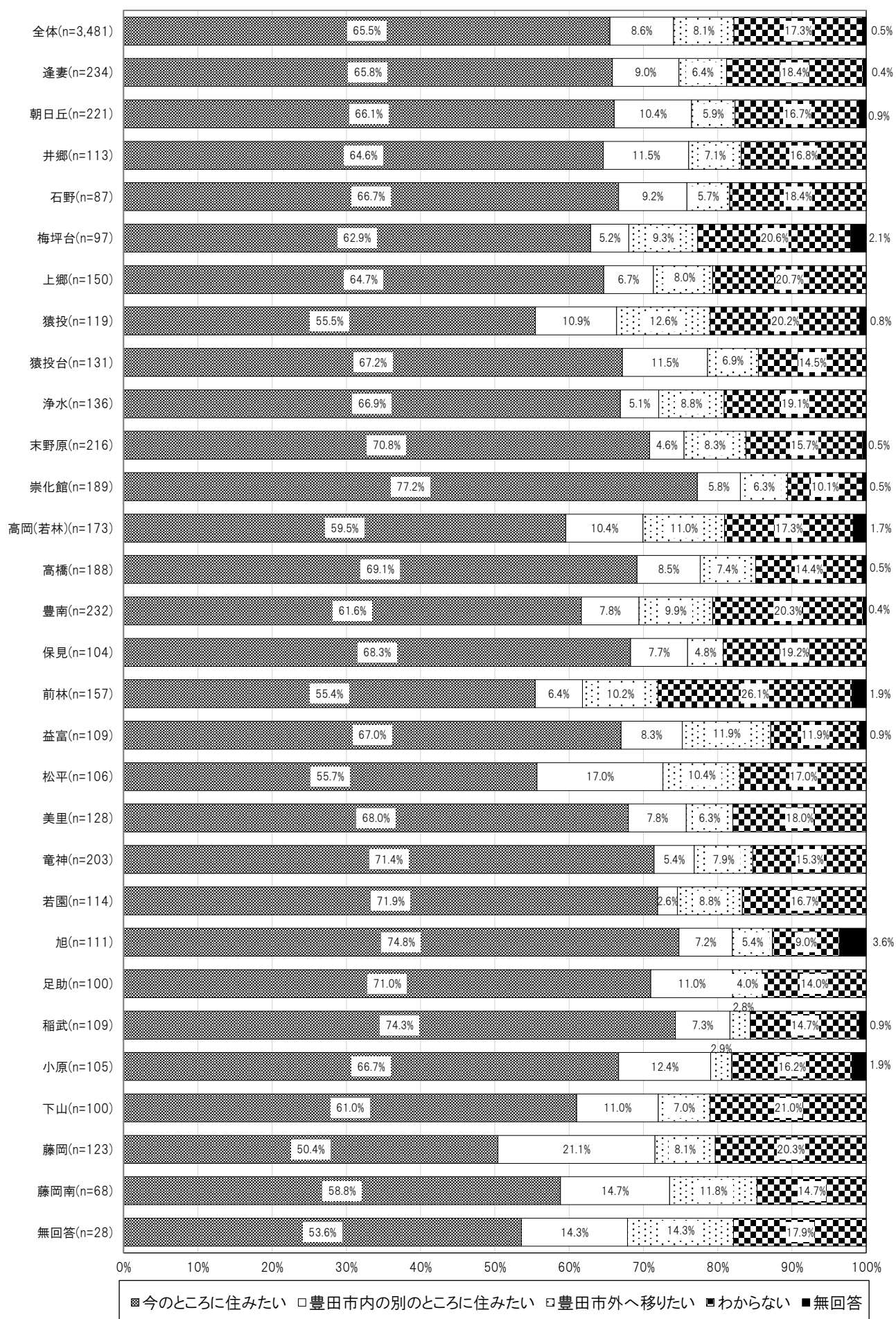
図表3-2-4 定住意識(年齢別・男女別(前回調査との比較))



② 「定住意識」×「居住地区」

居住地区別にみると、「今のところに住みたい」と回答した市民の割合は崇化館が 77.2%と最も高く、次いで旭が 74.8%、稲武が 74.3%となっています。一方、藤岡は 50.4%、前林は 55.4%、猿投は 55.5%と低くなっています。また、「豊田市内の別のところに住みたい」と回答した市民の割合は、藤岡が 21.1%、松平が 17.0%、藤岡南が 14.7%と高くなっており、「豊田市外へ移りたい」と回答した市民の割合は、猿投が 12.6%、益富が 11.9%、藤岡南が 11.8%と高くなっています。

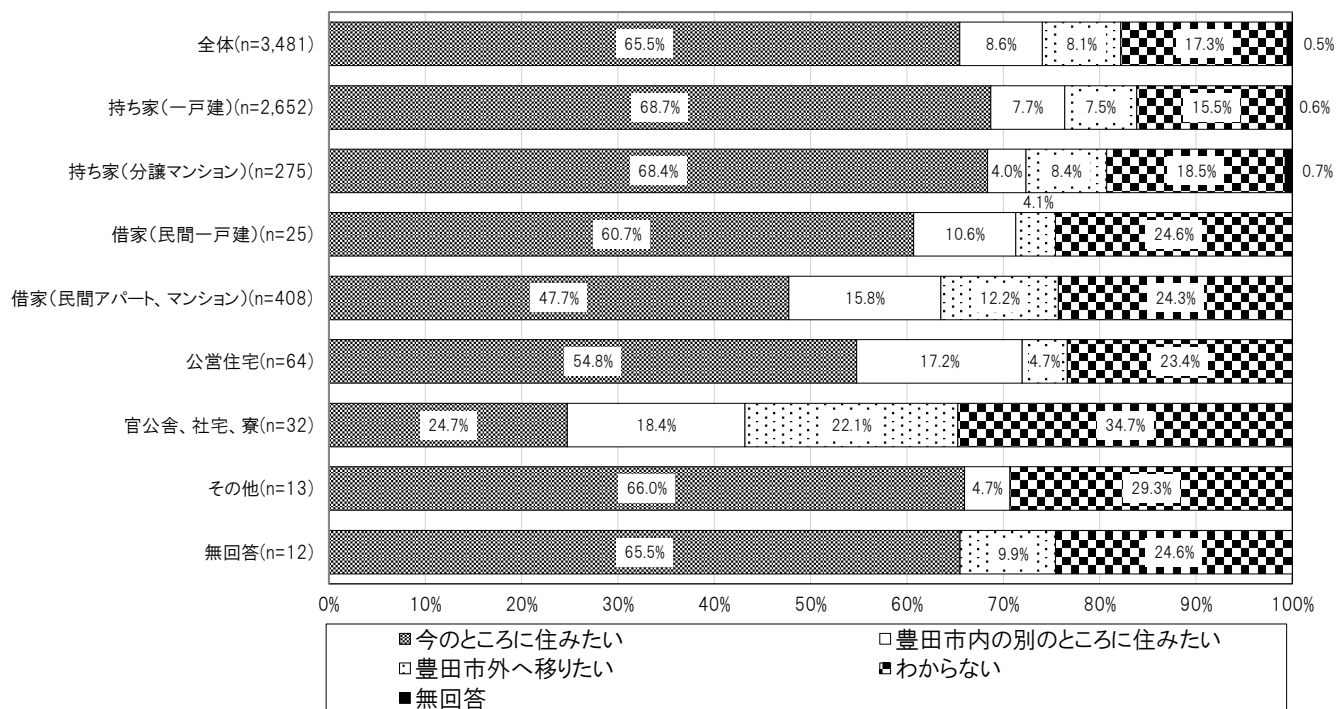
図表3-2-5 定住意識(居住地区別)



③ 「定住意識」×「居住形態」

居住形態別にみると、豊田市に長く住みたいと思う市民の割合は、持ち家(一戸建)で76.4%と最も高くなっています。一方、官公舎、社宅、寮は43.1%と低くなっています。

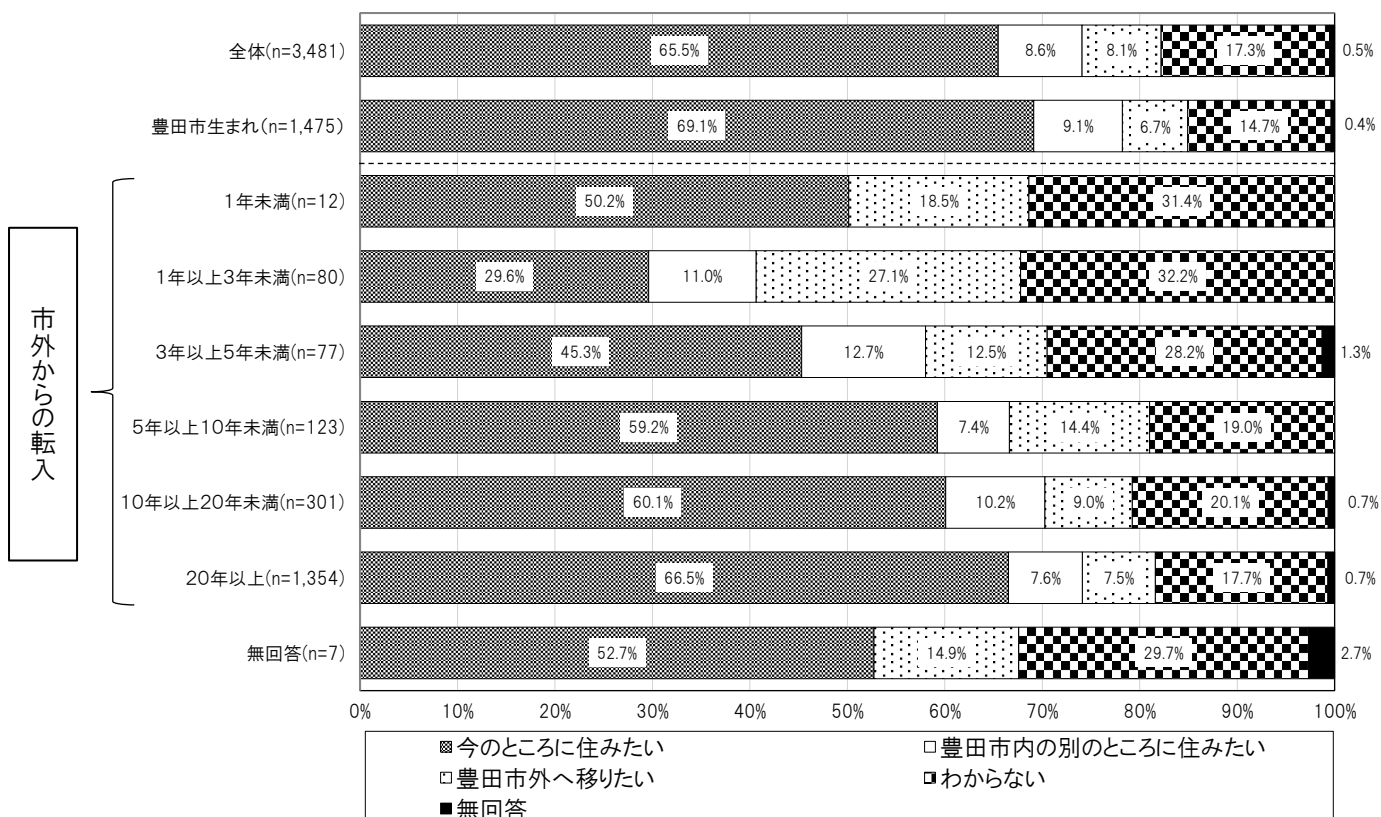
図表3-2-6 定住意識(居住形態別)



④ 「定住意識」×「居住年数」

居住年数別にみると、豊田市に長く住みたいと思う市民の割合は、概ね居住年数が長くなるほど増加する傾向にあります。

図表3-2-7 定住意識(居住年数別)

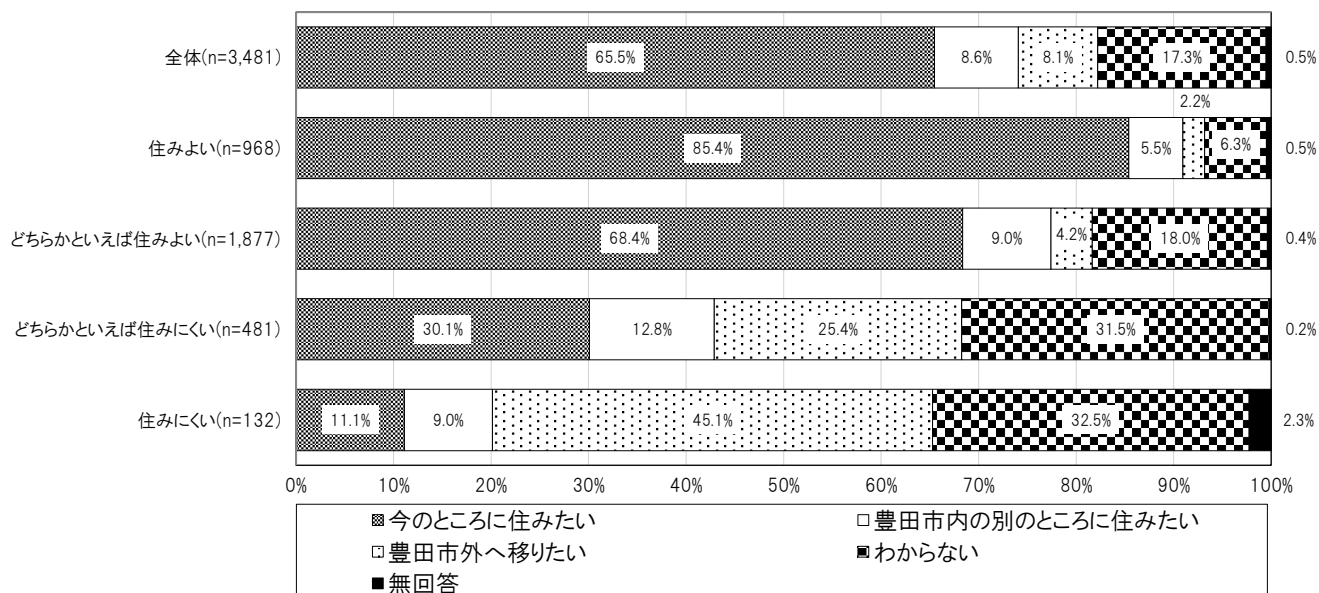


4) 設問間分析結果

① 「定住意識」×「住みよさ」

住みよさ別にみると、豊田市に長く住みたいと思う市民の割合は、「住みよい」と回答した市民で 90.9%と最も高くなっています。一方、「住みにくい」と回答した市民では 20.1%と低くなっています。

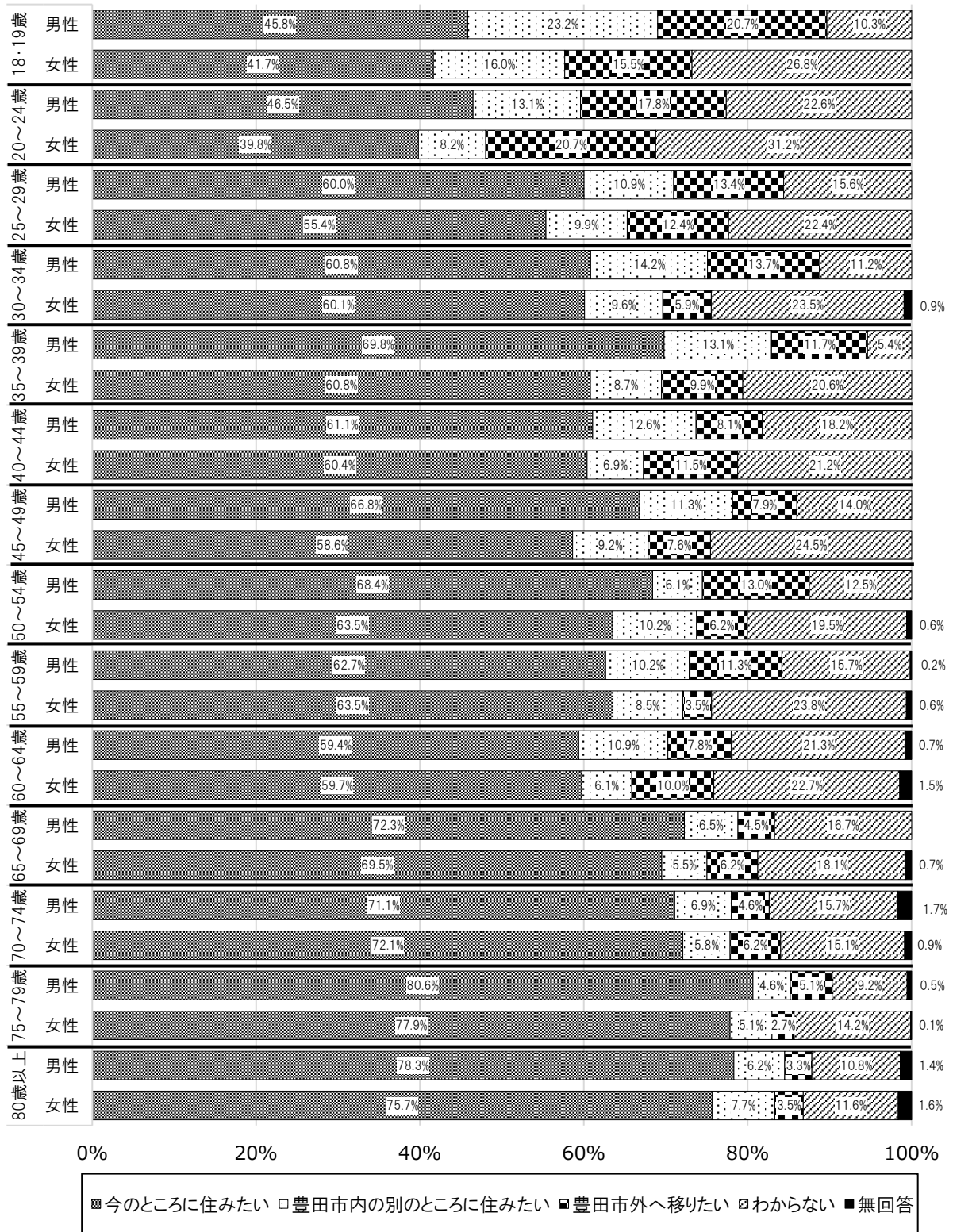
図表3-2-8 定住意識(住みよさ別)



② 「定住意識」×「年齢」×「性別」

年齢別、性別でみると、豊田市に長く住みたいと思う市民の割合は、75～79歳の男性で 85.2%と最も高くなっています。一方、20～24歳女性が 48.0%と最も低くなっています。

図表3-2-9 定住意識(年齢別・性別)



(3) 豊田市や居住地域への愛着

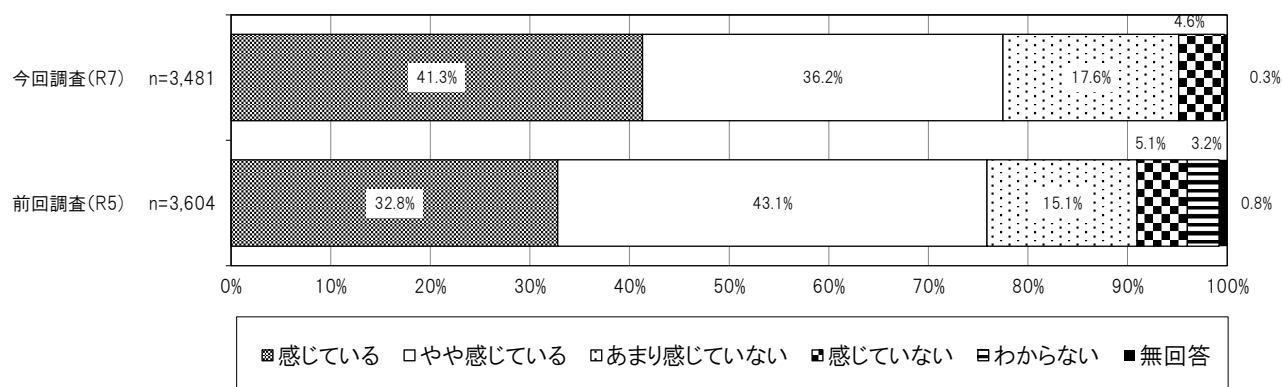
問 13

あなたは、豊田市やお住まいの地域に対して愛着を感じていますか。(1 つに○)

1) 全体集計結果

豊田市や居住地域に愛着を感じている市民の割合(「感じている」+「やや感じている」)は77.5%となっており、特に「感じている」と回答した市民の割合は前回調査と比較して8.5ポイント増加しています。一方、「あまり感じていない」、「感じていない」と回答した市民の割合は22.2%と前回調査より2.0ポイント増加しています。

図表3-3-1 豊田市や居住地域への愛着 (前回調査との比較) ※今回調査から「わからない」を削除

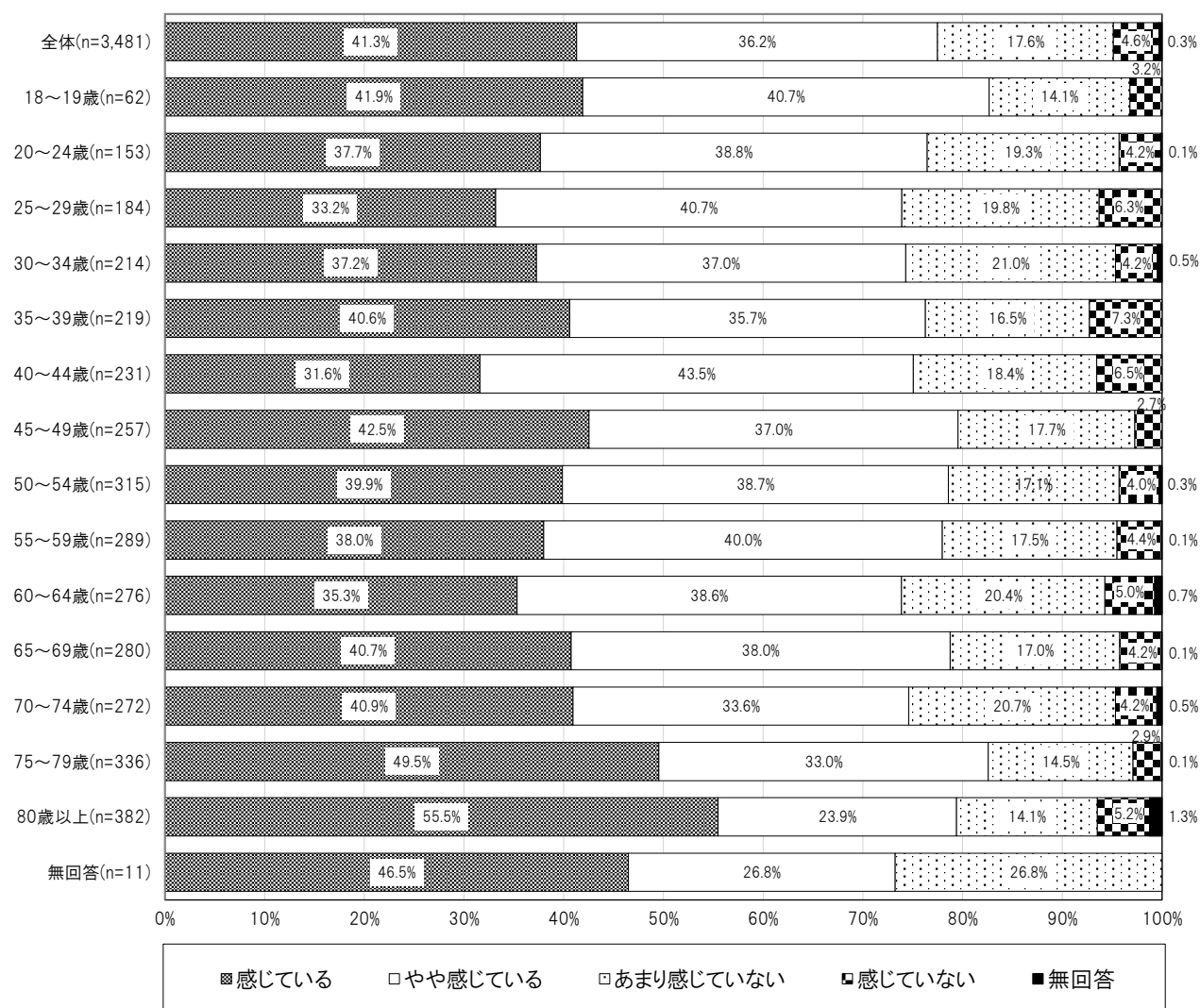


2) 属性分析結果

① 「豊田市や居住地域への愛着」×「年齢」

年齢別にみると、豊田市や居住地域に愛着を感じている市民の割合は、18～19 歳が 82.6%と最も高く、次いで 75～79 歳が 82.5%となっています。一方、25～29 歳と 60～64 歳が 73.9%、30～34 歳が 74.2%と低くなっています。

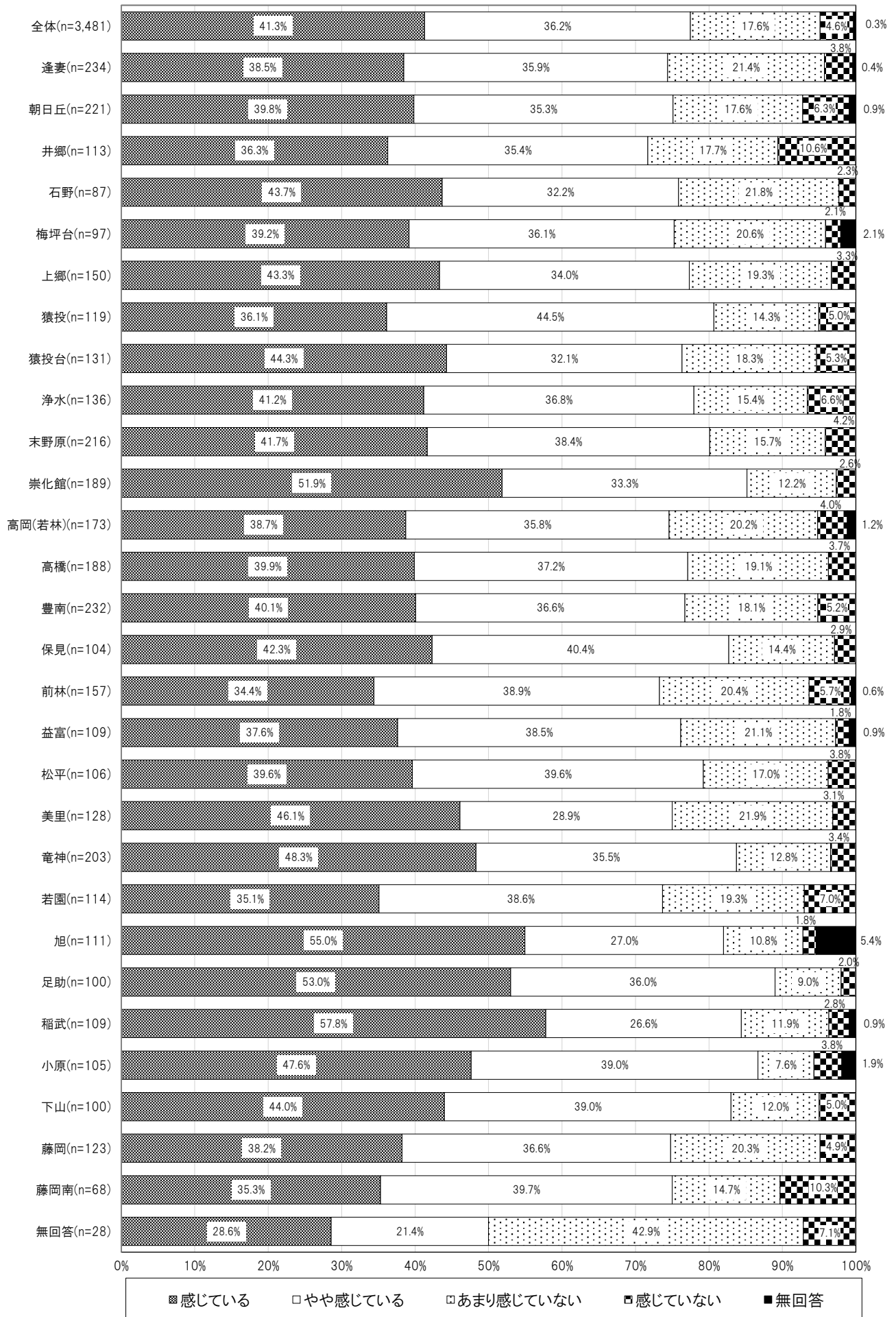
図表3-3-2 豊田市や居住地域への愛着(年齢別)



② 「豊田市や居住地域への愛着」×「居住地区」

居住地区別にみると、豊田市や居住地域に愛着を感じている市民の割合は、足助が 89.0%と最も高く、次いで小原が 86.6%、崇化館が 85.2%となっています。一方、井郷が 71.7%、前林が 73.3%、若園が 73.7%と低くなっています。

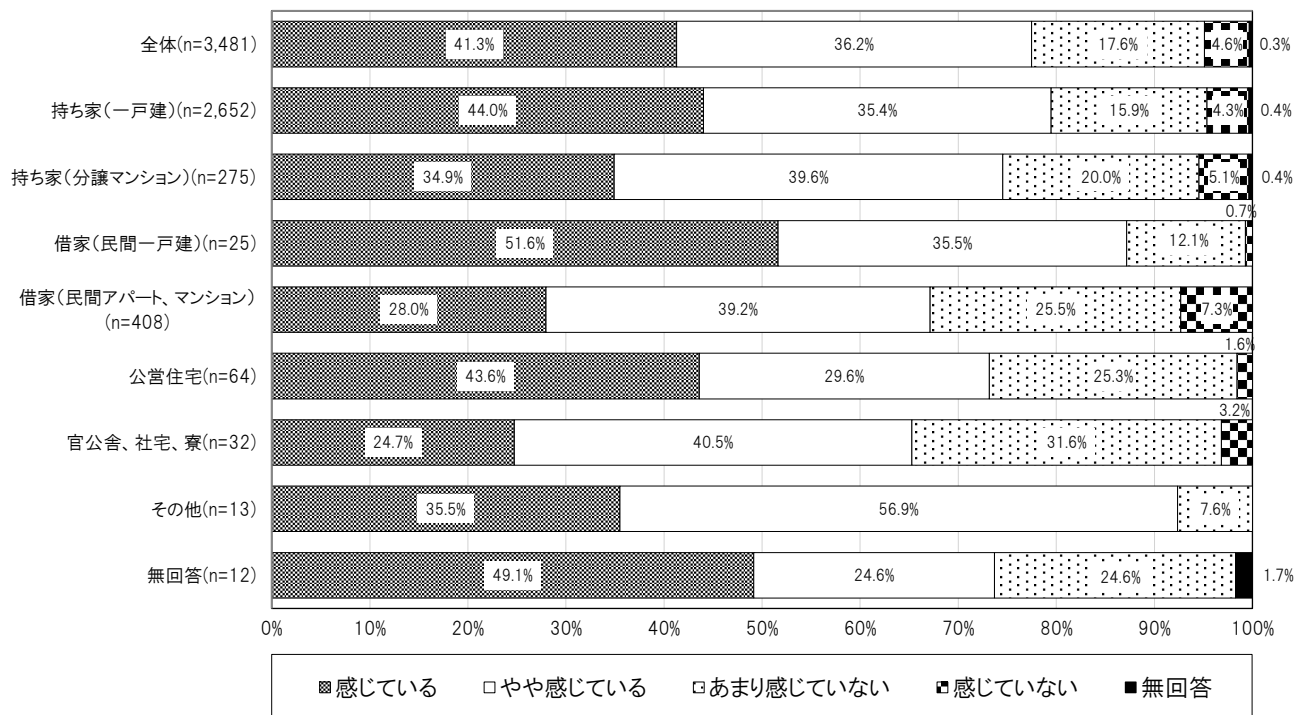
図表3-3-3 豊田市や居住地域への愛着(居住地区別)



③ 「豊田市や居住地域への愛着」×「居住形態」

居住形態別にみると、豊田市や居住地域に愛着を感じている市民の割合は、その他を除いて、借家（民間一戸建）で 87.1%と最も高くなっています。一方、官公舎、社宅、寮は 65.2%と低くなっています。

図表3-3-4豊田市や居住地域への愛着（居住形態別）

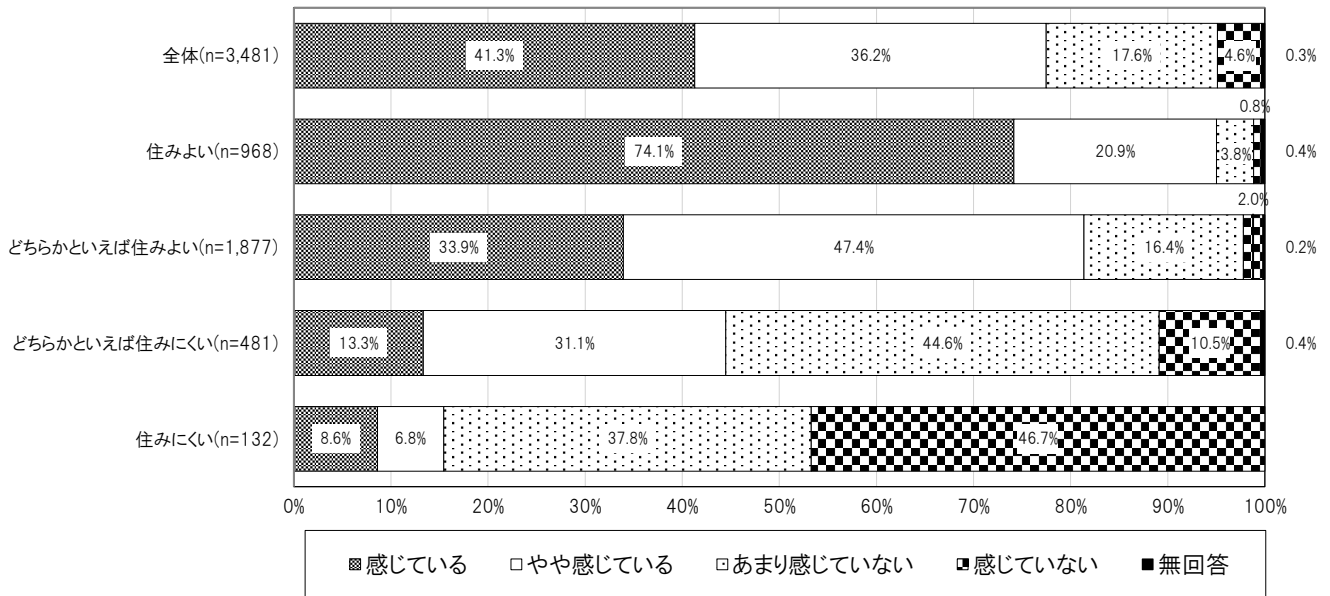


3) 設問間分析結果

① 「豊田市や居住地域への愛着」×「住みよさ」

住みよさ別にみると、豊田市や居住地域に愛着を感じている市民の割合は、「住みよい」と回答した市民で 95.0%と最も高くなっています。一方、「住みにくい」と回答した市民では 15.4%と低くなっています。住みよいと思う人ほど、愛着を感じる割合が高くなる傾向があります。

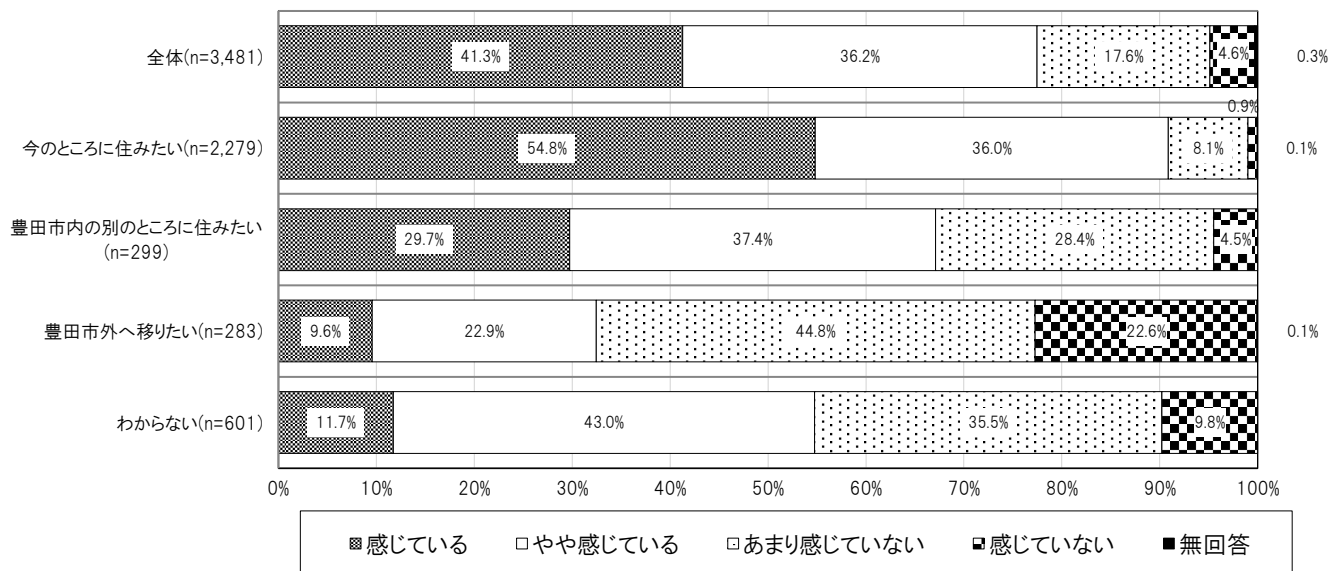
図表3-3-5 豊田市や居住地域への愛着(住みよさ別)



② 「豊田市や居住地域への愛着」×「定住意識」

定住意識別にみると、豊田市や居住地域への愛着を感じている市民の割合は、「今のところに住みたい」と回答した市民で 90.8%と最も高くなっています。一方、「豊田市外へ移りたい」と回答した市民では 32.5%と低くなっています。定住意識が高い人ほど、愛着を感じる割合が高くなる傾向があります。

図表3-3-6 豊田市や居住地域への愛着(定住意識別)



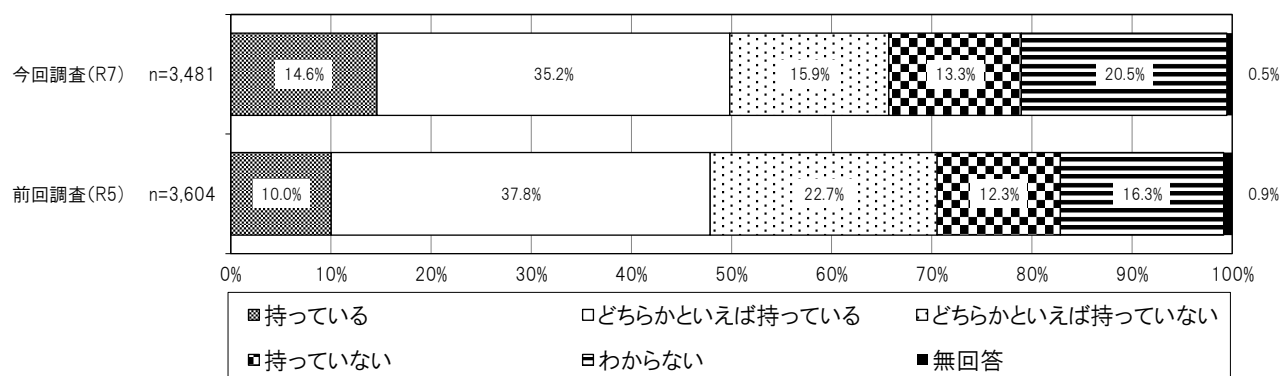
(4) 豊田市の歴史・文化への愛着や誇り

問 14 あなたは、豊田市の歴史・文化に愛着や誇りを持っていますか。(1 つに○)

1) 全体集計結果

豊田市の歴史・文化に対する愛着や誇りを持っている市民の割合(「持っている」+「どちらかといえば持っている」)は49.8%となっており、前回調査と比較すると、2.0ポイント増加しています。一方、豊田市の歴史・文化に対する愛着や誇りを持っていない(「どちらかといえば持っていない」+「持っていない」)と回答した市民の割合は29.2%となっており、前回調査と比較すると5.8ポイント減少しています。また、「わからない」と回答した市民の割合は20.5%で、前回調査と比較して4.2ポイント増加しています。

図表3-4-1 豊田市の歴史・文化に対する愛着や誇り（前回調査との比較）

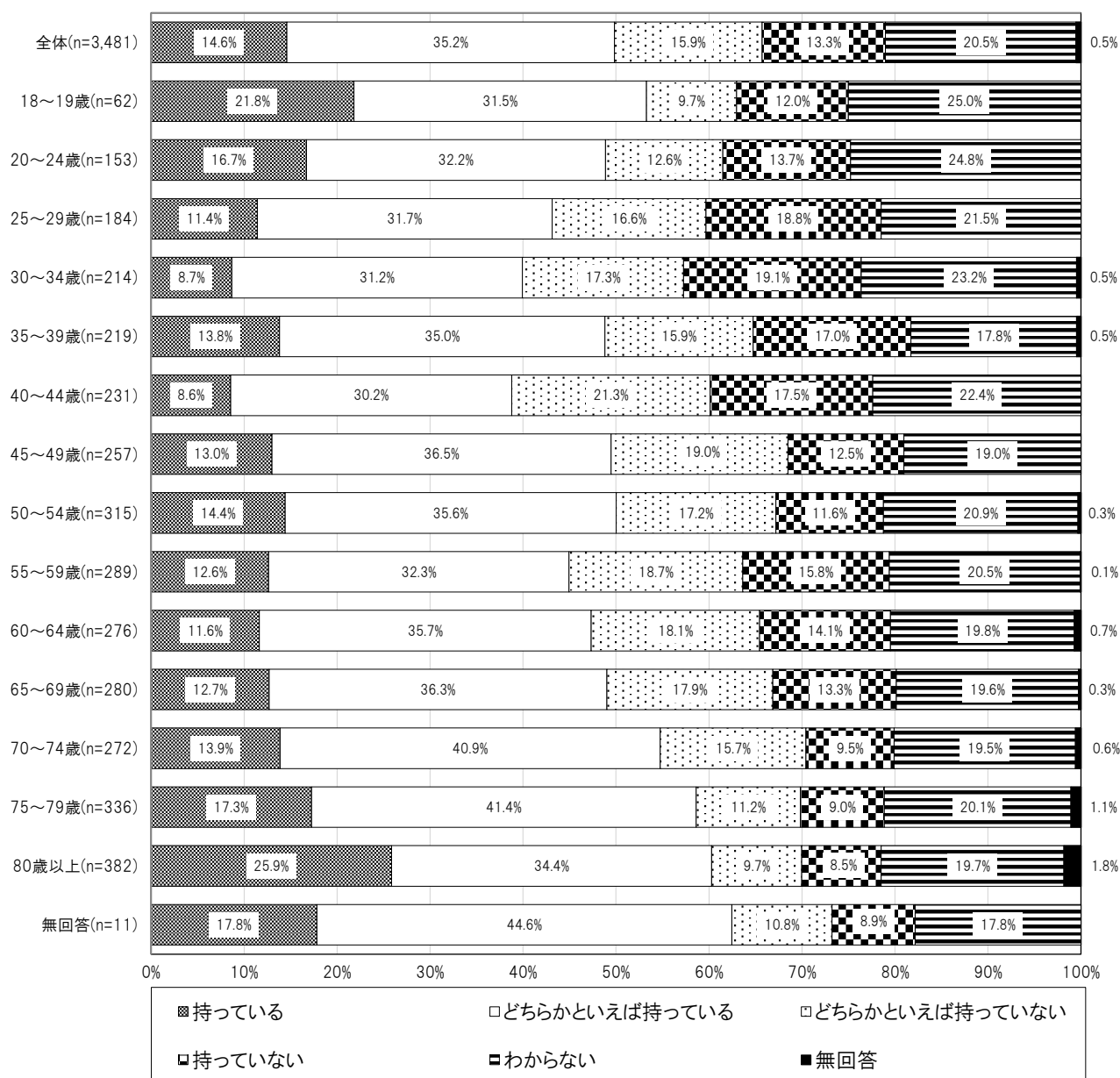


2) 属性分析結果

① 「豊田市の歴史・文化に対する愛着や誇り」×「年齢」

年齢別にみると、豊田市の歴史・文化に対して愛着や誇りを持っている市民の割合は、80歳以上が60.3%と最も高く、次いで75～79歳が58.7%となっています。一方、40～44歳が38.8%、30～34歳が39.9%と低くなっています。

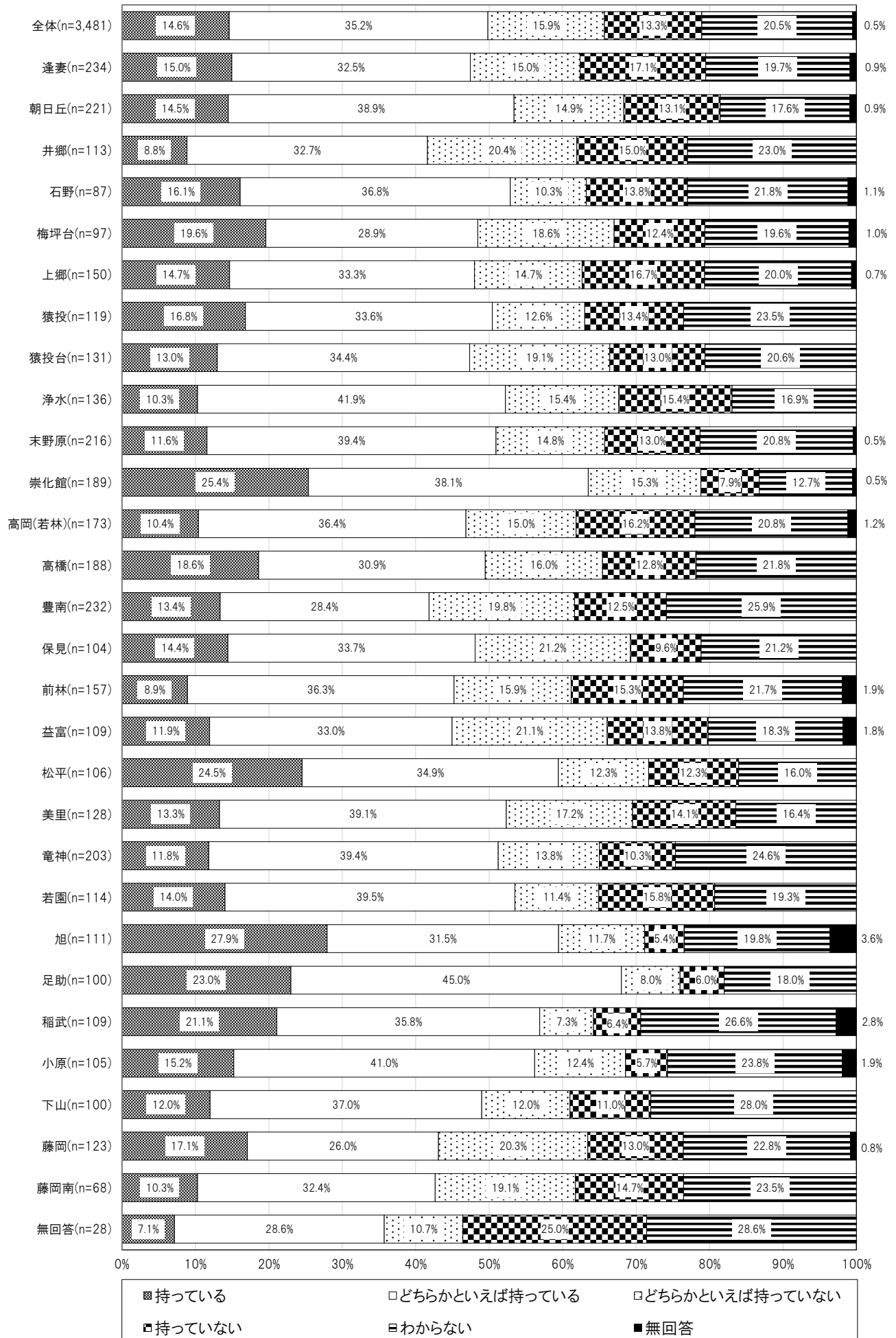
図表3-4-2 豊田市の歴史・文化に対する愛着や誇り(年齢別)



② 「豊田市の歴史・文化に対する愛着や誇り」×「居住地区」

居住地区別にみると、豊田市の歴史・文化に対して愛着や誇りを持っている市民の割合は、足助が 68.0%と最も高く、次いで崇化館が 63.5%となっています。一方、井郷が 41.5%、豊南が 41.8%と低くなっています。

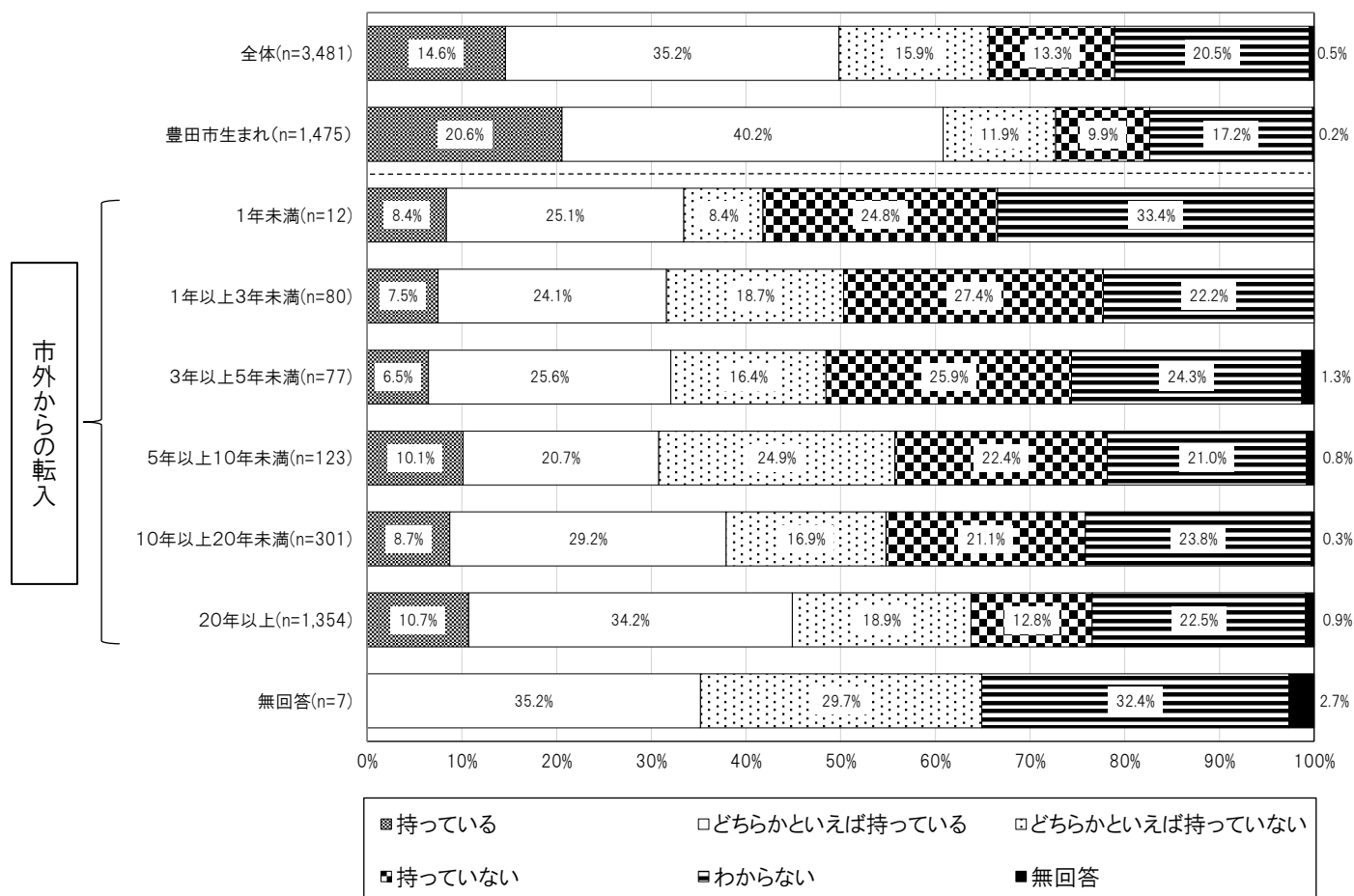
図表3-4-3 豊田市の歴史・文化に対する愛着や誇り(居住地区別)



③ 「豊田市の歴史・文化に対する愛着や誇り」×「居住年数」

居住年数別にみると、豊田市の歴史・文化に対して愛着や誇りを持っている市民の割合は、豊田市生まれで 60.8%と最も高くなっています。一方、市外からの転入の場合、豊田市生まれと比較して愛着や誇りを持っている市民の割合は低いですが、概ね居住年数が長くなるのに比例して高くなる傾向にあります。

図表3-4-4 豊田市の歴史・文化に対する愛着や誇り(居住年数別)



2 普段の生活

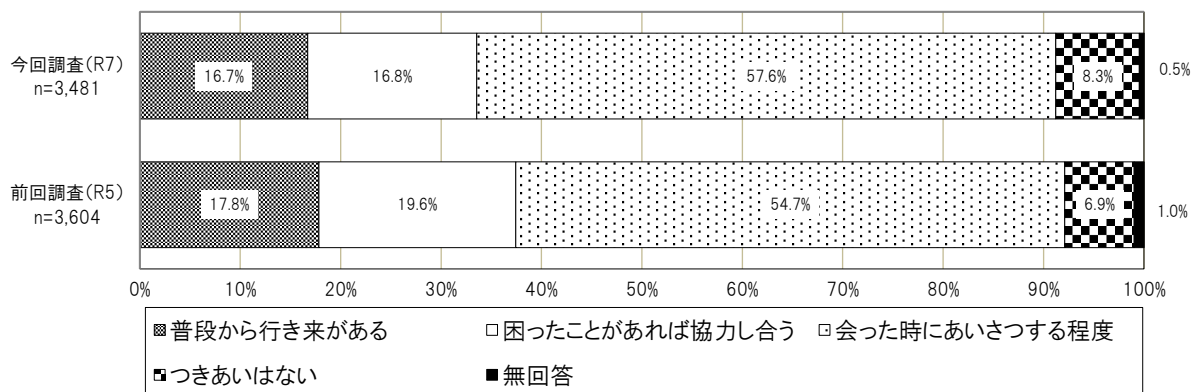
(1) 近所とのつきあい

問 15 あなたは、近所とのつきあいがどれくらいありますか。(1 つに○)

1) 全体集計結果

近所づきあいについて、「会った時にあいさつする程度」と回答した市民の割合が最も高く、57.6%となっており、前回調査と比較して 2.9 ポイント増加しています。次いで「困ったことがあれば協力し合う」が 16.8%で、前回調査と比較して 2.8 ポイント減少しています。また、「普段から行き来がある」と回答した市民の割合は、16.7%となっており、1.1 ポイント減少しています。

図表3-5-1 近所づきあい(前回調査との比較)

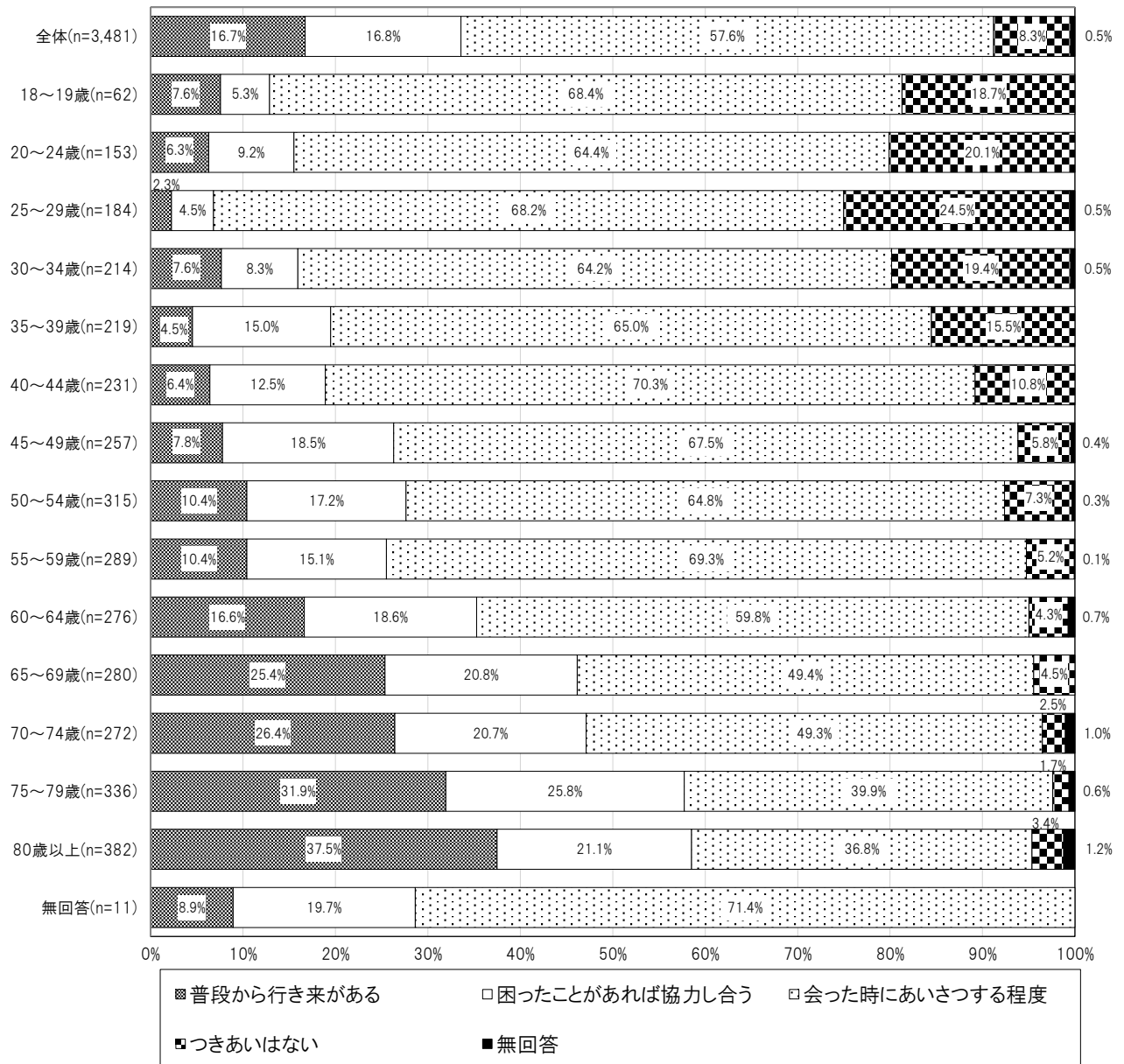


2) 属性分析結果

① 「近所づきあい」×「年齢」

年齢別にみると、近所づきあいがあると回答した市民の割合（「普段から行き来がある」＋「困ったことがあれば協力し合う」）は、80 歳以上が最も高く 58.6%、次いで 75～79 歳が 57.7%となっており、概ね年齢が高くなるほど近所づきあいがある市民の割合が増加する傾向にあります。一方、「つきあいはない」と回答した市民の割合は 25～29 歳で 24.5%と高くなっています。

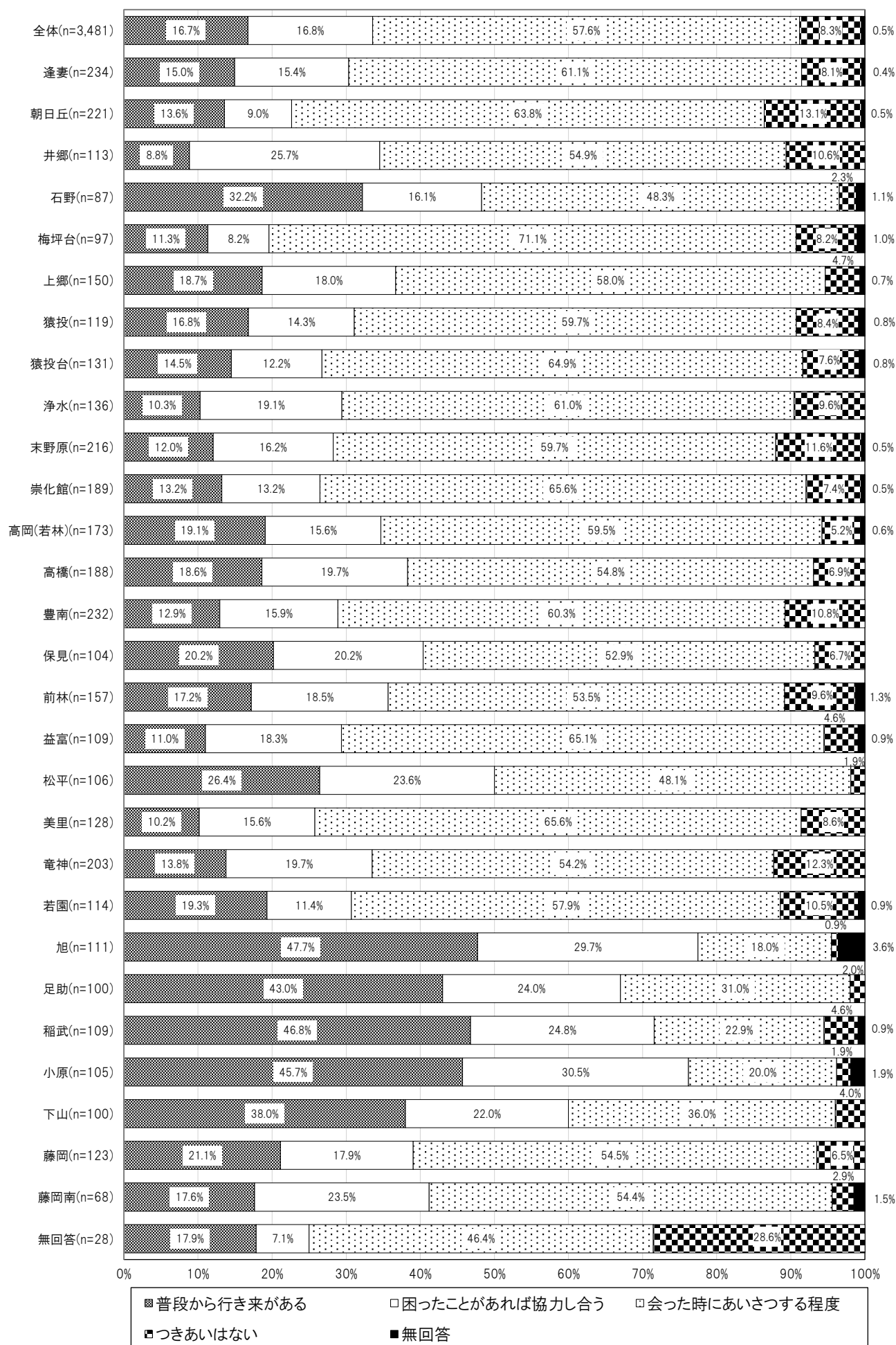
図表3-5-2 近所づきあい(年齢別)



② 「近所づきあい」×「居住地区」

居住地区別にみると、近所づきあいがあると回答した市民の割合は、旭が 77.4%と最も高く、次いで小原が 76.2%、稲武が 71.6%となっており、主に山村地域（旭、足助、稲武、小原、下山）や石野、松平で高い傾向にあります。一方、梅坪台が 19.5%と低くなっています。

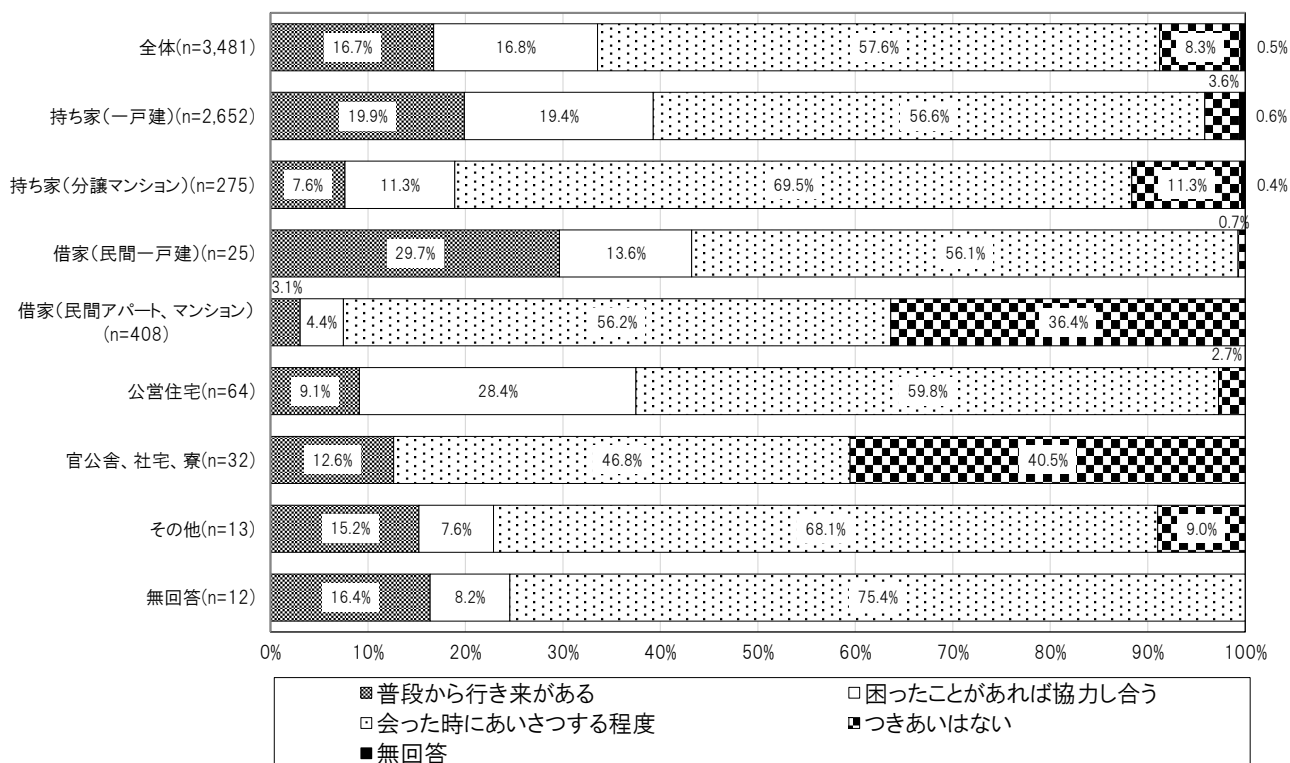
図表3-5-3 近所づきあい(居住地区別)



③ 「近所づきあい」×「居住形態」

居住形態別にみると、近所づきあいがあると回答した市民の割合は、借家（民間一戸建）が43.3%と最も高くなっています。次いで持ち家（一戸建）が39.3%となっています。一方、借家（民間アパート、マンション）では7.5%と低くなっています。また、「つきあいはない」と回答した市民の割合は、官公舎、社宅、寮が40.5%、借家（民間アパート、マンション）が36.4%と高くなっています。

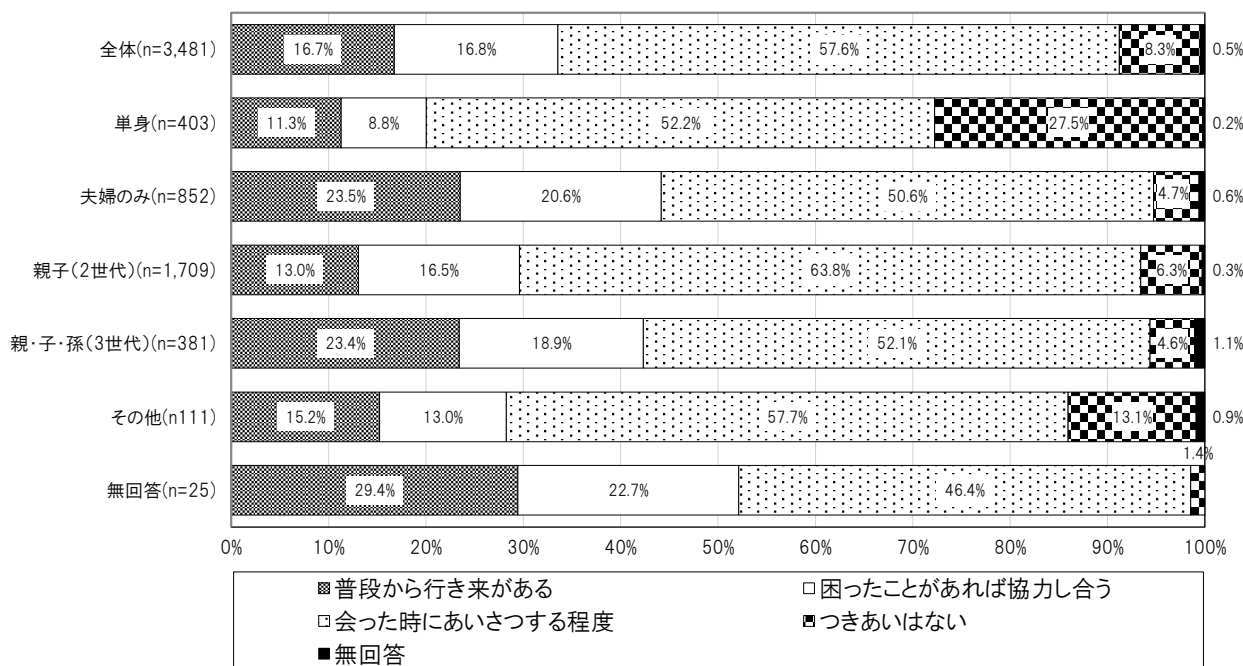
図表3-5-4 近所づきあい（居住形態別）



④ 「近所づきあい」×「家族構成」

家族構成別にみると、近所づきあいがあると回答した市民の割合は、夫婦のみ世帯が最も高く44.1%、次いで親・子・孫（3世代）世帯が42.3%となっています。一方、「つきあいはない」と回答した市民の割合は、単身世帯で27.5%と高くなっています。

図表3-5-5 近所づきあい(家族構成別)

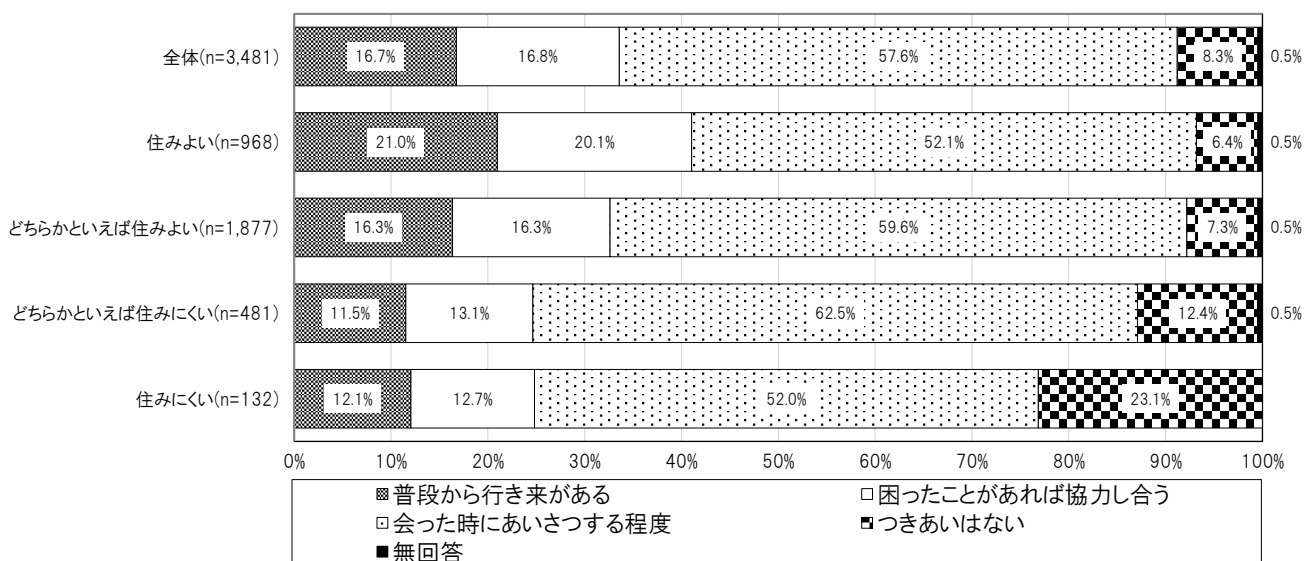


3) 設問間分析結果

① 「近所づきあい」×「住みよさ」

住みよさ別にみると、近所づきあいがあると回答した市民の割合は、「住みよい」と回答した市民で 41.1%と最も高くなっています。一方、「つきあいはない」と回答した市民の割合は、「住みにくい」と回答した市民では 23.1%と最も多くなっています。近所づきあいがあるほど、住みよいと思う傾向があります。

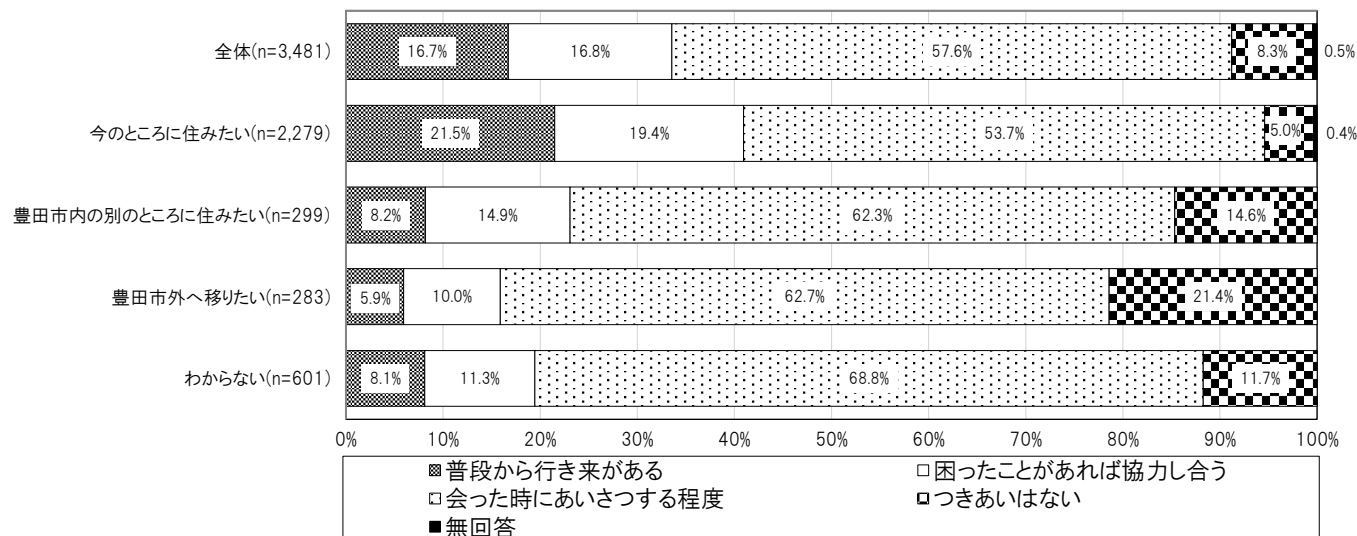
図表3-5-6 近所づきあい(住みよさ別)



② 「近所づきあい」×「定住意識」

定住意識別にみると、近所づきあいがあると回答した市民の割合は、「今のところに住みたい」と回答した市民で40.9%と最も高くなっています。一方、「豊田市外へ移りたい」と回答した市民では15.9%と低くなっています。

図表3-5-7 近所づきあい(定住意識別)



(2) 生きがいの有無

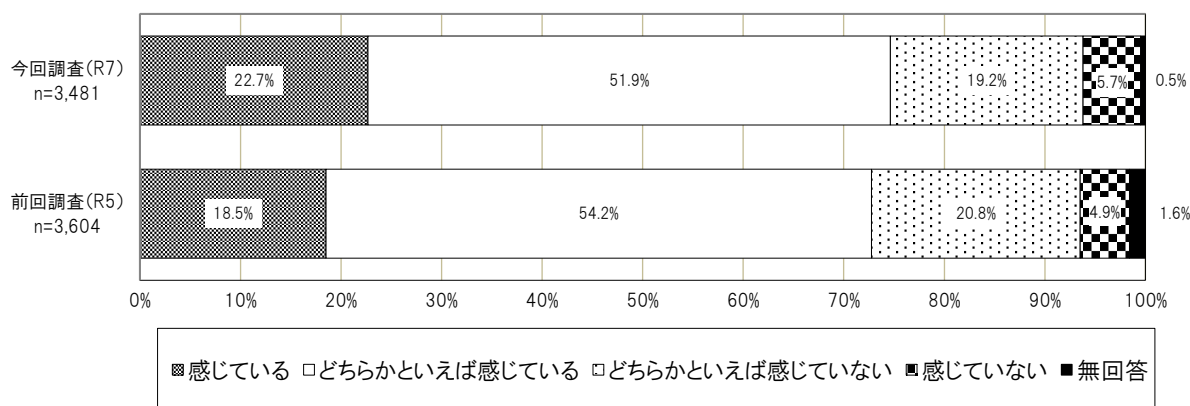
問 16

あなたは、日頃の生活の中で生きがいを感じていますか。(1 つに○)

1) 全体集計結果

日ごろの生活の中で生きがいを感じている(「感じている」+「どちらかといえば感じている」)と回答した市民の割合は、74.6%となっており、特に「感じている」と回答した市民の割合は、前回調査と比較して 4.2 ポイント増加しています。一方、生きがいを感じていない(「どちらかといえば感じていない」+「感じていない」)と回答した市民の割合は、24.9%となっており、0.8 ポイント減少しています。

図表3-6-1 生きがいの有無(前回調査との比較)

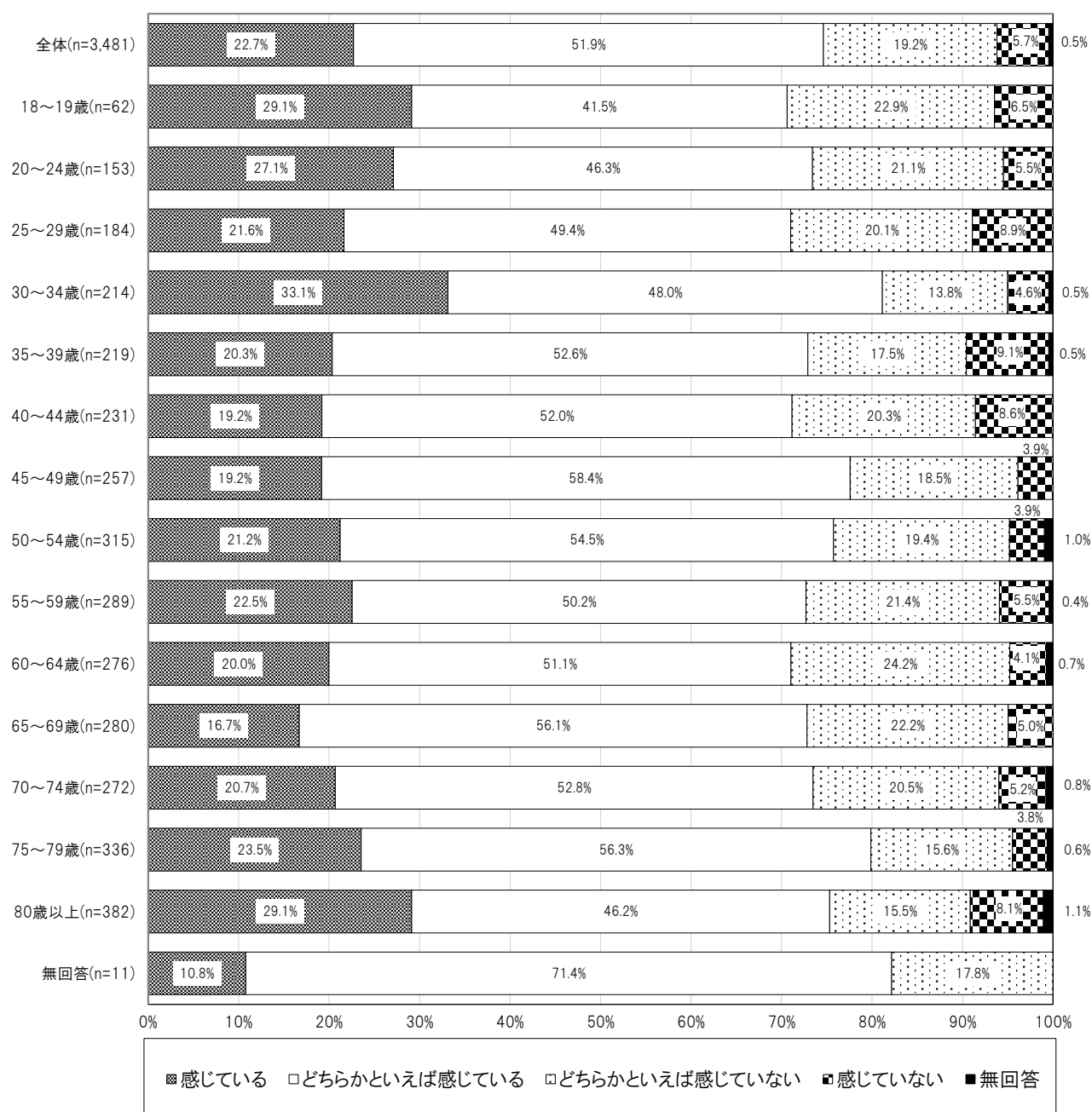


2) 属性分析結果

① 「生きがいの有無」×「年齢」

年齢別にみると、生きがいを感じている市民の割合は、30～34 歳が 81.1%と最も高く、次いで 75～79 歳が 79.8%となっています。

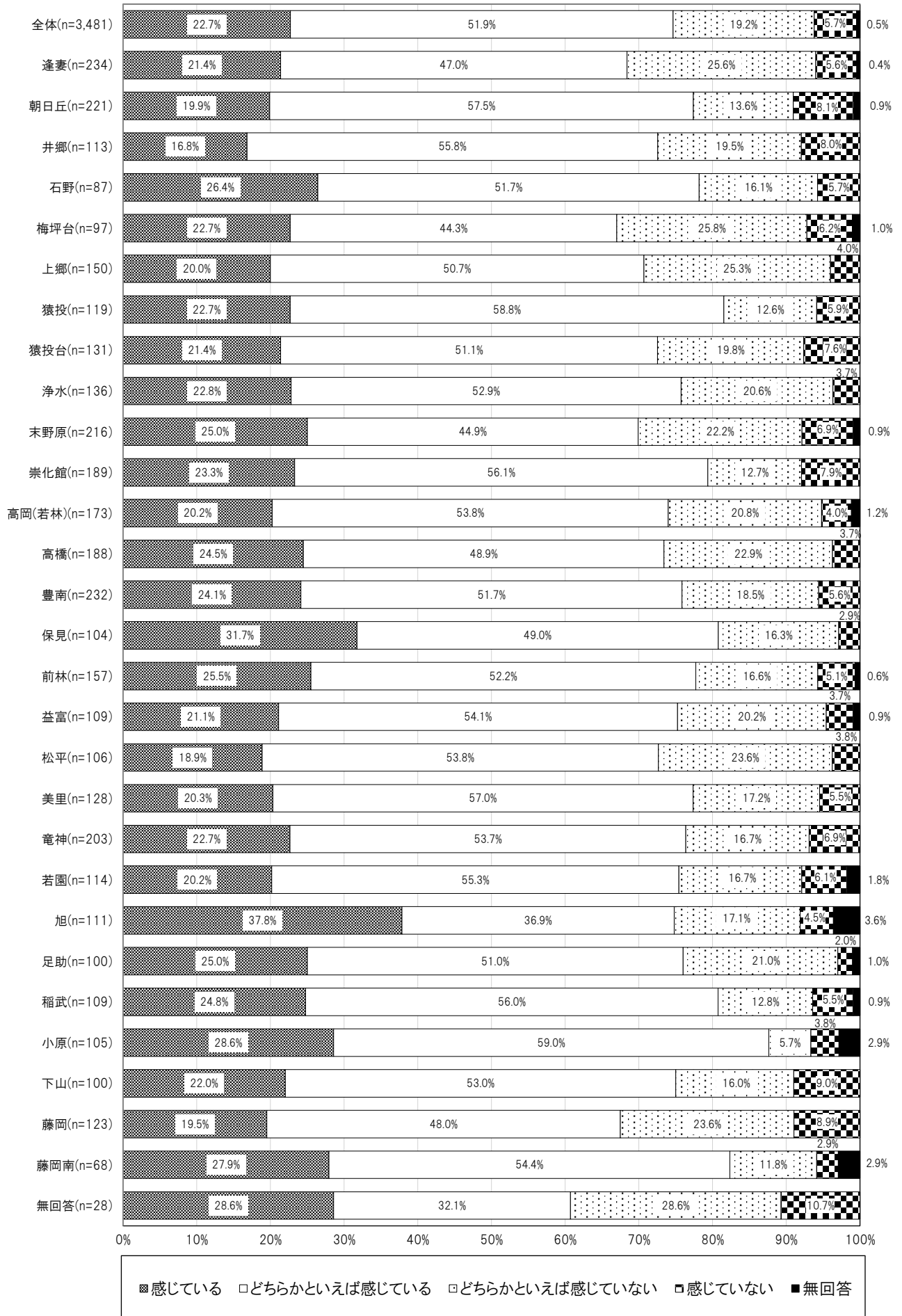
図表3-6-2 生きがいの有無(年齢別)



② 「生きがいの有無」×「居住地区」

居住地区別にみると、生きがいを感じている市民の割合は、小原が 87.6%と最も高く、次いで藤岡南が 82.3%となっています。一方、梅坪台が 67.0%と最も低く、次いで藤岡が 67.5%と低くなっています。

図表3-6-3 生きがいの有無(居住地区別)

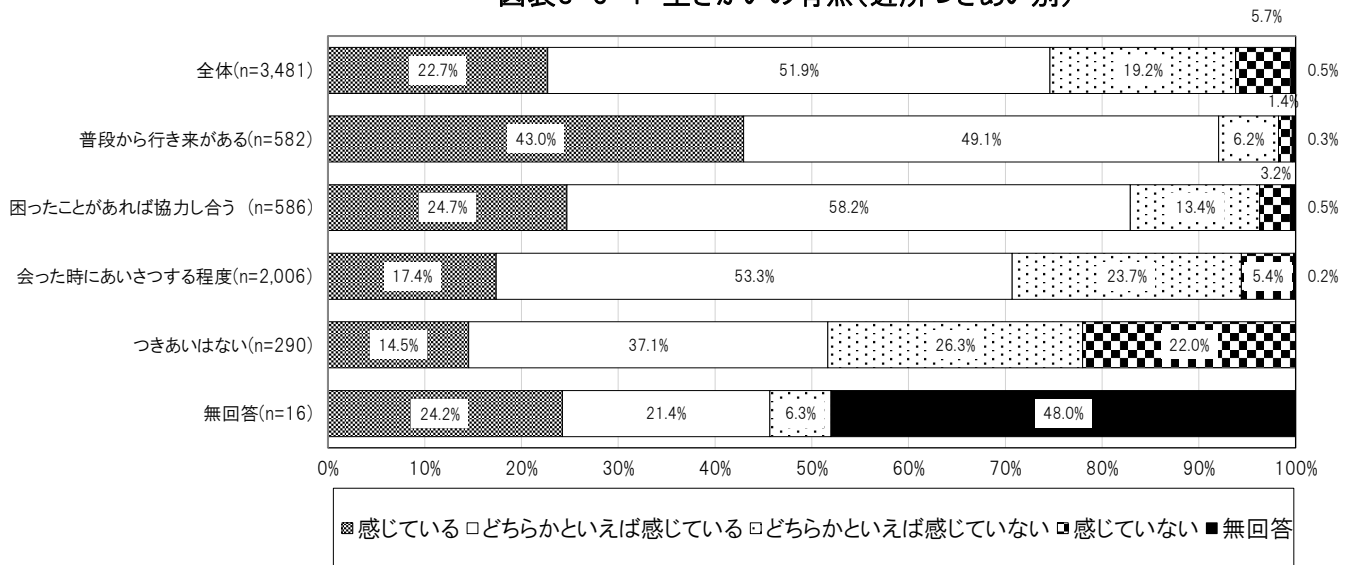


3) 設問間分析結果

① 「生きがいの有無」×「近所づきあい」

近所づきあい別にみると、「普段から行き来がある」と回答した市民で92.1%と最も多くなっています。一方、「つきあいはない」と回答した市民の割合では51.6%と低くなっています。近所づきあいがあるほど、生きがいを感じる傾向があります。

図表3-6-4 生きがいの有無(近所づきあい別)

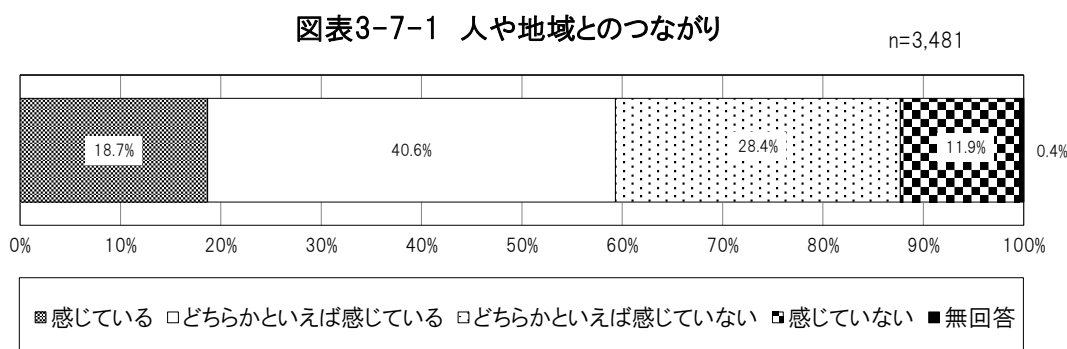


(3) 人や地域とのつながり

問 17	あなたは、暮らしの中で人や地域とのつながりがあると感じていますか。(1 つに ○)
------	---

1) 全体集計結果

暮らしの中で人や地域とのつながりがあると感じている(「感じている」+「どちらかというと感じている」と回答した市民の割合は 59.3%となっています。一方、つながりを感じていない(「どちらかというと感じていない」+「感じていない」と回答した市民の割合は 40.3%となっています。

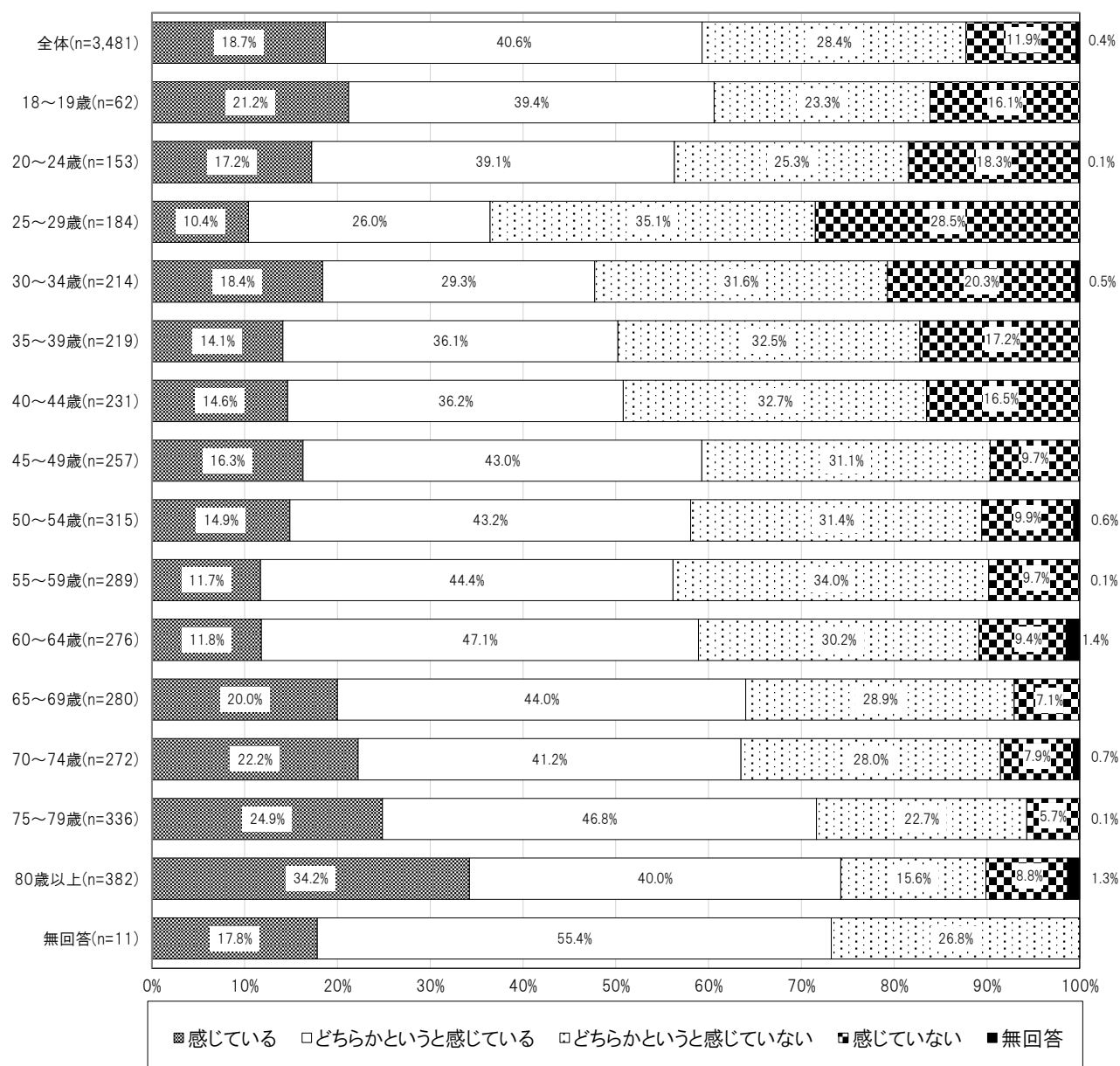


2) 属性分析結果

① 「人や地域とのつながり」×「年齢」

年齢別にみると、暮らしの中で人や地域とのつながりがあると感じている市民の割合は 80 歳以上が 74.2%と最も高く、次いで 75～79 歳が 71.7%となっています。一方、25～29 歳が 36.4%と最も低くなっています。暮らしの中で人や地域とのつながりがあると感じている市民の割合は、18～19 歳で約 60%となっていますが、20 代で低下し、30 歳を超えると年齢が上がるにつれて高くなる傾向にあります。

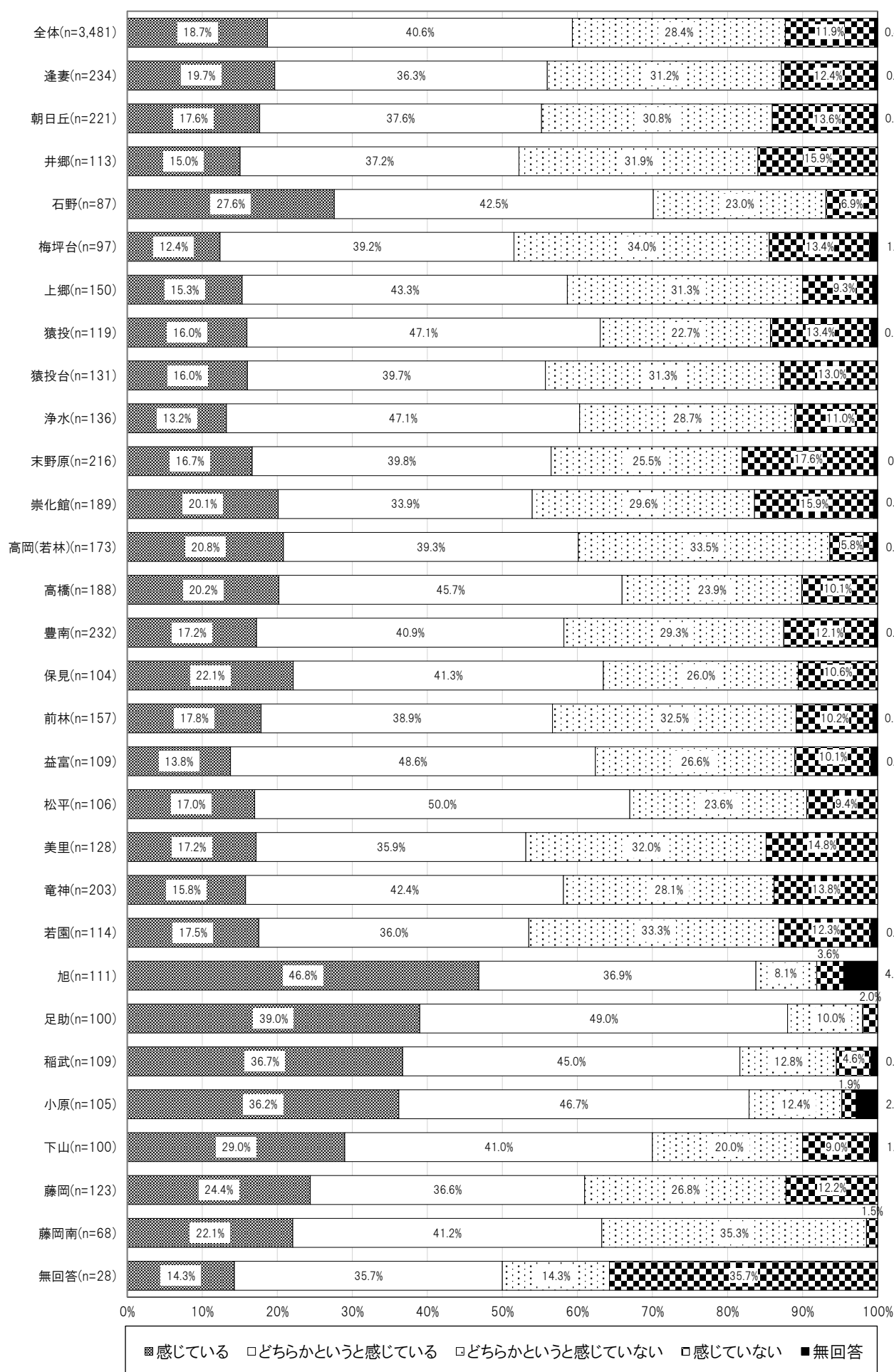
図表3-7-2 人や地域とのつながり(年齢別)



② 「人や地域とのつながり」×「居住地区」

居住地区別でみると、暮らしの中で人や地域とのつながりがあると感じている市民の割合は足助が 88.0%と最も高く、次いで旭が 83.7%となっており、主に山村地域（旭、足助、稲武、小原、下山）や石野、松平で高い傾向にあります。一方、梅坪台が 51.6%と最も低く、次いで井郷が 52.2%となっています。

図表3-7-3 人や地域とのつながり(居住地区別)

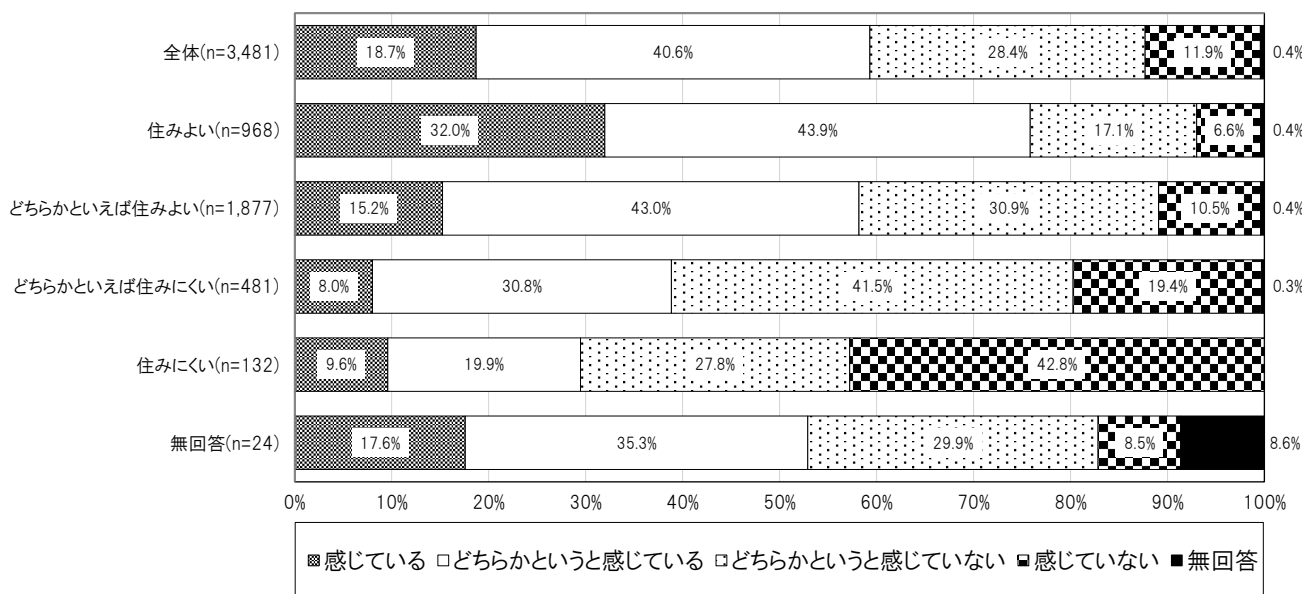


3) 設問間分析結果

① 「人や地域とのつながり」×「住みよさ」

住みよさ別にみると、暮らしの中で人や地域とのつながりがあると感じている市民の割合は、「住みよい」と回答した市民で 75.9%と最も高くなっています。一方、「住みにくい」と回答した市民では 29.5%と低くなっています。人や地域とのつながりがあると感じている市民の割合は、住みよいと感じる人ほど高い傾向にあります。

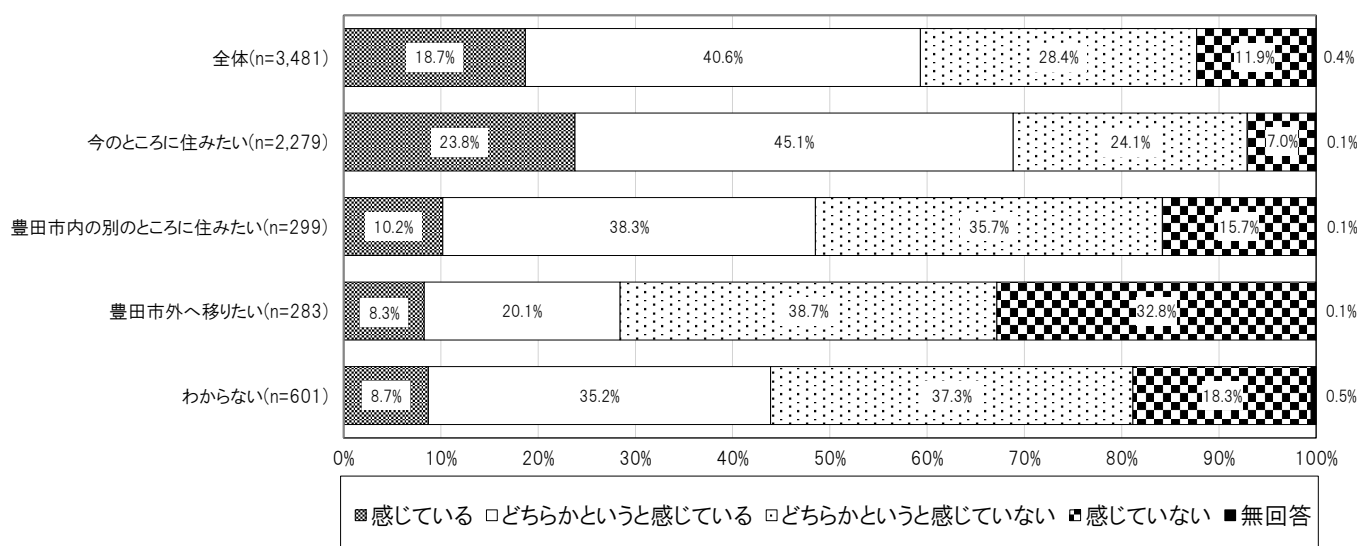
図表3-7-4 人や地域とのつながり(住みよさ別)



② 「人や地域とのつながり」×「定住意識」

定住意識別にみると、暮らしの中で人や地域とのつながりがあると感じている市民の割合は、「今のところに住みたい」と回答した市民で 68.9%と最も高くなっています。一方、「豊田市外へ移りたい」と回答した市民では 28.4%と低くなっています。人や地域とのつながりがあると感じている市民の割合は、定住意識が高いほど高い傾向にあります。

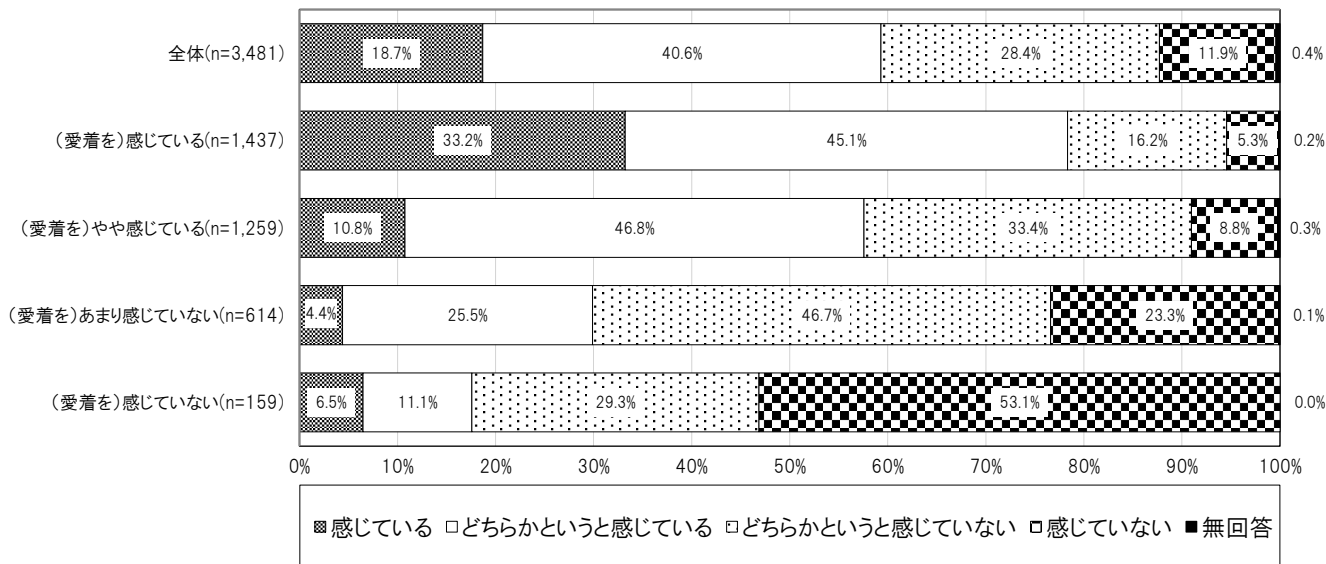
図表3-7-5 人や地域とのつながり(定住意識別)



③ 「人や地域とのつながり」×「豊田市や居住地域への愛着」

豊田市や居住地域への愛着別にみると、暮らしの中で人や地域とのつながりがあると感じている市民の割合は、「(愛着を) 感じている」と回答した市民で 78.3%と最も高くなっています。一方、「(愛着を) 感じていない」と回答した市民では 17.6%と低くなっています。人や地域とのつながりを感じる市民の割合は、愛着を感じる人ほど高い傾向にあります。

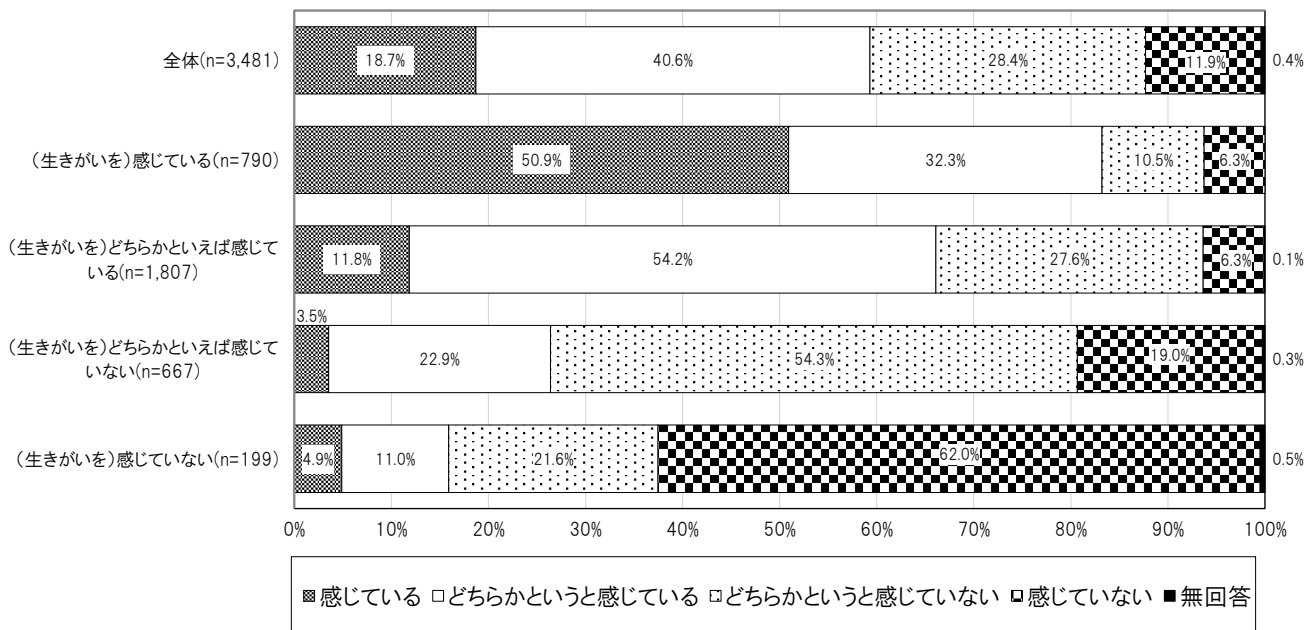
図表3-7-6 人や地域とのつながり(豊田市や居住地域への愛着別)



④ 「人や地域とのつながり」×「生きがいの有無」

生きがい別にみると、暮らしの中で人や地域とのつながりがあると感じている市民の割合は、「(生きがいを) 感じている」と回答した市民で 83.2%と最も高くなっています。一方、「(生きがいを) 感じていない」と回答した市民では 15.9%と低くなっています。人や地域とのつながりを感じる市民の割合は、生きがいを感じる人ほど高い傾向にあります。

図表3-7-7 人や地域とのつながり(生きがいの有無別)



(4) 自分らしく過ごせる場所の有無

問 18

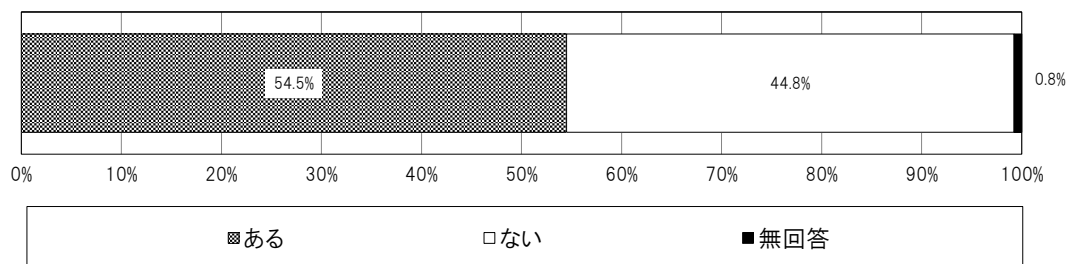
あなたは、家、学校、職場以外に、自分らしく過ごせる場所がありますか。
(1 つに○)

1) 全体集計結果

家、学校、職場以外に、自分らしく過ごせる場所が「ある」と回答した市民の割合は 54.5% でした。一方、ないと回答した市民の割合は 44.8% でした。

図表3-8-1 自分らしく過ごせる場所

n=3,481

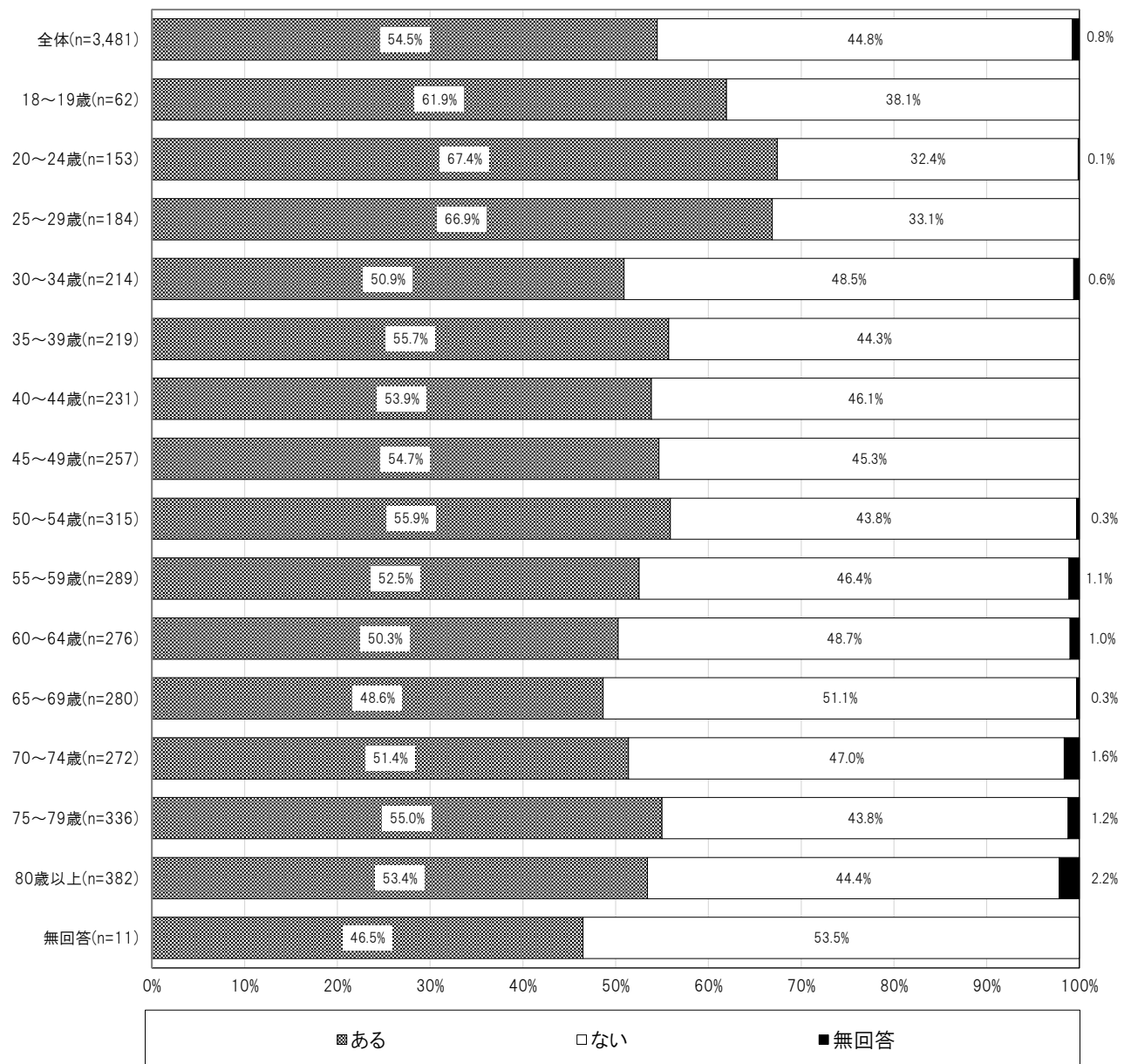


2) 属性分析結果

① 「自分らしく過ごせる場所の有無」×「年齢」

年齢別にみると、家、学校、職場以外に、自分らしく過ごせる場所が「ある」と回答した市民の割合は、20～24 歳が 67.4%と最も高く、次いで 25～29 歳が 66.9%となっています。一方、65～69 歳が 48.6%、60～64 歳が 50.3%と低くなっています。

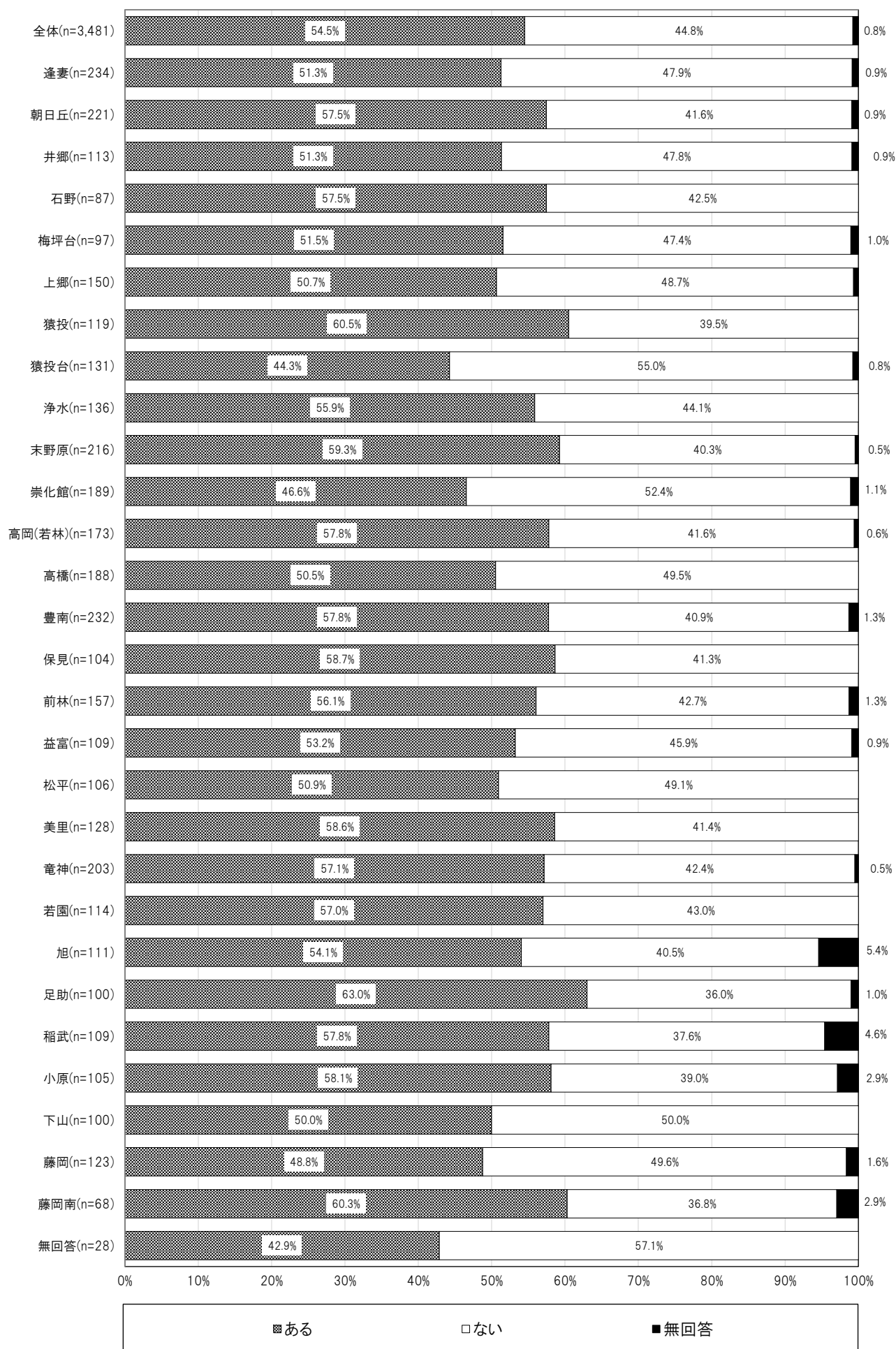
図表3-8-2 自分らしく過ごせる場所(年齢別)



② 「自分らしく過ごせる場所の有無」×「居住地区」

居住地区別にみると、自分らしく過ごせる場所が「ある」と回答した市民の割合は、足助が63.0%と最も高く、次いで猿投が60.5%、藤岡南が60.3%となっています。一方、猿投台は44.3%と最も低く、次いで崇化館が46.6%、藤岡が48.8%と低くなっています。

図表3-8-3 自分らしく過ごせる場所(居住地区別)

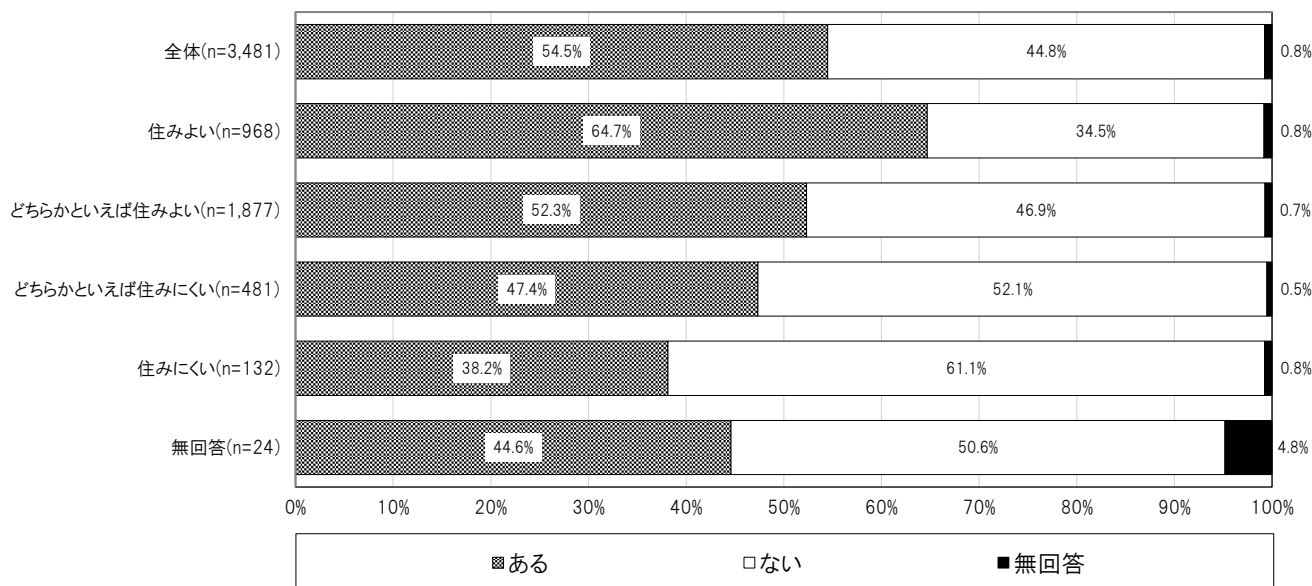


3) 設問間分析結果

① 「自分らしく過ごせる場所の有無」×「住みよさ」

住みよさ別にみると、自分らしく過ごせる場所が「ある」と回答した市民の割合は、「住みよい」と回答した市民で 64.7%と最も高くなっています。一方、「住みにくい」と回答した市民では 38.2%と最も低くなっています。住みよいと感じる人ほど、自分らしく過ごせる場所があると感じる傾向があります。

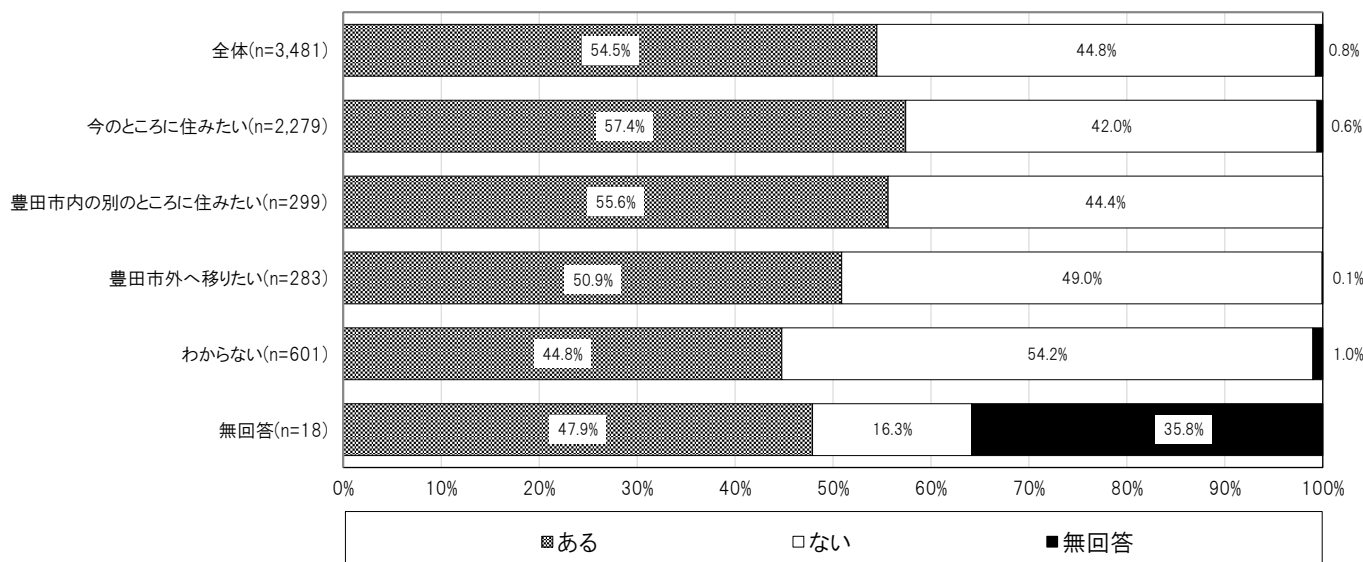
図表3-8-4 自分らしく過ごせる場所(住みよさ別)



② 「自分らしく過ごせる場所の有無」×「定住意識」

定住意識別にみると、自分らしく過ごせる場所が「ある」と回答した市民の割合は、「今のところに住みたい」と回答した市民で 57.4%と最も高くなっています。一方、「わからない」と回答した市民では 44.8%と最も低くなっています。

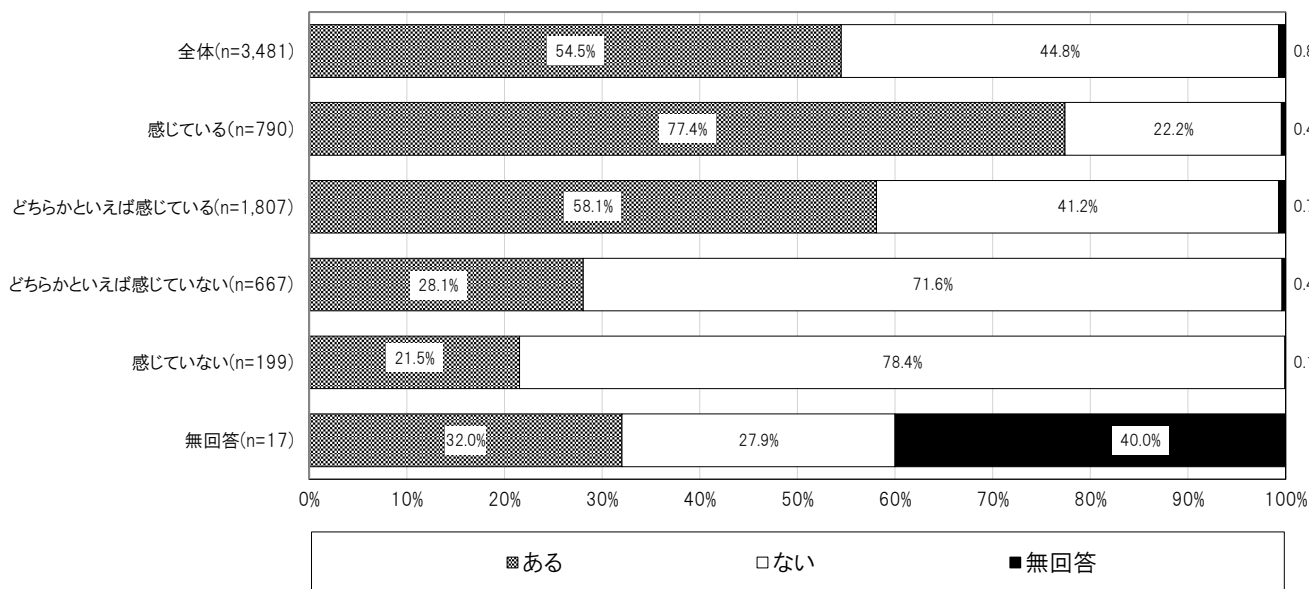
図表3-8-5 自分らしく過ごせる場所(定住意識別)



③ 「自分らしく過ごせる場所の有無」×「生きがいの有無」

生きがい別にみると、自分らしく過ごせる場所があると回答した市民の割合は、生きがいを「感じている」と回答した市民で 77.4%と最も高くなっています。一方、生きがいを「感じていない」と回答した市民では 21.5%と最も低くなっています。生きがいを感じる人ほど、自分らしく過ごせる場所があると感じる傾向があります。

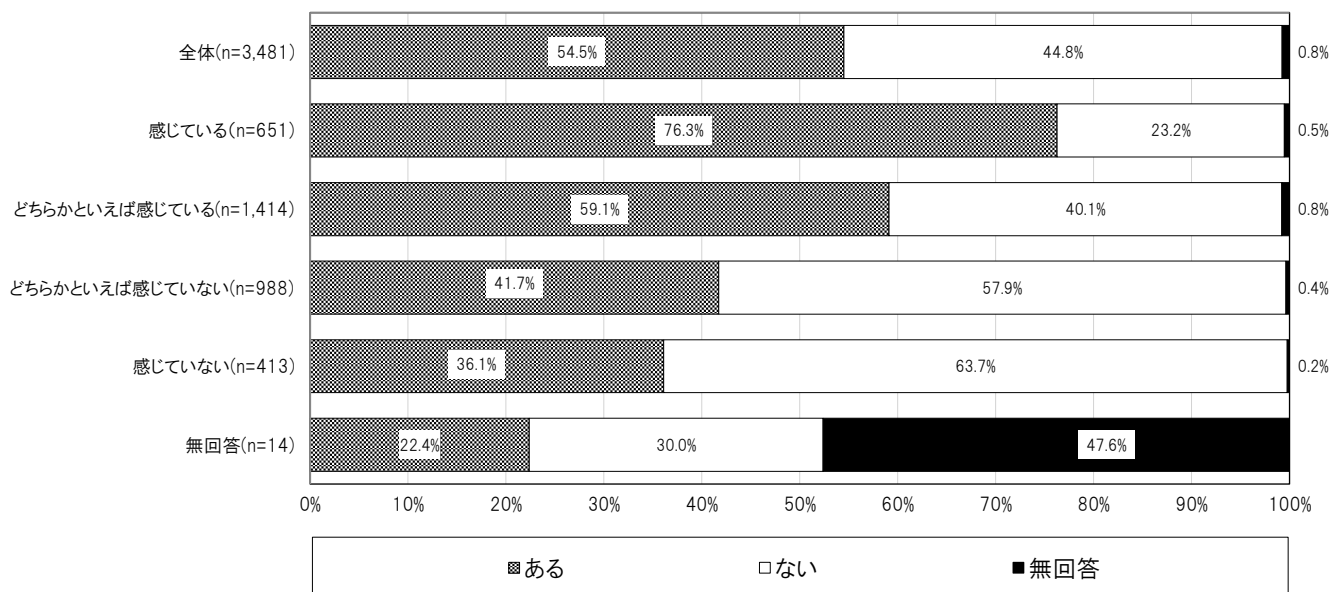
図表3-8-6 自分らしく過ごせる場所(生きがいの有無別)



④ 「自分らしく過ごせる場所の有無」×「人や地域とのつながりの有無」

人や地域とのつながりの有無別にみると、自分らしく過ごせる場所が「ある」と回答した市民の割合は、「つながりを感じている」と回答した市民で 76.3%と最も高くなっています。一方、「つながりを感じていない」と回答した市民では 36.1%と最も低くなっています。人や地域とのつながりを感じる人ほど、自分らしく過ごせる場所があると感じる傾向があります。

図表3-8-7 自分らしく過ごせる場所(人や地域とのつながりの有無別)



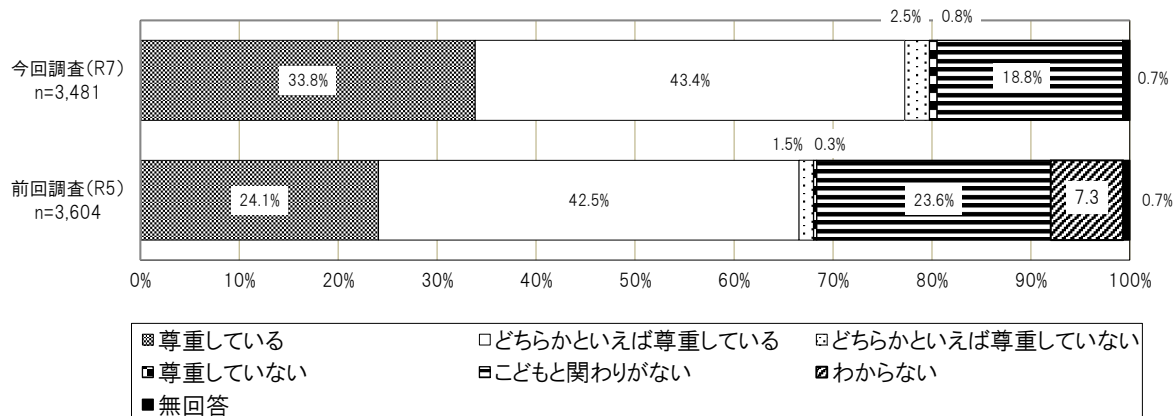
(5) こどもの意見の尊重

問 19 あなたは、自分と関わりのあるこどもの意見を尊重していますか。(1 つに○)

1) 全体集計結果

自分と関わりのあるこどもの意見を尊重していると回答した市民の割合(「尊重している」+「どちらかといえば尊重している」)は 77.2% となっており、前回調査と比較すると 10.6 ポイント増加しています。一方、尊重していない(「どちらかといえば尊重していない」+「尊重していない」)と回答した市民の割合は 3.3% で、前回調査から 1.5 ポイント増加しています。

図表3-9-1 こどもの意見の尊重(性別)(前回調査との比較) ※今回調査から「わからない」を削除

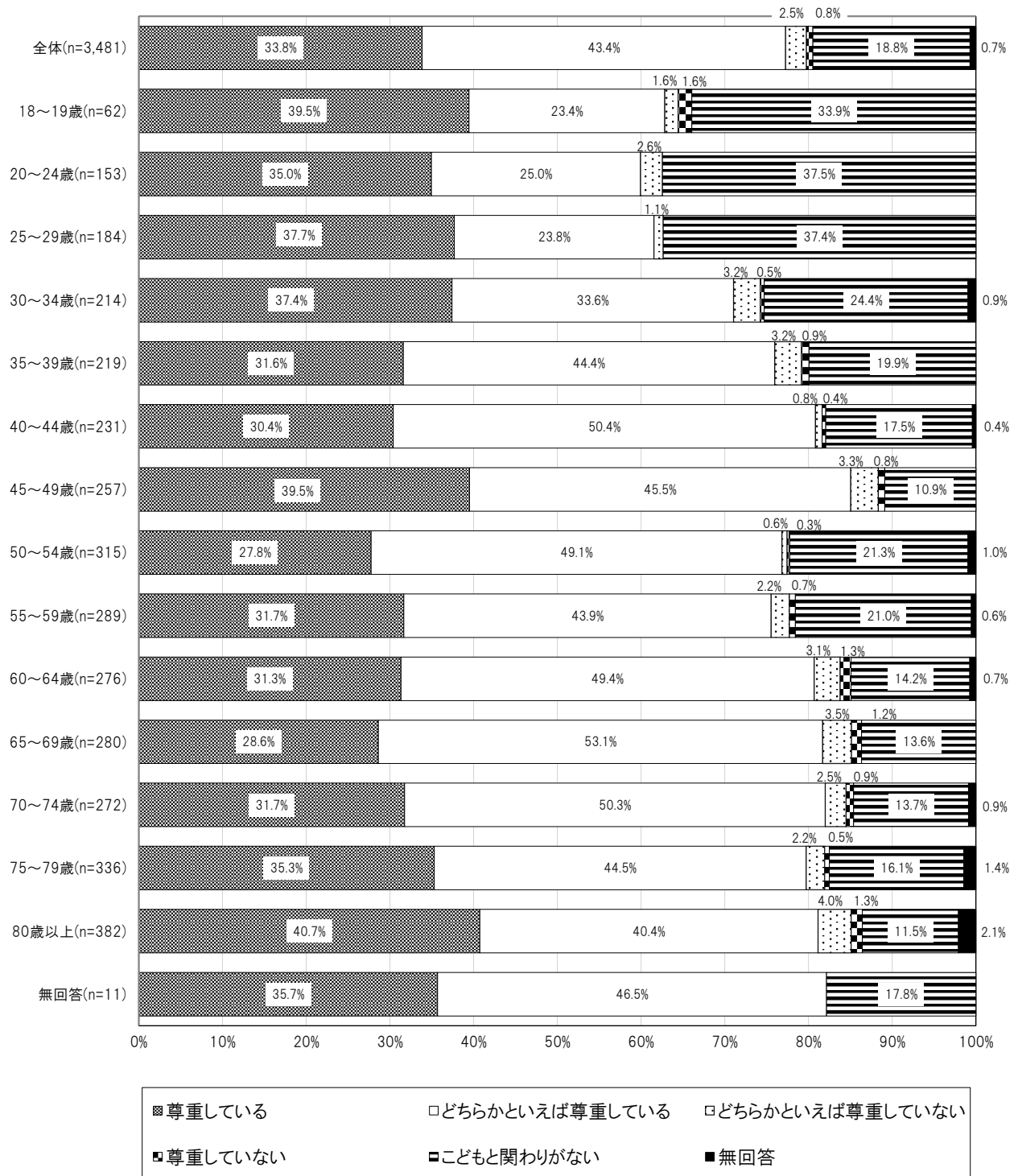


2) 属性分析結果

① 「こどもの意見の尊重」×「年齢」

年齢別にみると、自分と関わりのあるこどもの意見を尊重していると回答した市民の割合は、45～49 歳が 85.0% と最も高く、次いで 70～74 歳の 82.0%、65～69 歳が 81.7% となっています。一方、20～24 歳が 60.0% と最も低く、次いで 25～29 歳が 61.5%、18～19 歳が 62.9% となっています。

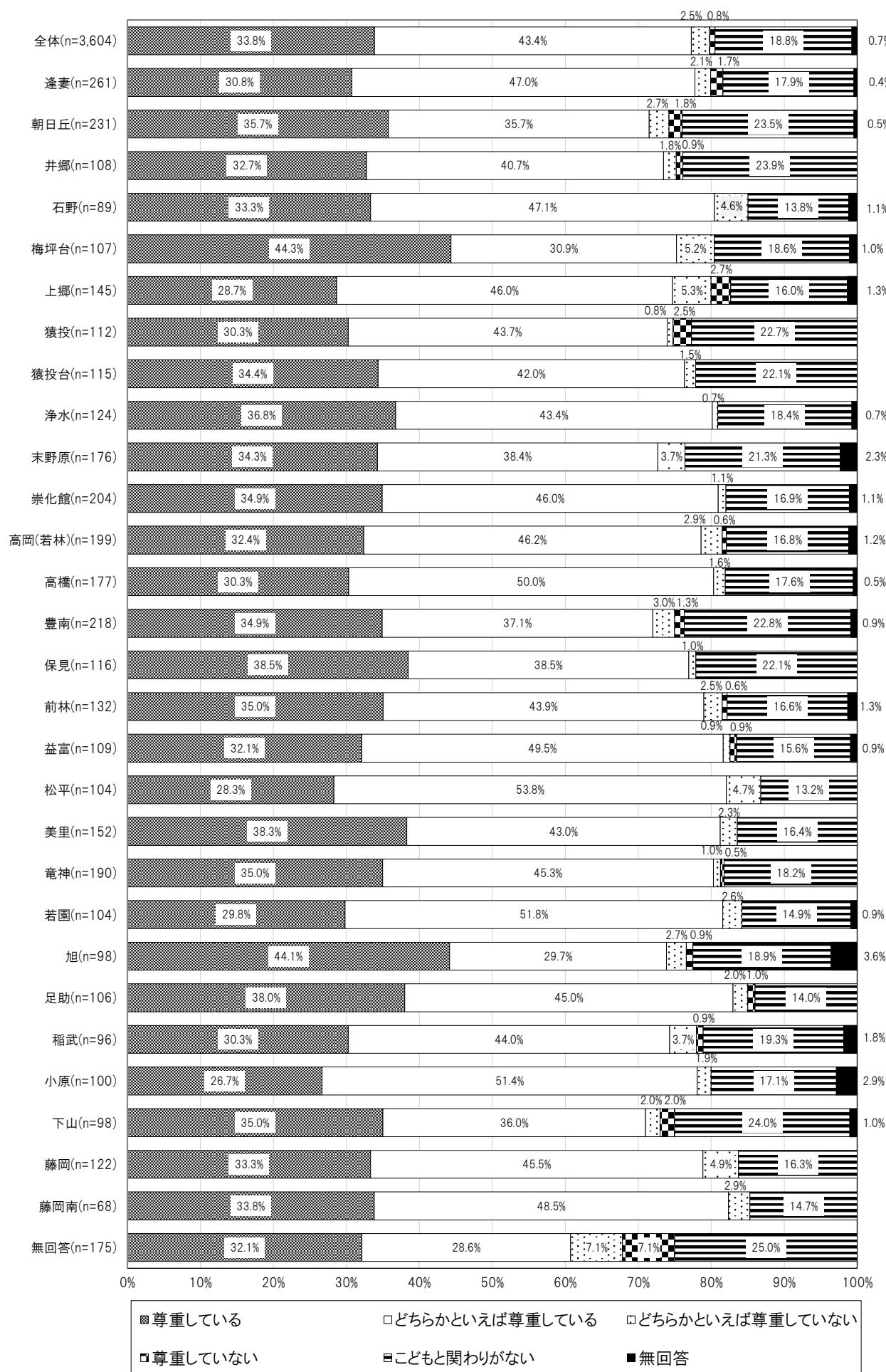
図表3-9-2 こどもの意見の尊重(年齢別)



② 「こどもの意見の尊重」×「居住地区」

居住地区別にみると、自分と関わりのあるこどもの意見を尊重していると回答した市民の割合は、足助が 83.0%と最も高く、次いで藤岡南の 82.3%、松平の 82.1%となっています。一方、下山が 71.0%と最も低いですが、すべての地区で 70%を超えています。

図表3-9-3 こどもの意見の尊重(居住地区別)



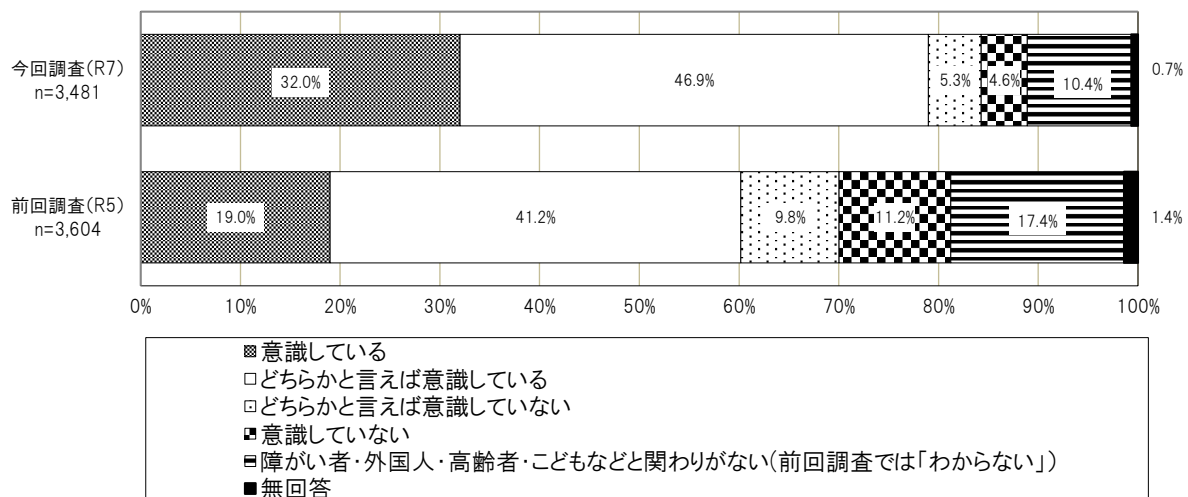
(6) 要配慮者との意思疎通に関する意識

問 20	あなたは、障がい者・外国人・高齢者・子どもなどへ情報発信や会話をする際に、分かりやすい表現や伝え方を意識していますか。(1 つに○)
------	--

1) 全体集計結果

日常生活や仕事・地域などで活動する中で、障がい者・外国人・高齢者・子どもなどへ情報発信や会話をする際に、分かりやすい表現や伝え方を意識しているかについて、意識している（「意識している」＋「どちらかと言えば意識している」）と回答した市民の割合は 78.9%で、前回調査と比較すると 18.7 ポイント増加しています。一方、意識していない（「どちらかと言えば意識していない」＋「意識していない」）と回答した市民の割合は 9.9%で、前回調査と比較すると 11.1 ポイント減少しています。

図表3-10-1 要配慮者との意思疎通に関する意識(前回調査との比較)

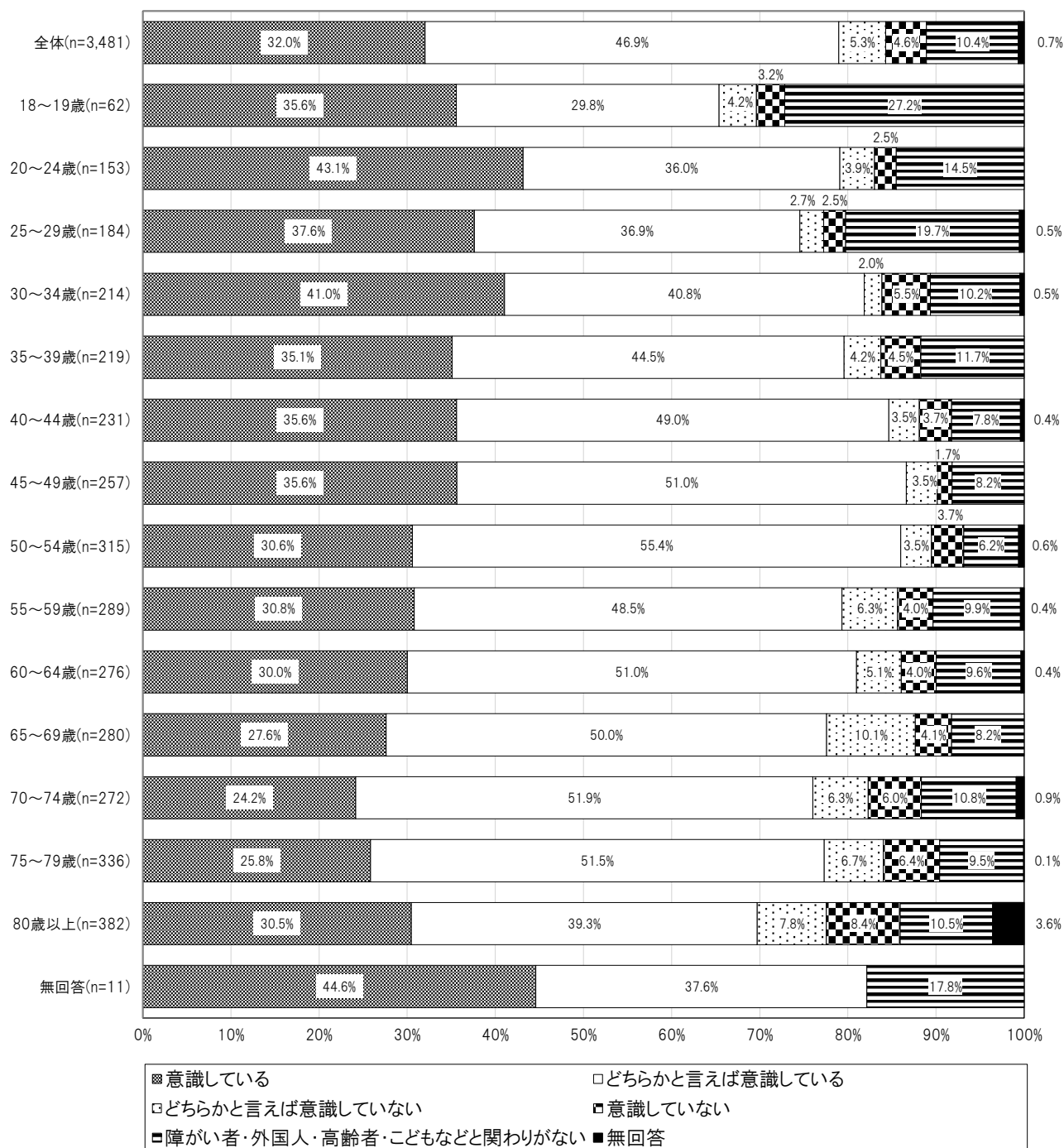


2) 属性分析結果

① 「要配慮者との意思疎通に関する意識」×「年齢」

年齢別にみると、意識していると回答した市民の割合は、45～49 歳が 86.6%と最も高く、次いで 50～54 歳が 86.0%、40～44 歳が 84.6%となっています。一方、意識していないと回答した市民の割合は、80 歳以上が 16.2%と最も高く、次いで 65～69 歳が 14.2%、75～79 歳が 13.1%となっています。

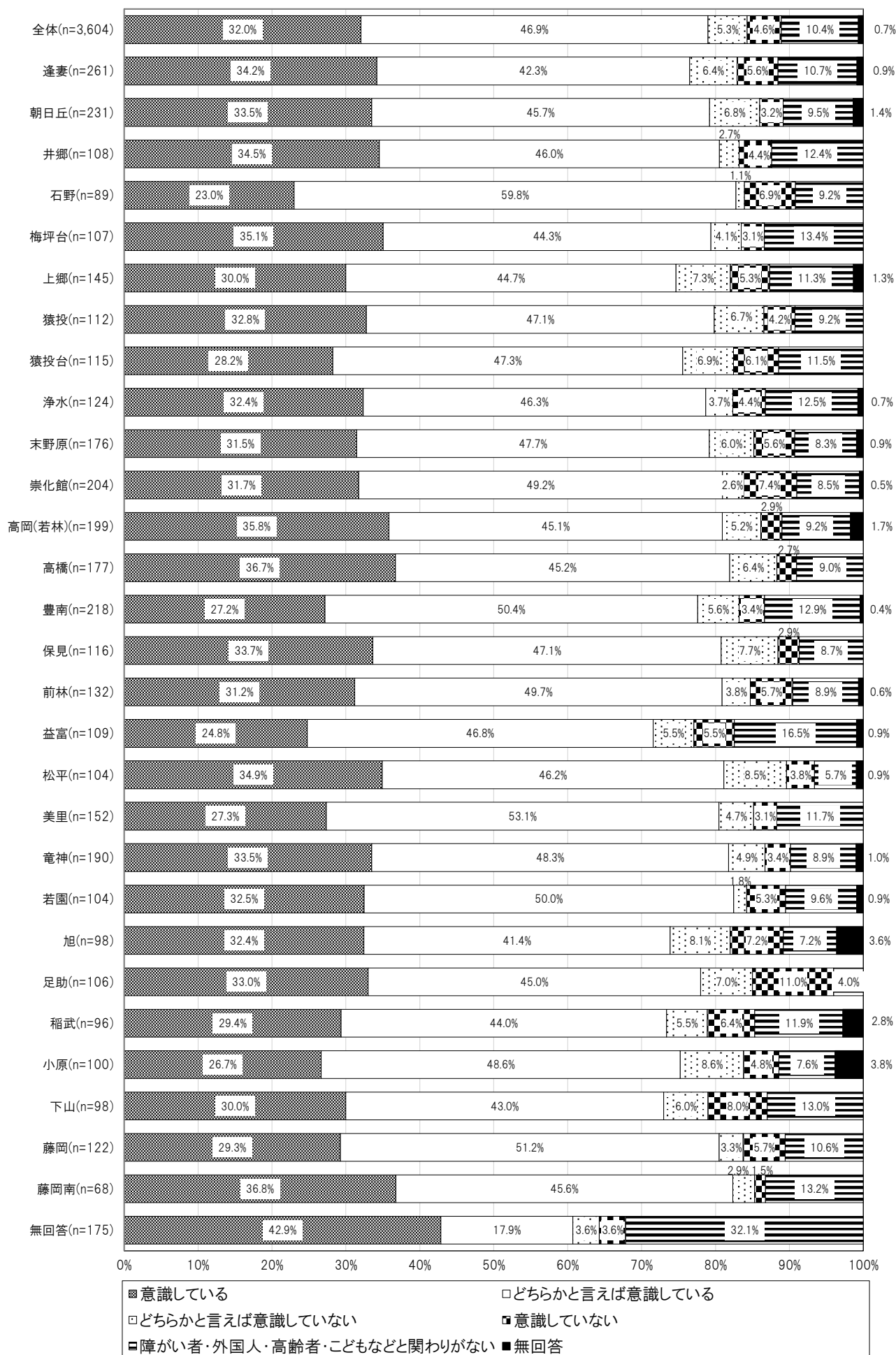
図表3-10-2 要配慮者との意思疎通に関する意識(年齢別)



② 「要配慮者との意思疎通に関する意識」×「居住地区」

居住地区別にみると、意識していると回答した市民の割合は、石野が 82.8%と最も高く、次いで若園が 82.5%、藤岡南が 82.4%となっています。一方、益富が 71.6%、下山が 73.0%、稲武が 73.4%と低くなっています。

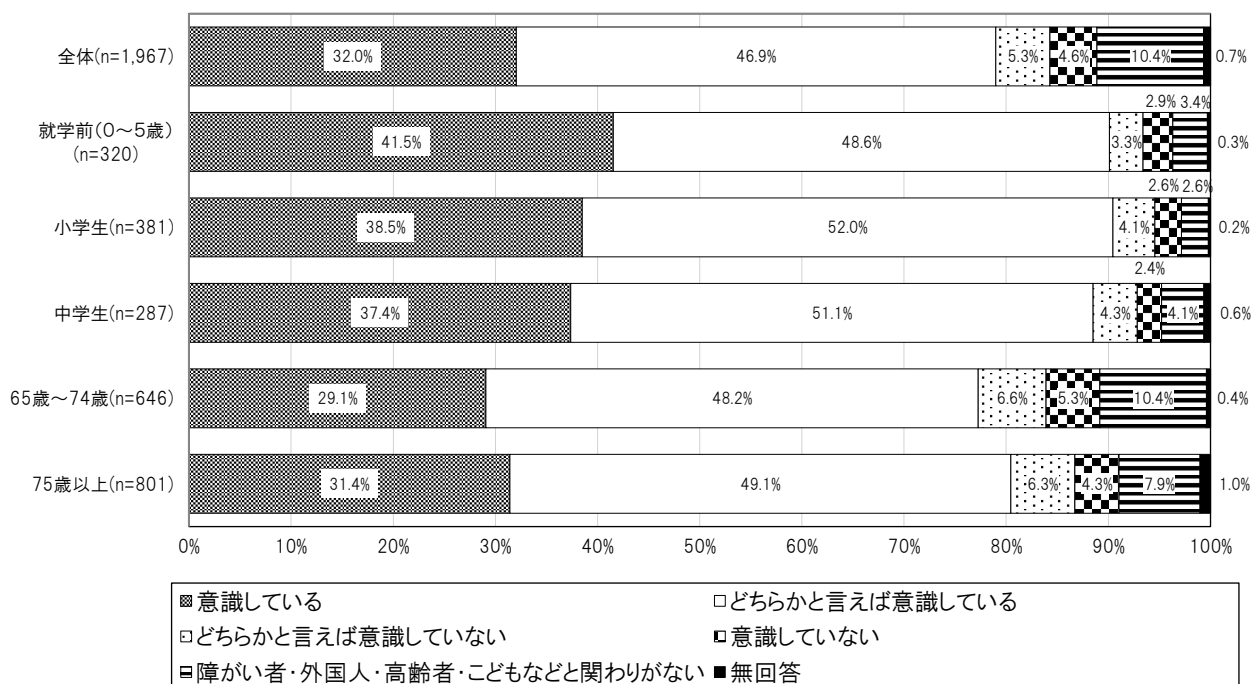
図表3-10-3 要配慮者との意思疎通に関する意識(居住地区別)



③ 「要配慮者との意思疎通に関する意識」×「同居の家族」

同居の家族別にみると、乳幼児、小中学生と同居している市民が、分かりやすい表現や伝え方を意識している傾向にあります。

図表3-10-4 要配慮者との意思疎通に関する意識(同居の家族別)



3 災害への備え

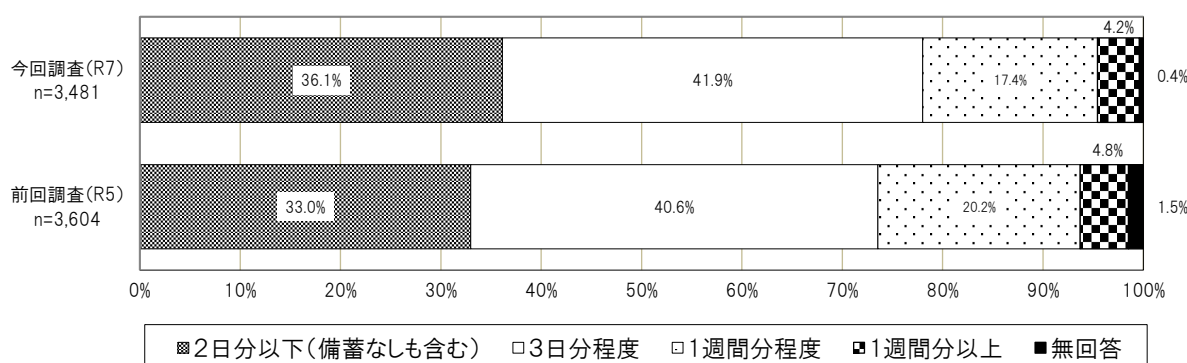
(1) 食料、飲料の備蓄

問 21	あなたは、どれくらい食料、飲料水（冷蔵庫や倉庫などに保管している食料、飲料水も含む。）を備蓄していますか。（1 つに○）
------	--

1) 全体集計結果

食料、飲料の備蓄状況は、「3 日分程度」が 41.9%と最も多く、前回調査と比較して 1.3 ポイント増加しています。また、「3 日分程度以上」の備蓄をしていると回答をした市民の割合は、63.5%であり、前回調査から 2.1 ポイント減少しています。

図表3-11-1 食料・飲料の備蓄（前回調査との比較）

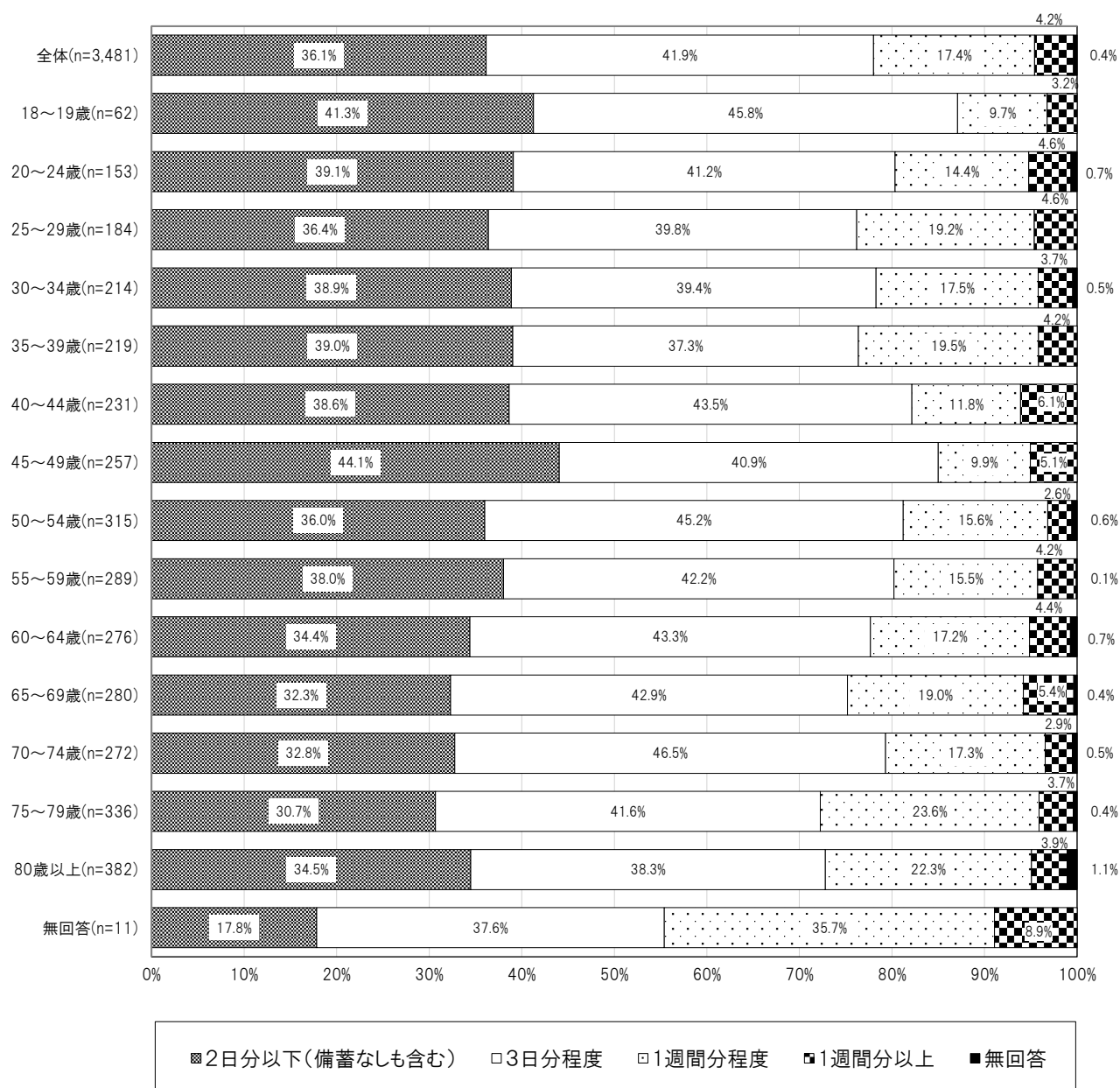


2) 属性分析結果

① 「食料・飲料の備蓄」×「年齢」

年齢別にみると、「3 日分程度以上」の備蓄をしていると回答した市民の割合は、75～79 歳が 68.9%と最も高く、次いで 65～69 歳が 67.3%、70～74 歳が 66.7%となっています。また、「2 日分以下（備蓄なしも含む）」と回答した市民の割合は、45～49 歳が 44.1%、18～19 歳が 41.3%と高くなっています。

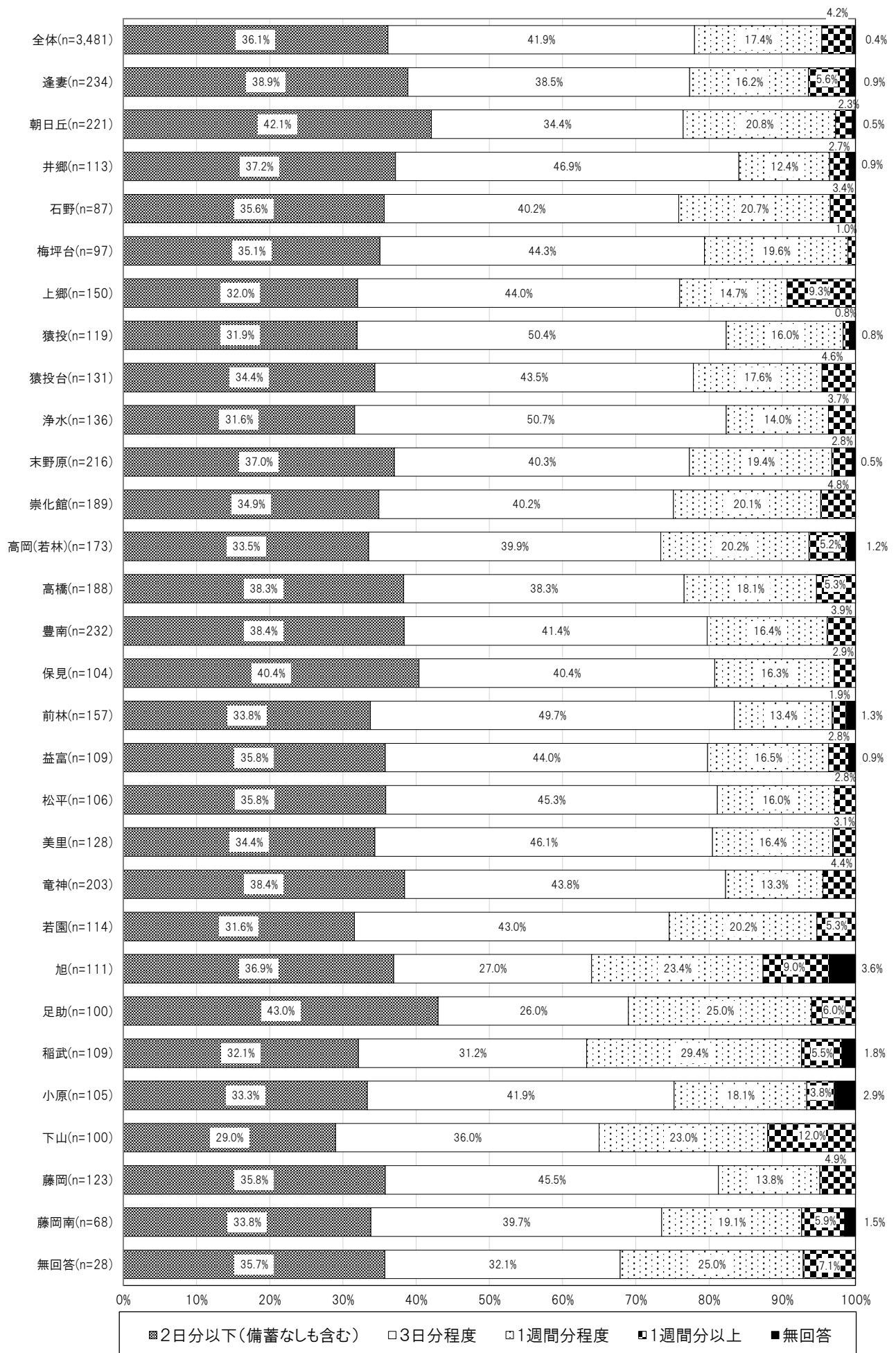
図表3-11-2 飲料、食料の備蓄(年齢別)



② 「食料・飲料の備蓄」×「居住地区」

居住地区別にみると、「3日分程度以上」の備蓄をしていると回答した市民の割合は、下山が71.0%と最も高く、次いで若園が68.5%、浄水が68.4%となっています。また、「2日分以下(備蓄なしも含む)」と回答した市民の割合は、足助が43.0%と最も高く、朝日丘が42.1%となっています。

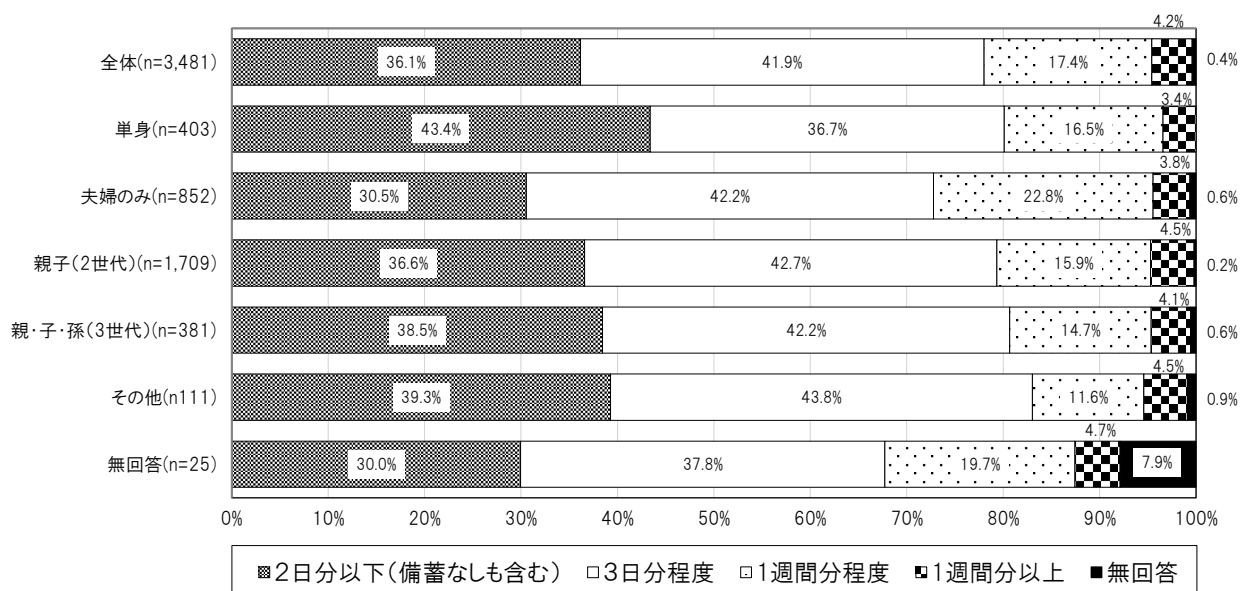
図表3-11-3 食料、飲料の備蓄(居住地区別)



③ 「食料・飲料の備蓄」×「家族構成」

家族構成別にみると、「3日分程度以上」の備蓄をしていると回答した市民の割合は、夫婦のみ世帯の68.8%が最も高く、次いで親子（2世代）世帯が63.1%となっています。「2日分以下（備蓄なしも含む）」と回答した市民の割合は、単身世帯が43.4%と最も高くなっています。

図表3-11-4 食料、飲料の備蓄(家族構成別)



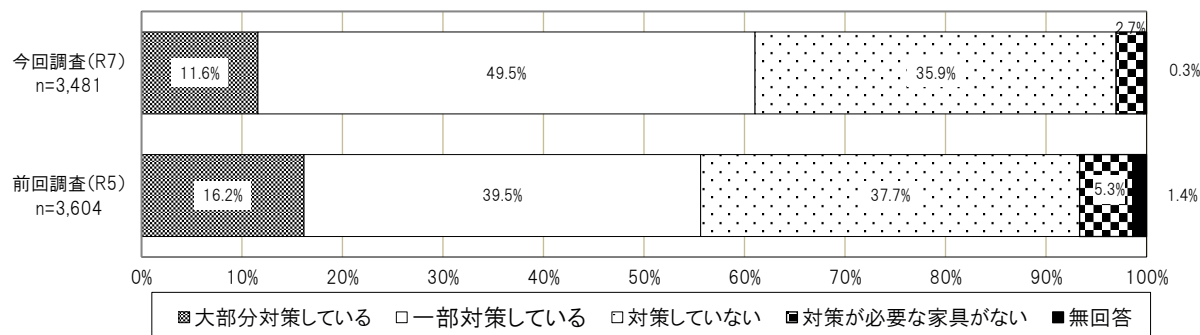
(2) 家具の転倒防止対策

問 22	あなたは、家具（例：タンス、棚、書庫、テレビ、冷蔵庫、ピアノなど）の転倒防止対策を行っていますか。（1 つに○）
-------------	--

1) 全体集計結果

家具の転倒防止対策をしている（「大部分対策している」＋「一部対策している」）と回答した市民の割合は、61.1%となっており、前回調査と比較して 5.4 ポイント増加しています。

図表3-12-1 家具の転倒防止対策(前回調査との比較)

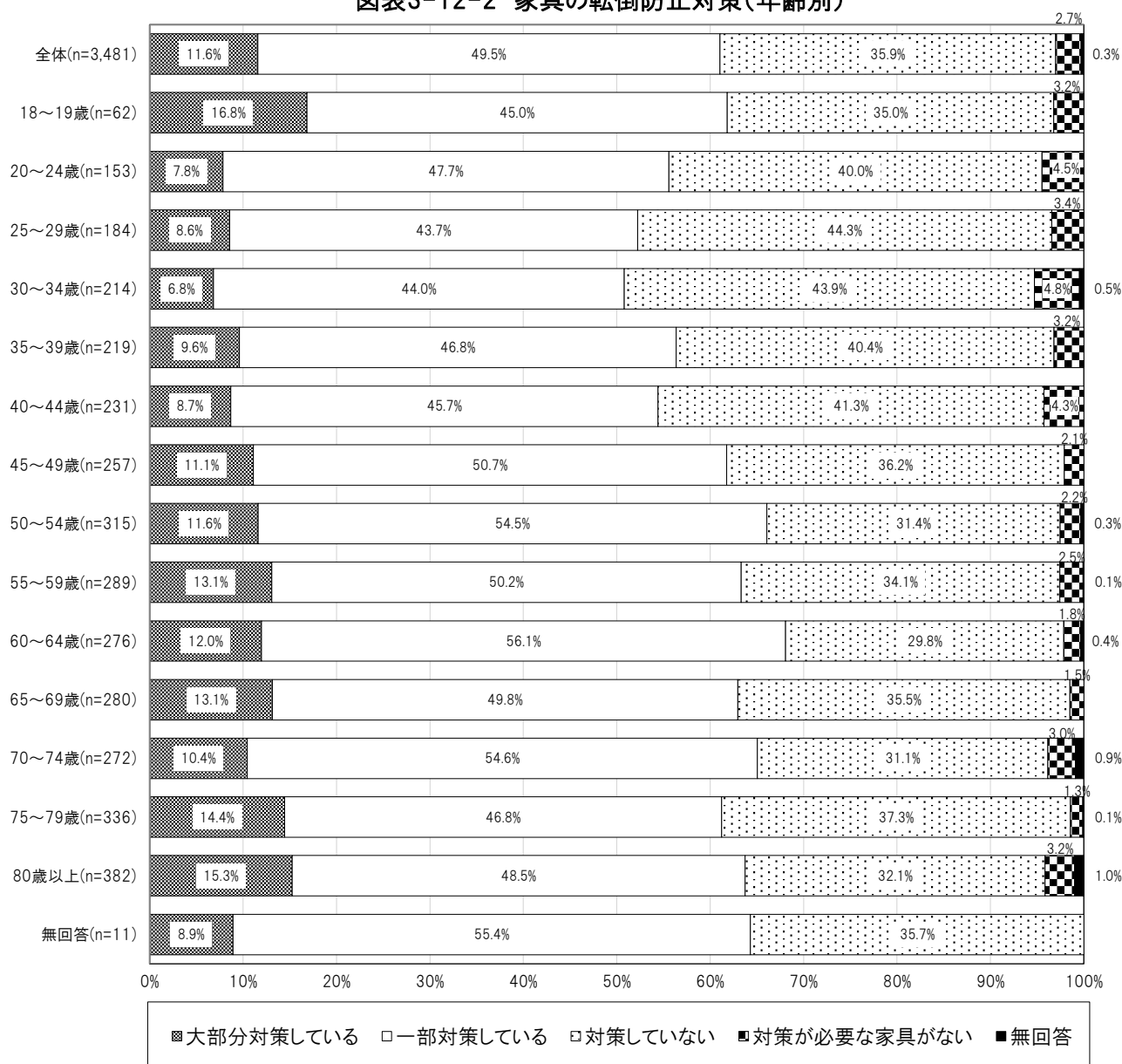


2) 属性分析結果

① 「家具の転倒防止対策」×「年齢」

年齢別にみると、家具の転倒防止対策をしていると回答した市民の割合は、60～64 歳が 68.1%と最も高く、次いで 50～54 歳が 66.1%となっています。一方、30～34 歳が 50.8%、25～29 歳が 52.3%と低くなっています。

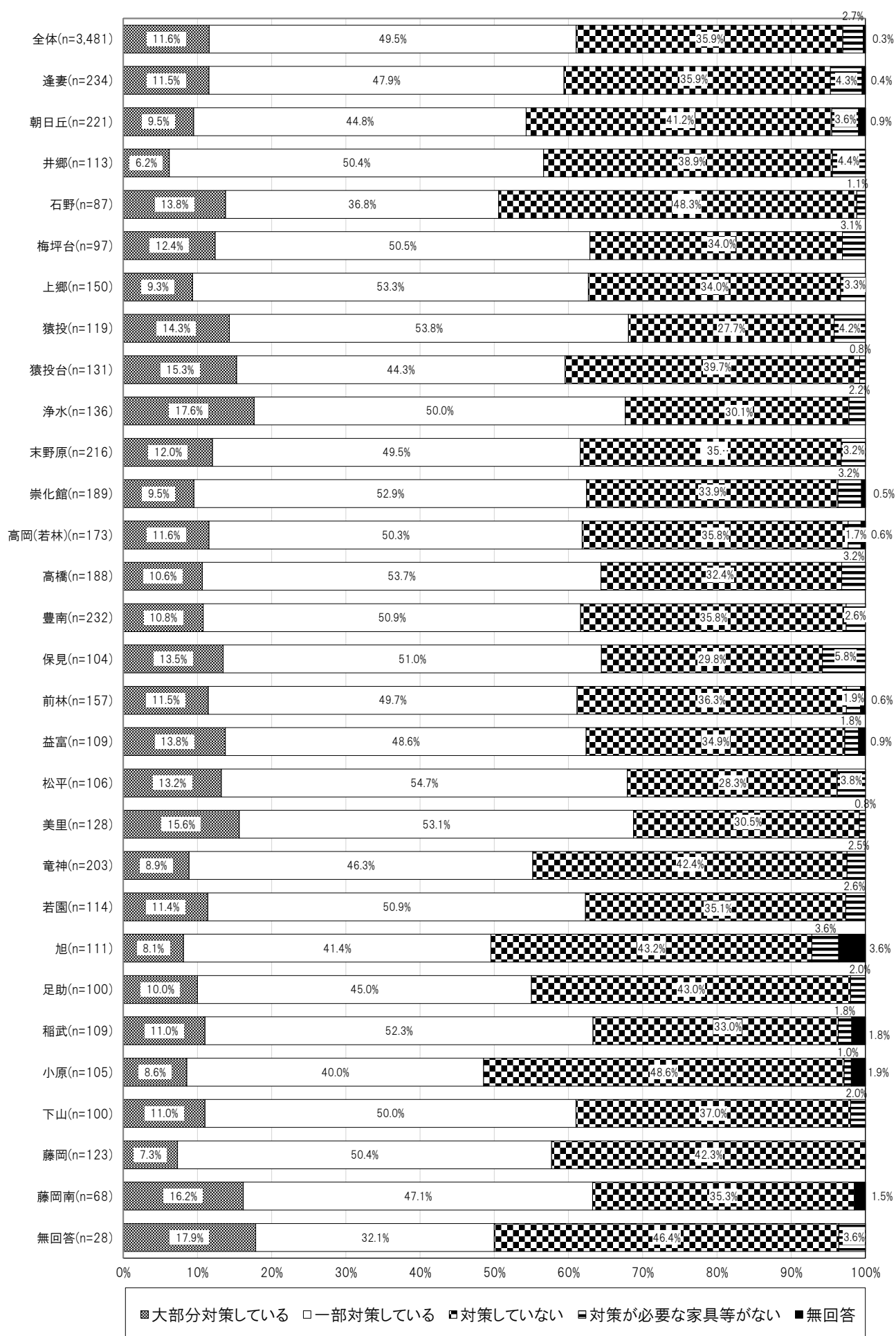
図表3-12-2 家具の転倒防止対策(年齢別)



② 「家具の転倒防止対策」×「居住地区」

居住地区別にみると、家具の転倒防止対策をしていると回答した市民の割合は、美里が68.7%と最も高く、次いで猿投が68.1%、松平が67.9%となっています。一方、小原が48.6%、旭が49.5%、石野が50.6%と低くなっています。

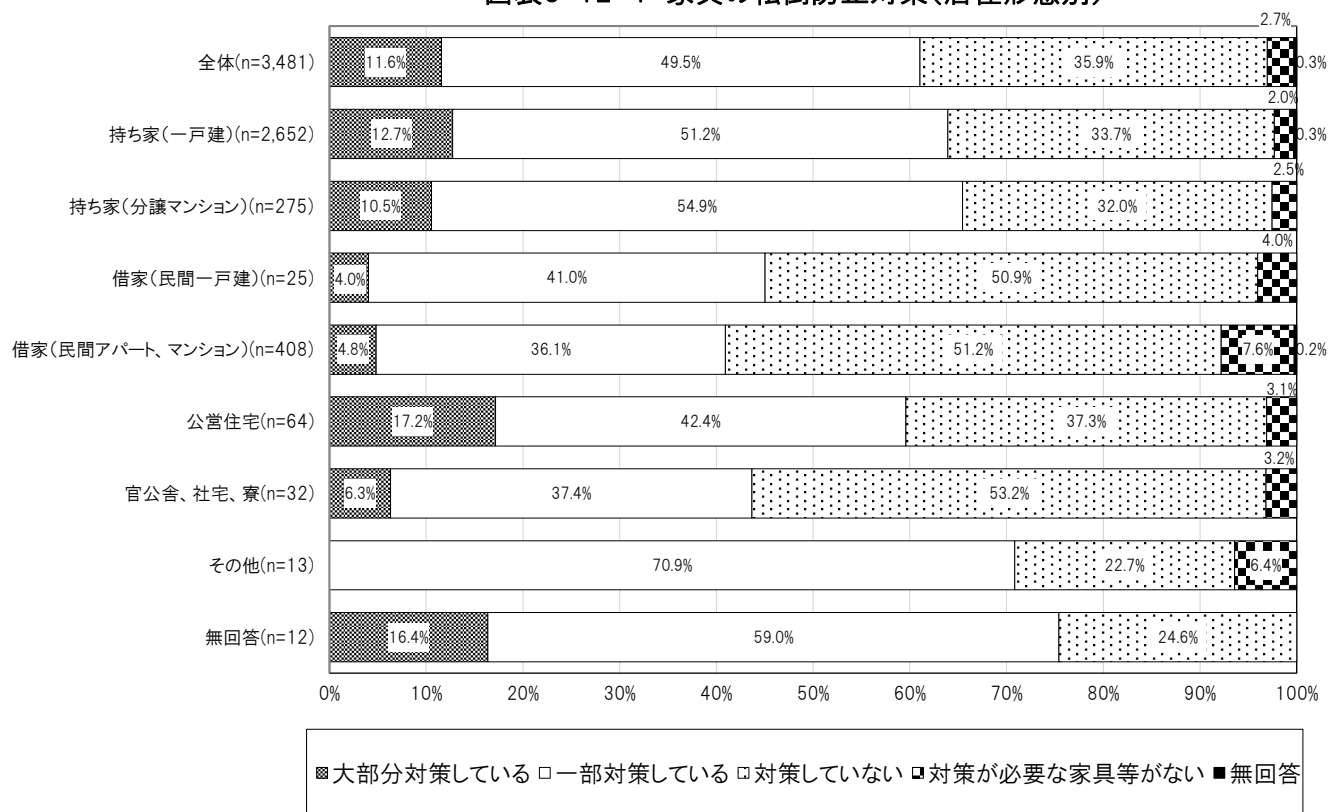
図表3-12-3 家具の転倒防止対策(居住地区別)



③ 「家具の転倒防止対策」×「居住形態」

居住形態別にみると、家具の転倒防止対策をしていると回答した市民の割合は、その他を除き、持ち家（分譲マンション）が65.4%、持ち家（一戸建）が63.9%と持ち家で高い傾向にあります。

図表3-12-4 家具の転倒防止対策（居住形態別）



(3) 危険箇所の認識

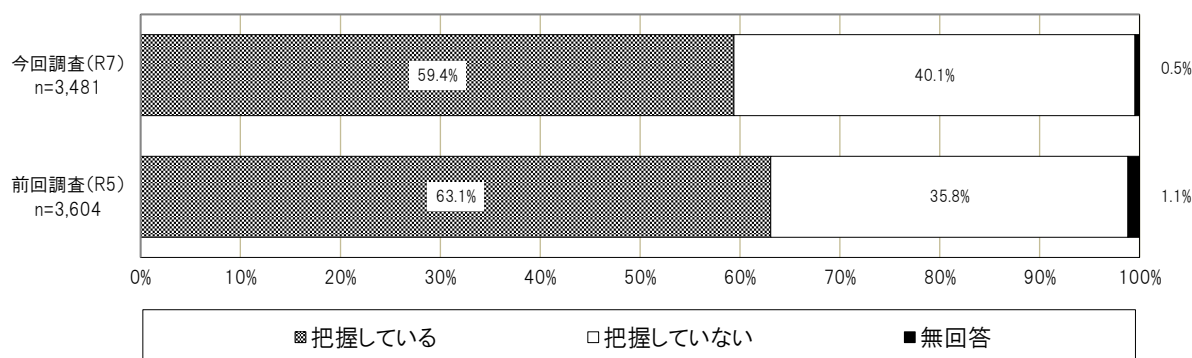
問 23

あなたは、自宅周辺の災害リスク（浸水、土砂災害など）や危険箇所について、ハザードマップ等により把握していますか。（1 つに○）

1) 全体集計結果

自宅周辺の災害リスク（浸水、土砂災害など）や危険箇所について「把握している」と回答した市民の割合は、59.4%となっており、前回調査と比較して 3.7 ポイント減少しています。

図表3-13-1 危険箇所の認識(前回調査との比較)

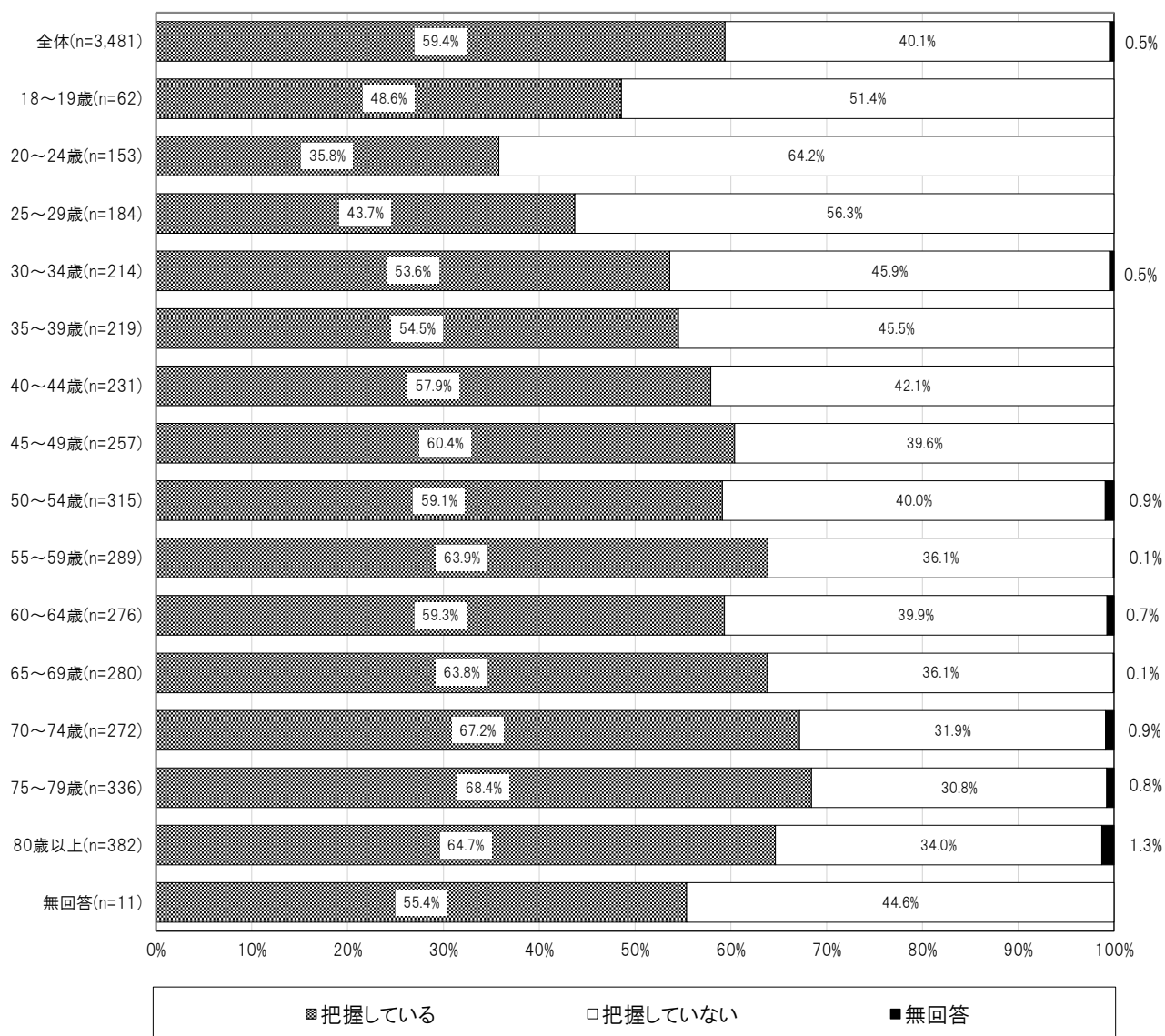


2) 属性分析結果

① 「危険箇所の認識」×「年齢」

年齢別にみると、周囲の危険箇所を「把握している」と回答した市民の割合は、75～79 歳が 68.4%と最も高く、次いで 70～74 歳が 67.2%となっています。一方、20～24 歳が 35.8%、25～29 歳が 43.7%と低くなっています。

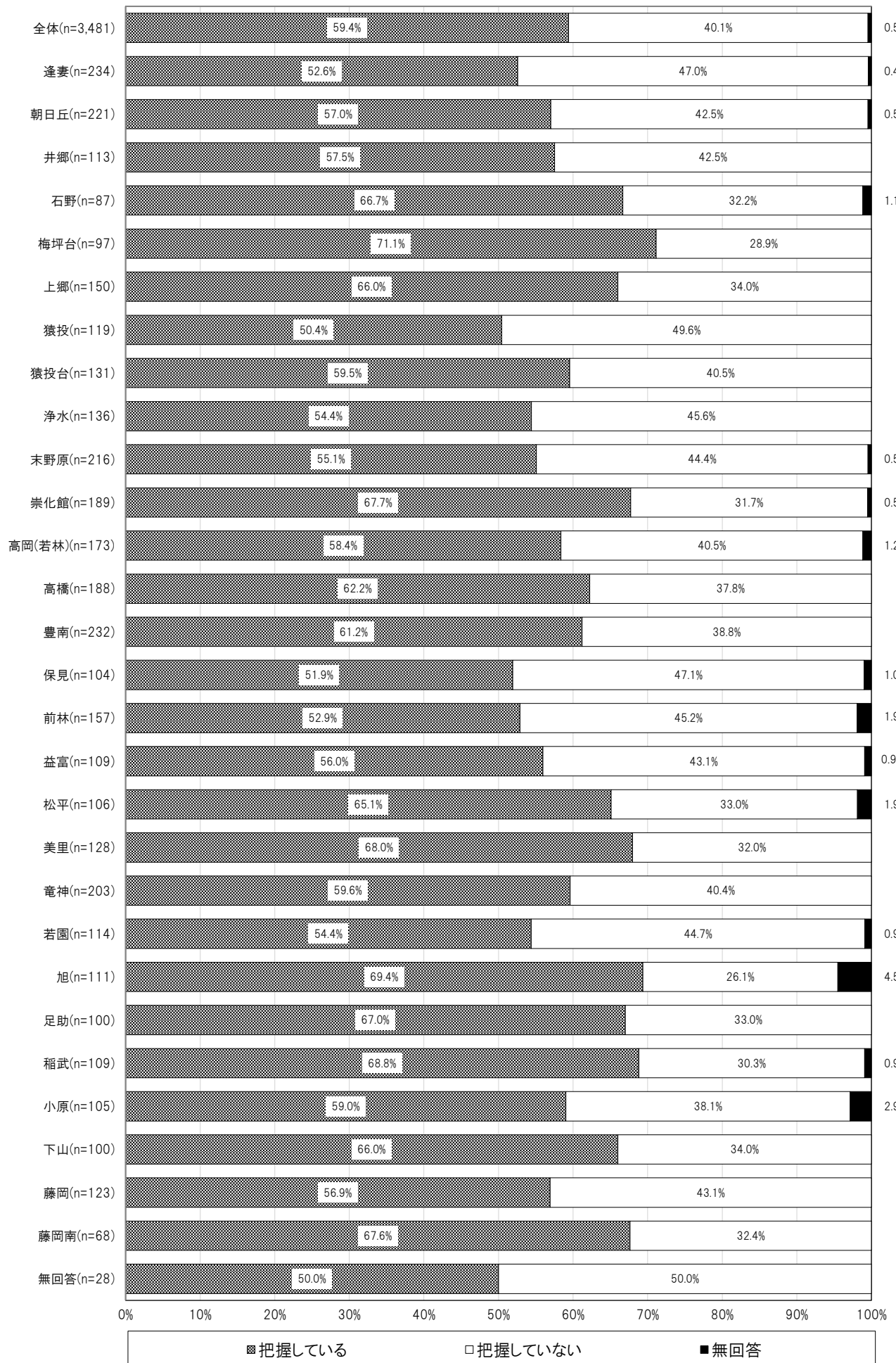
図表3-13-2 危険箇所の認識(年齢別)



② 「危険箇所の認識」×「居住地区」

居住地区別にみると、周囲の危険箇所を「把握している」と回答した市民の割合は、梅坪台が71.1%と最も高く、次いで旭が69.4%となっています。一方、猿投が50.4%、保見が51.9%と低くなっています。

図表3-13-3 危険箇所の認識(居住地区別)



(4) 避難情報の違いの認識

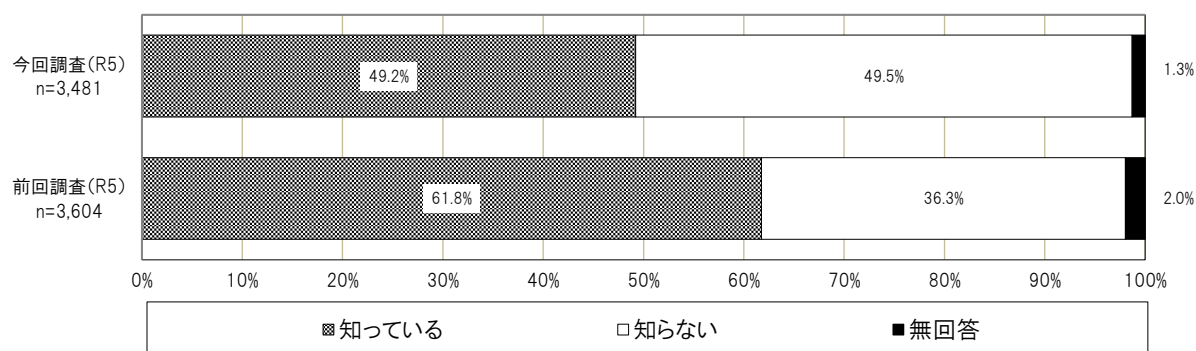
問 24	あなたは、災害発生のおれがあるときに市が発表する「警戒レベル」や「避難情報（避難指示、高齢者等避難など）」について緊急度の違いやとるべき行動を知っていますか。（1 つに○）
------	--

※豊田市では、浸水害や土砂災害の危険度に応じた市民のとるべき避難行動等について、警戒レベル3～5を付した避難情報を発令し、緊急メールとよたなどの情報伝達手段により避難のタイミングをお伝えしています。

1) 全体集計結果

災害発生のおれがあるときに市が発表する「警戒レベル」や「避難情報（避難指示、高齢者等避難など）」の違いについて、「知っている」と回答した市民の割合は49.2%で、前回調査と比較して12.6ポイント減少しています。

図表3-14-1 避難情報の違いの認識(前回調査との比較)

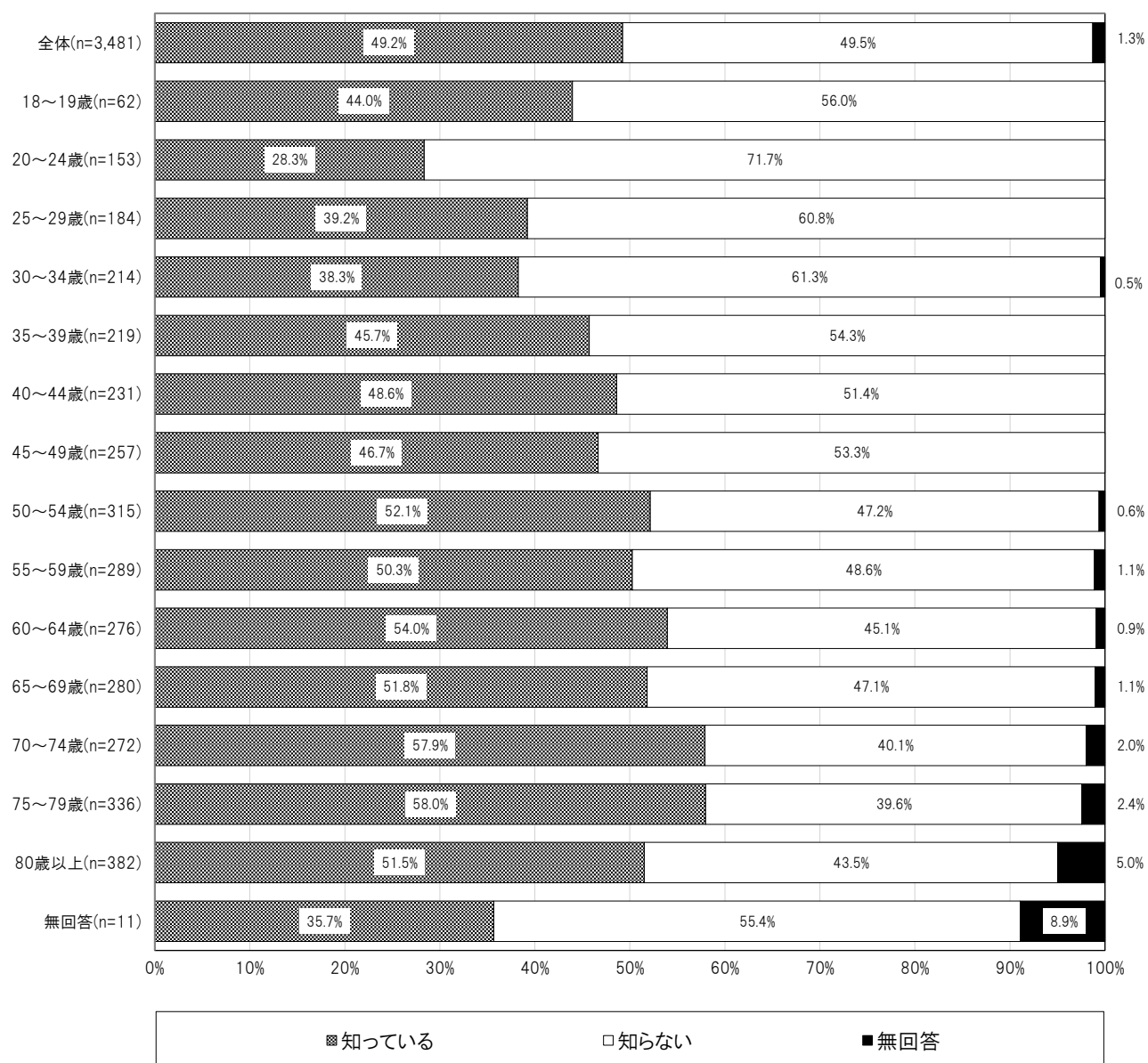


2) 属性分析結果

① 「避難情報の違いの認識」×「年齢」

年齢別にみると、「警戒レベル」や「避難情報（避難指示、高齢者等避難など）」の違いについて、「知っている」と回答した市民の割合は、75～79歳が58.0%と最も高く、次いで70～74歳が57.9%、60～64歳が54.0%となっています。一方、20～24歳は28.3%と低くなっています。

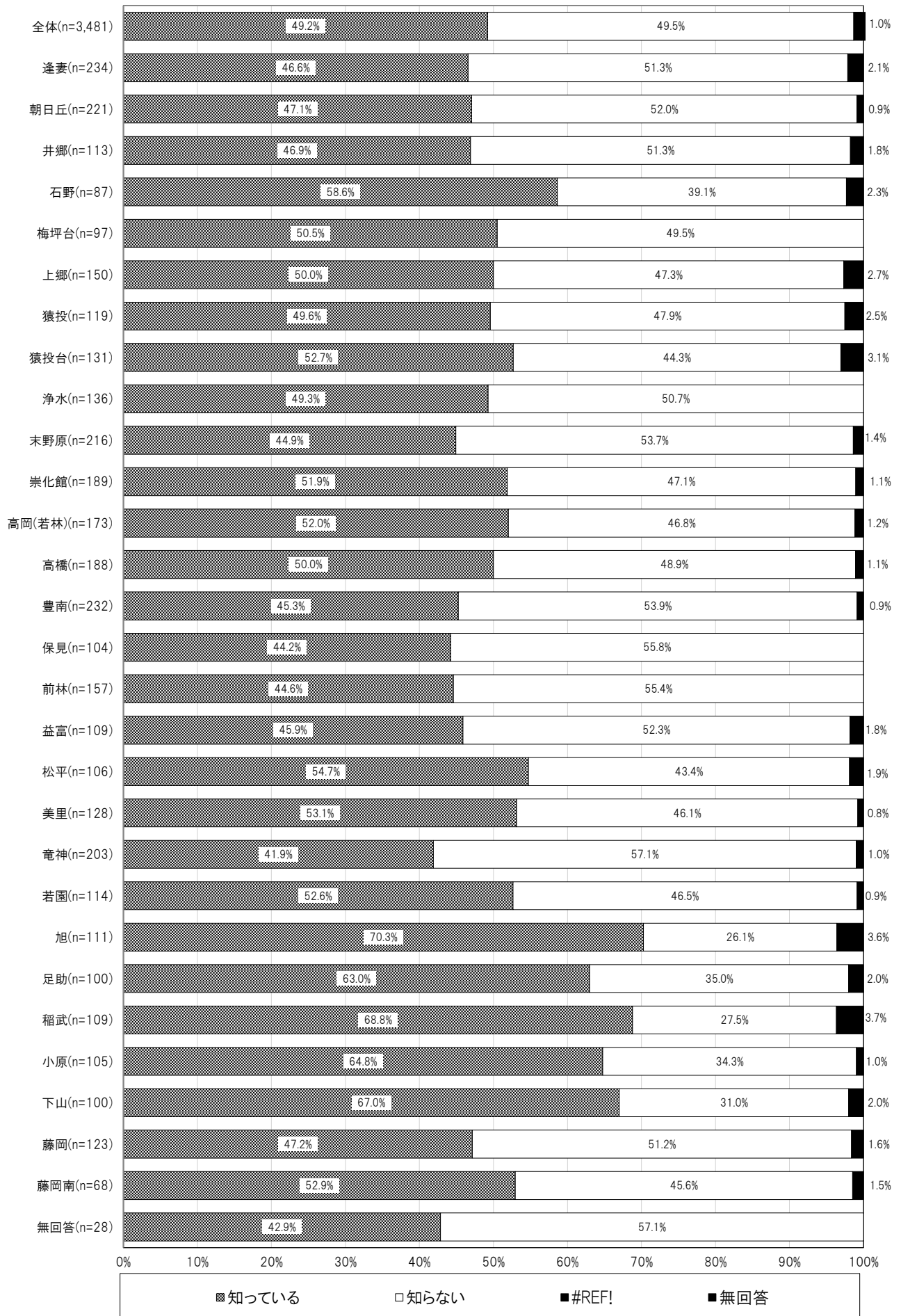
図表3-14-2 避難情報の違いの認識(年齢別)



② 「避難情報の違いの認識」×「居住地区」

居住地区別にみると、「警戒レベル」や「避難情報（避難指示、高齢者等避難など）」の違いについて、「知っている」と回答した市民の割合は、旭が 70.3%と最も高く、次いで稲武が 68.8%となっています。一方、竜神が 41.9%、保見が 44.2%と低くなっています。

図表3-14-3 避難情報の違いの認識(居住地区別)



(5) 防災訓練の参加状況

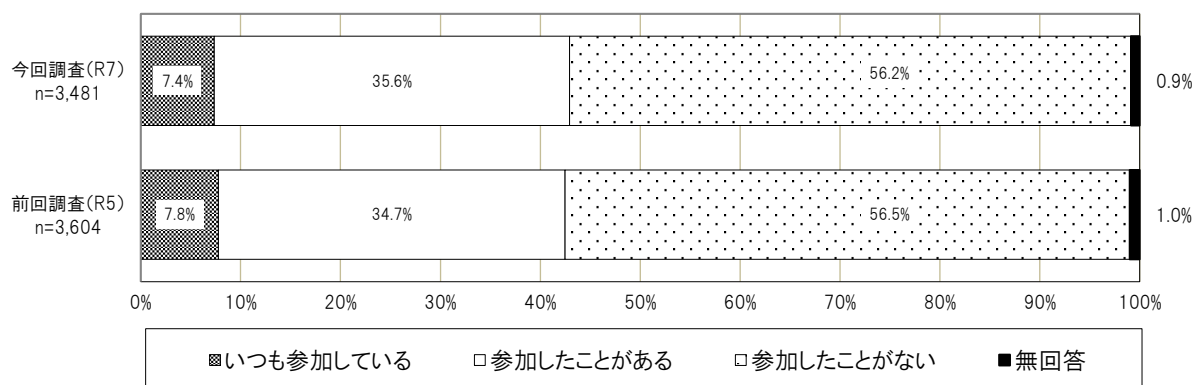
問 25

あなたは、地域で実施している防災訓練に参加していますか。(1 つに○)

1) 全体集計結果

地域で実施している防災訓練に参加経験がある(「いつも参加している」+「参加したことがある」)と回答した市民の割合は、43.0%で、前回調査と比較して 0.5 ポイント増加しています。

図表3-15-1 防災訓練の参加状況(前回調査との比較)

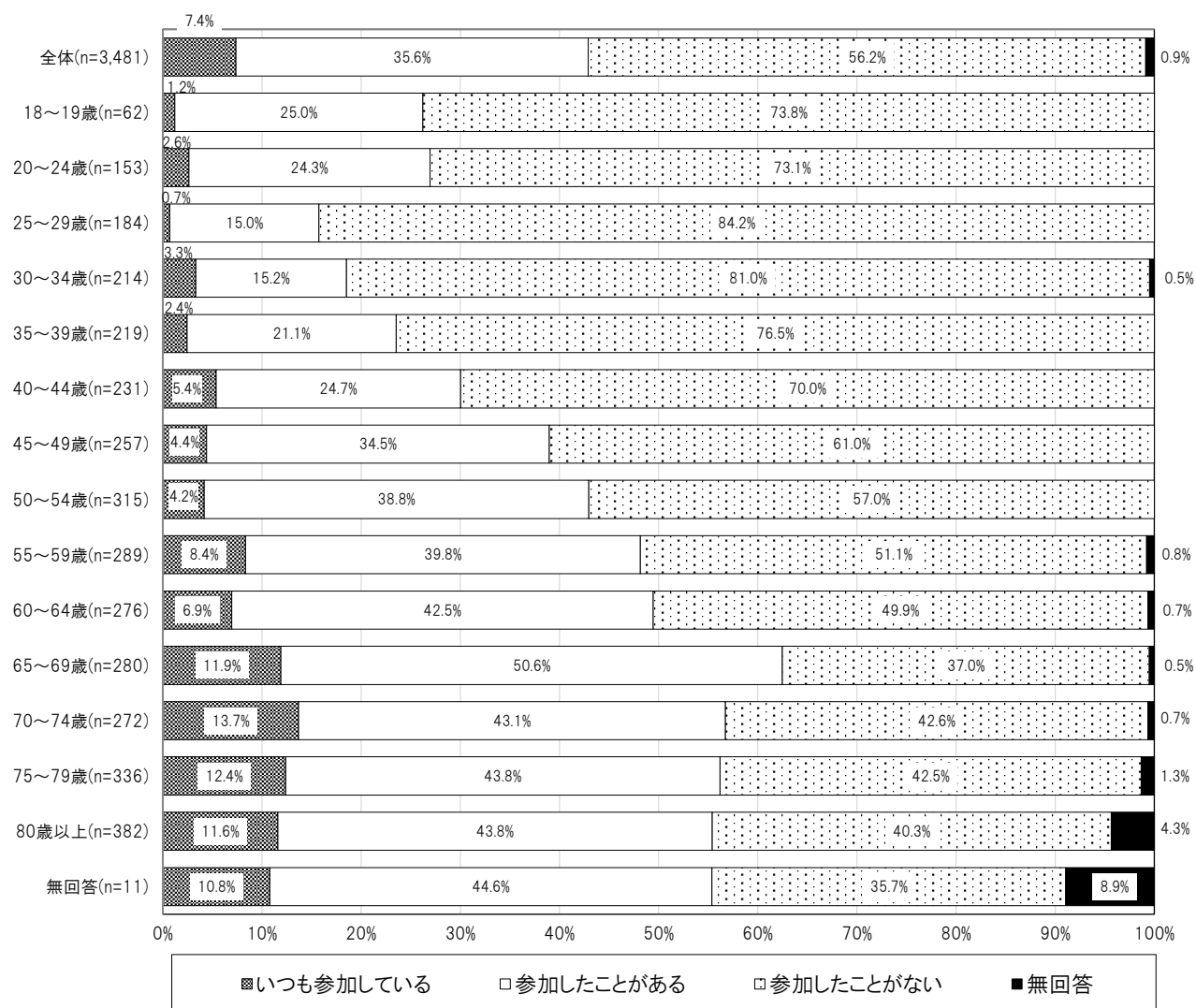


2) 属性分析結果

① 「防災訓練の参加状況」×「年齢」

年齢別にみると、地域で実施している防災訓練に参加経験がある市民の割合は、65～69 歳が 62.5%と最も高く、次いで 70～74 歳が 56.8%となっています。一方、25～29 歳が 15.7%、30～34 歳が 18.5%と低くなっています。地域で実施している防災訓練に参加経験がある市民の割合は、概ね年齢が高くなるのに比例して増加する傾向にあります。

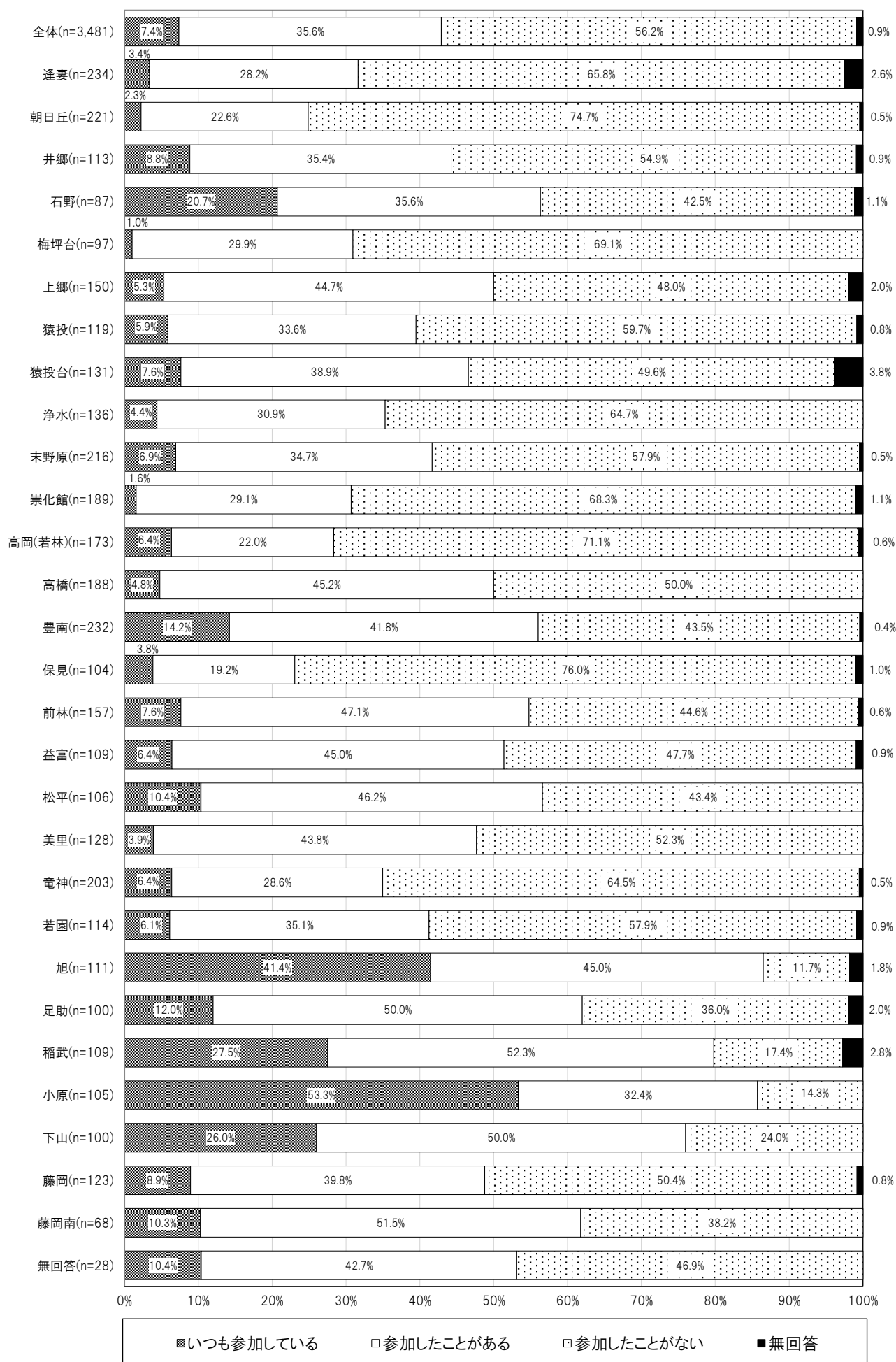
図表3-15-2 防災訓練の参加状況(年齢別)



② 「防災訓練の参加状況」×「居住地区」

居住地区別にみると、地域で実施している防災訓練に参加経験がある市民の割合は、旭が86.4%と最も高く、次いで小原が85.7%となっています。一方、保見が23.0%、朝日丘が24.9%と低くなっています。

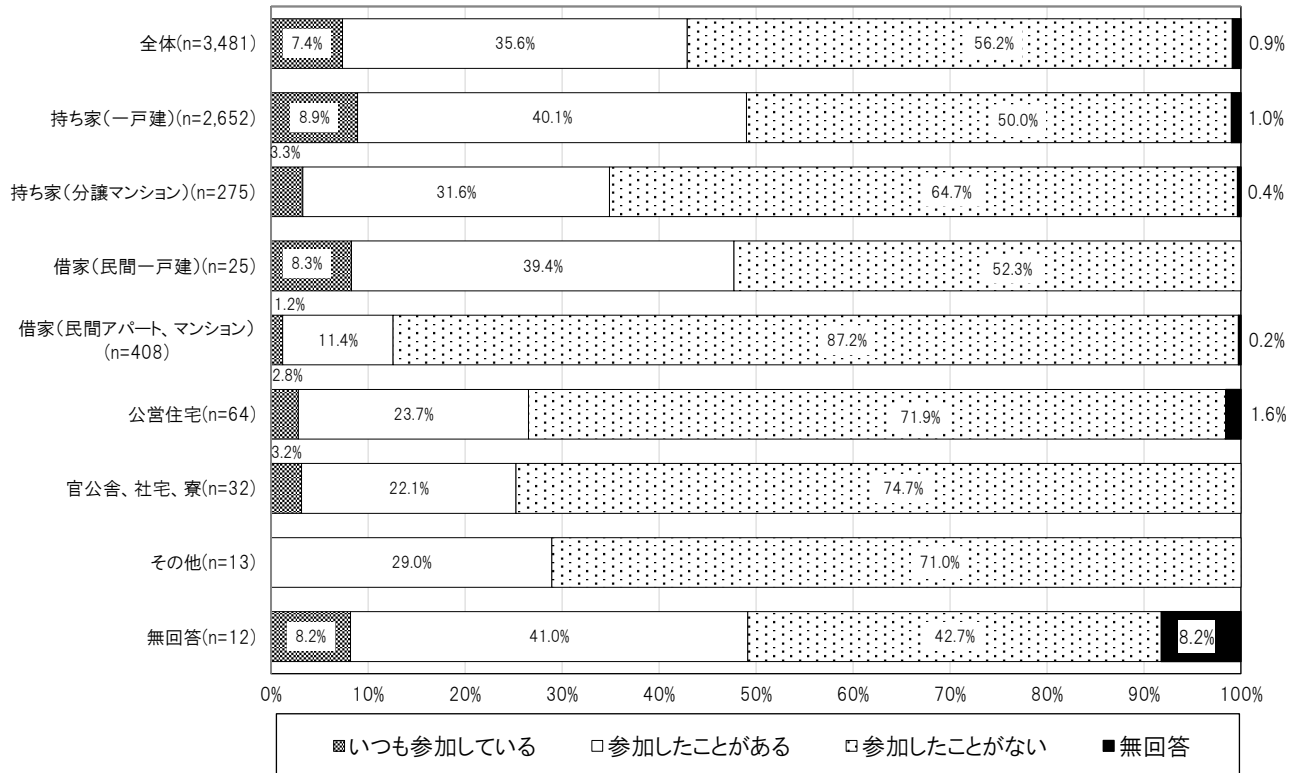
図表3-15-3 防災訓練の参加状況(居住地区別)



③ 「防災訓練の参加状況」×「居住形態」

居住形態別にみると、地域で実施している防災訓練に参加経験がある市民の割合は、持ち家（一戸建）が49.0%と最も高く、借家（民間一戸建）が47.7%となっています。一方、借家（民間アパート、マンション）は12.6%と最も低くなっています。

図表3-15-4 防災訓練の参加状況（居住形態別）



4 自身の活動等

(1) 自治区・地域活動への参加状況

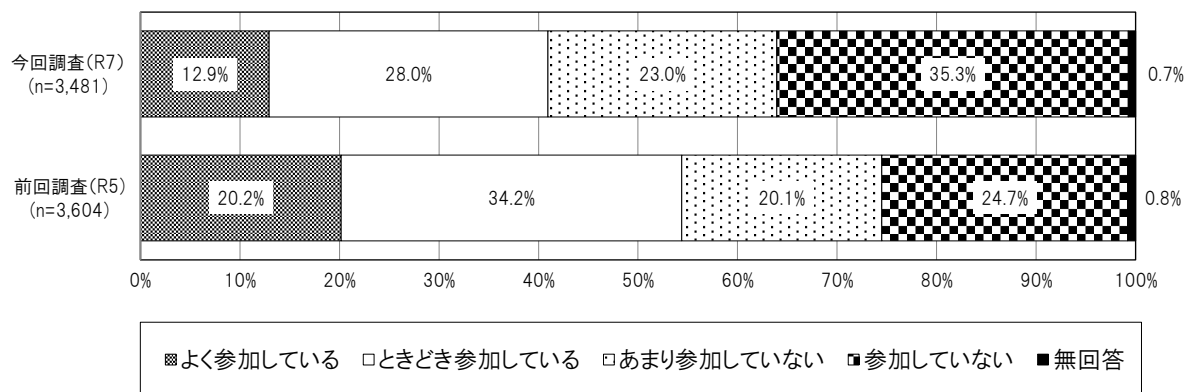
問 26 あなたは、地域の活動に参加していますか。(1 つに○)

※「地域の活動」とは、地区コミュニティ会議、自治区、子ども会など地域の団体が主体となって行われる活動のこと

1) 全体集計結果

地域の活動に参加している（「よく参加している」＋「ときどき参加している」）と回答した市民の割合は、40.9%となっており、前回調査と比較して 13.5 ポイント減少しています。

図表3-16-1 自治区・地域活動への参加状況(前回調査との比較)

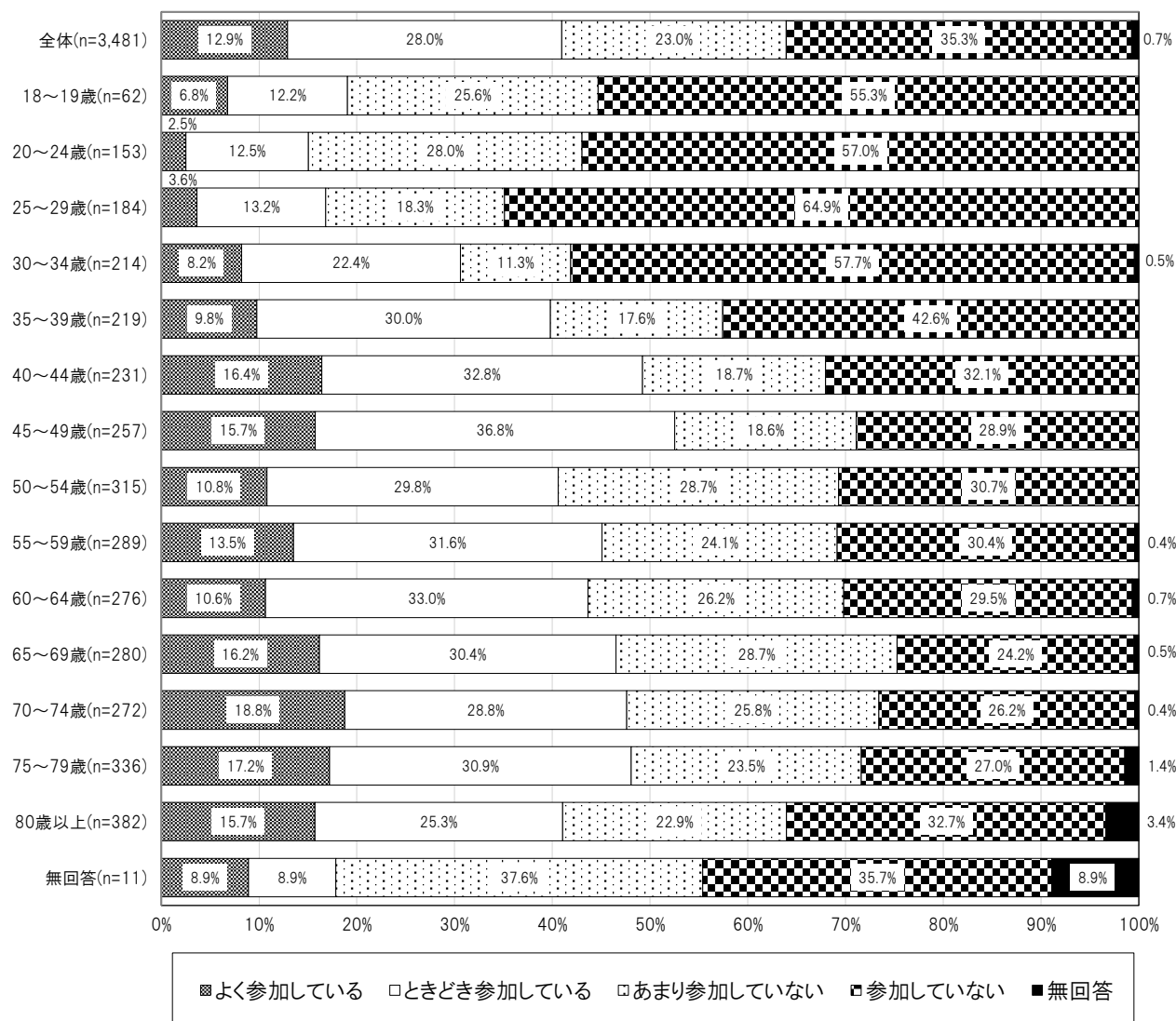


2) 属性分析結果

① 「自治区・地域活動への参加状況」×「年齢」

年齢別にみると、地域の活動に参加していると回答した市民の割合は、45～49 歳が 52.5%と最も高く、次いで 40～44 歳が 49.2%、75～79 歳が 48.1%となっています。一方、20～24 歳が 15.0%、25～29 歳が 16.8%と低くなっています。

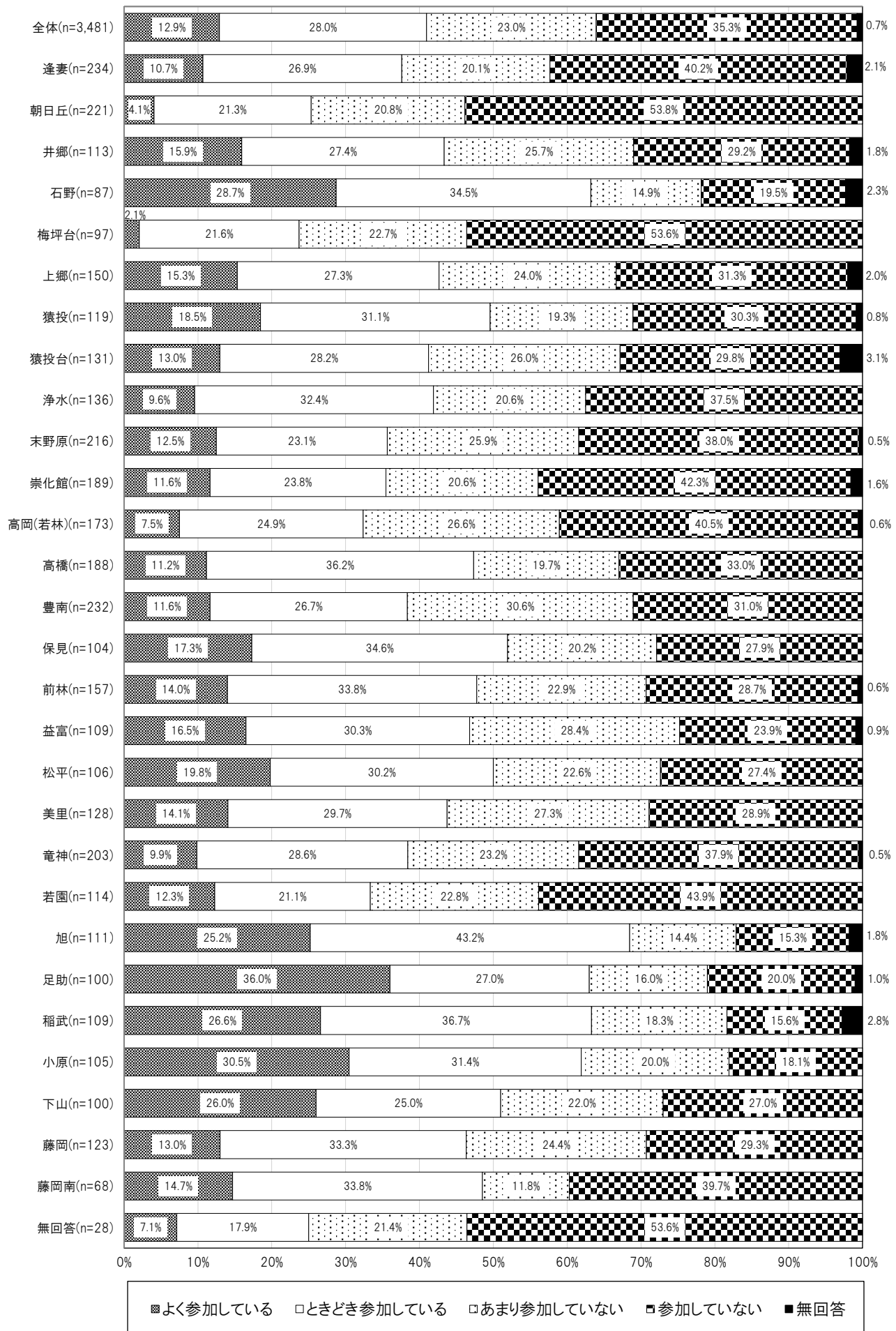
図表3-16-2 自治区・地域活動への参加状況(年齢別)



② 「自治区・地域活動への参加状況」×「居住地区」

居住地区別にみると、地域の活動に参加していると回答した市民の割合は、旭が 68.4%と最も高く、次いで稲武が 63.3%となっています。特に、足助は「よく参加している」と回答した市民の割合が 36.0%と最も高くなっており、次いで小原が 30.5%となっています。一方、地域の活動に参加していない（「あまり参加していない」＋「参加していない」）と回答した市民の割合は、梅坪台が 76.3%、朝日丘が 74.6%と高くなっています。

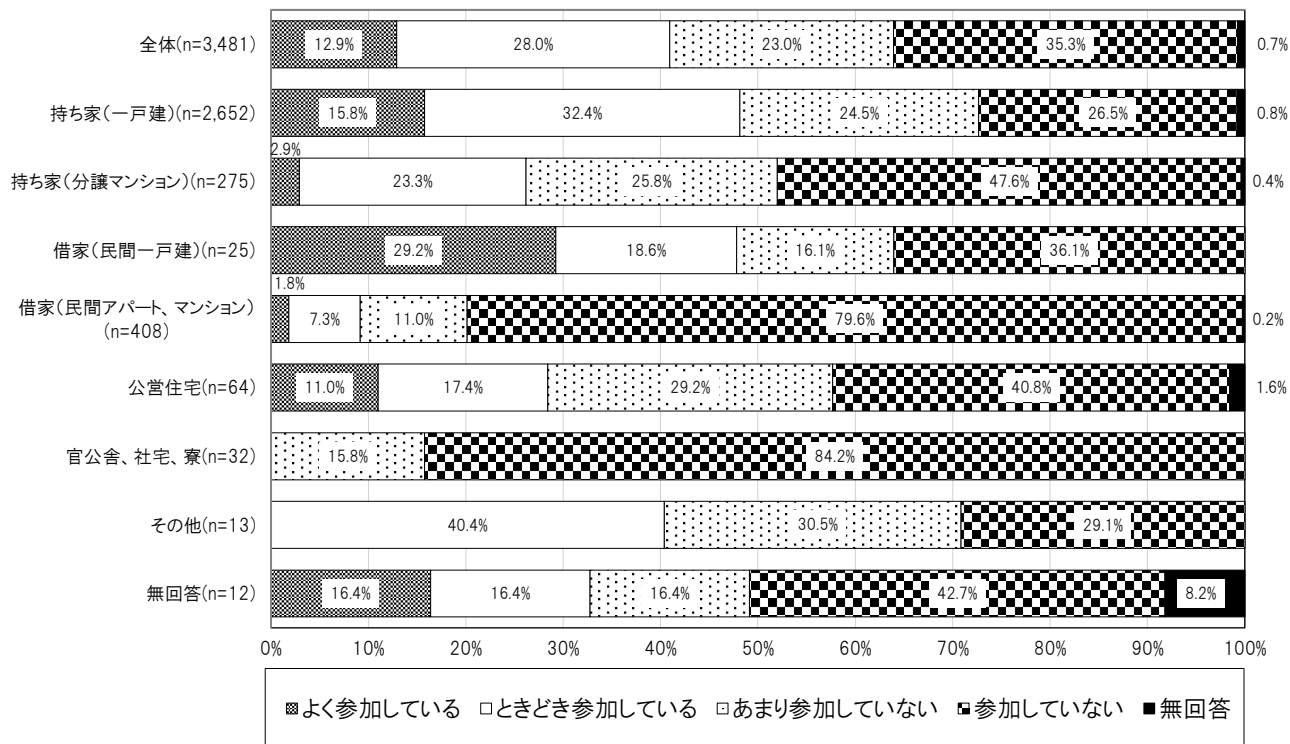
図表3-16-3 自治区・地域活動への参加状況(居住地区別)



③ 「自治区・地域活動への参加状況」×「居住形態」

居住形態別にみると、地域の活動に参加していると回答をした市民の割合は、持ち家（一戸建）が48.2%と最も高く、次いで借家（民間一戸建）が47.8%となっています。一方、借家（民間アパート、マンション）が9.1%となっており、一戸建以外の居住形態の場合に低くなる傾向があります。また、官公社、社宅、寮では、参加していると回答した市民はいませんでした。

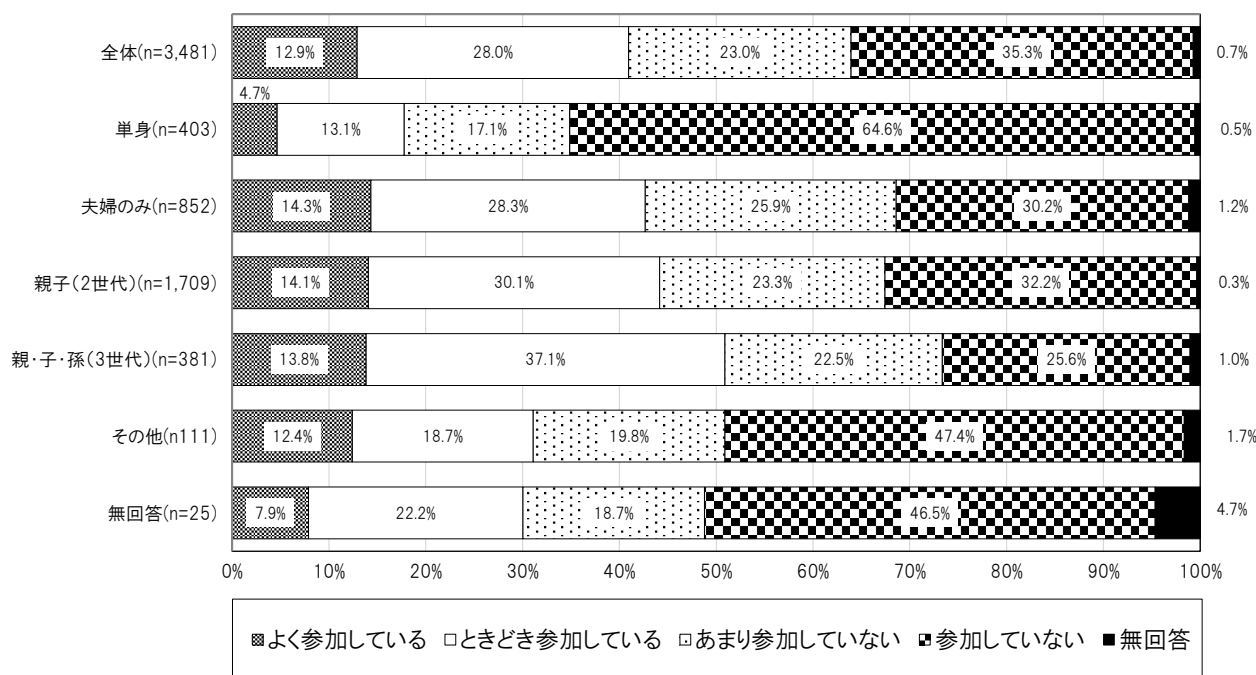
図表3-16-4 自治区・地域活動への参加状況（居住形態別）



④ 「自治区・地域活動への参加状況」×「家族構成」

家族構成別にみると、地域の活動に参加していると回答をした市民の割合は、親・子・孫（3世代）世帯が50.9%と最も高く、次いで親子（2世代）世帯が44.2%となっています。一方、単身世帯が17.8%と低くなっています。夫婦のみ、2世代、3世代の世帯が40%～50%超と高い傾向にあります。

図表3-16-5 自治区・地域活動への参加状況(家族構成別)

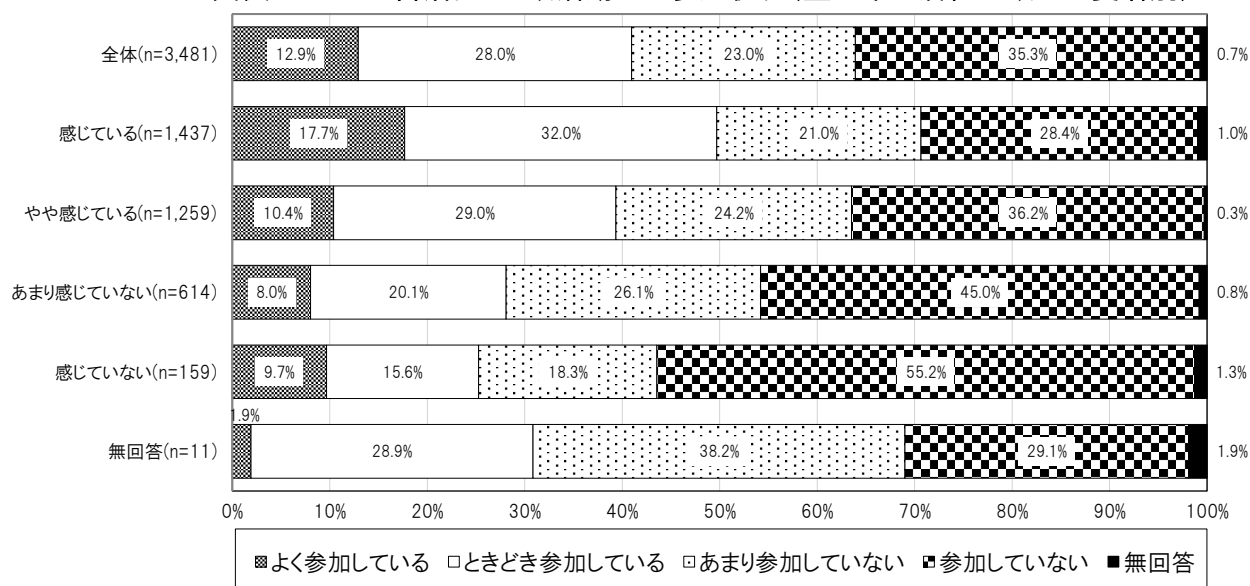


3) 設問間分析結果

① 「自治区・地域活動への参加状況」×「豊田市や居住地域への愛着」

豊田市や居住地域への愛着別にみると、地域の活動に参加していると回答した市民の割合は、「感じている」と回答した市民で 49.7%と最も高くなっています。一方、「感じていない」と回答した市民では 25.3%と低くなっています。地域の活動に参加していると回答した市民の割合は、豊田市や居住地域への愛着を感じている市民ほど高い傾向にあります。

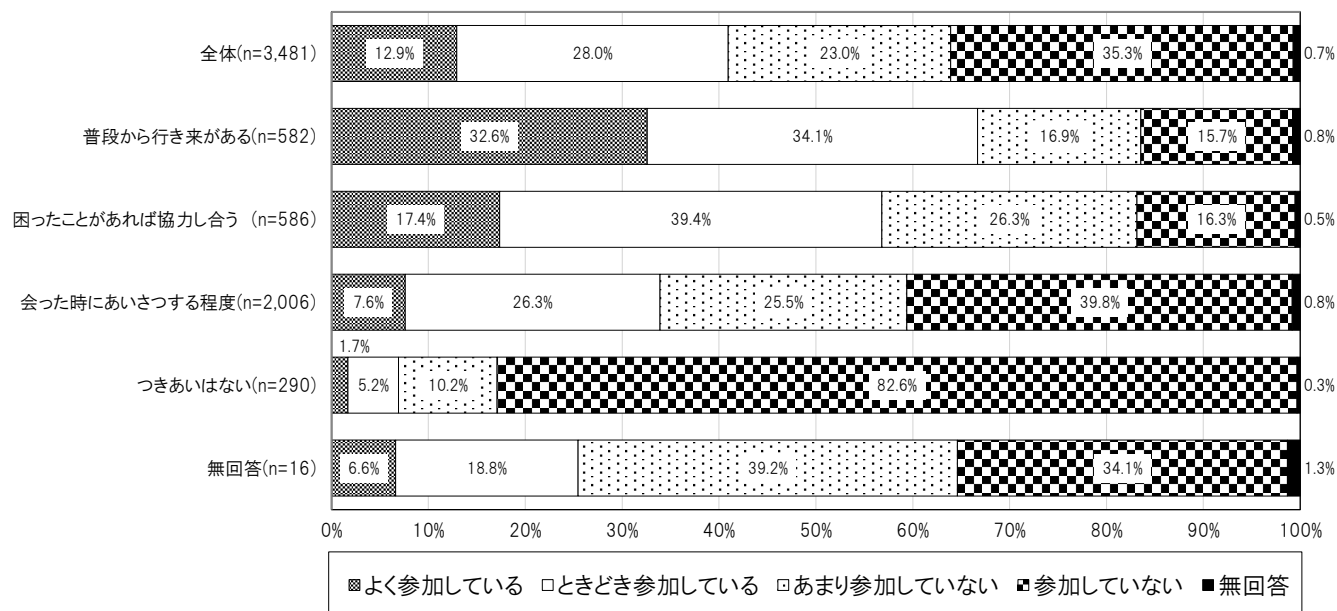
図表3-16-6 自治区・地域活動への参加状況(豊田市や居住地域への愛着別)



② 「自治区・地域活動への参加状況」×「近所づきあい」

近所づきあい別でみると、地域の活動に参加していると回答した市民の割合は、近所と「普段から行き来がある」と回答した市民で 66.7%と最も高くなっています。一方、「つきあいはない」と回答した市民では 6.9%と低くなっています。地域の活動に参加していると回答をした市民の割合は、近所づきあいがあるほど高くなる傾向にあります。

図表3-16-7 自治区・地域活動への参加状況(近所づきあい別)



(2) ボランティア・NPO活動への参加状況

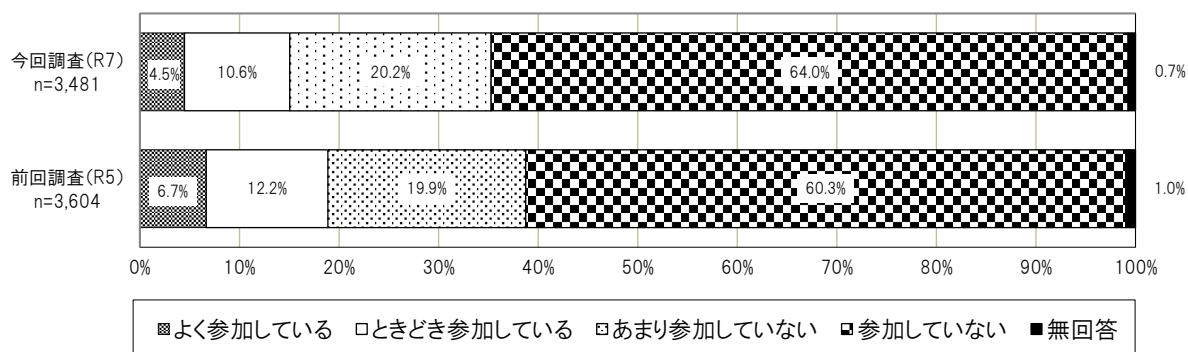
問 27

あなたは、ボランティア活動やNPO 活動などに参加していますか。(1 つに○)

1) 全体集計結果

ボランティア活動やNPO活動に参加している(「よく参加している」+「ときどき参加している」)と回答した市民の割合は、15.1%となっており、前回調査と比較して3.8ポイント減少しています。

図表3-17-1 ボランティア・NPO活動への参加状況(前回調査との比較)

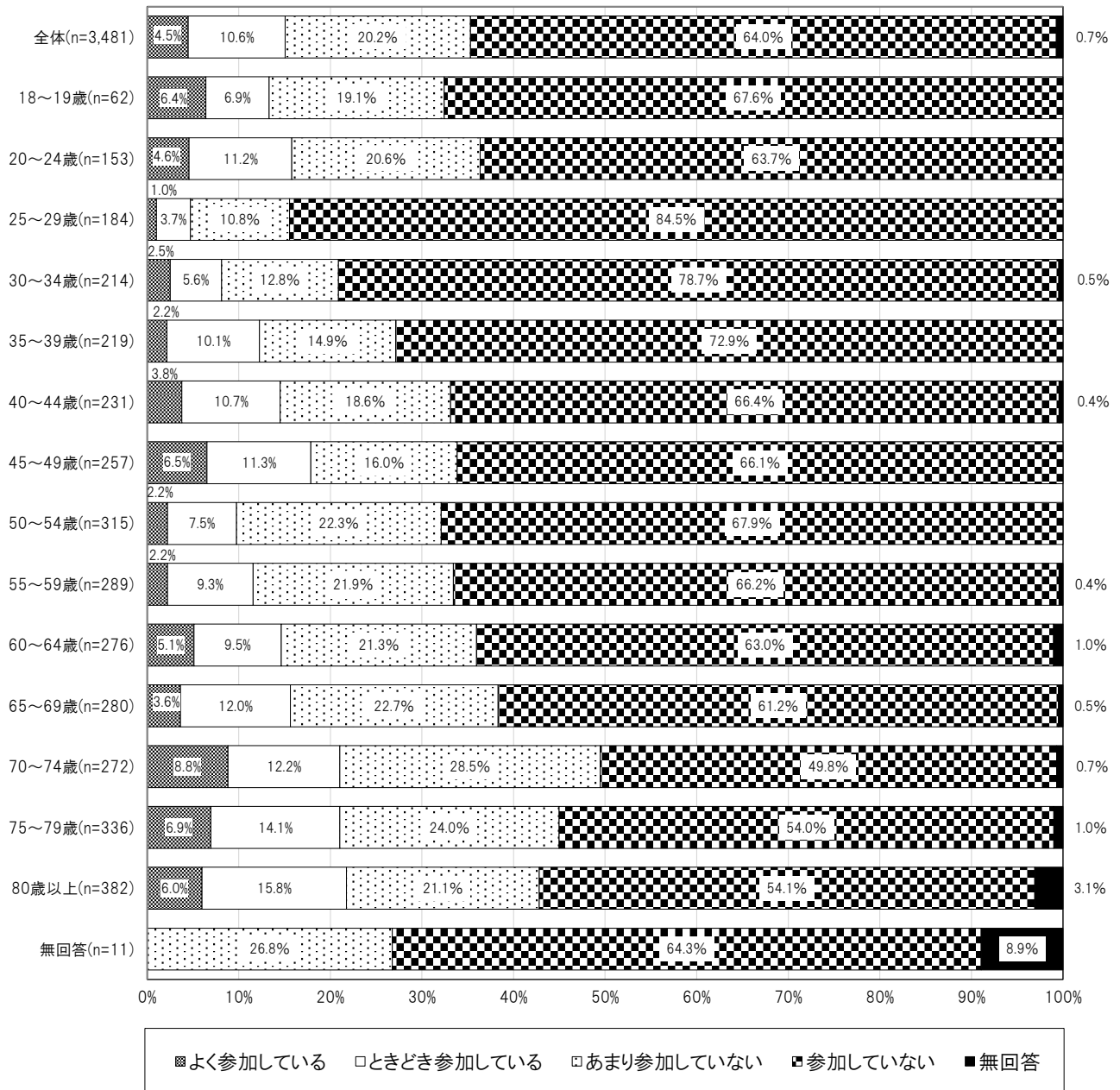


2) 属性分析結果

① 「ボランティア・NPO活動への参加状況」×「年齢」

年齢別にみると、ボランティア活動やNPO活動に参加していると回答した市民の割合は、80歳以上で21.8%と最も高くなっており、特に70歳以上の年代で高くなる傾向があります。

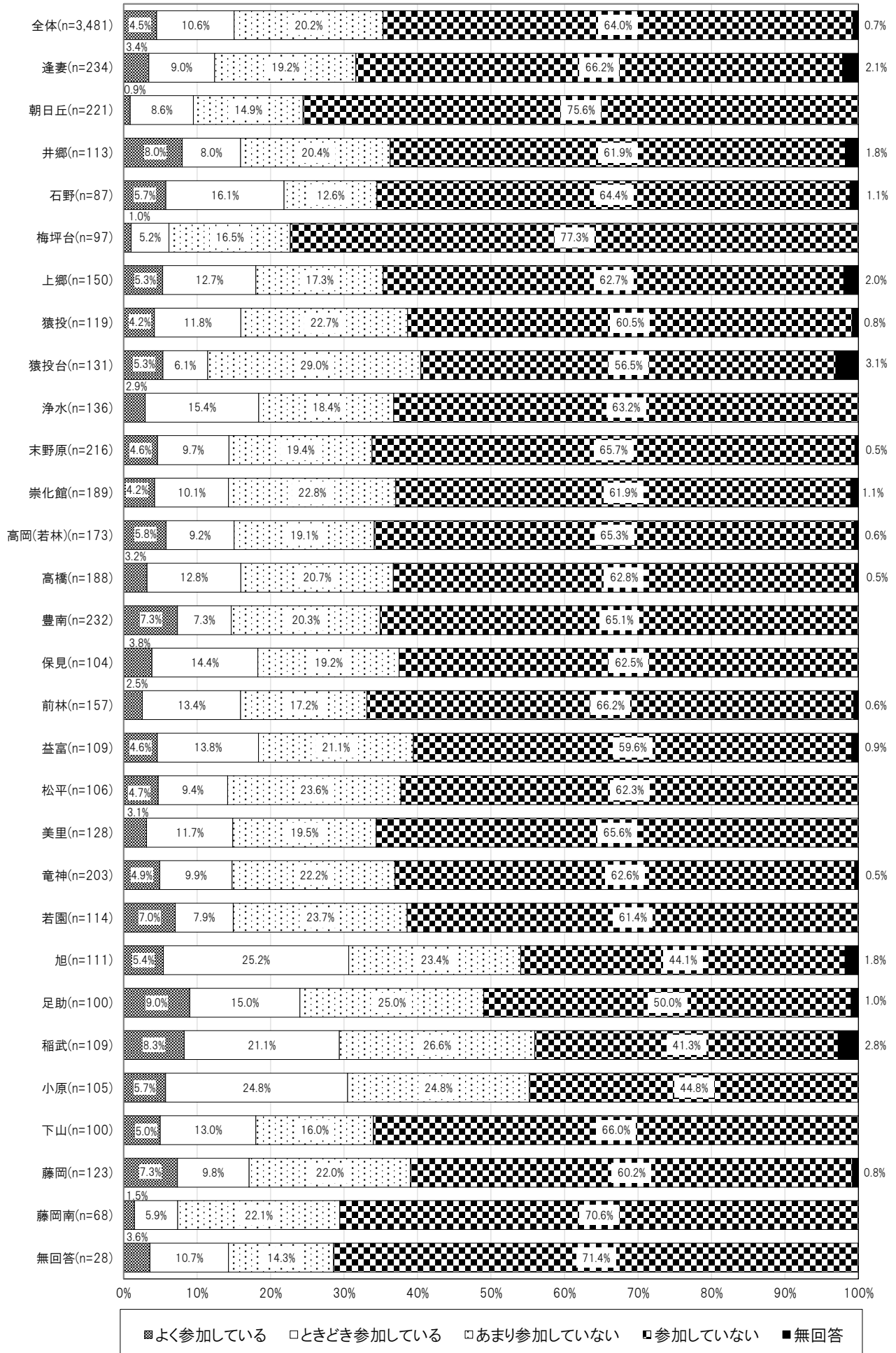
図表3-17-2 ボランティア・NPO活動への参加状況(年齢別)



② 「ボランティア・NPO活動への参加状況」×「居住地区」

居住地区別にみると、ボランティア活動やNPO活動に参加していると回答した市民の割合は、旭が30.6%と最も高く、次いで小原が30.5%、稲武が29.4%となっています。一方、梅坪台が6.2%、藤岡南が7.4%、朝日丘が9.5%と低くなっています。

図表3-17-3 ボランティア・NPO活動への参加状況(居住地区別)

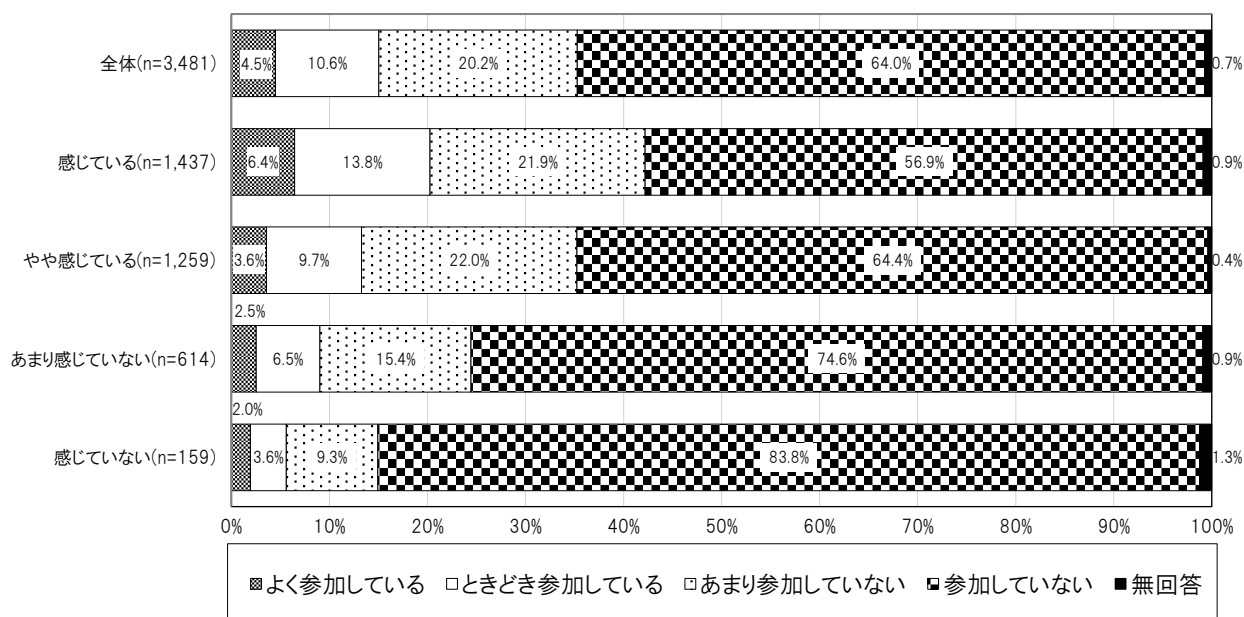


3) 設問間分析結果

① 「ボランティア・NPO活動への参加状況」×「豊田市や居住地域への愛着」

豊田市や居住地域への愛着別にみると、ボランティア活動やNPO活動に参加していると回答した市民の割合は、「感じている」と回答した市民で20.2%と最も高くなっています。一方、「感じていない」と回答した市民では5.6%と低くなっています。ボランティア活動やNPO活動に参加していると回答した市民の割合は、豊田市や居住地域への愛着を感じているほど高い傾向にあります。

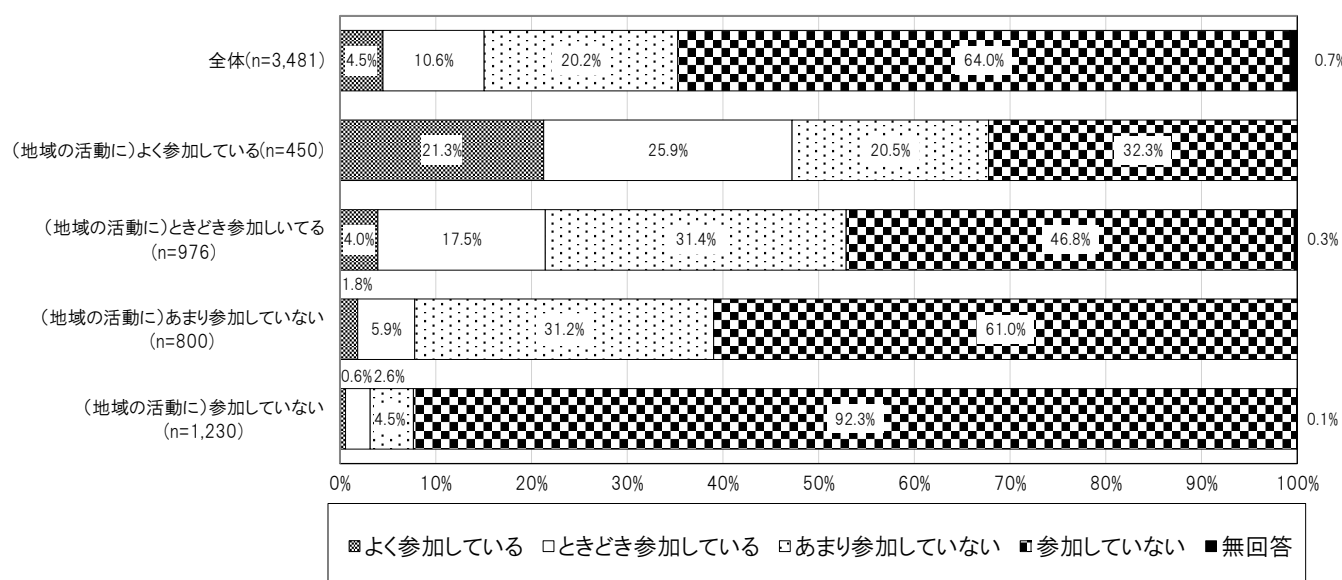
図表3-17-4 ボランティア・NPO活動への参加状況(豊田市や居住地域への愛着別)



② 「ボランティア・NPO活動への参加状況」×「自治区・地域活動への参加状況」

自治区・地域活動への参加状況別にみると、ボランティア活動やNPO活動に参加していると回答した市民の割合は、「(地域の活動に)よく参加している」と回答した市民で47.2%と最も高くなっています。一方、「(地域の活動に)参加していない」と回答した市民では3.2%と低くなっています。

図表3-17-5 ボランティア・NPO活動への参加状況(自治区・地域活動への参加状況別)



(3) 新たな活動や学びの機会への参加状況

問 28 あなたは、この1年以内に新たな活動や学びの機会に参加しましたか。(1つに○)

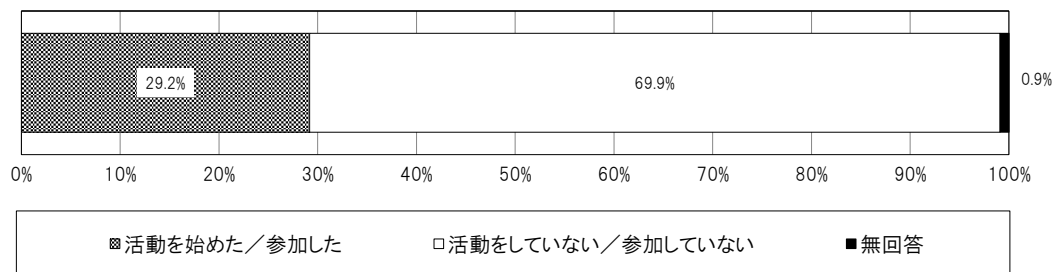
※「新たな活動や学びの機会」とは、スポーツ、文化活動、ボランティア活動、勉強・資格取得、趣味などを含む様々な場や機会のこと

1) 全体集計結果

この1年以内に新たな活動や学びの機会に「活動をはじめた/参加した」と回答した市民の割合は29.2%で、「活動をしていない/参加していない」と回答した市民の割合は69.9%となっています。

図表3-18-1 新たな活動や学びの機会の参加状況

n=3,481

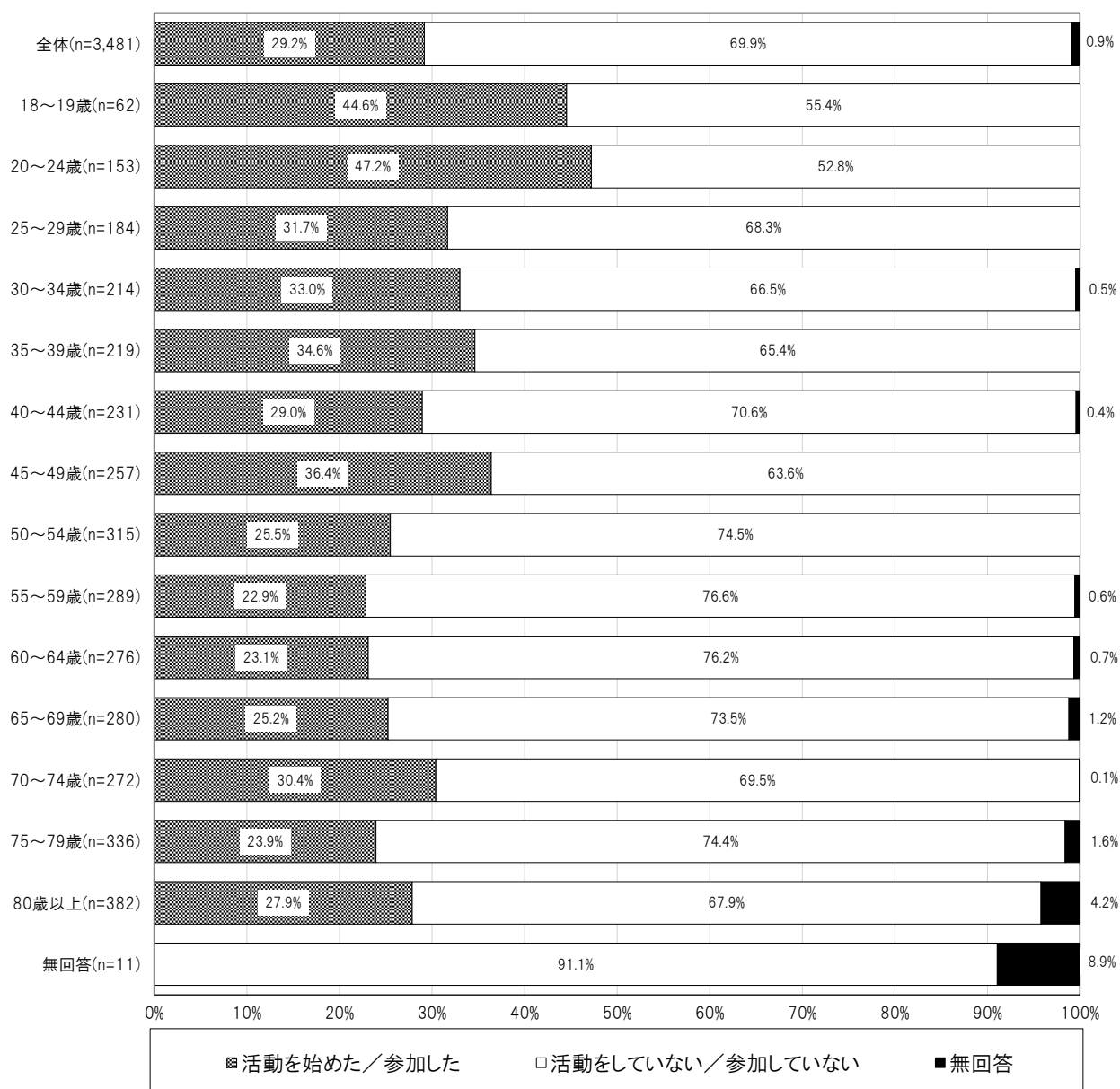


2) 属性分析結果

① 「新たな活動や学びの機会の参加状況」×「年齢」

年齢別にみると、この1年以内に新たな活動や学びの機会に「活動をはじめた/参加した」と回答した市民の割合は20～24歳が47.2%と最も高く、次いで18～19歳が44.6%となっています。一方、「活動をしていない/参加していない」と回答した市民の割合は55～59歳が76.6%と最も高く、次いで60～64歳が76.2%となっています。

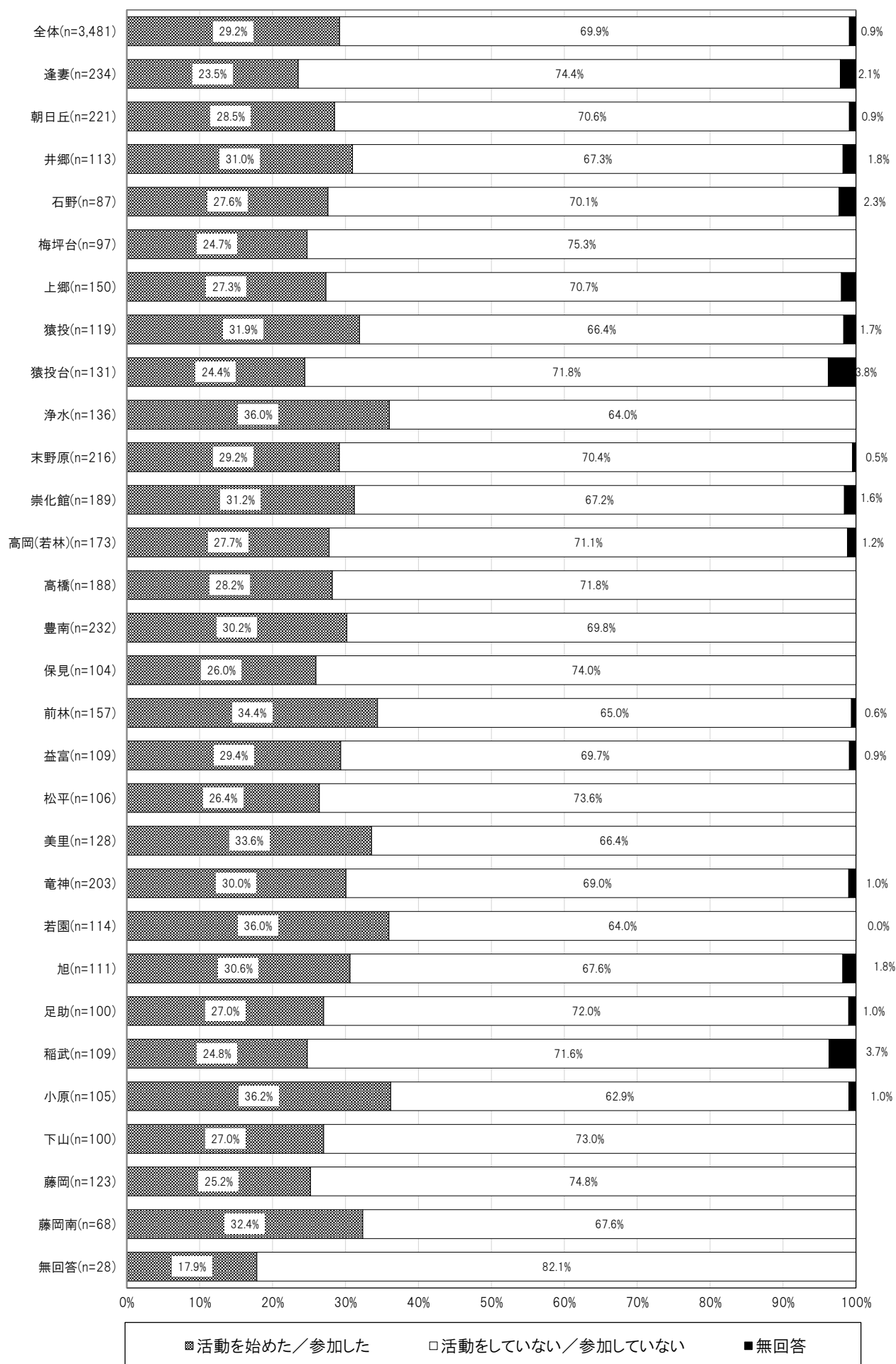
図表3-18-2 新たな活動や学びの機会の参加状況(年齢別)



② 「新たな活動や学びの機会の参加状況」×「居住地区」

居住地区別にみると、この1年以内に新たな活動や学びの機会に「活動を始めた/参加した」と回答した市民の割合は、小原が36.2%と最も高く、次いで浄水と若園が36.0%となっています。一方、「活動をしていない/参加していない」と回答した市民の割合は梅坪台が75.3%と最も高く、次いで藤岡が74.8%、逢妻が74.4%となっています。

図表3-18-3 新たな活動や学びの機会の参加状況(居住地区別)

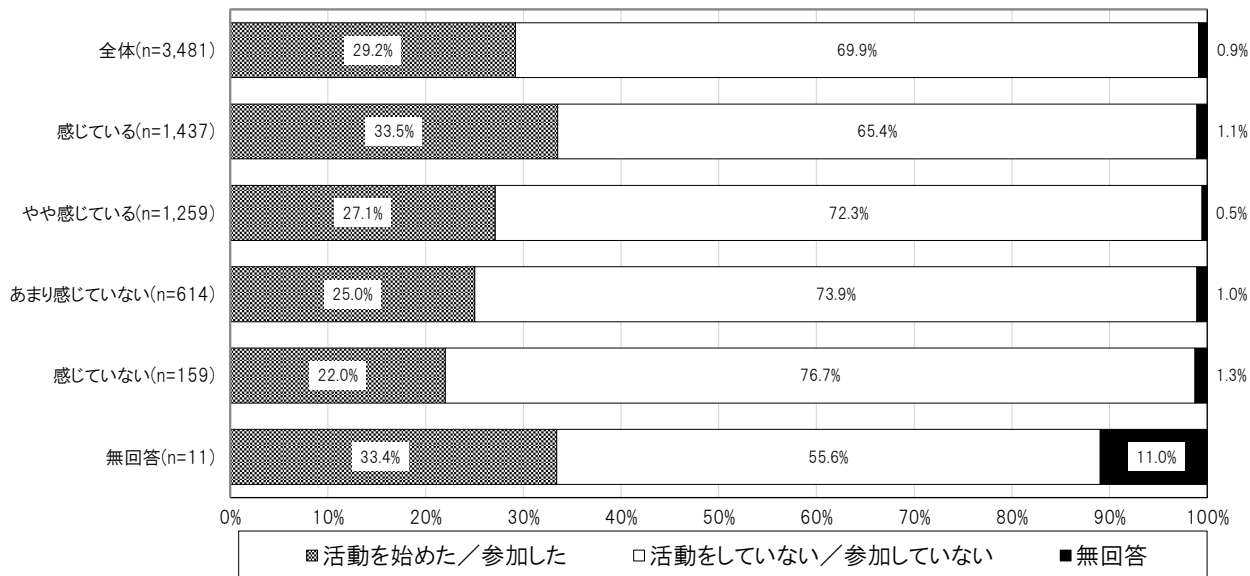


4) 設問間分析結果

① 「新たな活動や学びの機会の参加状況」×「豊田市や居住地域への愛着」

豊田市や居住地域への愛着別にみると、この1年以内に新たな活動や学びの機会に「活動をはじめた/参加した」と回答した市民の割合は、豊田市や住居地域への愛着を「感じている」と回答した市民で33.5%と最も高くなっています。一方、愛着を「感じていない」と回答した市民の割合は22.0%と最も低くなっています。

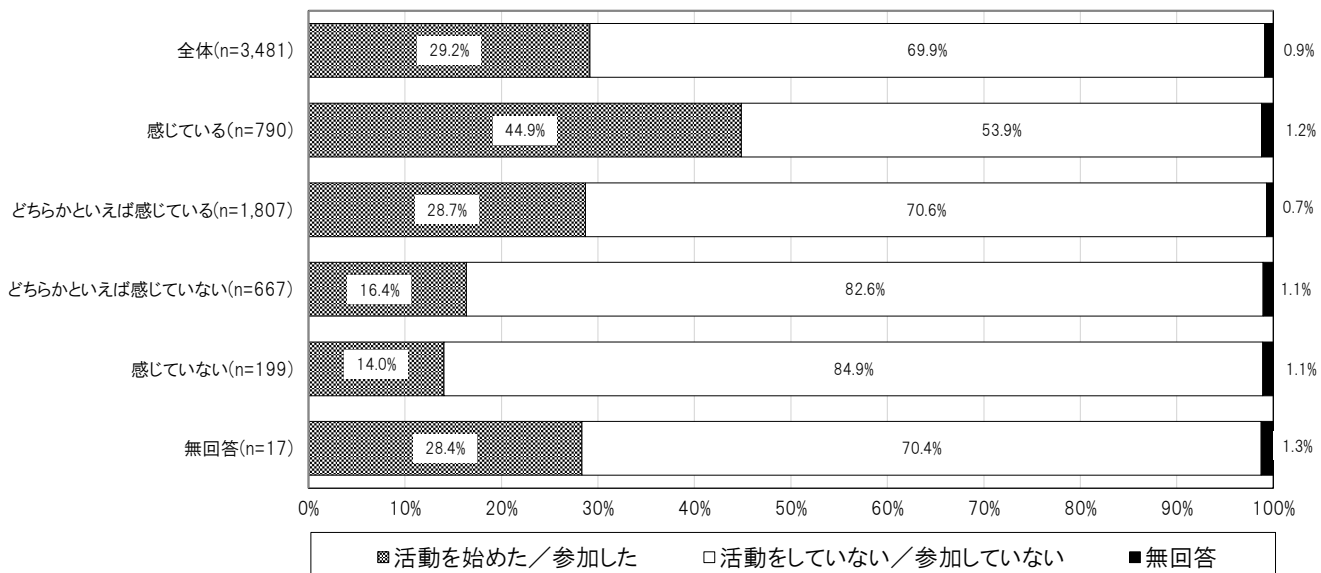
図表3-18-4 新たな活動や学びの機会の参加状況(豊田市や居住地域への愛着別)



② 「新たな活動や学びの機会の参加状況」×「生きがいの有無」

生きがいの有無別にみると、この1年以内に新たな活動や学びの機会に「活動をはじめた/参加した」と回答した市民の割合は、生きがいを「感じている」と回答した市民で44.9%と最も高くなっています。一方、生きがいを「感じていない」と回答した市民の割合は14.0%と最も低くなっています。

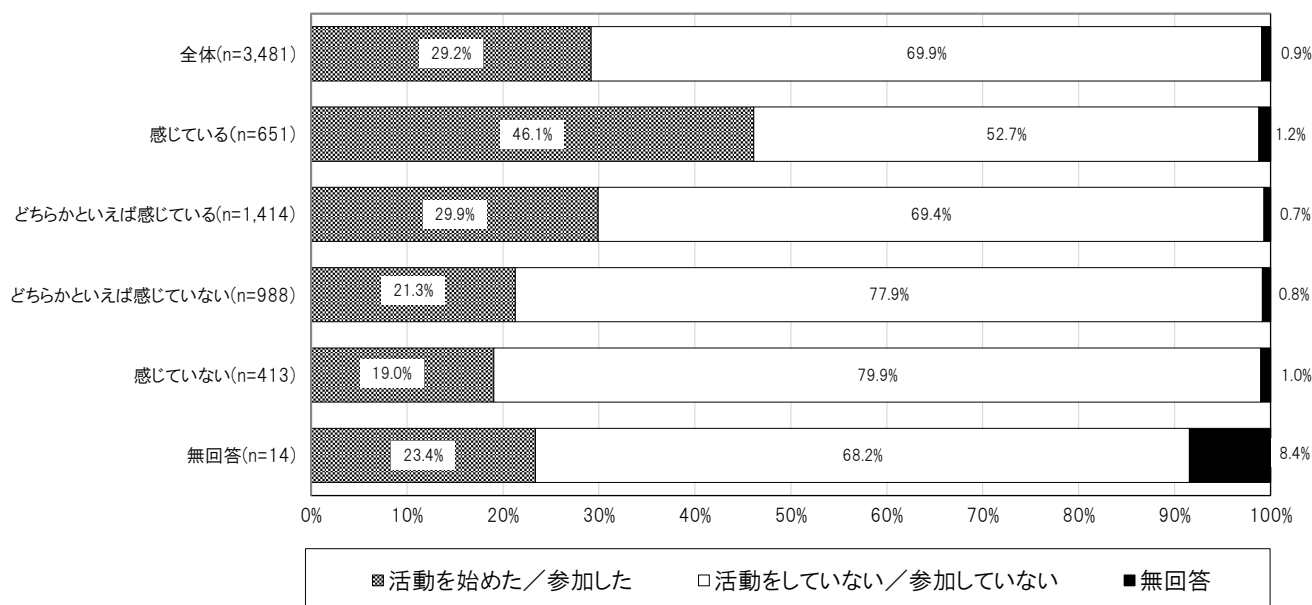
図表3-18-5 新たな活動や学びの機会の参加状況(生きがいの有無別)



③ 「新たな活動や学びの機会の参加状況」×「人や地域とのつながりの有無」

人や地域とのつながりの有無別にみると、この1年以内に新たな活動や学びの機会に「活動をはじめた/参加した」と回答した市民の割合は、人や地域とのつながりを「感じている」と回答した市民で46.1%と最も高くなっています。一方、つながりを「感じていない」と回答した市民の割合は19.0%と最も低くなっています。

図表3-18-6 新たな活動や学びの機会の参加状況(人や地域とのつながりの有無別)



(4) 希望する働き方の実現

問 29

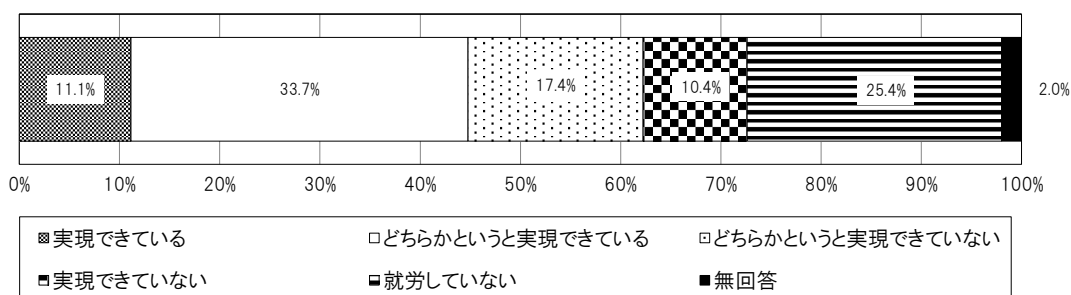
あなたは、ご自身が希望する働き方を実現できていると感じていますか。(1 つに○)

1) 全体集計結果

自身が希望する働き方を実現できている（「実現できている」＋「どちらかというと実現できている」）と回答した市民の割合は 44.8%で、実現できていない（「実現できていない」＋「どちらかというと実現できていない」）と回答した市民の割合は 27.8%となっています。

図表3-19-1 希望する働き方の実現

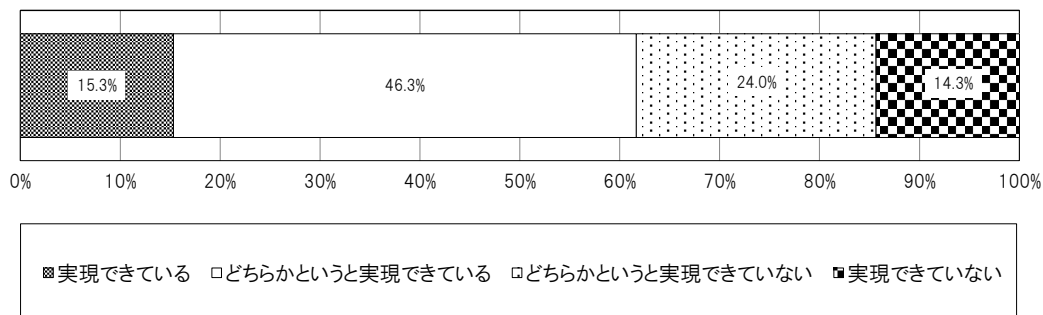
n=3,481



このうち、「就労していない」、「無回答」を除いて集計すると、自身が希望する働き方を実現できていると回答した市民の割合は 61.6%で、実現できていないと回答した市民の割合が 38.3%となっています。

図表3-19-2 希望する働き方の実現

n=2,528



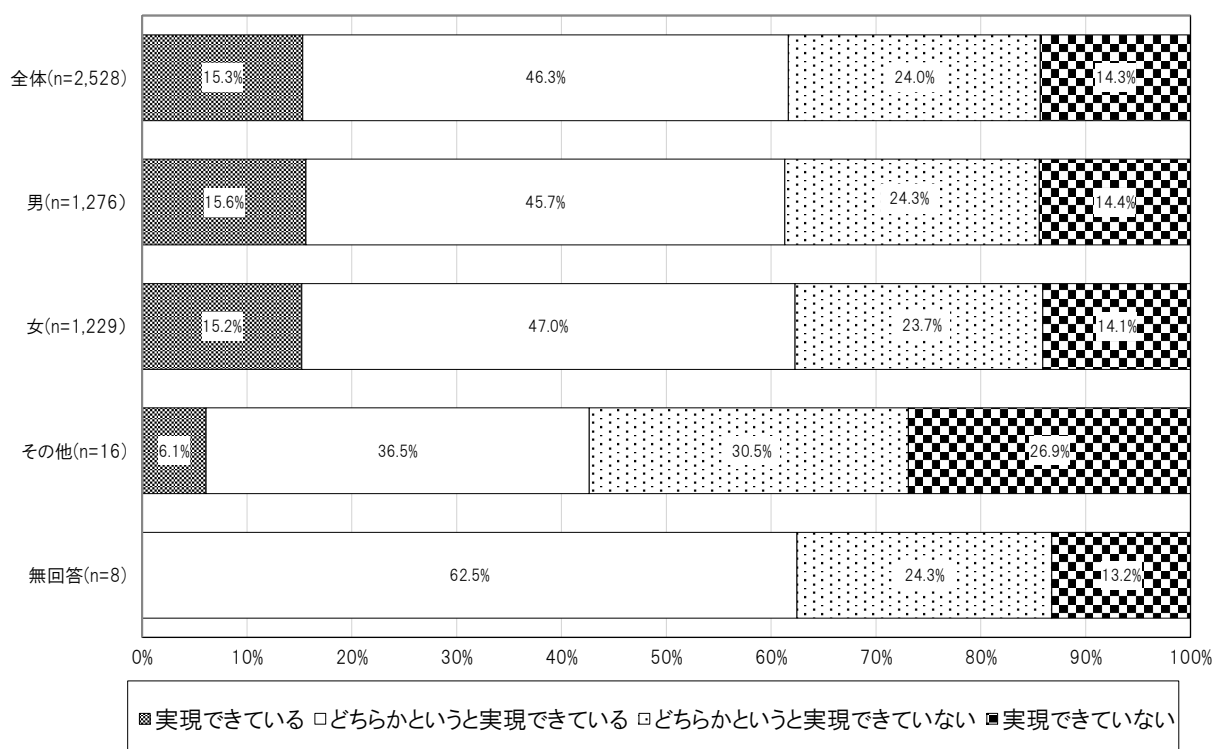
2) 属性分析結果

※本設問においては、「就労していない」、「無回答」と回答した市民を除いて属性分析を実施しました。

① 「希望する働き方の実現」×「性別」

性別でみると、希望する働き方を実現できていると回答した市民の割合は、男性で 61.3%、女性で 62.2%となっています。

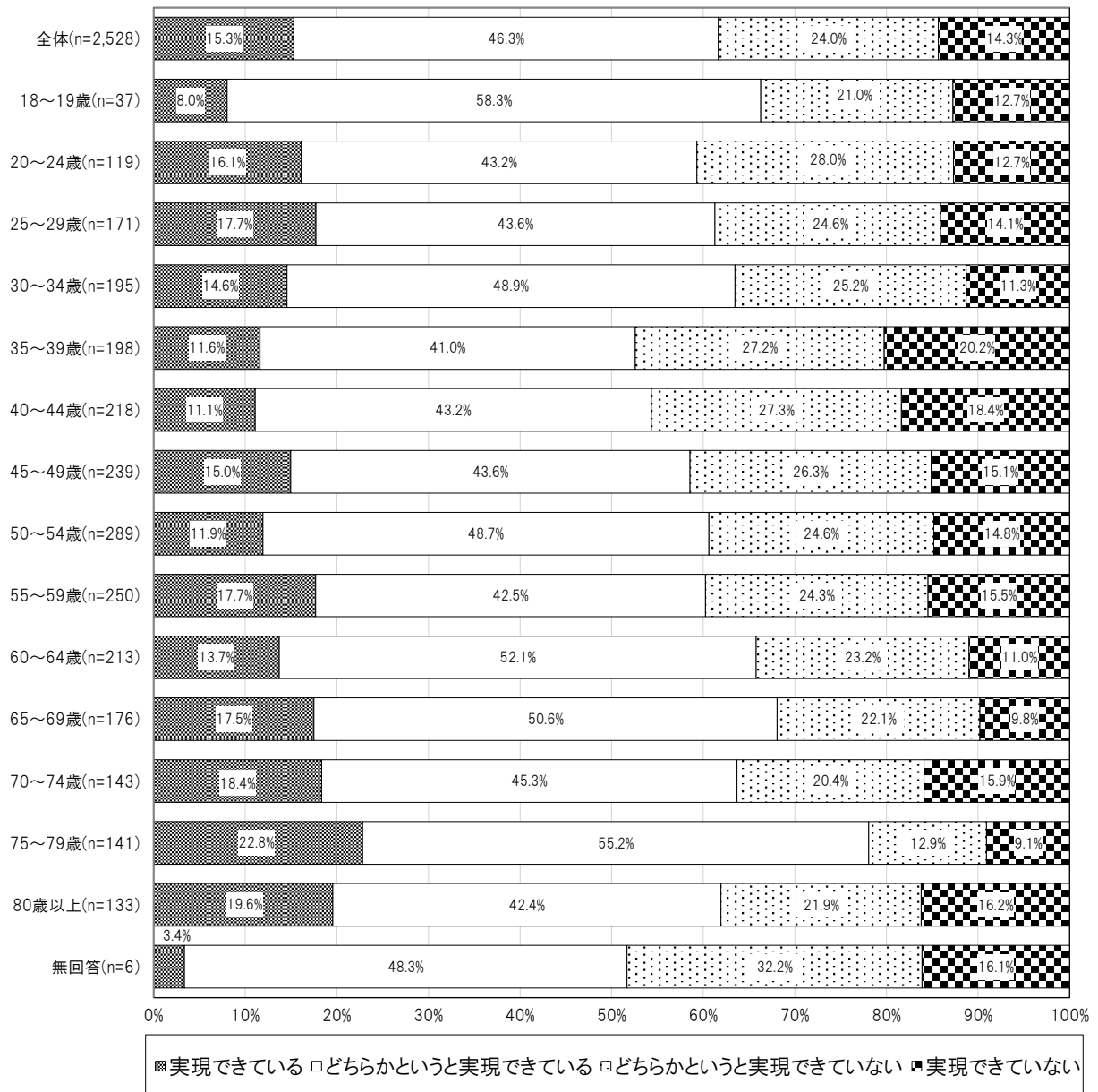
図表3-19-3 希望する働き方の実現(性別)



② 「希望する働き方の実現」×「年齢」

年齢別にみると、希望する働き方を実現できていると回答した市民の割合は、75～79 歳が 78.0%で最も高く、次いで 65～69 歳が 68.1%となっています。一方、実現できていないと回答した市民の割合は、35～39 歳が 47.4%と最も高く、次いで 40～44 歳が 45.7%となっています。

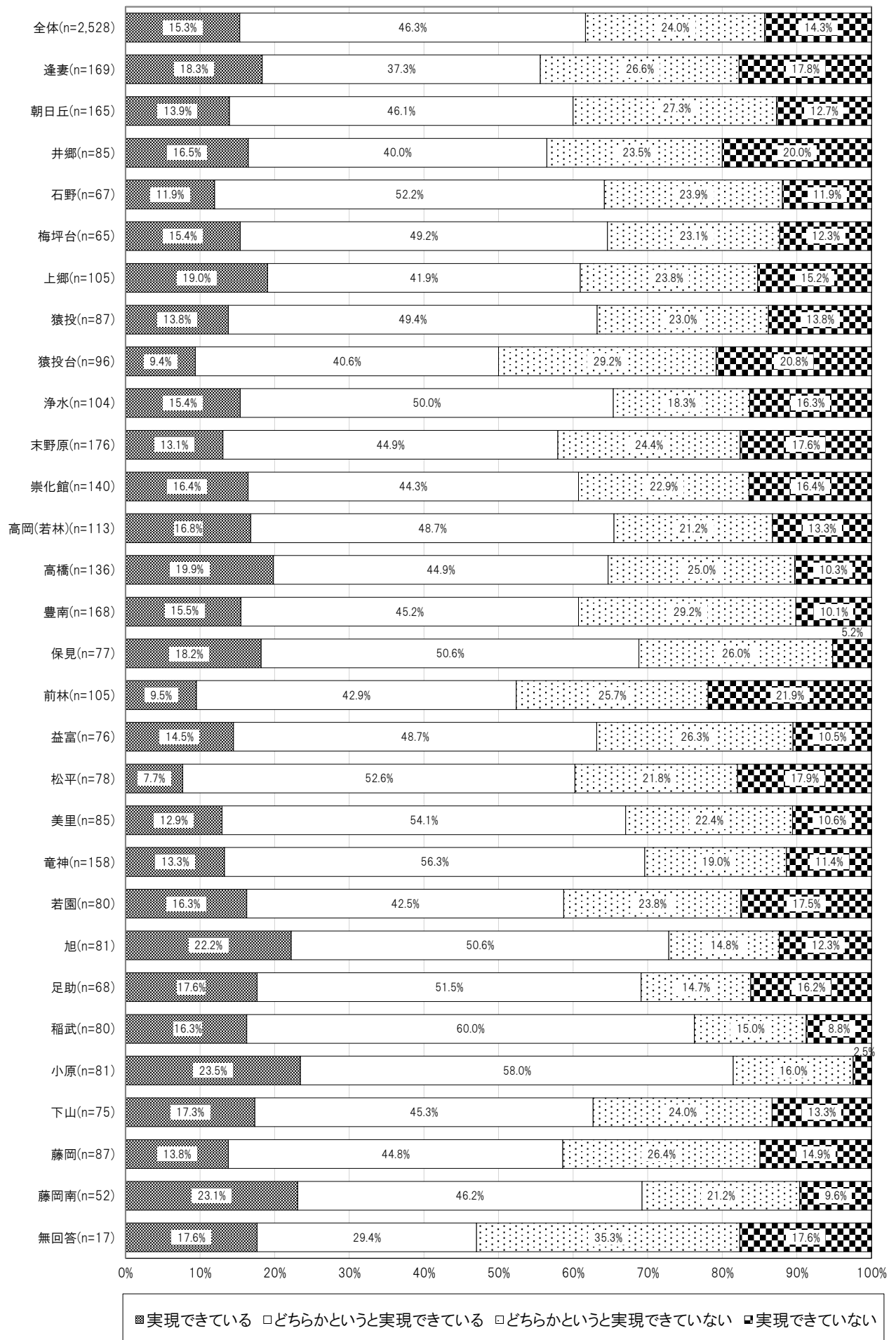
図表3-19-4 希望する働き方の実現(年齢別)



③ 「希望する働き方の実現」×「居住地区」

居住地区別にみると、希望する働き方を実現できていると回答した市民の割合は、小原が81.5%で最も高く、次いで稲武が76.3%、旭が72.8%となっています。一方、実現できていないと回答した市民の割合は、猿投台が50.0%と最も高く、次いで前林が47.6%、逢妻が44.4%となっています。

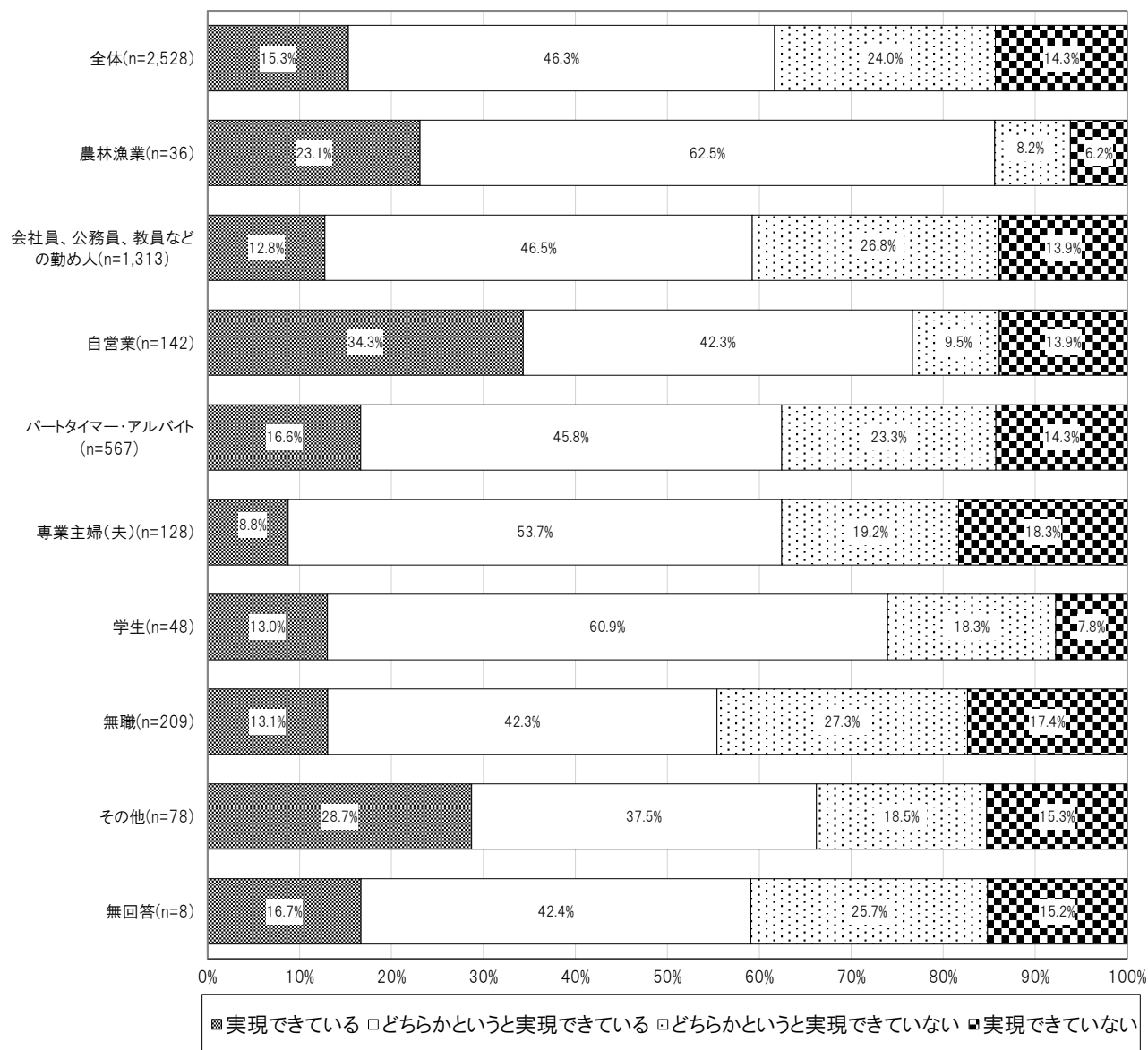
図表3-19-5 希望する働き方の実現(居住地区別)



④ 「希望する働き方の実現」×「職業」

職業別にみると、希望する働き方を実現できていると回答した市民の割合は、農林漁業が85.6%で最も高く、次いで自営業が76.6%となっています。一方、実現できていないと回答した市民の割合は、無職を除き、会社員、公務員、教員などの勤め人が40.7%と最も高く、次いでパートタイマー・アルバイトが37.6%となっています。

図表3-19-6希望する働き方の実現(職業別)



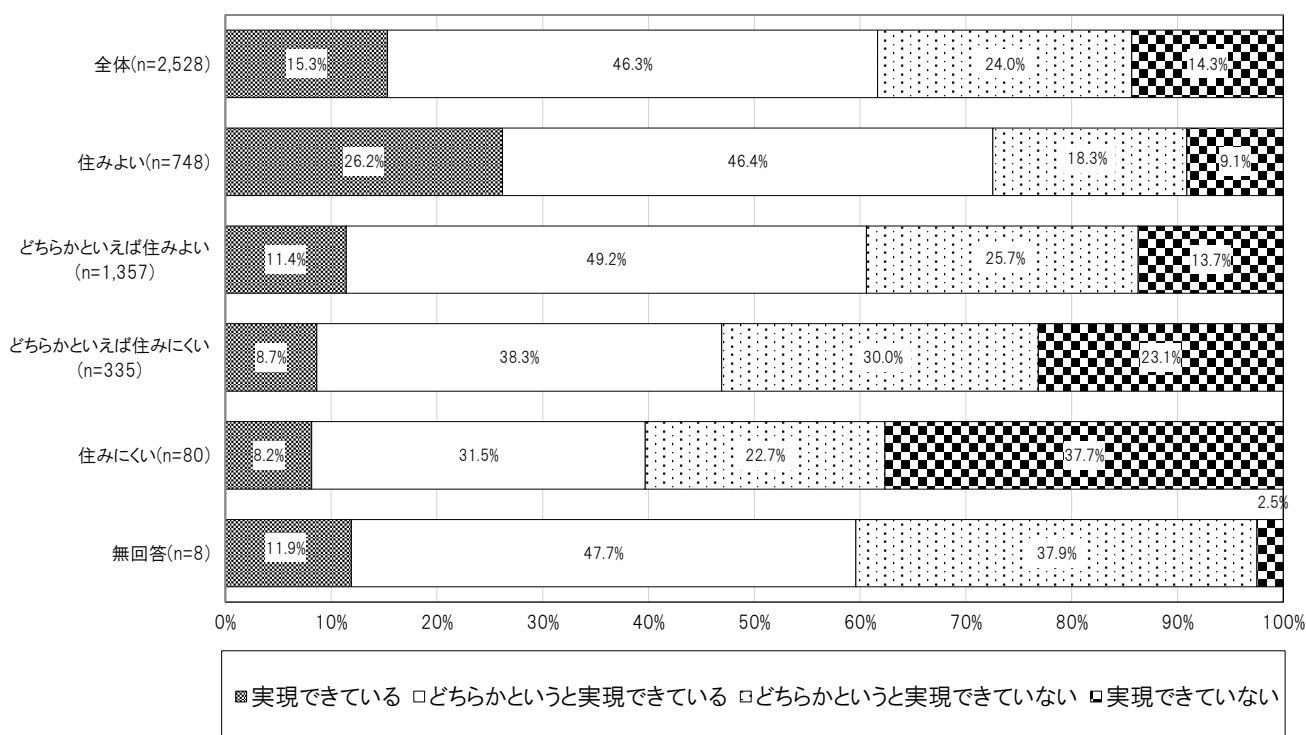
3) 設問間分析結果

※本設問においては、「就労していない」、「無回答」と回答した市民を除いて設問間分析を実施しました。

① 「希望する働き方の実現」×「住みよさ」

住みよさ別にみると、希望する働き方を実現できていると回答した市民の割合は、「住みよい」と回答した市民で 72.6%と最も高くなっています。豊田市が住みよいと感じている市民ほど、希望する働き方が「実現できている」と回答した割合が高くなっています。

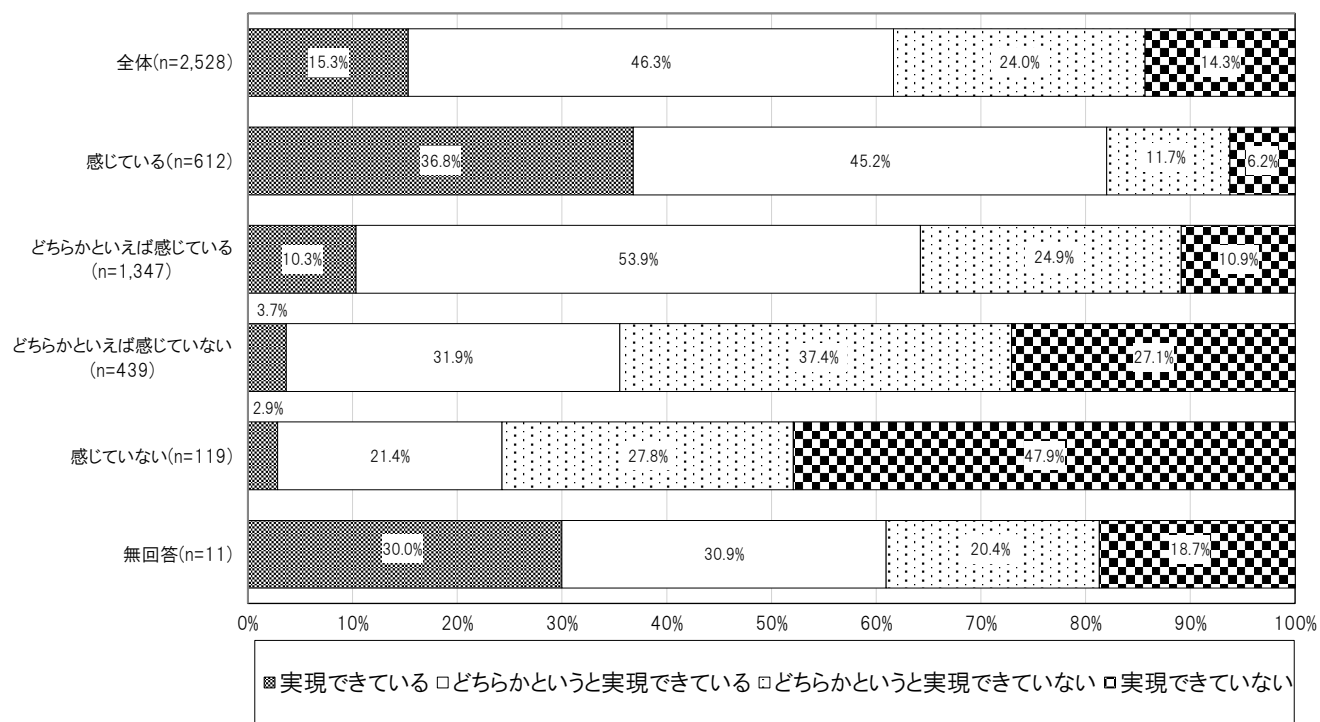
図表3-19-7 希望する働き方の実現(住みよさ別)



② 「希望する働き方の実現」×「生きがいの有無」

生きがいの有無別にみると、希望する働き方を実現できていると回答した市民の割合は、生きがいを「感じている」と回答した市民で 82.0%と最も高くなっています。一方、生きがいを「感じていない」と回答した市民では 24.3%と低くなっています。生きがいを感じている人ほど希望する働き方を実現できる傾向があります。

図表3-19-8 希望する働き方の実現(生きがいの有無別)



5 豊田市のまちづくり

(1) 行政サービスのデジタル化の利便性

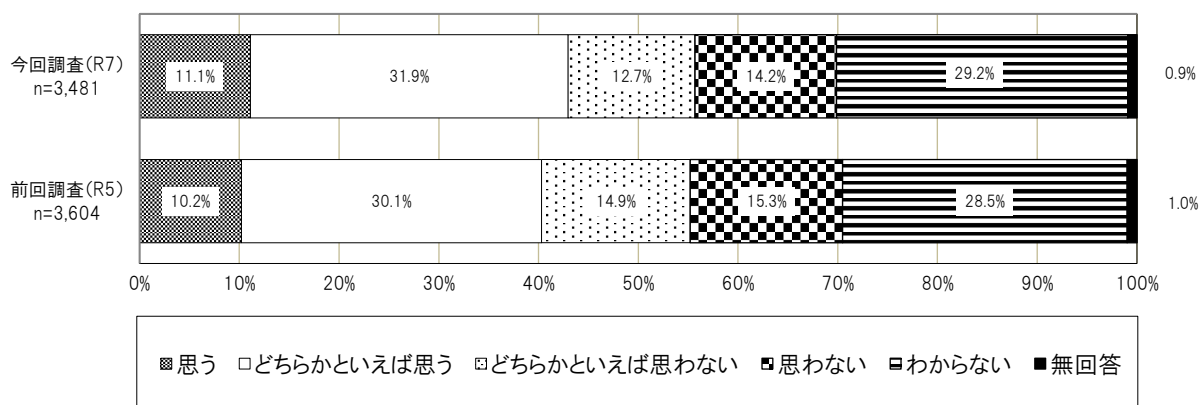
問 30

あなたはデジタル化によって豊田市の行政サービスが便利になったと感じますか。(1 つに○)

1) 全体集計結果

デジタル化によって豊田市の行政サービスが便利になったと感じる(「思う」+「どちらかと言えば思う」)と回答した市民の割合は、43.0%となっており、前回調査と比較して 2.7 ポイント増加しています。一方、感じない(「どちらかと言えば思わない」+「思わない」)と回答した市民の割合は 26.9%で前回調査から 3.3 ポイント減少しています。

図表3-20-1 行政サービスのデジタル化の利便性(前回調査との比較)

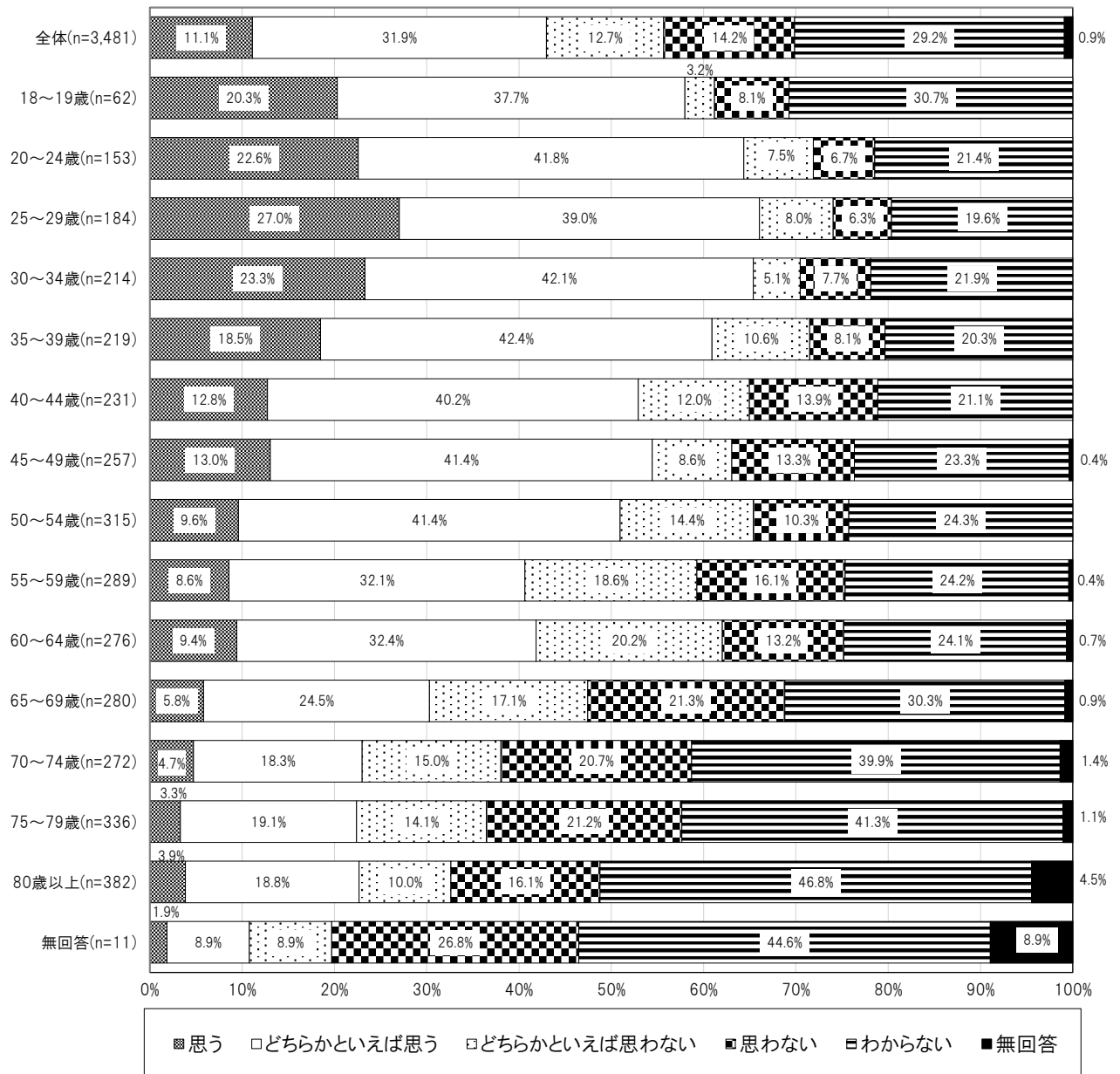


2) 属性分析結果

① 「行政サービスのデジタル化の利便性」×「年齢」

年齢別にみると、デジタル化によって豊田市の行政サービスが便利になったと感じると回答した市民の割合は、25～29 歳が 66.0%と最も高く、次いで 30～34 歳が 65.4%、20～24 歳が 64.4%となっています。一方、感じないと回答した市民の割合は、65～69 歳が 38.4%と最も高く、次いで 70～74 歳が 35.7%となっています。また、65 歳を超えると、「わからない」の割合が高くなっています。

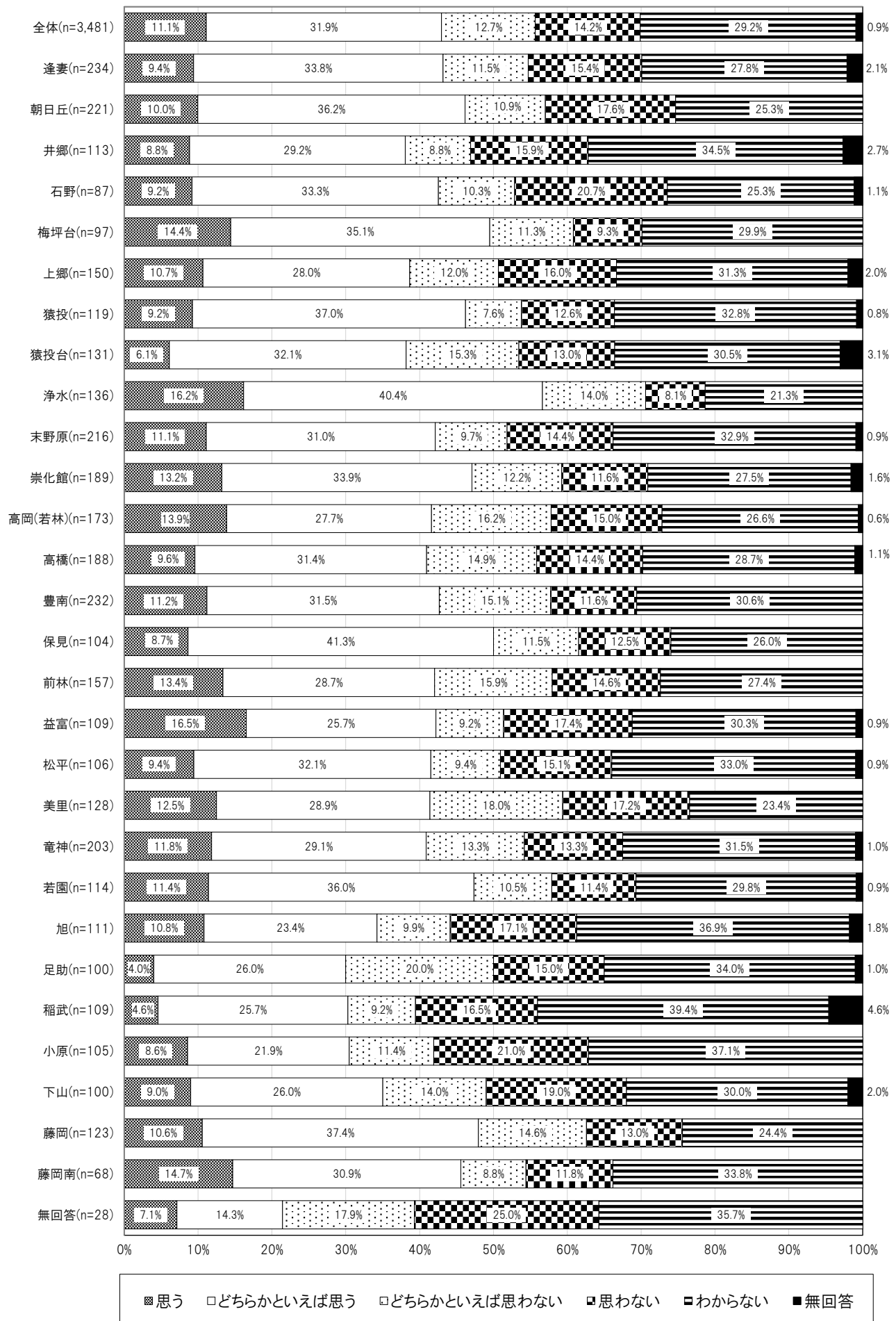
図表3-20-2 行政サービスのデジタル化の利便性(年齢別)



② 「行政サービスのデジタル化の利便性」×「居住地区」

居住地区別にみると、デジタル化によって豊田市の行政サービスが便利になったと感じると回答した市民の割合は、浄水が 56.6%と最も高く、次いで保見が 50.0%、梅坪台が 49.5%となっています。

図表3-20-3 行政サービスのデジタル化の利便性(居住地区別)



(2) 出産・子育てがしやすいまち

問 31

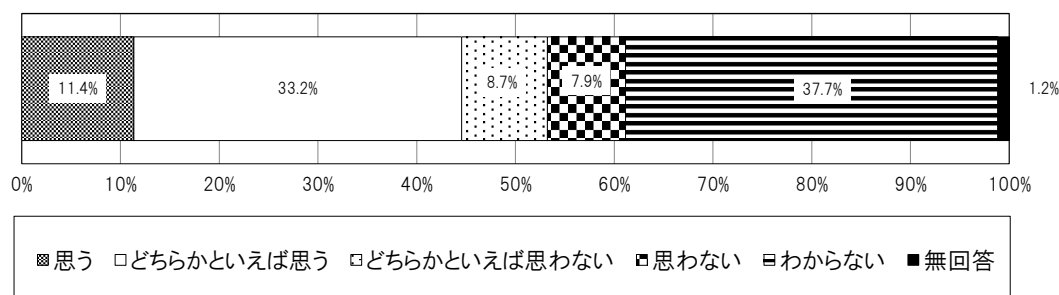
あなたは、豊田市について「出産・子育てがしやすいまち」だと思いますか。
(1 つに○)

1) 全体集計結果

豊田市が「出産・子育てがしやすいまち」だと思う（「思う」＋「どちらかといえば思う」）と回答した市民の割合は 44.6%で、思わない（「どちらかといえば思わない」＋「思わない」）と回答した市民の割合は 16.6%となっています。

図表3-21-1 出産・子育てがしやすいまち

n=3,481

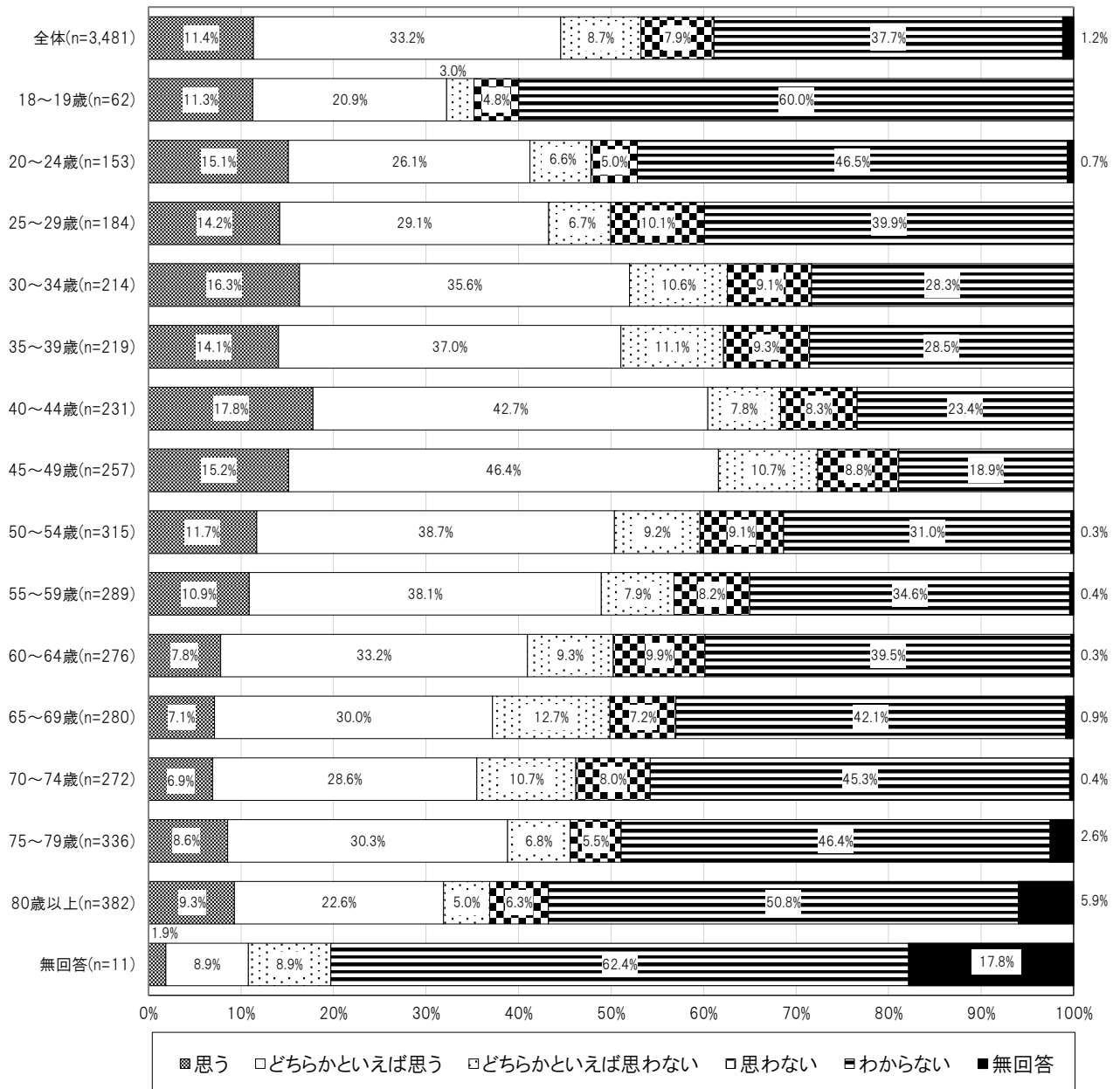


2) 属性分析結果

① 「出産・子育てがしやすいまち」×「年齢」

年齢別にみると、豊田市が「出産・子育てしやすいまち」だと思うと回答した市民の割合は、45～49 歳が 61.6%で最も高く、次いで 40～44 歳が 60.5%、30～34 歳が 51.9%、35～39 歳が 51.1%となっています。一方、思わないと回答した市民の割合は、25～29 歳から 70～74 歳の間では、約 20%で推移しています。豊田市が「出産・子育てしやすいまち」だと思うと回答した市民の割合は、30～50 代の割合が高い傾向にあります。

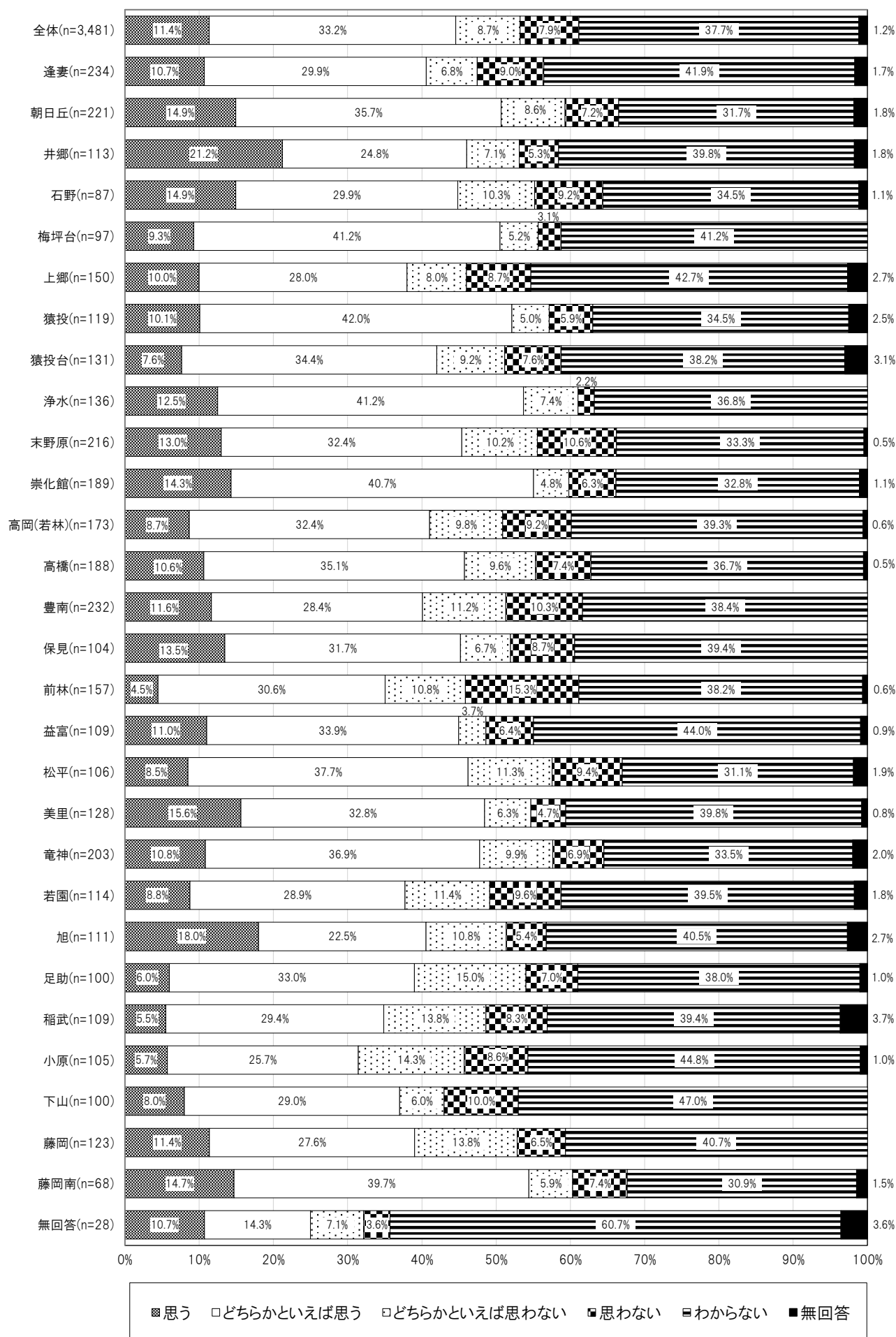
図表3-21-2 出産・子育てがしやすいまち(年齢別)



② 「出産・子育てがしやすいまち」×「居住地区」

居住地区別にみると、豊田市が出産・子育てしやすいまちだと思うと回答した市民の割合は、崇化館が 55.0%で最も高く、次いで藤岡南が 54.4%、浄水が 53.7%となっています。一方、思わないと回答した市民の割合は、前林が 26.1%と最も高くなっています。

図表3-21-3 出産・子育てがしやすいまち(居住地区別)

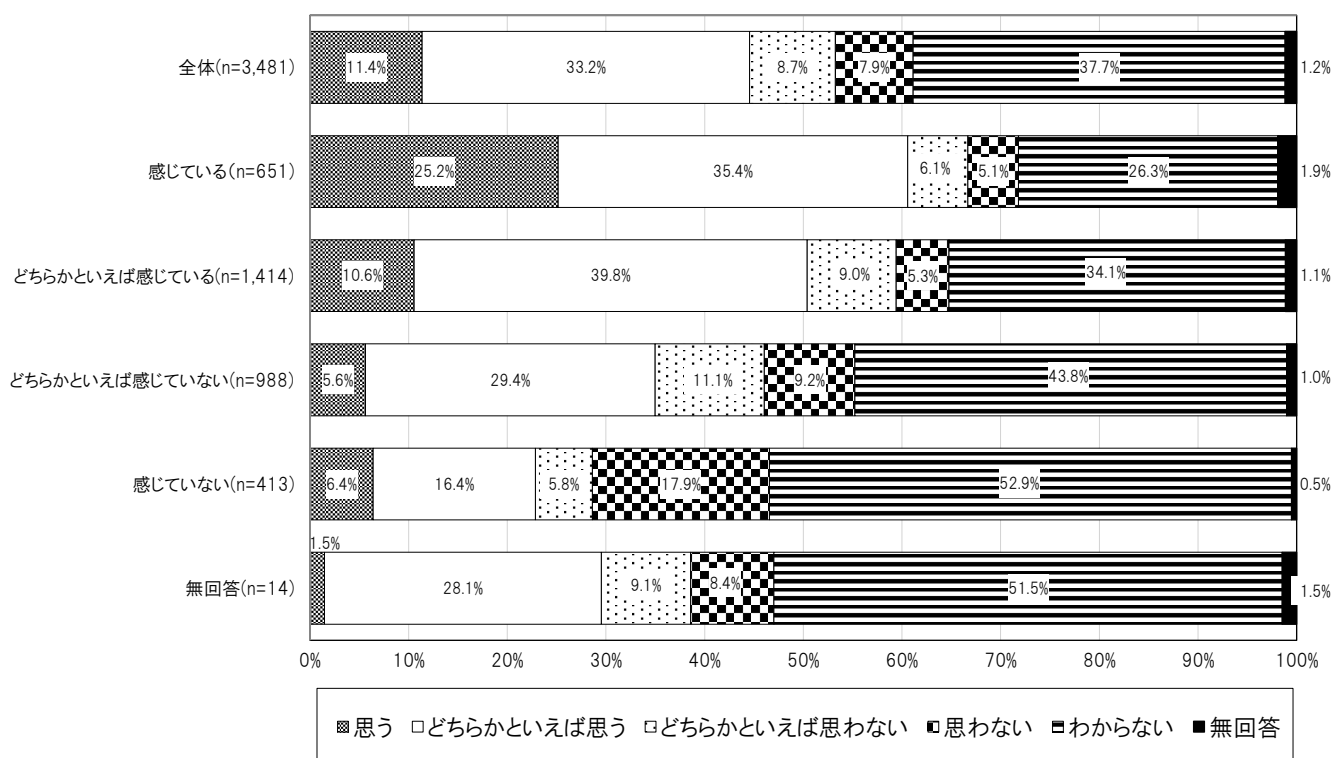


3) 設問間分析結果

① 「出産・子育てがしやすいまち」×「人や地域とのつながりの有無」

人や地域とのつながりの有無別にみると、豊田市が出産・子育てしやすいまちだと思うと回答した市民の割合は、人や地域とのつながりを「感じている」と回答した市民で 60.6%と最も高くなっています。一方、つながりを「感じていない」と回答した市民の割合では 22.8%と低くなっています。人や地域のつながりを感じる市民ほど、出産・子育てがしやすいと思う傾向にあります。

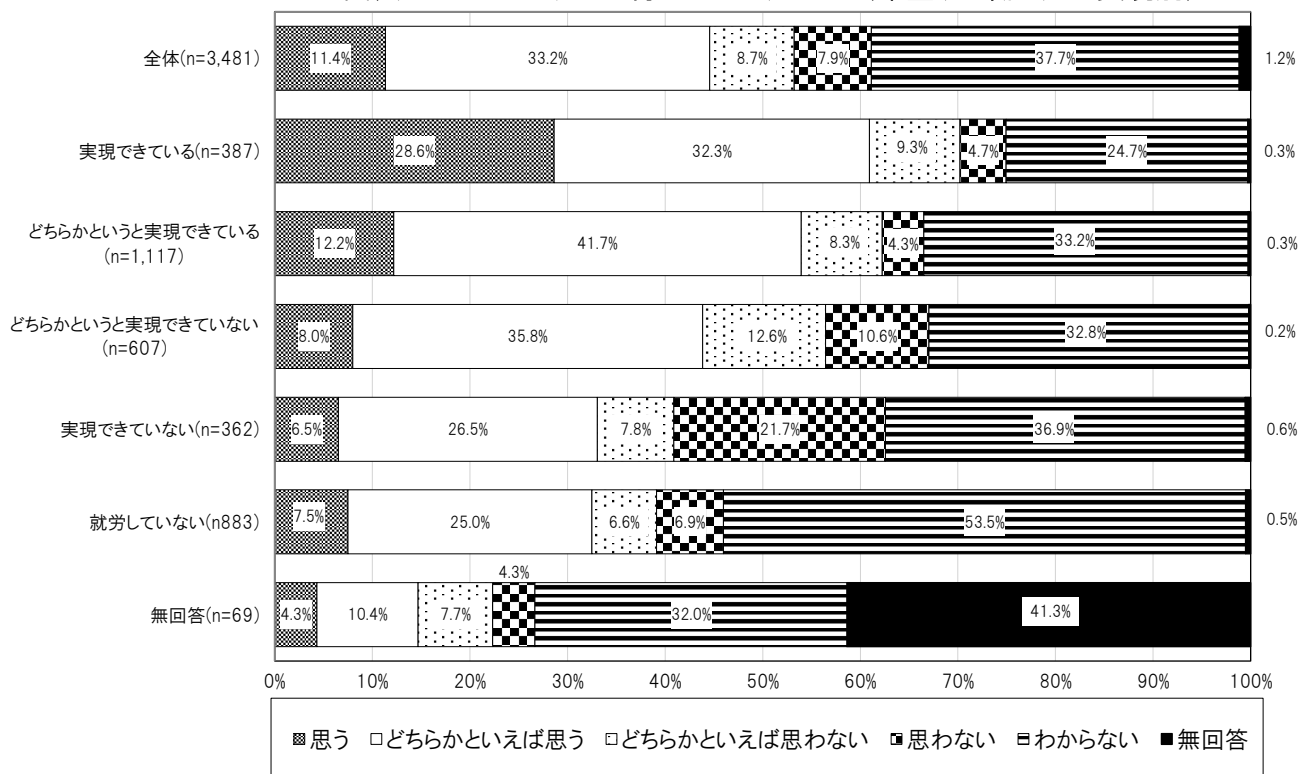
図表3-21-4 出産・子育てがしやすいまち(人や地域とのつながりの有無別)



② 「出産・子育てがしやすいまち」×「希望する働き方の実現」

希望する働き方の実現別にみると、豊田市が出産・子育てしやすいまちだと思うと回答した市民の割合は、希望する働き方を「実現できている」と回答した市民で 60.9%と最も高くなっています。一方、希望する働き方を「実現できていない」と回答した市民の割合では 33.0%と低くなっています。希望する働き方が実現できていると感じている市民ほど、出産・子育てがしやすいと思う傾向にあります。

図表3-21-5 出産・子育てがしやすいまち(希望する働き方の実現別)



(3) 地震や風水害に対して安心なまち

問 32

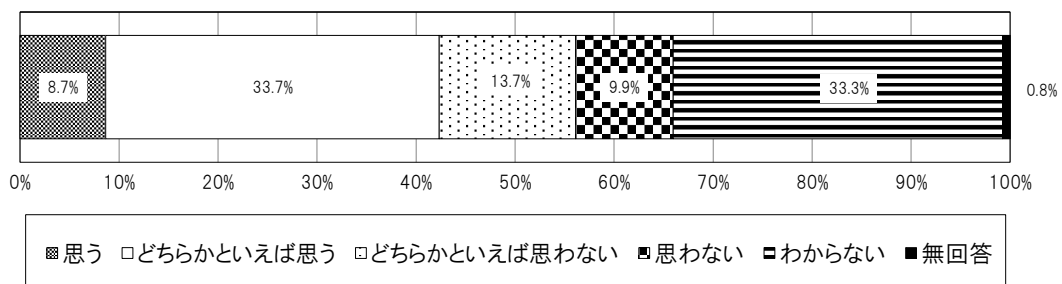
あなたは、豊田市について「地震や風水害に対して安心なまち」だと思いますか。
(1 つに○)

1) 全体集計結果

豊田市が地震や風水害に対して安心なまちだと思う（「思う」＋「どちらかといえば思う」）と回答した市民の割合は 42.4%で、思わない（「どちらかといえば思わない」＋「思わない」）と回答した市民の割合は 23.6%、「わからない」と回答した市民の割合は 33.3%となっています。

図表3-22-1 地震や風水害に対して安心なまち

n=3,481

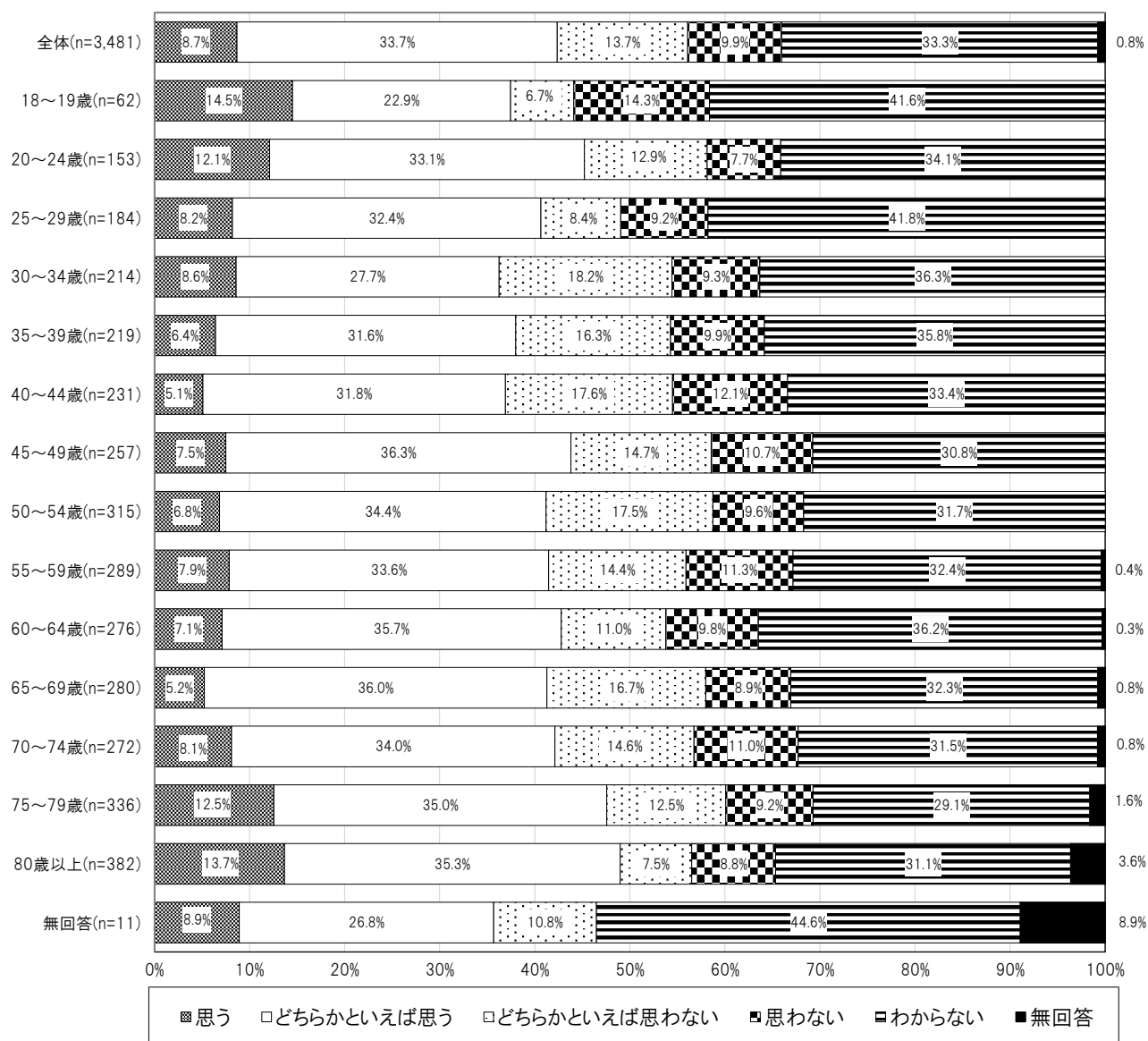


2) 属性分析結果

① 「地震や風水害に対して安心なまち」×「年齢」

年齢別にみると、豊田市が地震や風水害に対して安心なまちだと思うと回答した市民の割合は、80 歳以上が 49.0%で最も高く、次いで 75～79 歳が 47.5%、20～24 歳が 45.2%となっています。一方、思わないと回答した市民の割合は、40～44 歳が 29.7%と最も高くなっています。

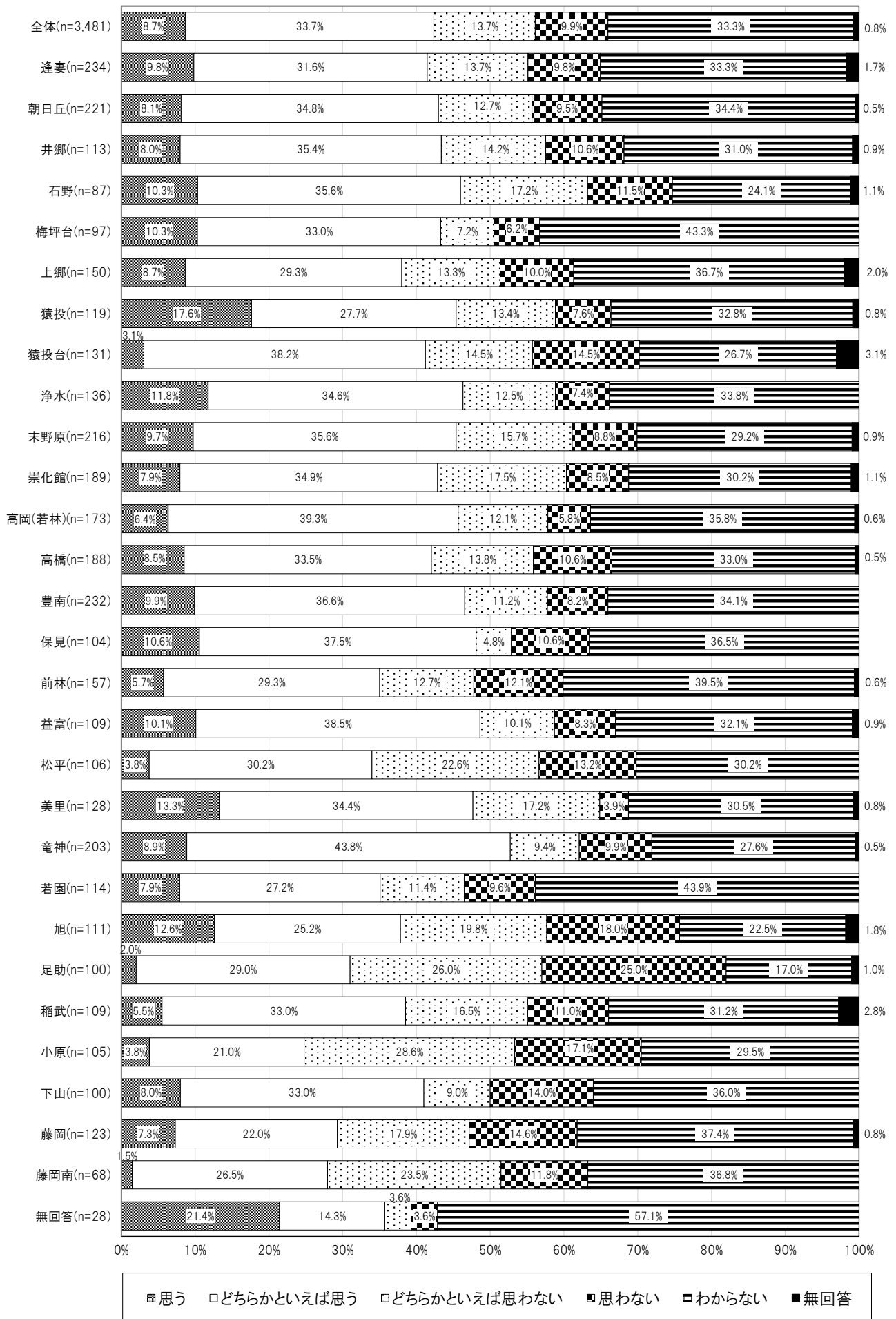
図表3-22-2 地震や風水害に対して安心なまち(年齢別)



② 「地震や風水害に対して安心なまち」×「居住地区」

居住地区別にみると、豊田市が地震や風水害に対して安心なまちだと思うと回答した市民の割合は、竜神が 52.7%で最も高く、次いで益富が 48.6%、保見が 48.1%となっています。一方、思わないと回答した市民の割合は、足助が 51.0%と最も高くなっています。

図表3-22-3 地震や風水害に対して安心なまち(居住地区別)



(4) 快適な住環境が整備されているまち

問 33

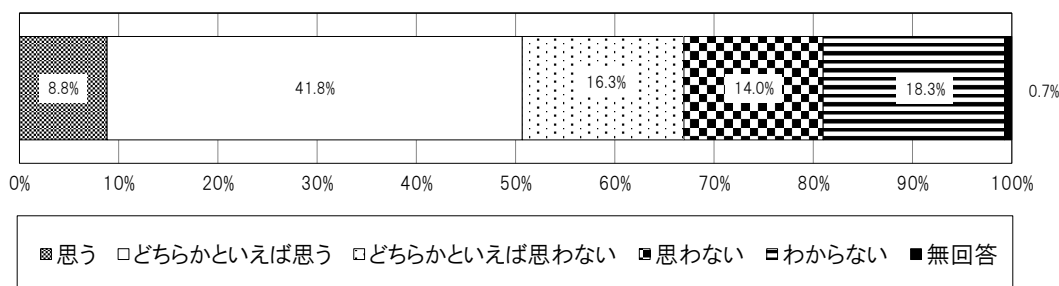
あなたは、豊田市について「快適な住環境が整備されているまち」だと思いますか。(1 つに○)

1) 全体集計結果

豊田市が快適な住環境が整備されているまちだと思う(「思う」+「どちらかといえば思う」)と回答した市民の割合は 50.6%で、思わない(「どちらかといえば思わない」+「思わない」)と回答した市民の割合は 30.3%となっています。

図表3-23-1 快適な住環境が整備されているまち

n=3,481

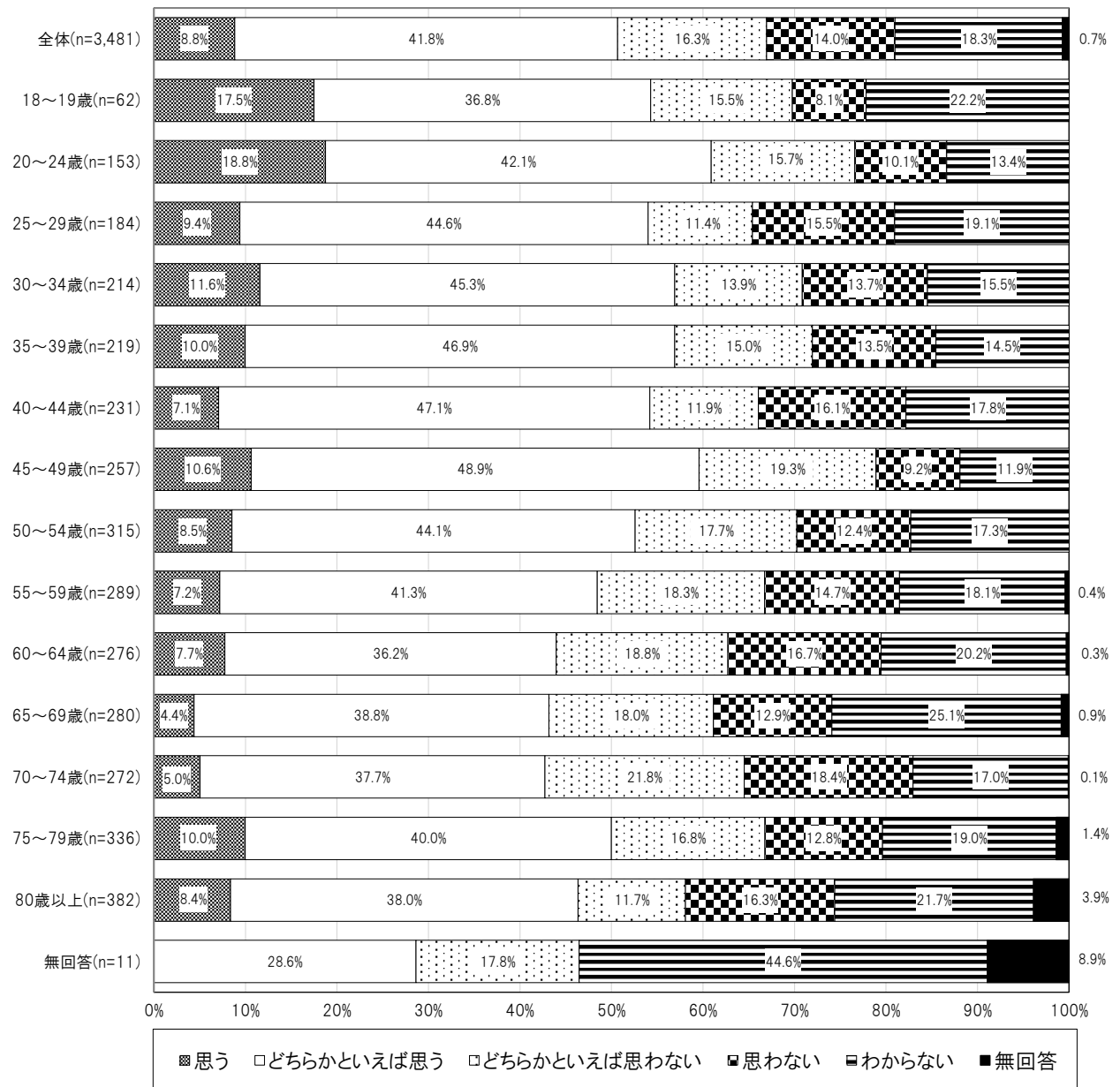


2) 属性分析結果

① 「快適な住環境が整備されているまち」×「年齢」

年齢別にみると、豊田市が快適な住環境が整備されているまちだと思うと回答した市民の割合は、20～24 歳が 60.9%で最も高く、次いで 45～49 歳が 59.5%、30～34 歳と 35～39 歳が 56.9%となっています。一方、思わないと回答した市民の割合は、70～74 歳が 40.2%と最も高くなっています。

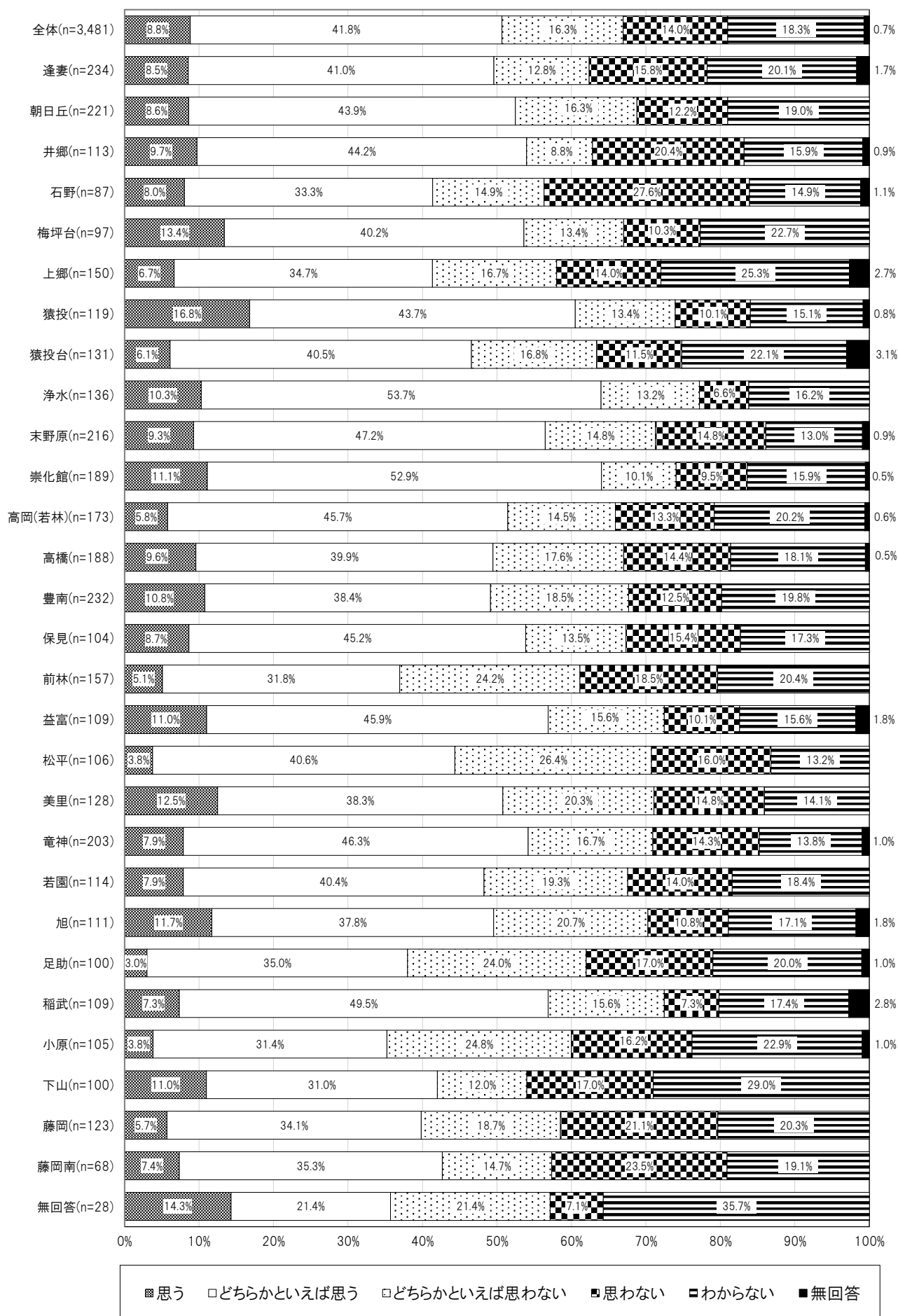
図表3-23-2 快適な住環境が整備されているまち(年齢別)



② 「快適な住環境が整備されているまち」×「居住地区」

居住地区別にみると、豊田市が快適な住環境が整備されているまちだと思うと回答した市民の割合は、浄水と崇化館が 64.0%で最も高く、次いで猿投が 60.5%となっています。一方、思わないと回答した市民の割合は、前林が 42.7%と最も高くなっています。

図表3-23-3 快適な住環境が整備されているまち(居住地区別)



(5) 利用しやすい公共交通が整っているまち

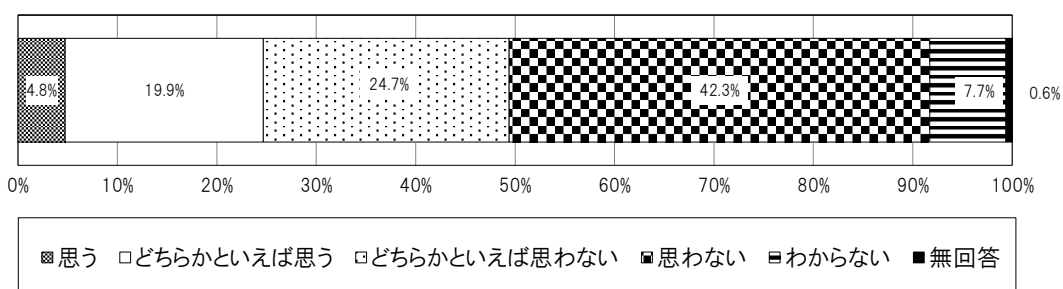
問 34

あなたは、豊田市について「利用しやすい公共交通が整っているまち」だと思いますか。(1 つに○)

1) 全体集計結果

豊田市が利用しやすい公共交通が整っているまちだと思う（「思う」＋「どちらかといえば思う」）と回答した市民の割合は 24.7%で、思わない（「どちらかといえば思わない」＋「思わない」）と回答した市民の割合は 67.0%となっています。

図表3-24-1 利用しやすい公共交通が整っているまち n=3,481

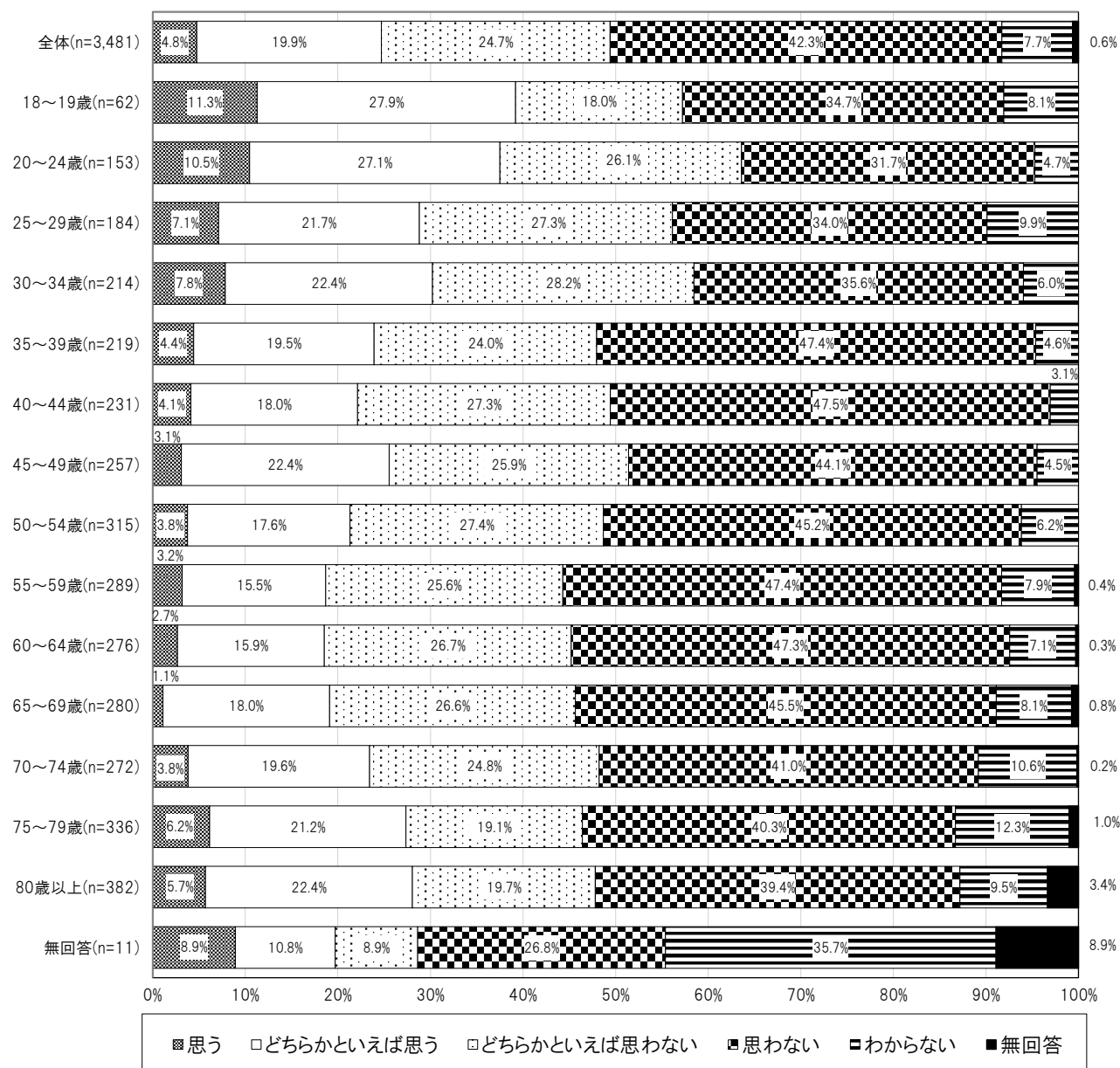


2) 属性分析結果

① 「利用しやすい公共交通が整っているまち」×「年齢」

年齢別にみると、豊田市が利用しやすい公共交通が整っているまちだと思うと回答した市民の割合は、18～19 歳で 39.2%と最も高くなっていますが、20 歳を超えると低下する傾向にあります。

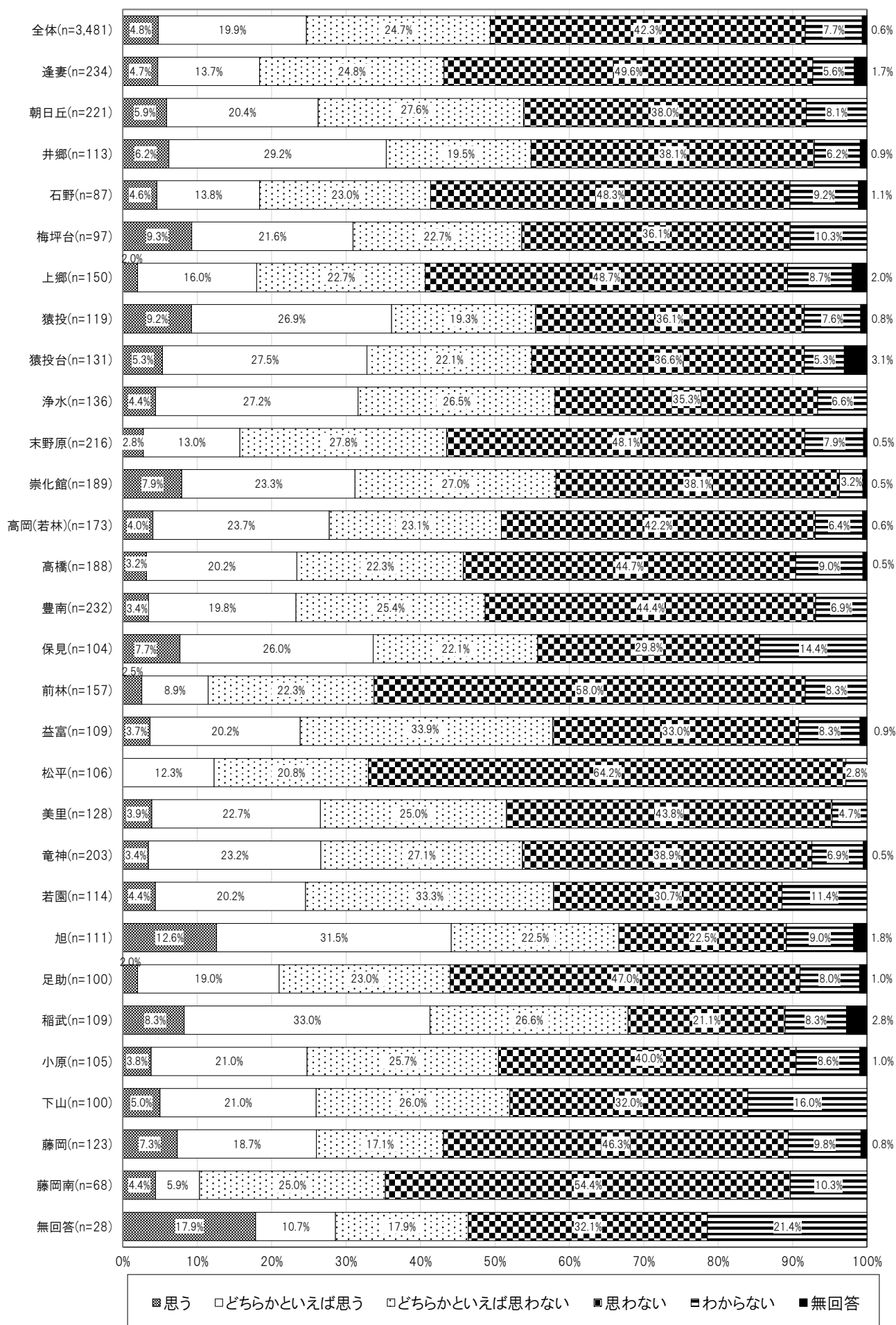
図表3-24-2 利用しやすい公共交通が整っているまち(年齢別)



② 「利用しやすい公共交通が整っているまち」×「居住地区」

居住地区別にみると、豊田市が利用しやすい公共交通が整っているまちだと思うと回答した市民の割合は、旭が44.1%と最も高く、次いで稲武が41.3%となっています。その他地域では、豊田市が利用しやすい公共交通が整っているまちだと思わないと回答した市民の割合が50%を超え、松平が85.0%で最も高く、次いで前林が80.3%、藤岡南が79.4%となっています。

図表3-24-3 利用しやすい公共交通が整っているまち(居住地区別)

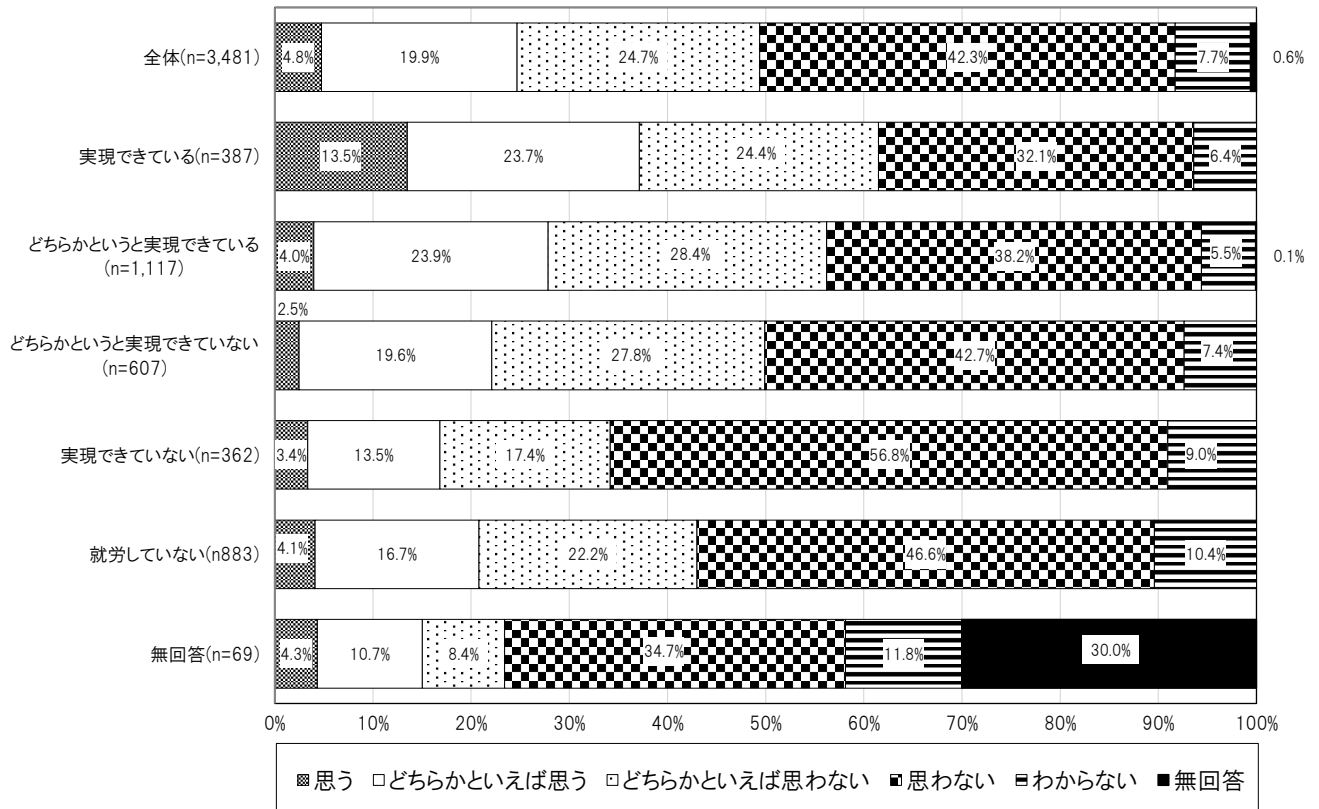


3) 設問間分析結果

① 「利用しやすい公共交通が整っているまち」×「希望する働き方の実現」

希望する働き方の実現別にみると、豊田市が利用しやすい公共交通が整っているまちだと思うと回答した市民の割合は、「実現できている」と回答した市民で 37.2%と最も高くなっています。一方、「実現できていない」と回答した市民では 16.9%と低くなっています。

図表3-24-4利用しやすい公共交通が整っているまち(希望する働き方の実現別)



（６）中心市街地のにぎわいや魅力の有無

問 35

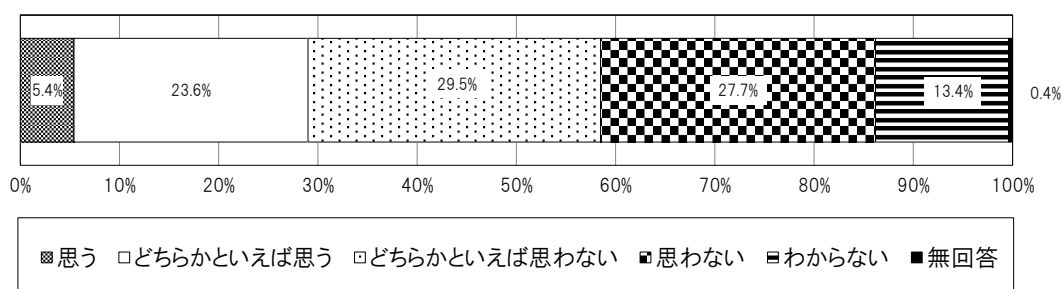
あなたは、豊田市の中心市街地（名鉄豊田市駅の周辺）のにぎわいや魅力があると思いますか。（1 つに○）

1）全体集計結果

豊田市の中心市街地（名鉄豊田市駅の周辺）のにぎわいや魅力があると思う（「思う」＋「どちらかといえば思う」）と回答した市民の割合は 29.0%で、思わない（「どちらかといえば思わない」＋「思わない」）と回答した市民の割合は 57.2%となっています。

図表3-25-1 中心市街地のにぎわいや魅力の有無

n=3,481

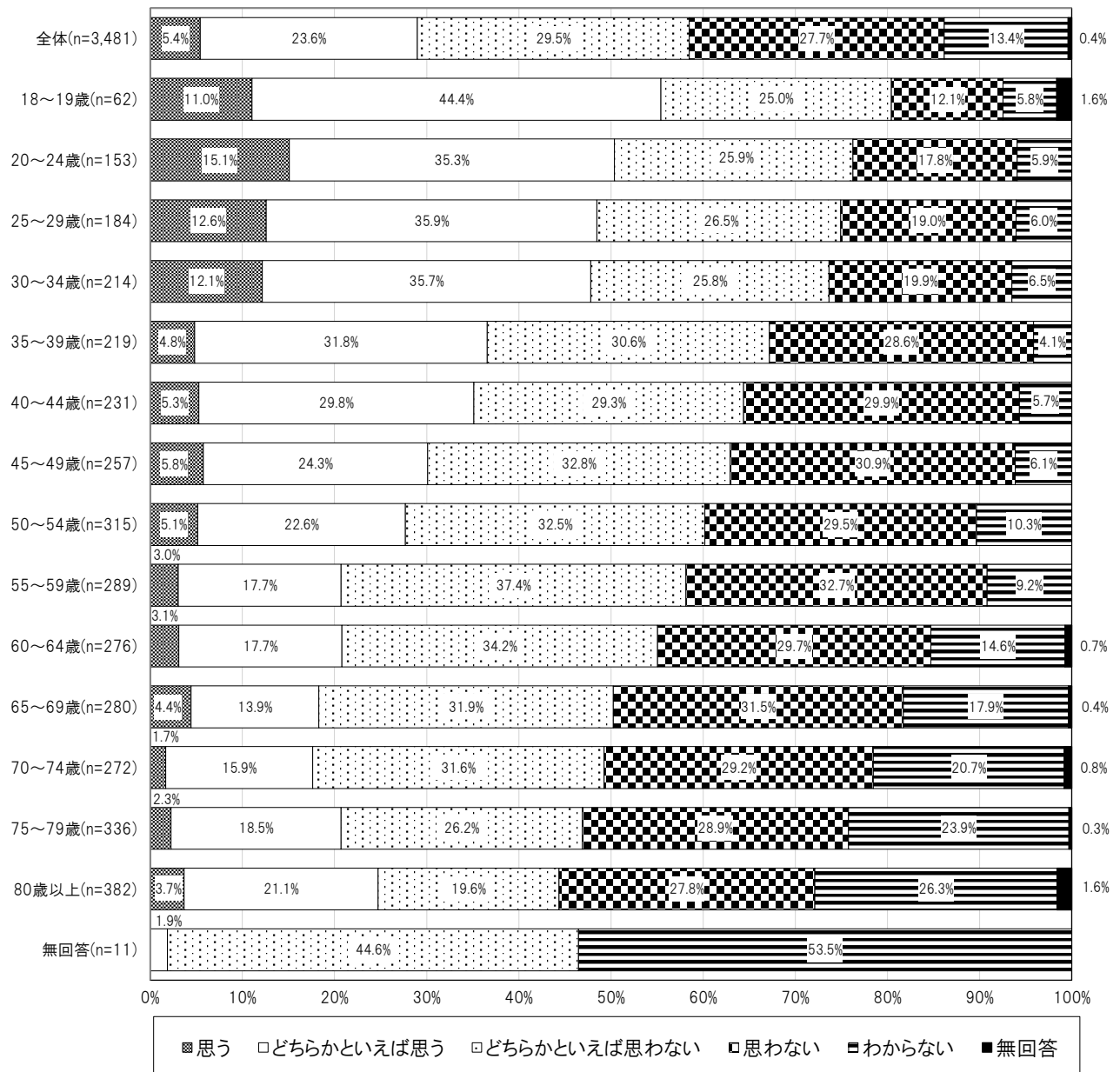


2）属性分析結果

① 「中心市街地のにぎわいや魅力の有無」×「年齢」

年齢別にみると、豊田市の中心市街地のにぎわいや魅力があると思うと回答した市民の割合は、18～19 歳が 55.4%で最も高く、次いで 20～24 歳が 50.4%となっています。一方、思わないと回答した市民の割合は、55～59 歳が 70.1%と最も高くなっています。思わないと回答した市民の割合は、年齢が上がるほど高くなる傾向があります。

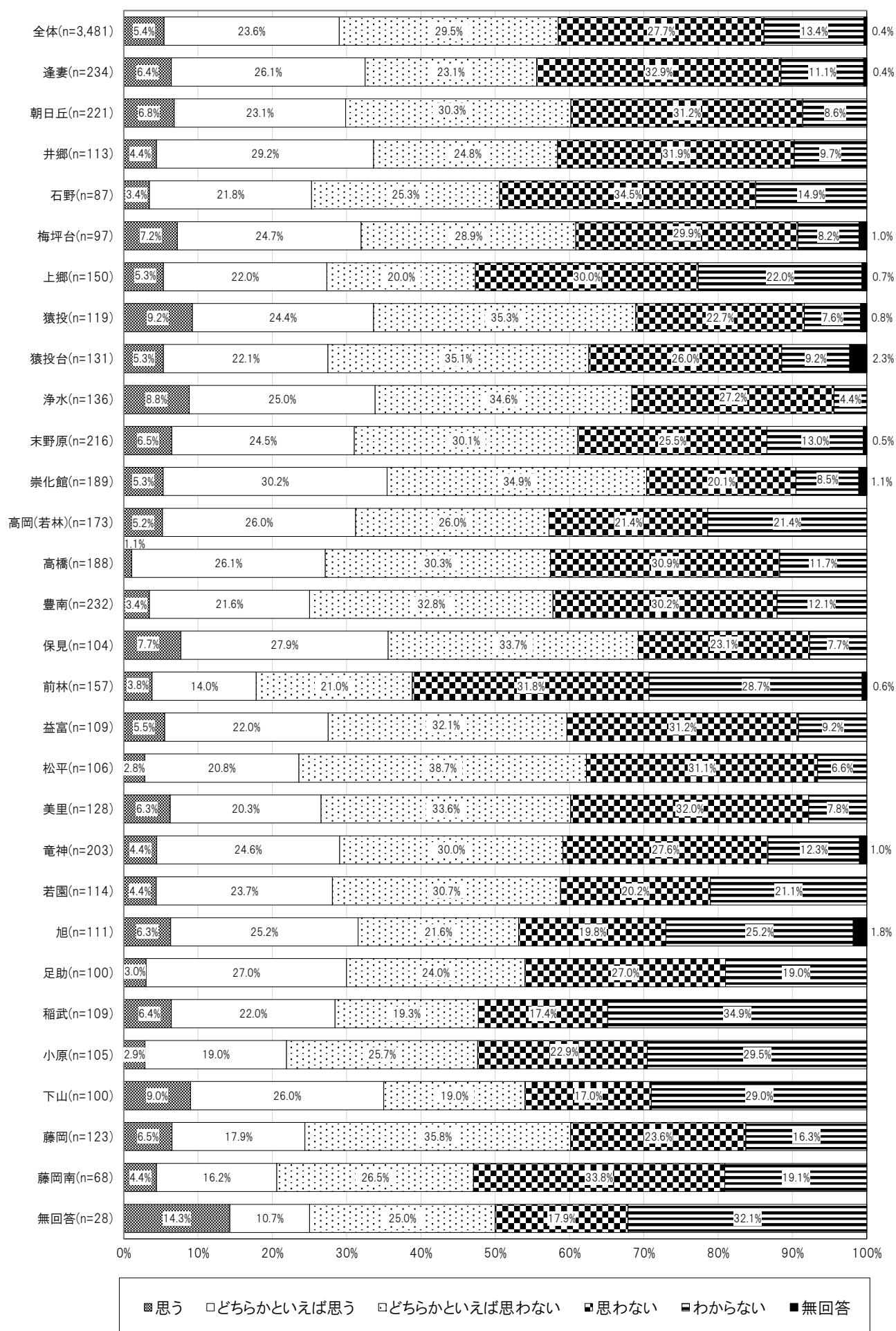
図表3-25-2 中心市街地のにぎわいや魅力の有無(年齢別)



② 「中心市街地のにぎわいや魅力の有無」×「居住地区」

居住地区別にみると、豊田市の中心市街地のにぎわいや魅力があると思うと回答した市民の割合は、保見が 35.6%で最も高く、次いで崇化館が 35.5%、下山が 35.0%となっています。一方、思わないと回答した市民の割合は、松平が 69.8%と最も高くなっています。

図表3-25-3 中心市街地のにぎわいや魅力の有無(居住地区別)



(7) 市民と行政が役割分担をしながらまちづくりを進めているまち

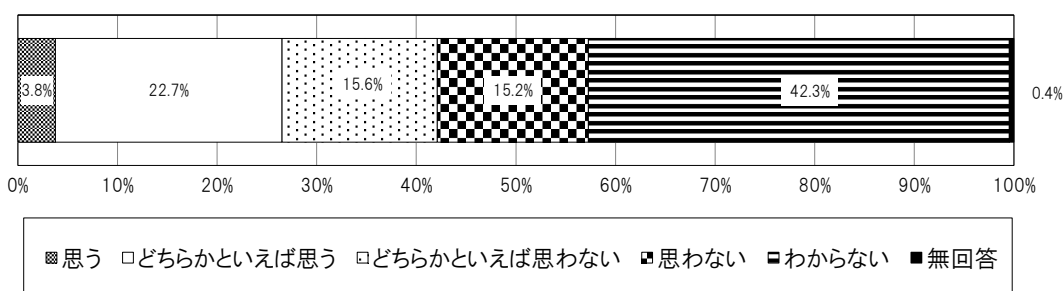
問 36

あなたは、豊田市について「市民と行政が役割分担をしながらまちづくりを進めているまち」だと思いますか。(1 つに○)

1) 全体集計結果

豊田市が市民と行政が役割分担をしながらまちづくりを進めているまちだと思う(「思う」+「どちらかといえば思う」)と回答した市民の割合は 26.5%で、思わない(「どちらかといえば思わない」+「思わない」)と回答した市民の割合は 30.8%、「わからない」と回答した市民の割合は 42.3%となっています。

図表3-26-1 市民と行政が役割分担をしながらまちづくりを進めているまち n=3,481

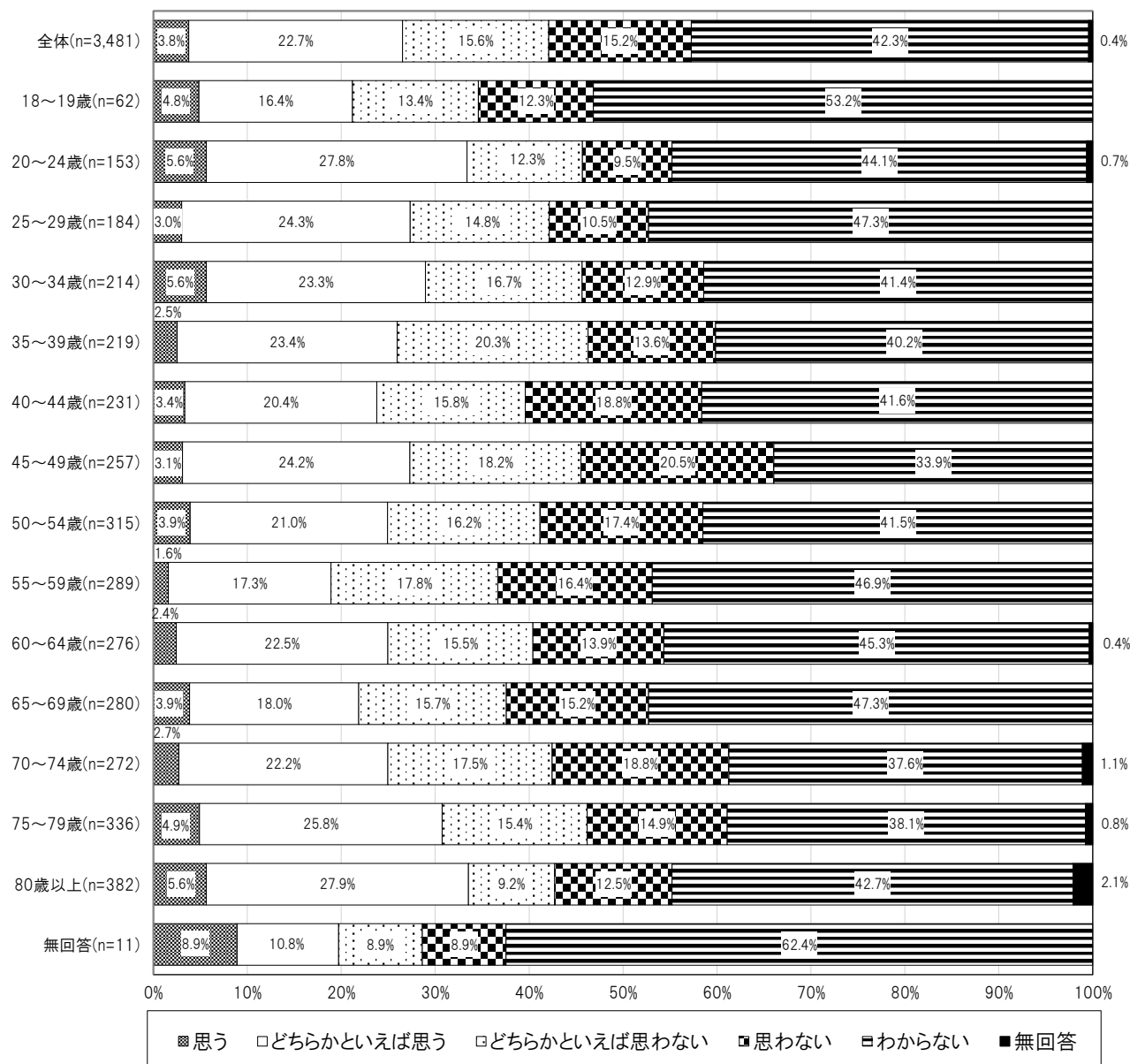


2) 属性分析結果

① 「市民と行政が役割分担しながらまちづくりを進めているまち」×「年齢」

年齢別にみると、豊田市が市民と行政が役割分担をしながらまちづくりを進めているまちだと思うと回答した市民の割合は、80 歳以上が 33.5%で最も高く、次いで 20～24 歳が 33.4%となっています。一方、思わないと回答した市民の割合は、45～49 歳が 38.7%と最も高くなっています。

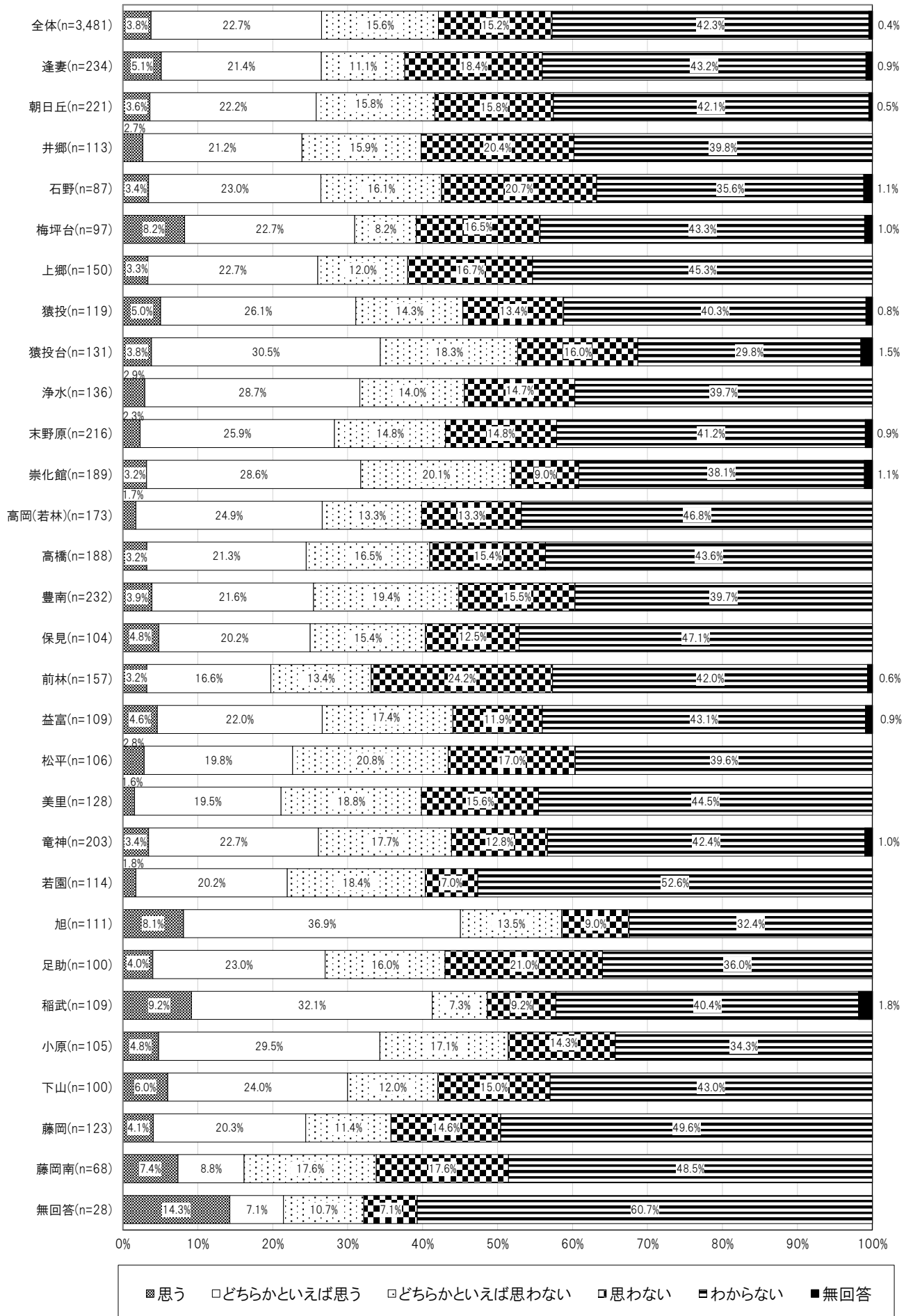
図表3-26-2 市民と行政が役割分担をしながらまちづくりを進めているまち(年齢別)



② 「市民と行政が役割分担しながらまちづくりを進めているまち」×「居住地区」

居住地区別にみると、豊田市が市民と行政が役割分担をしながらまちづくりを進めているまちだと思うと回答した市民の割合は、旭が 45.0%で最も高く、次いで稲武が 41.3%、猿投台と小原が 34.3%となっています。一方、思わないと回答した市民の割合は、松平が 37.8%と最も高くなっています。

図表3-26-3 市民と行政が役割分担をしながらまちづくりを進めているまち(居住地区別)



(8) 公共施設が適切に維持・管理されているまち

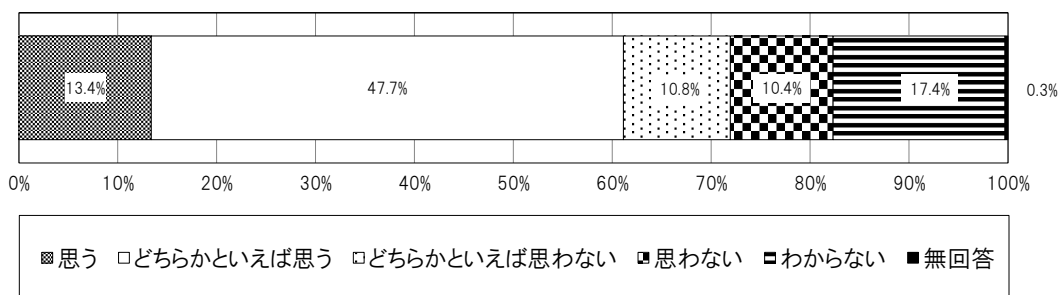
問 37

あなたは、豊田市について「公共施設（建物、道路、公園、上下水道、河川施設など）が適切に維持・管理されているまち」だと思いますか。（1 つに○）

1) 全体集計結果

豊田市が公共施設（建物、道路、公園、上下水道、河川施設など）が適切に維持・管理されているまちだと思う（「思う」＋「どちらかといえば思う」）と回答した市民の割合は 61.1% で、思わない（「どちらかといえば思わない」＋「思わない」）と回答した市民の割合は 21.2% となっています。

図表3-27-1 公共施設が適切に維持・管理されているまち n=3,481

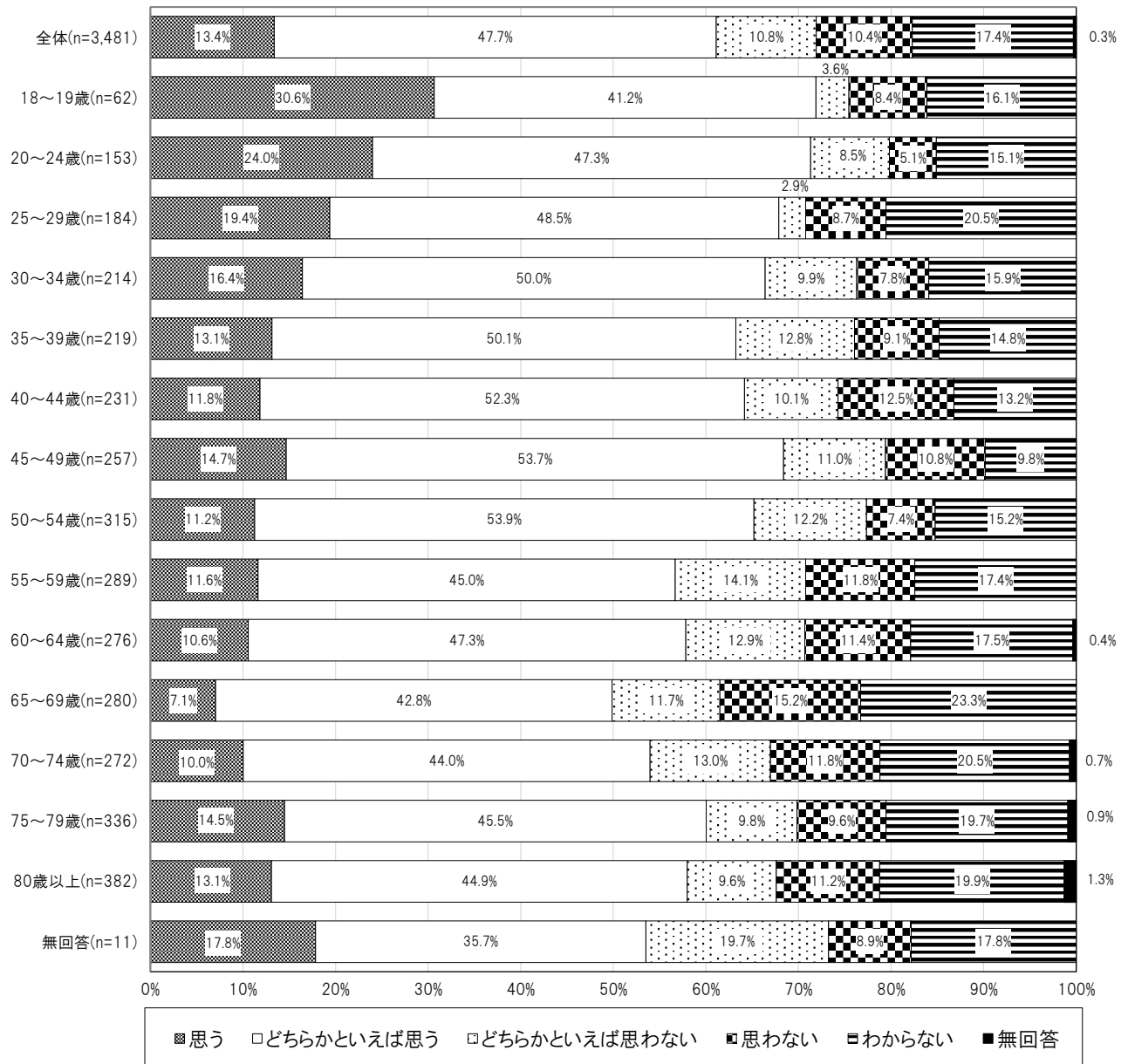


2) 属性分析結果

① 「公共施設が適切に維持・管理されているまち」×「年齢」

年齢別にみると、豊田市は公共施設が適切に維持・管理されているまちだと思うと回答した市民の割合は、18～19 歳が 71.8%で最も高く、次いで 20～24 歳が 71.3%となっています。一方、思わないと回答した市民の割合は、65～69 歳が 26.9%と最も高くなっています。

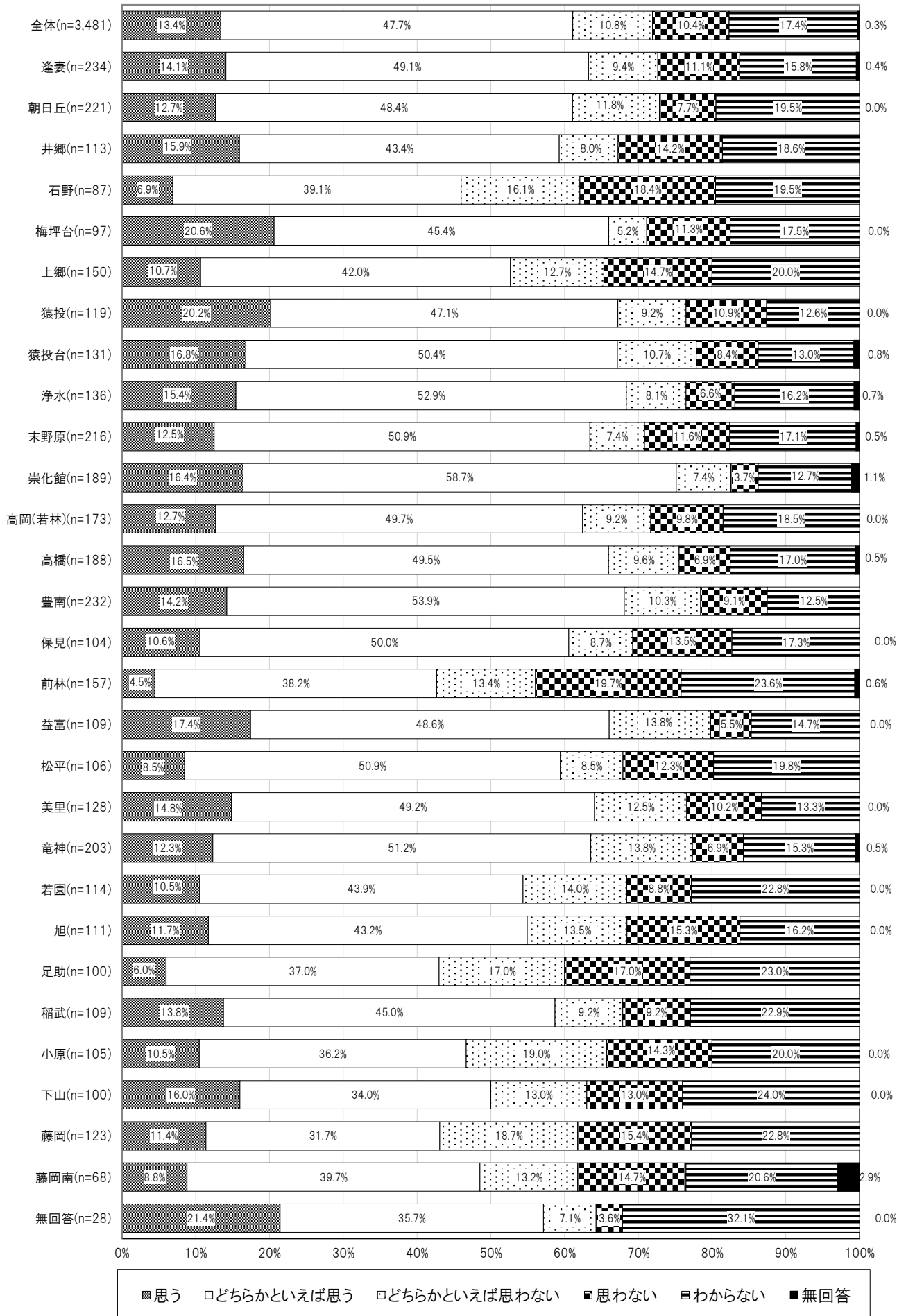
図表3-27-2 公共施設が適切に維持・管理されているまち(年齢別)



② 「公共施設が適切に維持・管理されているまち」×「居住地区」

居住地区別にみると、豊田市は公共施設が適切に維持・管理されているまちだと思うと回答した市民の割合は、崇化館が 75.1%で最も高く、次いで浄水が 68.3%、豊南が 68.1%となっています。一方、思わないと回答した市民の割合は、石野が 34.5%と最も高くなっています。

図表3-27-3 公共施設が適切に維持・管理されているまち(居住地区別)



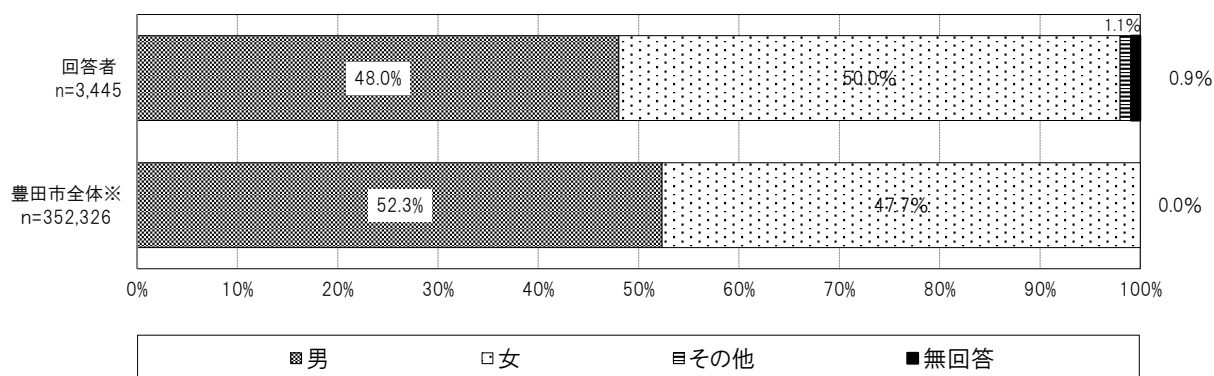
【調査票 B】

第4章 回答者の属性

1 性別

あなたの性別をお答えください。(1つに○)

図表4-1 性別

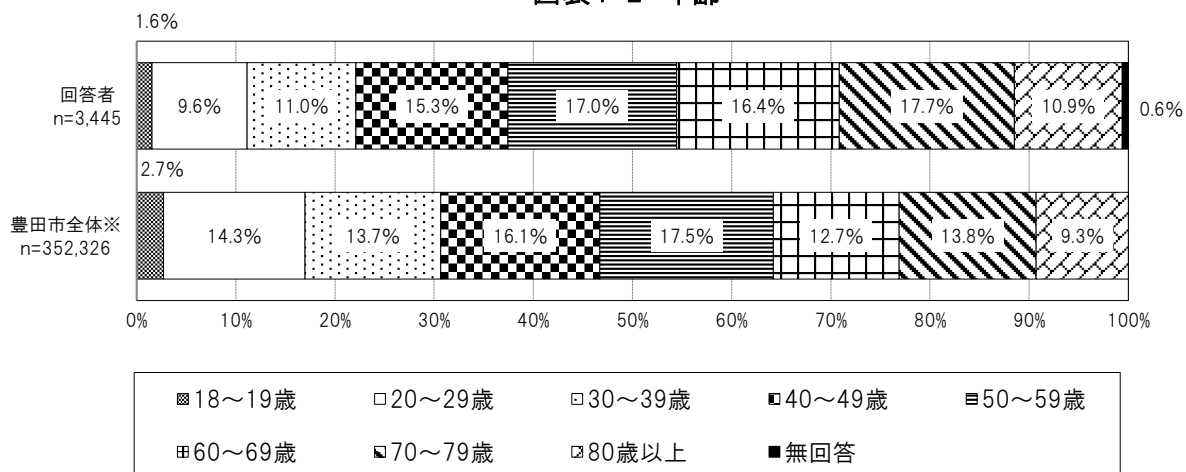


※令和7年5月1日時点での18歳以上の住民基本台帳人口

2 年齢

あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

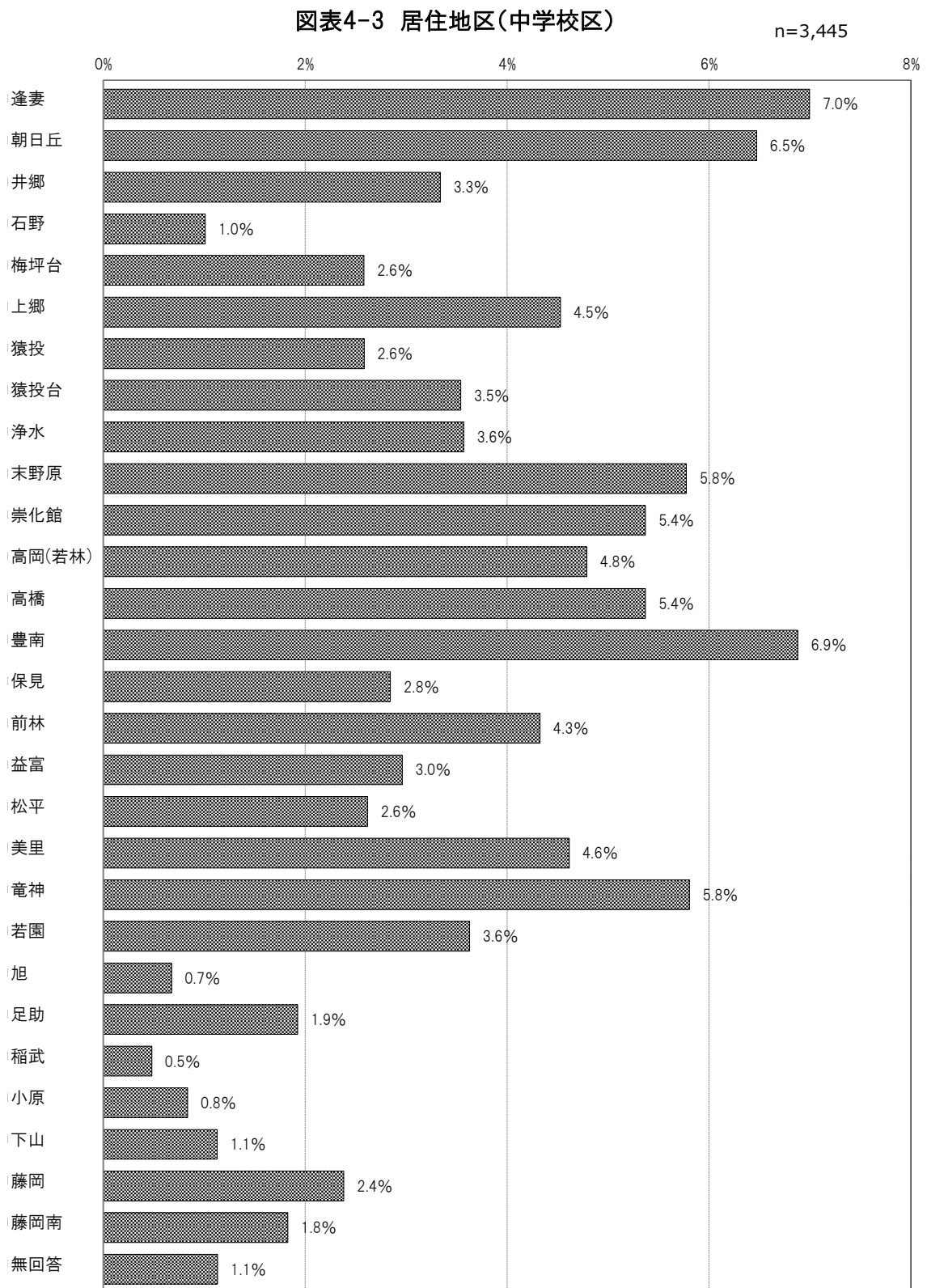
図表4-2 年齢



※令和7年5月1日時点での18歳以上の住民基本台帳人口

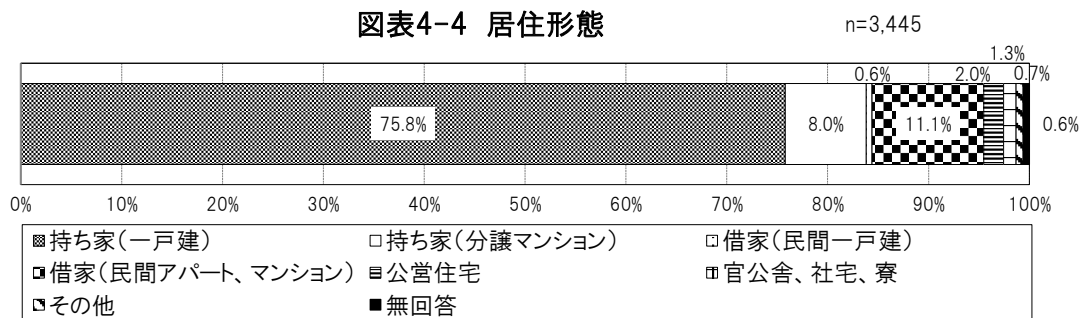
3 居住地区（中学校区）

あなたのお住まいは、どの地区（中学校区）にありますか。次の中から選んでください。地区がわからない場合は、町丁名を記入してください。（1 つに○）



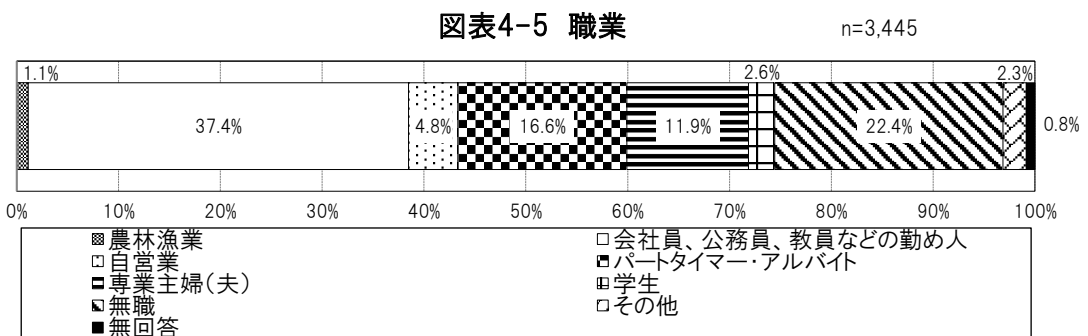
4 居住形態

あなたのお住まいの形態をお答えください。(1つに○)



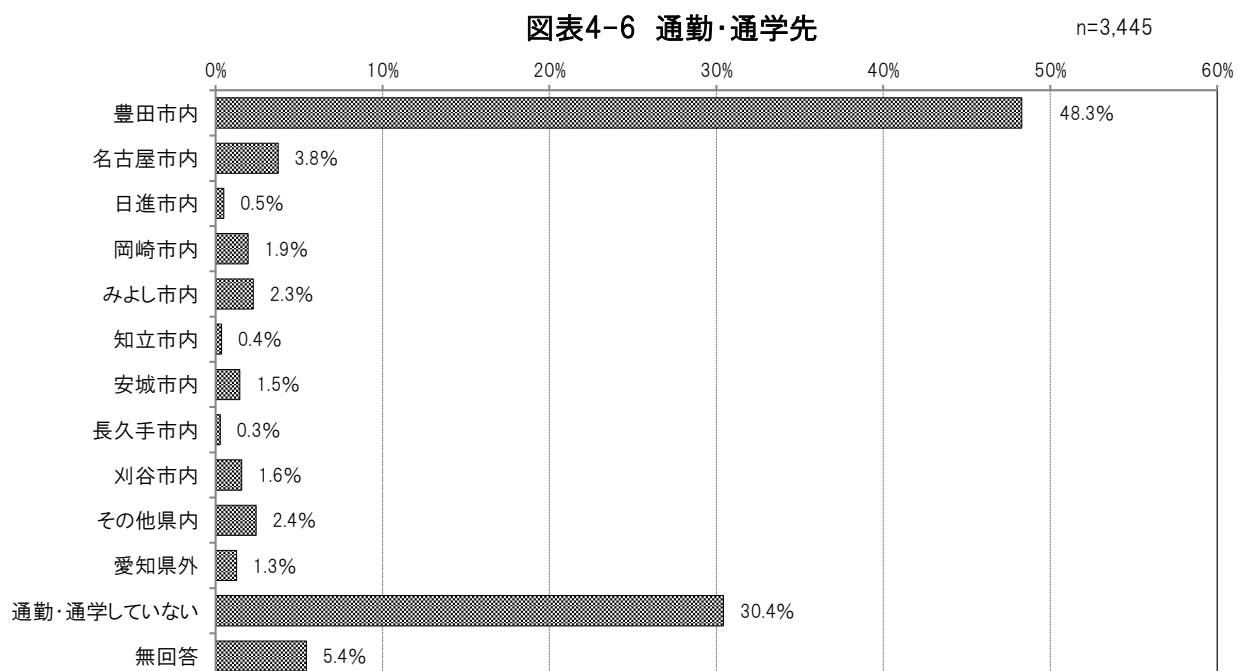
5 職業

あなたの主たる職業をお答えください。(1つに○)



6 通勤・通学先

あなたの通勤・通学先はどちらですか。(1つに○)

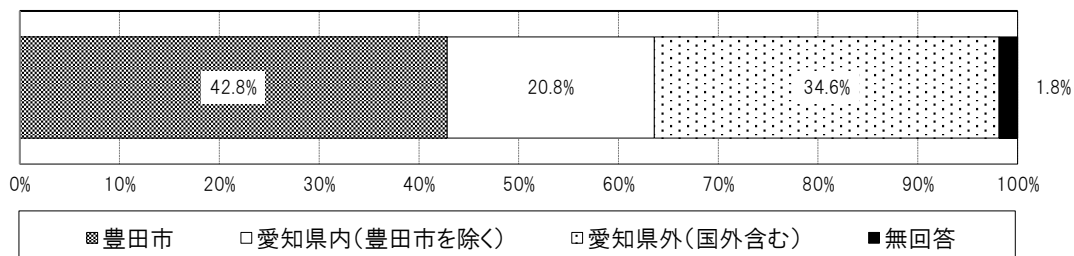


7 出生地

あなたの出生地（お生まれ）はどちらですか。（1 つに○）

図表4-7 出生地

n=3,445

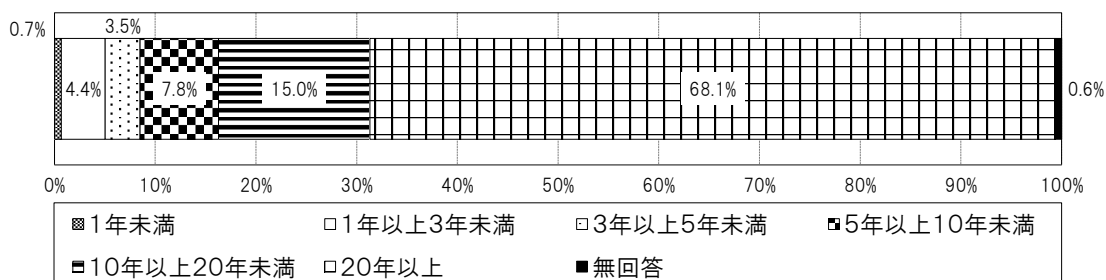


8 居住年数

前問で「2. 愛知県内（豊田市を除く）」、「3. 愛知県外（国外含む）」とお答えの方にお聞きします。あなたは、豊田市にお住まいになって何年になりますか。（1 つに○）

図表4-8 居住年数

n=1,906

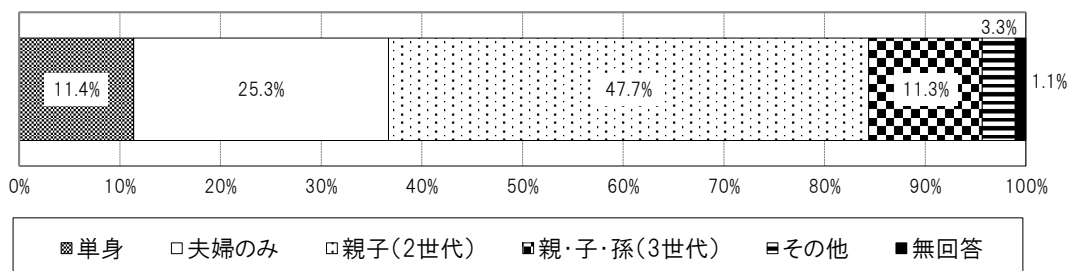


9 同居の家族構成

あなたの同居している家族構成をお答えください。（1 つに○）

図表4-9 同居の家族構成

n=3,445

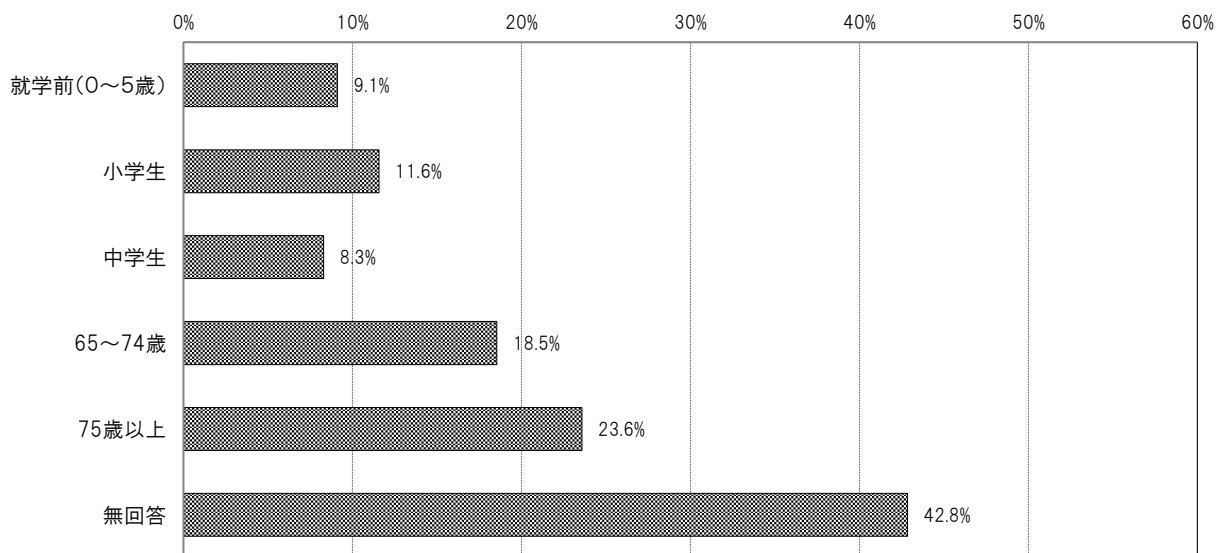


10 同居している家族

あなたの同居の家族に次の方はいますか。（当てはまるもの全てに○）

図表4-10 同居している家族

n=3,445



※無回答には、就学前や小中学生、65歳以上の方が「いない」人を含みます。

第5章 調査結果

1 普段の生活

(1) 健康づくりへの取組状況

問 11

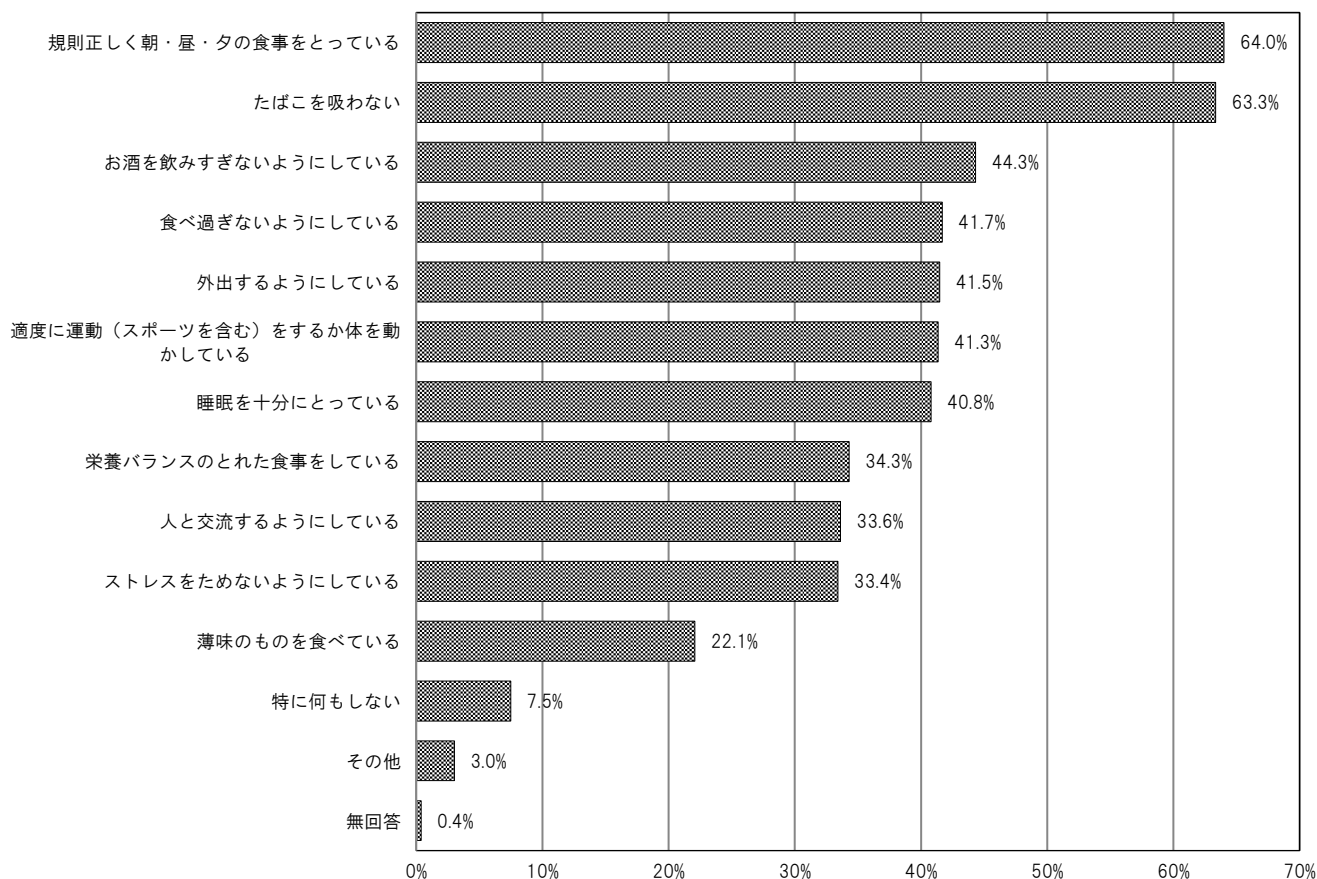
あなたは、日ごろ健康づくりのため、どのようなことに取り組んでいますか。
(当てはまるもの全てに○)

1) 全体集計結果

日ごろ健康づくりのために取り組んでいる内容は、「規則正しい朝・昼・夕の食事をとっている」が64.0%と最も高く、次いで「たばこを吸わない」が63.3%、「お酒を飲みすぎないようにしている」が44.3%となっています。一方、「特に何もしない」と回答した市民の割合は7.5%と低くなっています。

図表5-1-1 健康づくりへの取組状況

n=3,445



2) 属性分析結果

① 「健康づくりへの取組状況」×「年齢」

年齢別にみると、日ごろ健康づくりのために取り組んでいる内容として、年齢が高くなるにつれて「規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている」、「食べ過ぎないようにしている」、「適度に運動をするか体を動かしている」や「睡眠を十分にとっている」と回答した市民の割合が高くなる傾向にあります。また、「たばこを吸わない」と回答した市民の割合は、概ね全ての年齢で高くなっています。

図表5-1-2 健康づくりへの取組状況(年齢別)

	を規則正しく朝・昼・夕の食事	たばこを吸わない	お酒を飲みすぎないようにしている	食べ過ぎないようにしている	外出するようにしている	適度に運動(スポーツを含む)をするか体を動かしている	睡眠を十分にとっている	栄養バランスのとれた食事をしている	人と交流するようにしている	ストレスをためないようにしている	薄味のもの食べている	特に何もしない	その他	無回答
全体(n=3,445)	64.0%	63.3%	44.3%	41.7%	41.5%	41.3%	40.8%	34.3%	33.6%	33.4%	22.1%	7.5%	3.0%	0.4%
18～19歳(n=54)	42.9%	45.3%	28.8%	27.1%	46.9%	22.4%	39.7%	15.5%	36.3%	29.6%	9.0%	16.8%	0.0%	0.0%
20～24歳(n=153)	43.4%	60.4%	52.7%	24.4%	49.2%	36.5%	39.8%	21.4%	42.0%	22.0%	10.3%	7.6%	0.0%	0.0%
25～29歳(n=177)	53.4%	64.2%	50.8%	30.1%	47.8%	34.2%	42.1%	33.2%	32.8%	30.0%	11.1%	6.1%	1.2%	0.0%
30～34歳(n=185)	50.6%	63.1%	55.8%	30.9%	43.2%	23.6%	43.0%	27.0%	29.9%	28.5%	8.9%	6.3%	2.2%	0.0%
35～39歳(n=193)	57.1%	65.9%	51.0%	31.4%	37.5%	26.4%	35.9%	26.8%	27.3%	26.8%	13.8%	5.9%	1.0%	0.0%
40～44歳(n=254)	53.0%	61.0%	42.9%	29.6%	37.8%	33.0%	33.0%	26.1%	28.1%	23.6%	12.2%	9.2%	1.5%	0.6%
45～49歳(n=274)	50.7%	62.2%	44.8%	34.1%	34.6%	31.1%	31.2%	29.0%	25.5%	29.0%	14.9%	8.9%	1.8%	0.4%
50～54歳(n=282)	57.9%	58.9%	45.3%	39.0%	40.4%	37.6%	32.0%	36.1%	25.3%	31.0%	21.4%	7.8%	2.3%	0.4%
55～59歳(n=304)	57.7%	61.0%	43.2%	41.3%	35.8%	37.5%	32.1%	34.1%	25.6%	33.3%	21.5%	8.9%	0.8%	0.3%
60～64歳(n=277)	62.4%	58.6%	39.2%	47.5%	36.8%	42.7%	42.6%	37.1%	32.3%	37.1%	24.5%	5.4%	4.2%	0.0%
65～69歳(n=287)	75.1%	65.4%	37.6%	46.3%	37.9%	47.5%	35.1%	34.1%	33.2%	36.2%	20.5%	7.0%	1.6%	1.0%
70～74歳(n=279)	74.1%	67.7%	43.5%	45.5%	43.4%	57.6%	42.3%	38.0%	40.9%	38.6%	29.7%	5.6%	5.6%	0.3%
75～79歳(n=330)	82.7%	70.3%	41.8%	59.1%	50.2%	56.2%	52.4%	42.7%	44.1%	45.9%	37.6%	6.0%	4.0%	0.9%
80歳以上(n=375)	85.7%	66.1%	43.6%	56.3%	46.4%	53.5%	58.7%	46.2%	44.0%	36.8%	36.1%	9.1%	8.0%	0.5%
無回答(n=21)	72.0%	56.8%	43.2%	52.8%	28.0%	48.0%	62.4%	37.6%	38.4%	56.8%	52.0%	9.6%	14.4%	0.0%

※回答を見やすくするよう、回答率40%以上に濃い影、20%以上40%未満に薄い影をつけました。

① 「健康づくりへの取組状況」×「居住地区」

居住地区別にみると、日ごろ健康づくりのために取り組んでいる内容は、すべての地区において「規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている」と回答した市民の割合が高くなっています。また、「たばこを吸わない」や「お酒を飲みすぎないようにしている」と回答した市民の割合も概ね全ての地区で高い傾向にあります。

図表5-1-3 健康づくりへの取組状況(居住地区別)

	規則正しく朝・昼・夕の食事 をとっている	たばこを吸わない	お酒を飲みすぎないように している	食べ過ぎないように している	外出するように している	適度に運動(スポーツを 含む)をするか体を動か している	睡眠を十分にと っている	栄養バランスのとれた食 事をしている	人と交流する ようにしている	ストレスをた めないようにし ている	薄味のもの を食べている	特に何もし ない	その他	無 回 答
全体 (n=3,445)	64.0%	63.3%	44.3%	41.7%	41.5%	41.3%	40.8%	34.3%	33.6%	33.4%	22.1%	7.5%	3.0%	0.4%
逢妻 (n=241)	61.4%	61.8%	41.5%	40.7%	39.0%	37.8%	33.6%	31.5%	29.5%	31.1%	19.9%	4.6%	2.5%	0.4%
朝日丘 (n=223)	60.1%	65.9%	47.1%	41.3%	38.6%	43.9%	43.5%	38.6%	33.6%	34.1%	26.9%	10.8%	1.3%	0.4%
井郷 (n=115)	59.1%	67.0%	43.5%	40.0%	37.4%	39.1%	39.1%	36.5%	32.2%	26.1%	22.6%	9.6%	0.9%	0.0%
石野 (n=87)	70.1%	63.2%	50.6%	37.9%	40.2%	46.0%	50.6%	34.5%	40.2%	35.6%	25.3%	4.6%	5.7%	0.0%
梅坪台 (n=89)	62.9%	67.4%	44.9%	38.2%	42.7%	34.8%	33.7%	32.6%	28.1%	28.1%	18.0%	12.4%	3.4%	0.0%
上郷 (n=156)	66.7%	66.0%	50.0%	36.5%	37.8%	48.1%	41.7%	30.1%	31.4%	30.8%	16.7%	7.7%	3.8%	0.6%
猿投 (n=106)	64.2%	68.9%	53.8%	51.9%	37.7%	50.0%	41.5%	38.7%	25.5%	34.0%	27.4%	5.7%	3.8%	0.9%
猿投台 (n=122)	70.5%	67.2%	49.2%	40.2%	41.8%	44.3%	36.1%	35.2%	32.0%	29.5%	21.3%	9.0%	4.9%	0.0%
浄水 (n=123)	64.2%	63.4%	51.2%	41.5%	44.7%	35.8%	35.8%	38.2%	28.5%	33.3%	13.8%	8.9%	6.5%	0.0%
末野原 (n=199)	55.3%	61.8%	43.2%	40.2%	42.2%	42.7%	42.2%	29.1%	40.7%	35.7%	20.1%	9.0%	2.5%	0.0%
崇化館 (n=185)	61.6%	61.1%	43.8%	44.9%	48.1%	41.6%	42.7%	40.0%	30.3%	33.5%	25.9%	7.0%	1.1%	0.0%
高岡(若林) (n=165)	58.8%	57.0%	42.4%	38.8%	43.6%	41.8%	41.8%	34.5%	38.2%	37.6%	18.8%	7.9%	2.4%	0.6%
高橋 (n=185)	62.7%	63.8%	38.9%	42.2%	35.1%	38.9%	40.5%	35.1%	25.9%	34.1%	21.1%	7.6%	4.3%	1.1%
豊南 (n=237)	65.8%	62.9%	41.8%	43.5%	43.9%	40.9%	39.2%	35.0%	34.6%	31.2%	21.5%	7.6%	2.5%	0.8%
保見 (n=98)	65.3%	68.4%	38.8%	42.9%	41.8%	41.8%	49.0%	31.6%	35.7%	29.6%	30.6%	7.1%	2.0%	0.0%
前林 (n=149)	66.4%	57.7%	41.6%	44.3%	43.0%	35.6%	41.6%	30.9%	32.9%	33.6%	18.8%	5.4%	2.7%	0.7%
益富 (n=102)	71.6%	63.7%	49.0%	45.1%	51.0%	44.1%	40.2%	46.1%	45.1%	28.4%	25.5%	6.9%	2.0%	1.0%
松平 (n=107)	64.5%	68.2%	50.5%	43.9%	35.5%	44.9%	43.9%	31.8%	31.8%	31.8%	19.6%	5.6%	3.7%	0.0%
美里 (n=159)	67.9%	67.3%	45.9%	44.0%	47.8%	45.3%	50.9%	35.8%	37.1%	36.5%	23.3%	6.9%	4.4%	0.6%
竜神 (n=200)	61.5%	60.5%	44.0%	36.5%	45.0%	41.0%	34.0%	29.5%	37.0%	38.5%	18.0%	6.5%	2.5%	0.0%
若園 (n=125)	65.6%	64.0%	43.2%	40.8%	41.6%	36.8%	48.0%	34.4%	33.6%	42.4%	28.8%	7.2%	3.2%	0.0%
旭 (n=111)	79.3%	63.1%	38.7%	43.2%	38.7%	42.3%	56.8%	33.3%	47.7%	37.8%	29.7%	9.9%	1.8%	0.0%
足助 (n=107)	76.6%	56.1%	34.6%	38.3%	40.2%	45.8%	40.2%	25.2%	34.6%	29.0%	25.2%	6.5%	1.9%	1.9%
稲武 (n=92)	79.3%	64.1%	45.7%	45.7%	35.9%	51.1%	51.1%	43.5%	39.1%	40.2%	31.5%	5.4%	2.2%	0.0%
小原 (n=97)	66.0%	60.8%	33.0%	44.3%	37.1%	36.1%	45.4%	30.9%	37.1%	37.1%	28.9%	11.3%	5.2%	1.0%
下山 (n=106)	64.2%	58.5%	40.6%	34.9%	41.5%	47.2%	36.8%	33.0%	29.2%	34.9%	25.5%	5.7%	0.9%	0.0%
藤岡 (n=109)	64.2%	61.5%	44.0%	43.1%	34.9%	41.3%	34.9%	33.9%	33.0%	31.2%	17.4%	7.3%	5.5%	0.0%
藤岡南 (n=63)	69.8%	71.4%	44.4%	49.2%	42.9%	33.3%	30.2%	36.5%	33.3%	36.5%	22.2%	3.2%	3.2%	0.0%
無回答 (n=39)	64.1%	51.3%	46.2%	46.2%	25.6%	35.9%	56.4%	30.8%	41.0%	33.3%	33.3%	7.7%	7.7%	0.0%

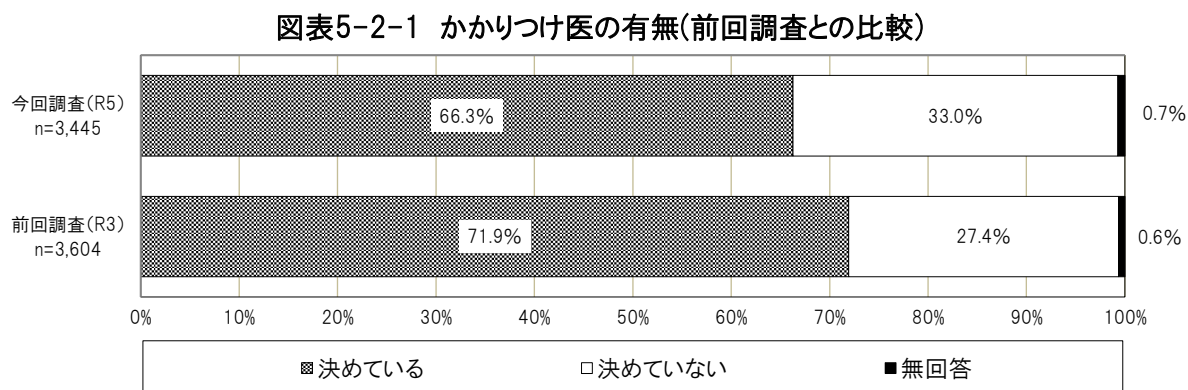
※回答を見やすくするよう、回答率 40%以上に濃い影、20%以上 40%未満に薄い影をつけました。

(2) かかりつけ医の有無

問 12 あなたは、かかりつけ医を決めていますか。(1 つに○)

1) 全体集計結果

かかりつけ医を決めている市民の割合は 66.3%となっており、前回調査と比較すると、5.6 ポイント減少しています。

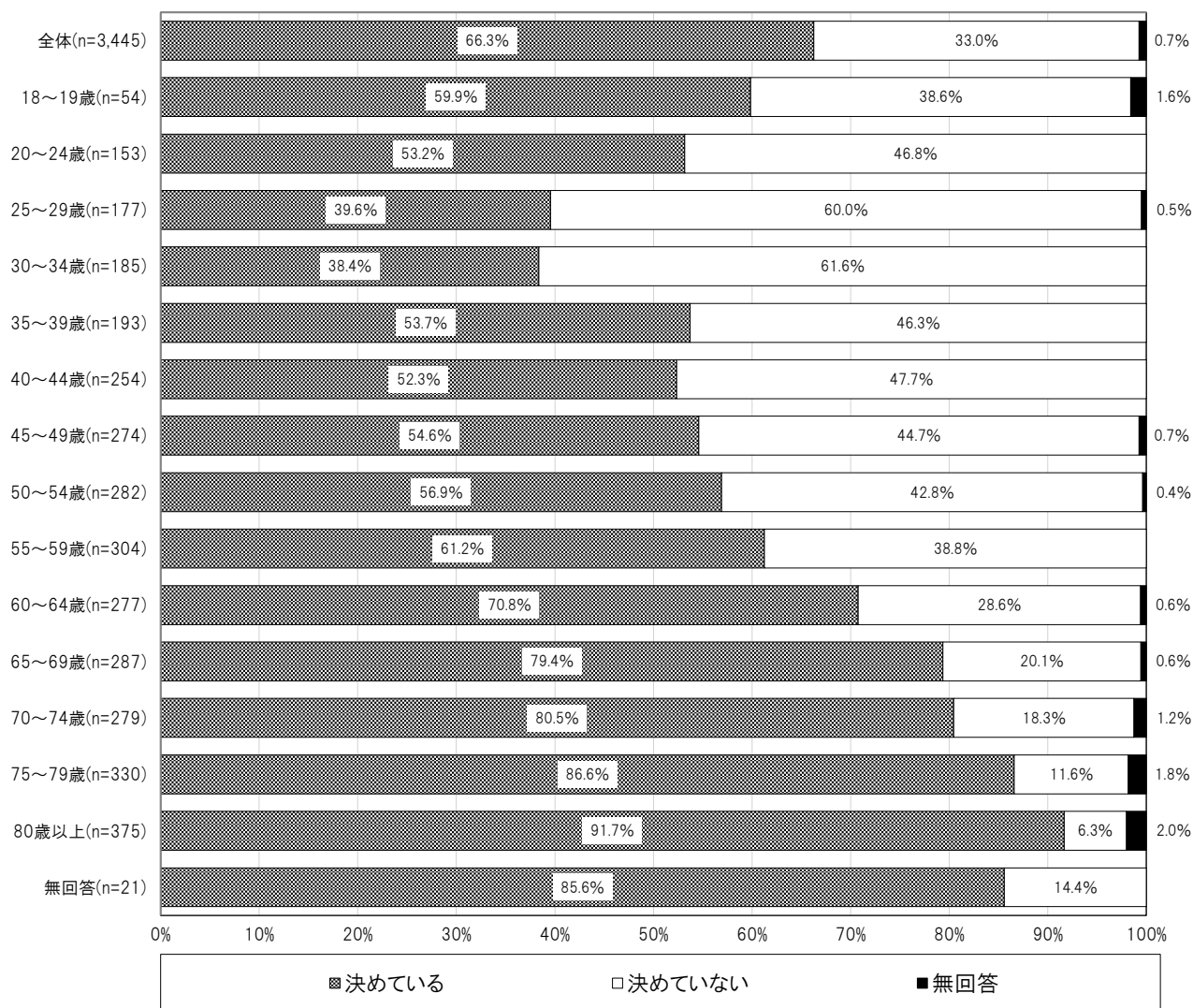


2) 属性分析結果

① 「かかりつけ医の有無」×「年齢」

年齢別にみると、かかりつけ医を決めている市民の割合は、80 歳以上で 91.7%と最も高くなっています。また、60 歳以上では 70%以上の市民がかかりつけ医を決めていると回答しています。

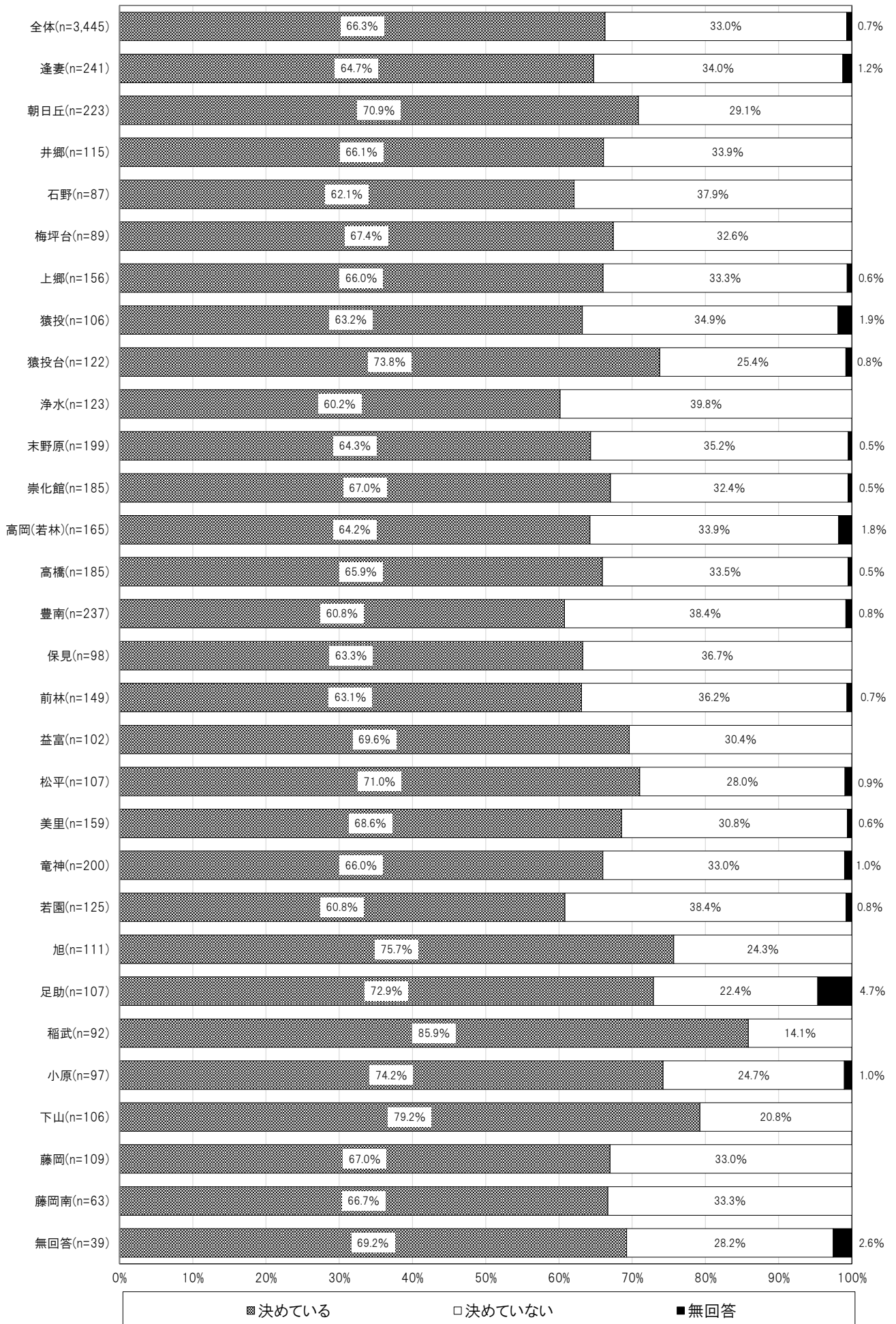
図表5-2-2 かかりつけ医の有無(年齢別)



② 「かかりつけ医の有無」×「居住地区」

居住地区別にみると、かかりつけ医を決めている市民の割合は、稲武が85.9%と最も高く、次いで下山が79.2%、旭が75.7%となっています。一方、浄水が60.2%、豊南が60.8%と低くなっています。

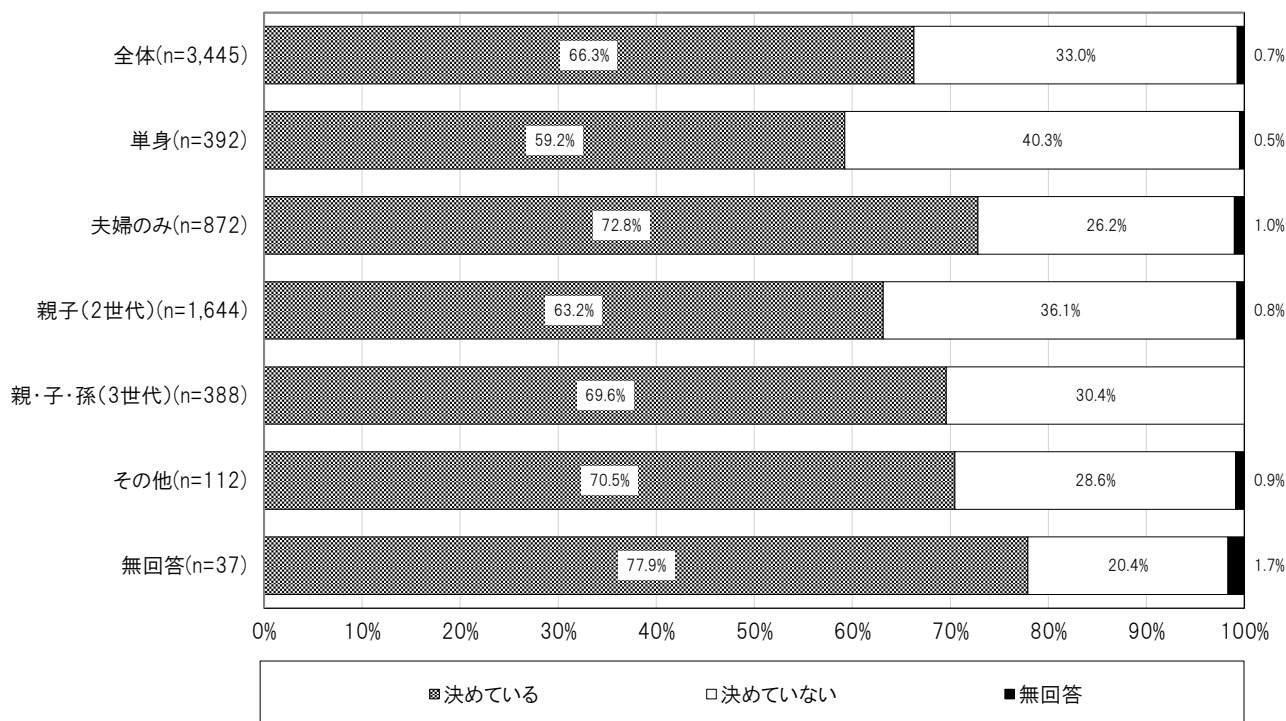
図表5-2-3 かかりつけ医の有無(居住地区別)



③ 「かかりつけ医の有無」×「家族構成」

家族構成別にみると、かかりつけ医を決めている市民の割合は、夫婦のみ世帯が 72.8%と最も高く、次いでその他の世帯が 70.5%となっています。

図表5-2-4 かかりつけ医の有無(家族構成別)



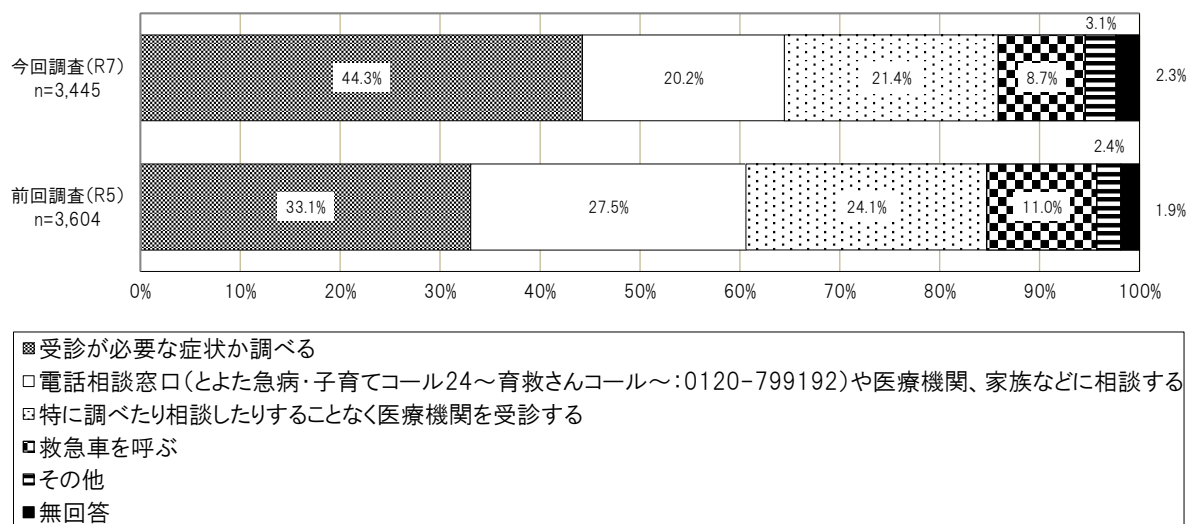
(3) 夜間・休日の医療機関での受診

問13	あなたは、夜間や休日に医療機関を受診するかどうか判断に迷った時、どうしますか。(1 つに○) (※意識がない場合やけいれんが止まらない等明らかに重症であると思われる場合を除く)
------------	--

1) 全体集計結果

夜間や休日に医療機関を受診するかどうか判断に迷った時の対応は、「受診が必要な症状か調べる」と回答した市民の割合が 44.3%と最も高く、前回調査と比較して 11.2 ポイント増加しています。次いで「電話相談窓口（0120-799192）や医療機関、家族などに相談する」が 20.2%となっていますが、前回調査と比較すると 7.3 ポイント減少しています。

図表5-3-1 夜間・休日の医療機関での受診(前回調査との比較)

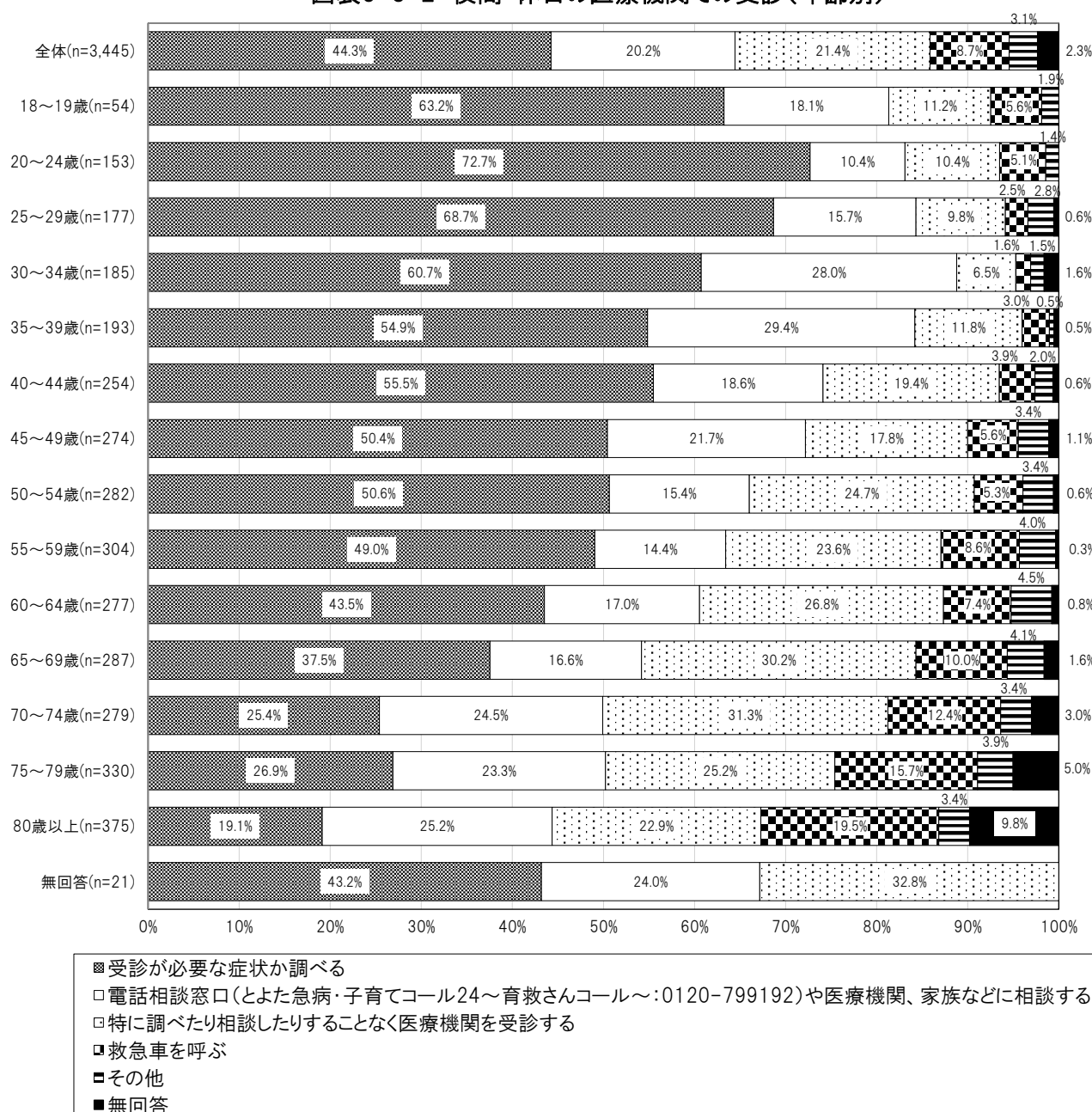


2) 属性分析結果

① 「夜間・休日の医療機関での受診」×「年齢」

年齢別にみると、「受診が必要な症状か調べる」と回答した市民の割合は、概ね年齢が高くなるのに比例して減少しています。一方、「救急車を呼ぶ」と回答した市民の割合は、年齢が高くなるのに比例して増加する傾向が見られます。

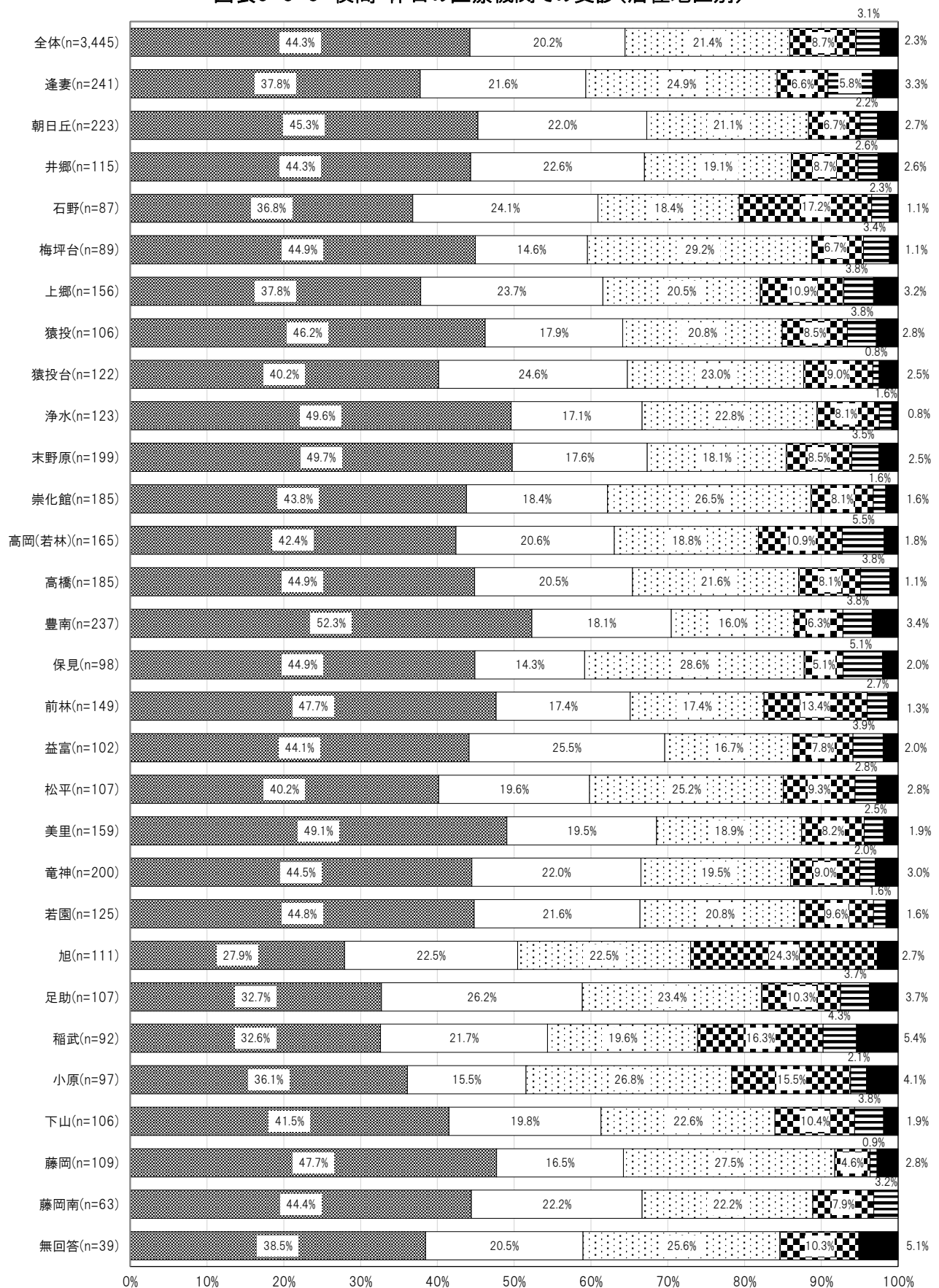
図表5-3-2 夜間・休日の医療機関での受診(年齢別)



② 「夜間・休日の医療機関での受診」×「居住地区」

居住地区別にみると、「受診が必要な症状が調べる」と回答した市民の割合は、豊南で 52.3%と最も高くなっています。一方、旭で 27.9%と低くなっています。また、旭では「救急車を呼ぶ」と回答した市民の割合が 24.3%と最も高くなっています。

図表5-3-3 夜間・休日の医療機関での受診(居住地区別)



■ 受診が必要な症状か調べる

□ 電話相談窓口(とよた急病・子育てコール24～育救さんコール～:0120-799192)や医療機関、家族などに相談する

□ 特に調べたり相談したりすることなく医療機関を受診する

■ 救急車を呼ぶ

■ その他

■ 無回答

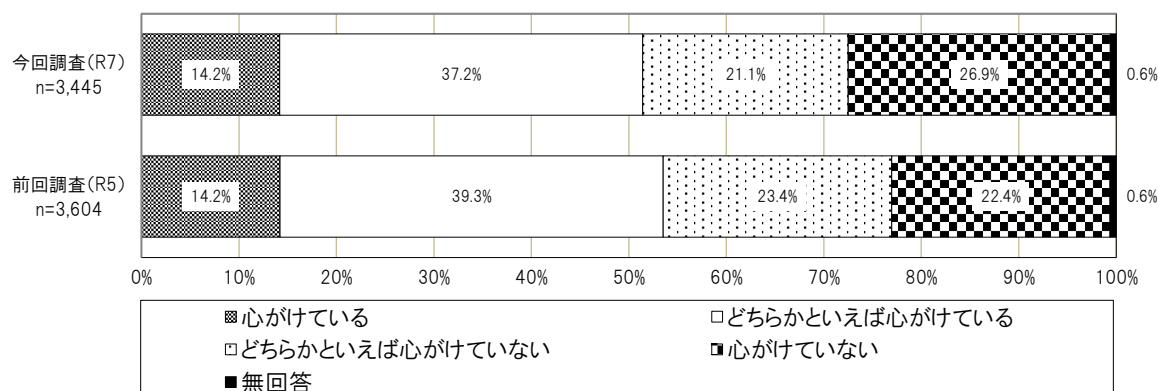
(4) 市内産農産物の購入意識

問 14 あなたは、市内で採れた農産物を購入するよう心がけていますか。(○はひとつ)

1) 全体集計結果

市内で採れた農産物を購入するよう心がけている市民の割合(「心がけている」+「どちらかといえば心がけている」)は51.4%となっており、前回調査と比較して2.1ポイント減少しています。

図表5-4-1 市内産農産物の購入意識(前回調査との比較)

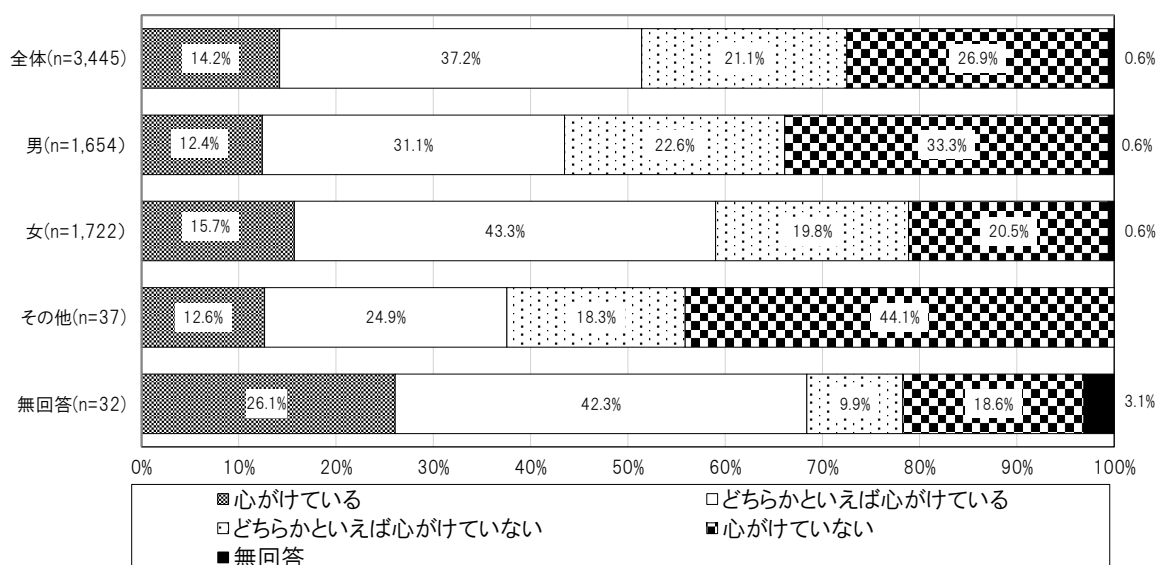


2) 属性分析結果

① 「市内産農産物の購入意識」×「性別」

性別でみると、市内で採れた農産物を購入するよう心がけている市民の割合は、女性で59.0%となっており、男性では43.5%となっています。

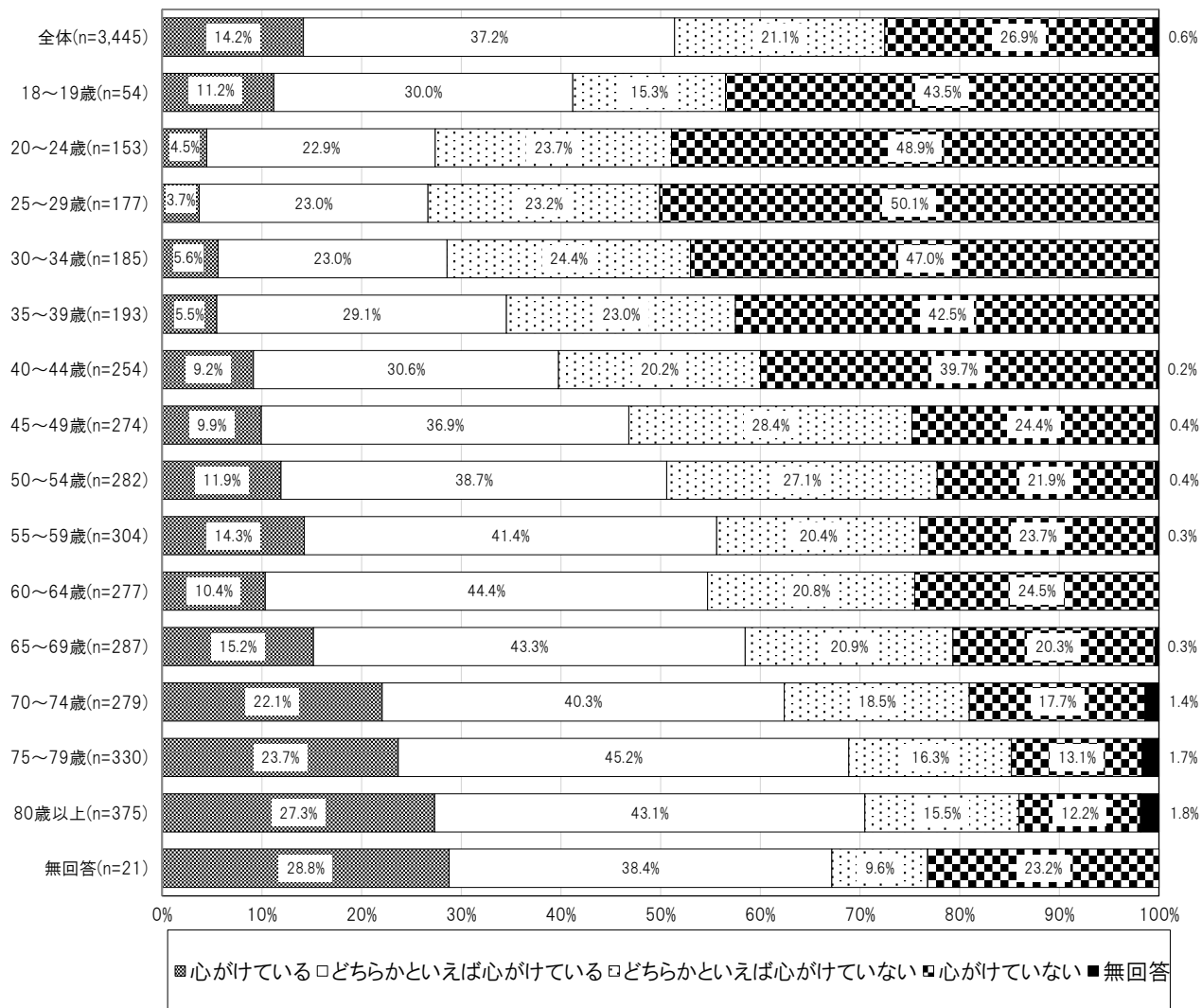
図表5-4-2 市内産農産物の購入意識(性別)



② 「市内産農産物の購入意識」×「年齢」

年齢別にみると、市内で採れた農産物を購入するように心がけている市民の割合は、80 歳以上が 70.4%で最も高く、次いで 75～79 歳が 68.9%となっています。一方、25～29 歳が 26.7%、20～24 歳が 27.4%と低くなっています。市内で採れた農産物を購入するように心がけている市民の割合は、概ね年齢が高くなるほど増加する傾向にあります。

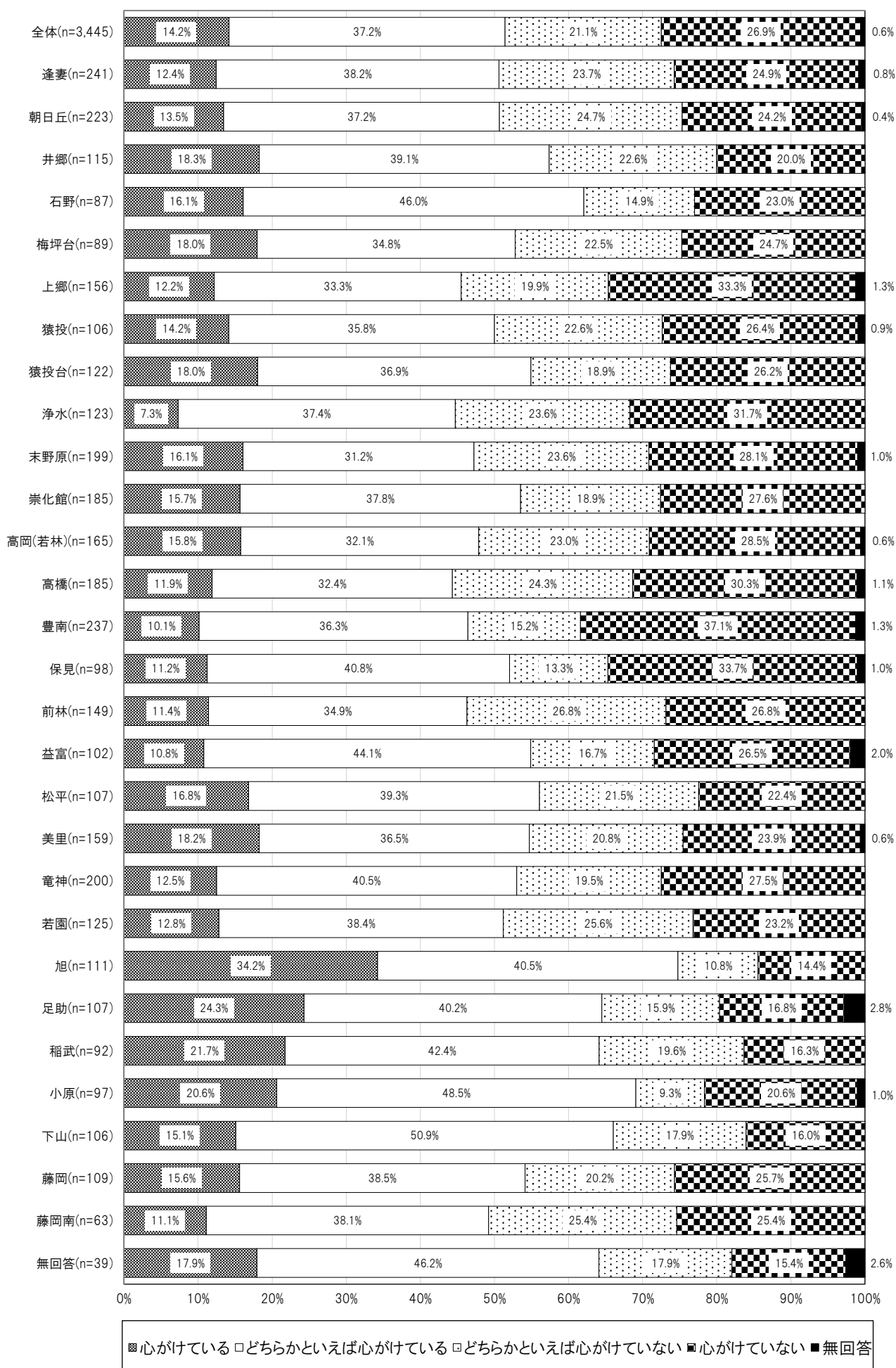
図表5-4-3 市内産農産物の購入意識(年齢別)



③ 「市内産農産物の購入意識」×「居住地区」

居住地区別にみると、市内で採れた農産物を購入するように心がけている市民の割合は、旭が 74.7%で最も高く、次いで小原が 69.1%、下山が 66.0%となっています。一方、高橋が 44.3%、浄水が 44.7%と低くなっています。

図表5-4-4 市内産農産物の購入意識(居住地区別)



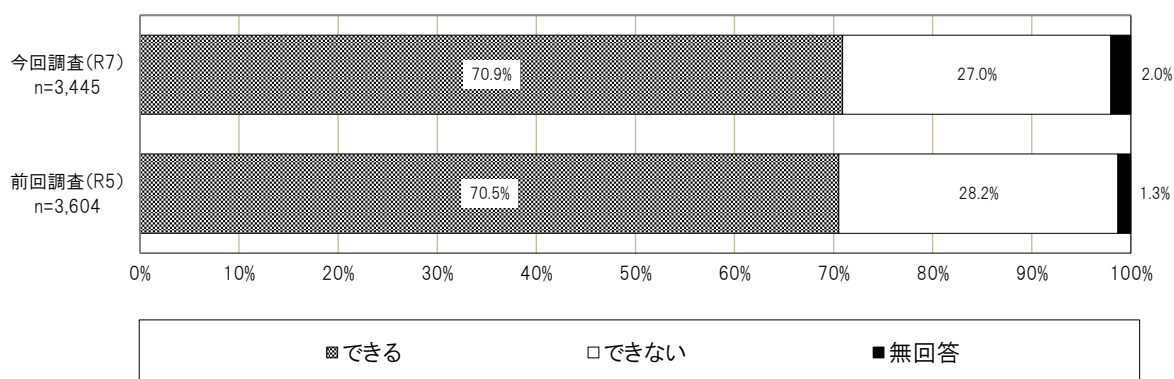
（５）児童虐待発見時の対応

問 15	あなたは、近所で児童虐待を受けていると思われる子どもを見つけたとき、市役所（こども相談課）、児童相談所または警察に連絡できますか。（1 つに○）
-------------	--

1）全体集計結果

近所で児童虐待を受けていると思われる子どもを見つけたときに、市役所（こども相談課）、児童相談所または警察に連絡できると答えた市民の割合は 70.9%となっており、前回調査と比較すると 0.4 ポイント増加しています。一方、連絡できないと答えた市民の割合は 27.0%で、前回調査から 1.2 ポイント減少しています。

図表5-5-1 児童虐待発見時の対応（前回調査との比較）



(6) 自転車損害賠償保険等の加入状況

問 16

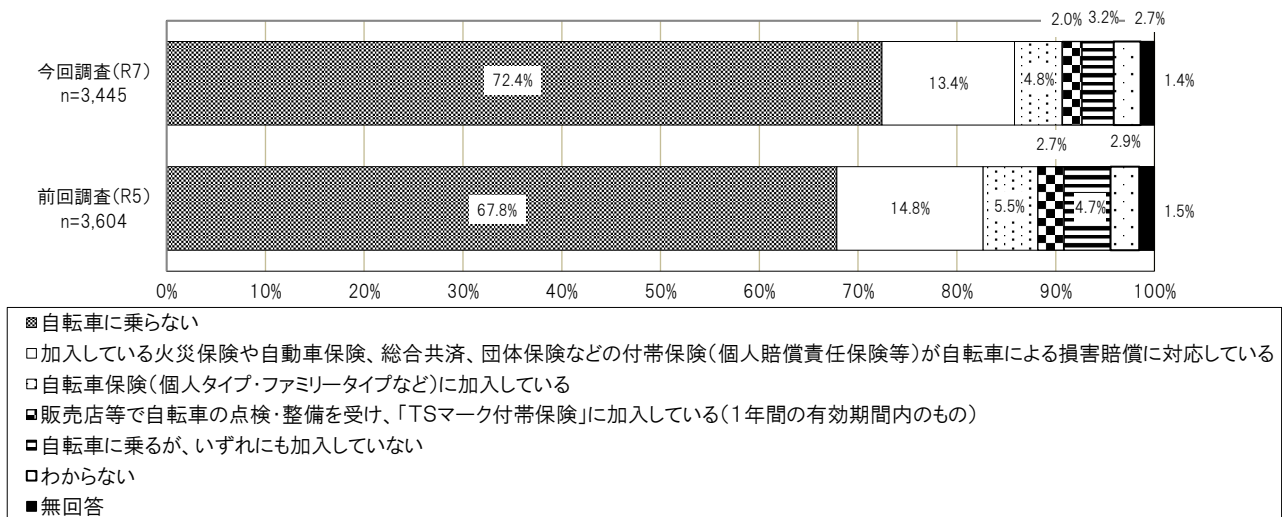
あなたは、自転車損害賠償保険等に加入していますか。(1 つに○)

※「豊田市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」において、自転車を利用する場合は自転車損害賠償保険等に加入することが義務付けられています。

1) 全体集計結果

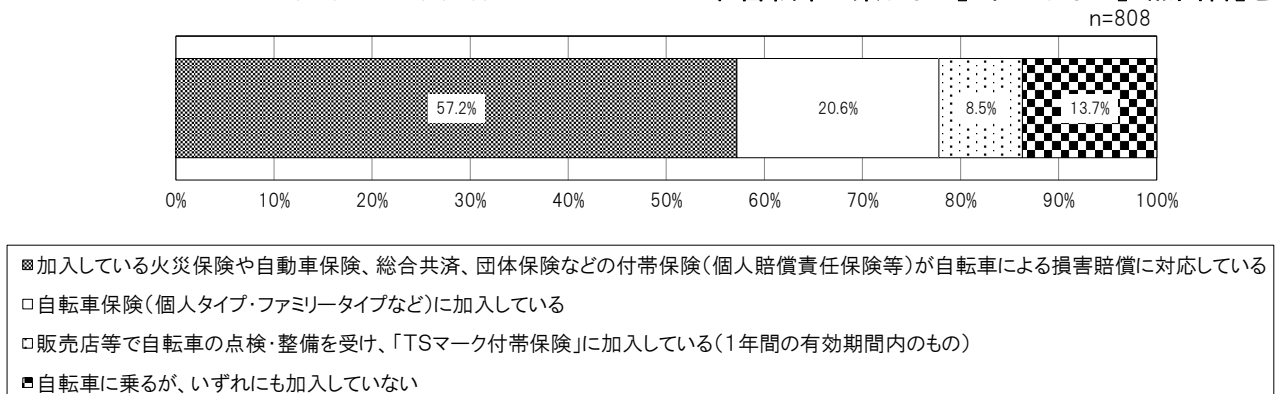
自転車損害賠償保険等の加入状況は、「加入している火災保険や自動車保険、総合共済、団体保険などの付帯保険（個人賠償責任保険等）で自転車による損害賠償に対応している」が 13.4%で、前回調査と比較して 1.4 ポイント減少しています。また、「自転車に乗らない」と回答した市民の割合は 72.4%で、前回調査と比較して 4.6 ポイント増加しています。

図表5-6-1 自転車損害賠償保険等の加入状況(前回調査との比較)



このうち、「自転車に乗らない」、「わからない」、「無回答」を除いて集計すると、「加入している火災保険や自動車保険、総合共済、団体保険などの付帯保険（個人賠償責任保険等）で自転車による損害賠償に対応している」が 57.2%と最も高く、次いで「自転車保険（個人タイプ・ファミリータイプなど）に加入している」が 20.6%となっています。

図表5-6-2 自転車損害賠償保険等の加入状況（「自転車に乗らない」「わからない」「無回答」を除く）



2 自身の活動等

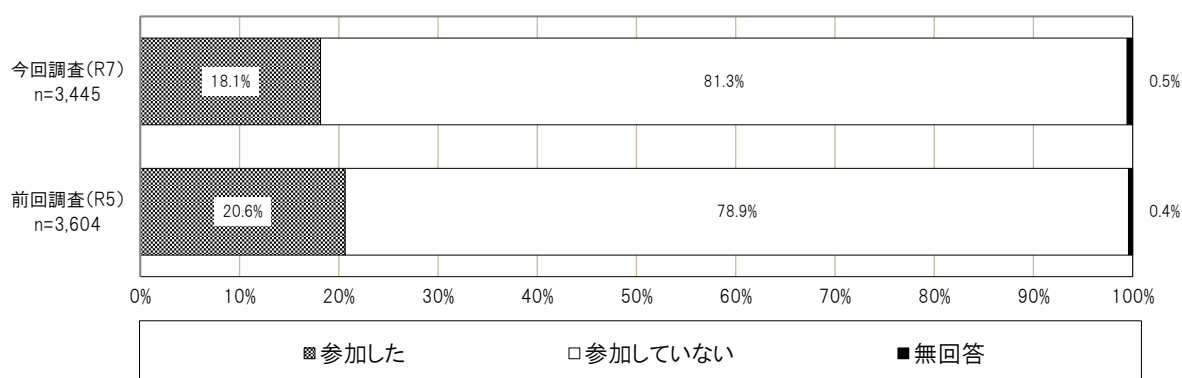
(1) 児童生徒と行う地域活動への参加状況

問 17	あなたは、この1年以内に、小中学校の活動または児童生徒とともに行う地域の活動に参加しましたか。(1つに○)
------	---

1) 全体集計結果

小中学校の活動または児童生徒とともに行う地域の活動に「参加した」と回答した市民の割合は18.1%となっており、前回調査と比較して2.5ポイント減少しています。

図表5-7-1 児童生徒と行う地域活動への参加状況(前回調査との比較)

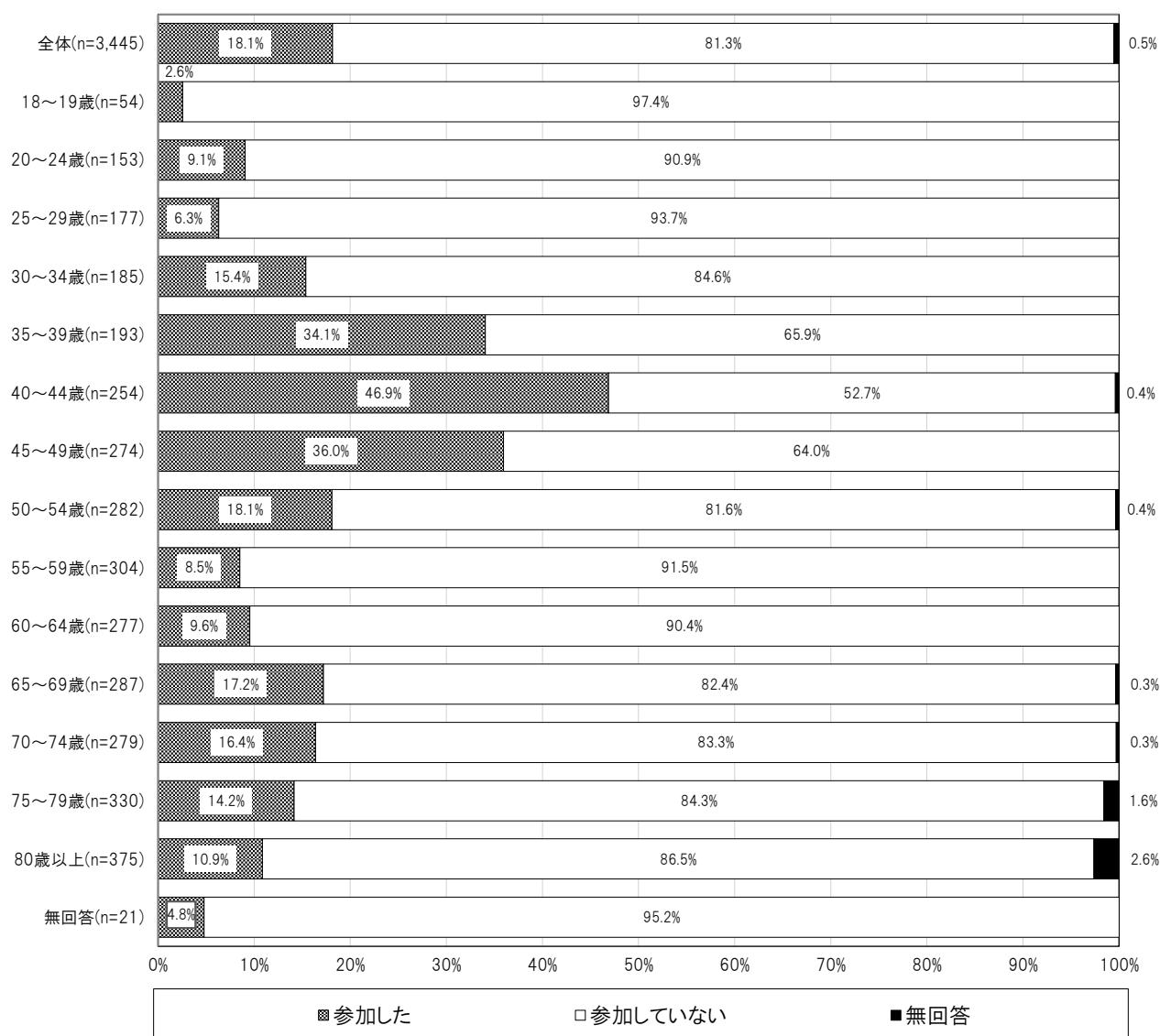


2) 属性分析結果

① 「児童生徒と行う地域活動への参加状況」×「年齢」

年齢別にみると、小中学校の活動または児童生徒とともに行う地域の活動に「参加した」と回答した市民の割合は、40～44歳が46.9%と最も高く、次いで45～49歳が36.0%となっています。

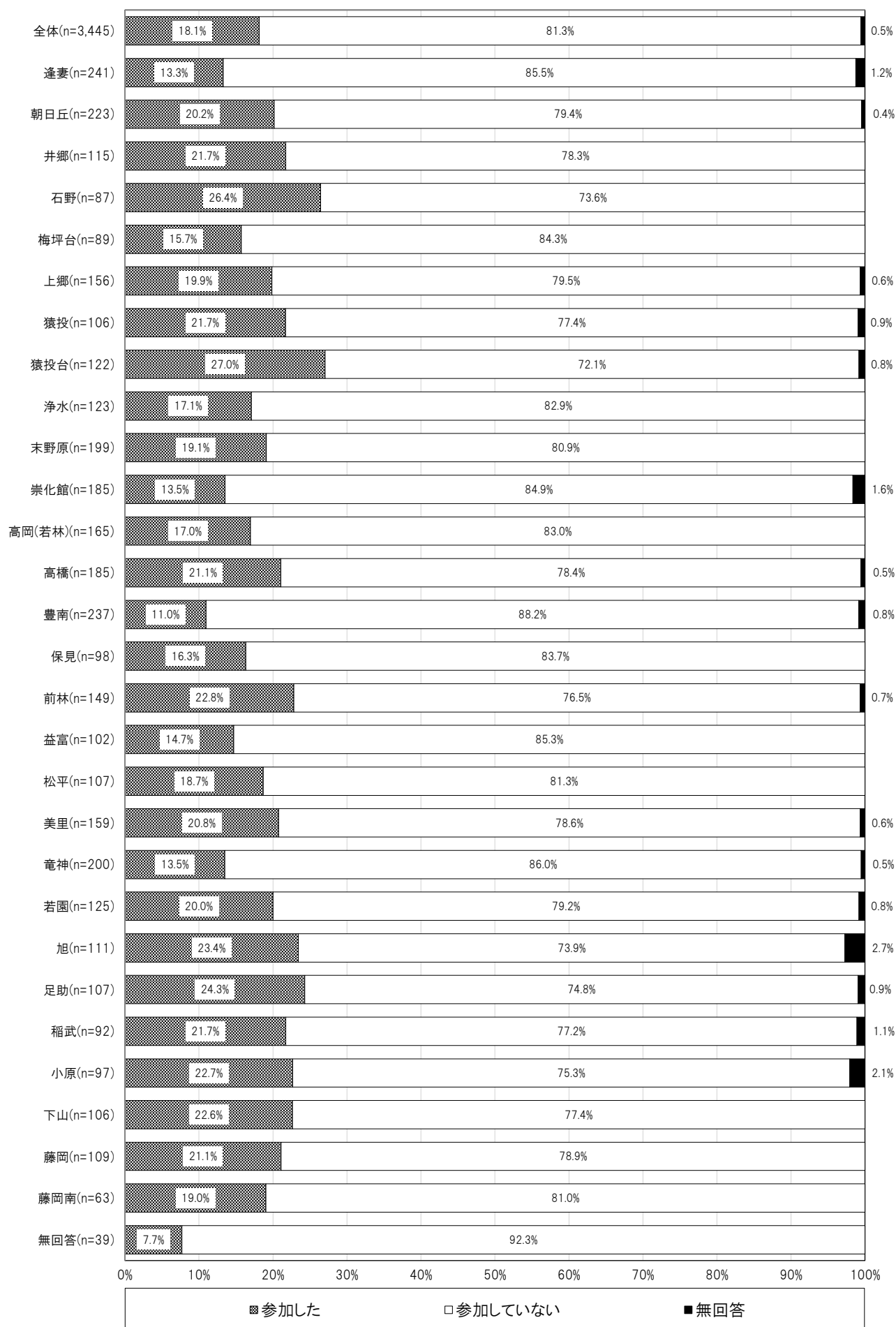
図表5-7-2 児童生徒と行う地域活動への参加状況(年齢別)



② 「児童生徒と行う地域活動への参加状況」×「居住地区」

居住地区別にみると、小中学校の活動または児童生徒とともに行う地域の活動に「参加した」と回答した市民の割合は、猿投台が 27.0%と最も高く、次いで石野が 26.4%、足助が 24.3%となっています。

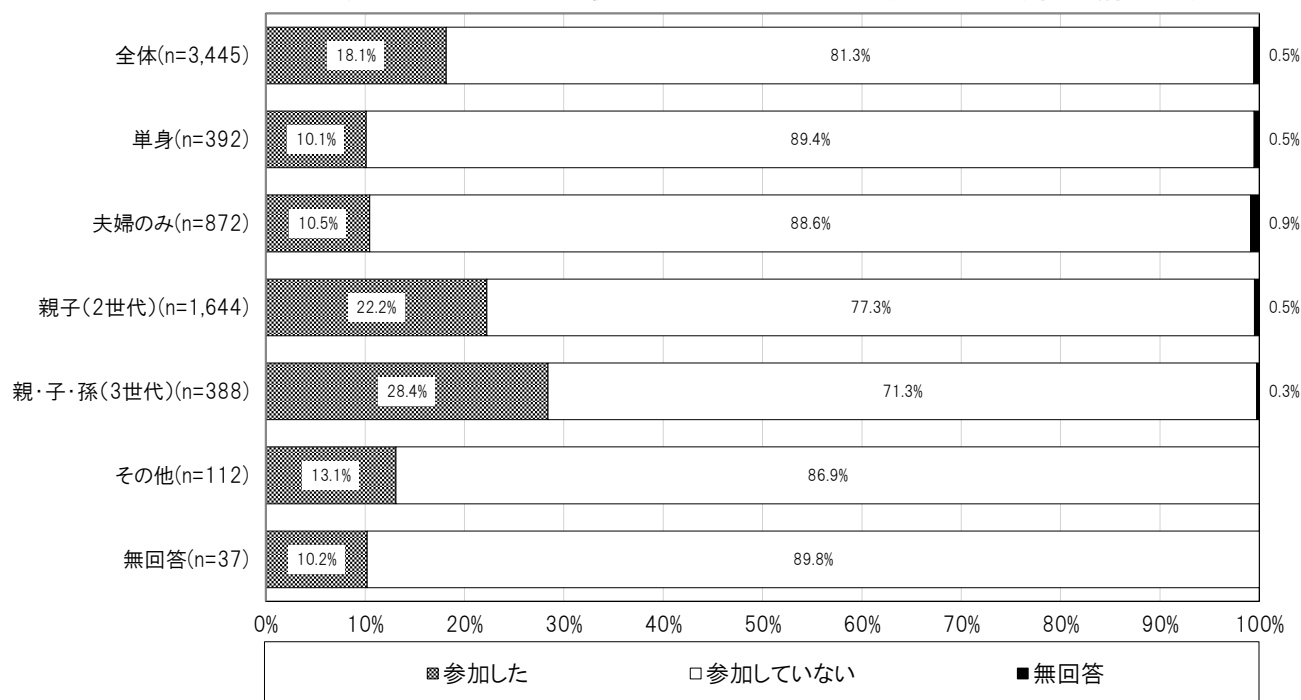
図表5-7-3 児童生徒と行う地域活動への参加状況(居住地区別)



④ 「児童生徒と行う地域活動への参加状況」×「家族構成」

家族構成別にみると、小中学校の活動または児童生徒とともに行う地域の活動に「参加した」と回答した市民の割合は、親・子・孫（3世代）世帯で28.4%と最も高くなっています。一方、単身世帯では10.1%と低くなっています。

図表5-7-4 児童生徒と行う地域活動への参加状況（家族構成別）



(2) 国際交流活動への参加状況

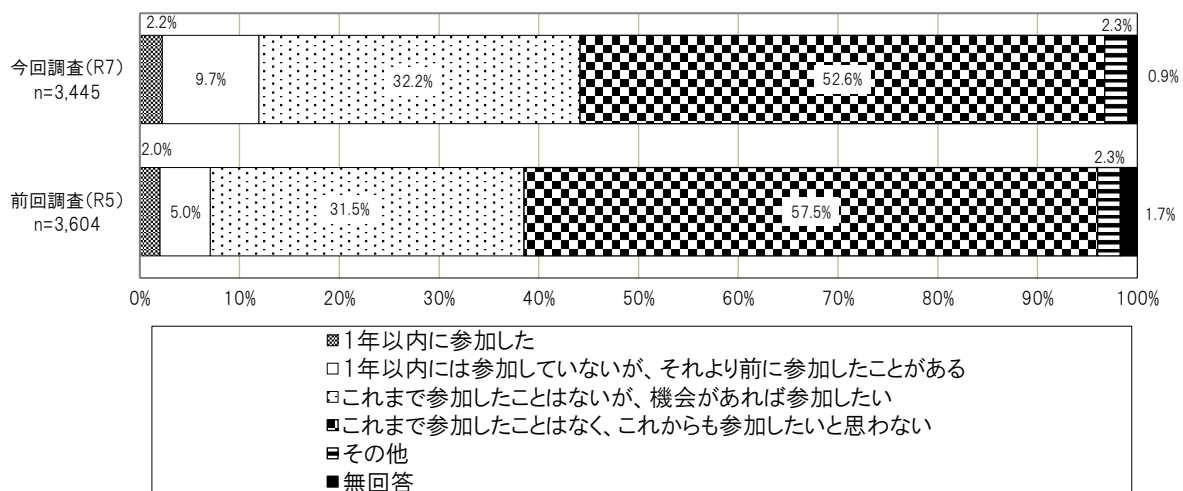
問 18

あなたは、国際交流に関する活動に参加したことがありますか。(1 つに○)

1) 全体集計結果

国際交流活動に参加したことがある(「1年以内に参加した」+「1年以内に参加したことはないが、それより前に参加したことがある」)と回答した市民の割合は 11.9%となっており、前回調査と比較して 4.9 ポイント増加しています。また、「これまで参加したことはないが、機会があれば参加したい」は 32.2%で、前回調査と比較して 0.7 ポイント増加しています。一方、「これまで参加したことはなく、これからも参加したいとは思わない」と回答した市民の割合は、52.6%で前回調査と比較して 4.9 ポイント減少しています。

図表5-8-1 国際交流活動への参加状況(前回調査との比較)

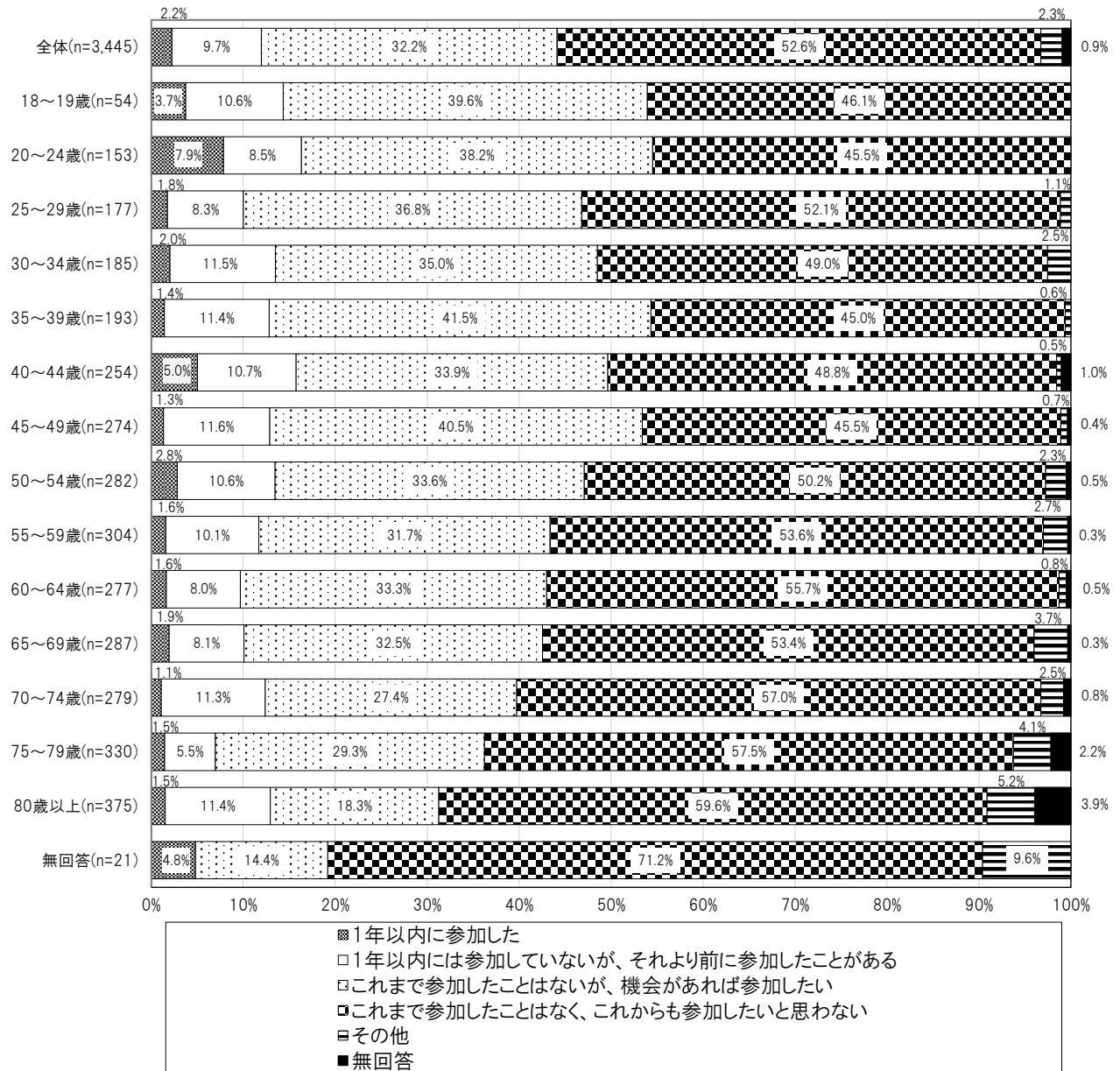


2) 属性分析結果

「国際交流活動への参加状況」×「年齢」

年齢別にみると、国際交流活動に参加したことがあると回答した市民の割合は、20～24 歳が 16.4%と最も高く、次いで 40～44 歳が 15.7%となっています。また、「これまで参加したことはないが、機会があれば参加したい」と回答した市民の割合は 35～39 歳が 41.5%と最も高く、次いで 45～49 歳が 40.5%となっています。

図表5-8-2 国際交流活動への参加状況(年齢別)



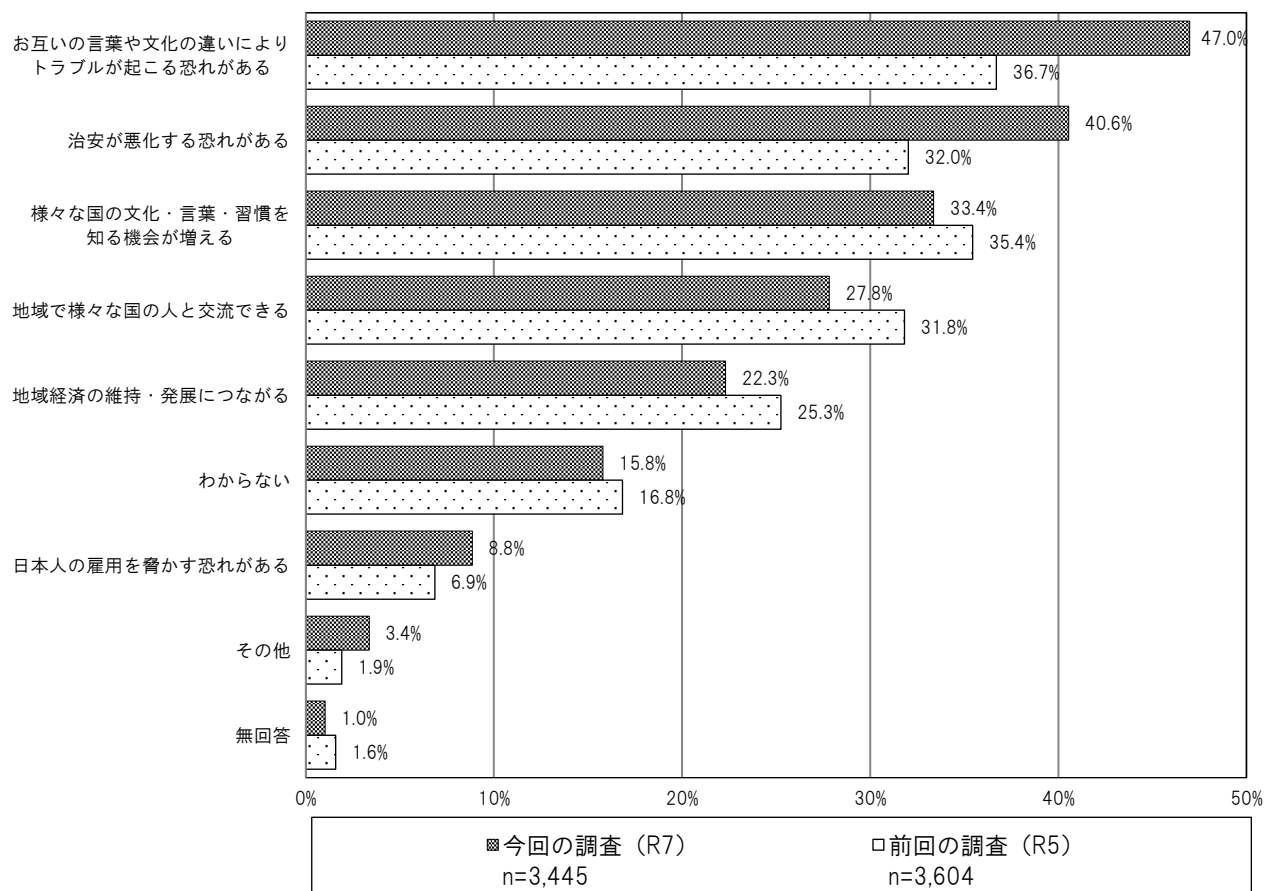
(3) 外国住民への認識

問 19	豊田市は、県内でも外国人人口の多い自治体で、約 2 万人が居住されています。あなたは、市内に外国人住民が多いことについて、どう思いますか。（当てはまるもの全てに○）
------	--

1) 全体集計結果

市内に外国住民が多いことについて、「お互いの言葉や文化の違いによりトラブルが起こる恐れがある」と回答した市民の割合は 47.0%で、前回調査と比較して 10.3 ポイント増加しています。また、「治安が悪化する恐れがある」と回答した市民の割合は 40.6%で前回調査と比較して 8.6 ポイント増加しています。「様々な国の文化・言葉・習慣を知る機会が増える」、「地域で様々な国の人と交流できる」、「地域経済の維持発展につながる」といった、肯定的な選択肢の回答は減少傾向にあります。

図表5-9-1 外国住民への認識（前回調査との比較）



2) 属性分析結果

① 「外国住民への認識」×「年齢」

年齢別にみると、市内に外国住民が多いことについて、「お互いの言葉や文化の違いによりトラブルが起こる恐れがある」と回答した市民の割合は、35～39歳が56.6%と最も高く、次いで30～34歳が56.4%となっています。また、「治安が悪化する恐れがある」と回答した市民の割合は、20～64歳までの年齢層で40%を超えています。

図表5-9-2 外国住民への認識(年齢別)

	るのお が違互 起いに こにの るよ言 れとや がラ文 あブ化	が治 あ安 るが 悪化 する 恐れ	が葉様 増・々 え習な る慣国 をの知 る化 機・言	と地 交域 流で 様々 な 国 の 人	展地 に域 つ経 な済 がの 維持 ・発	わ か ら な い	す日 恐本 れ人 がの 雇 用 を 脅 か	そ の 他	無 回 答
全体 (n=3,445)	47.0%	40.6%	33.4%	27.8%	22.3%	15.8%	8.8%	3.4%	1.0%
18～19歳 (n=54)	36.2%	30.6%	23.1%	28.1%	13.1%	21.5%	15.6%	5.6%	0.0%
20～24歳 (n=153)	47.8%	43.1%	35.8%	33.0%	22.1%	10.9%	13.3%	2.7%	0.7%
25～29歳 (n=177)	45.5%	48.4%	39.6%	31.2%	18.1%	11.0%	7.5%	2.8%	0.0%
30～34歳 (n=185)	56.4%	52.4%	33.0%	31.5%	18.3%	7.7%	10.9%	3.1%	0.0%
35～39歳 (n=193)	56.6%	54.6%	41.3%	31.9%	20.8%	7.0%	11.1%	3.4%	0.0%
40～44歳 (n=254)	50.4%	44.8%	40.7%	33.9%	20.9%	11.6%	12.9%	3.4%	1.0%
45～49歳 (n=274)	51.2%	41.4%	40.6%	33.0%	22.4%	9.4%	10.2%	4.2%	0.4%
50～54歳 (n=282)	51.4%	44.4%	36.3%	34.0%	23.5%	9.9%	8.9%	5.9%	0.4%
55～59歳 (n=304)	54.0%	41.1%	35.5%	27.5%	22.2%	12.7%	7.4%	3.3%	0.3%
60～64歳 (n=277)	51.6%	40.7%	33.5%	25.8%	26.7%	16.2%	8.5%	3.8%	0.4%
65～69歳 (n=287)	49.7%	38.6%	32.0%	24.7%	25.6%	15.1%	7.7%	1.4%	0.0%
70～74歳 (n=279)	45.5%	35.3%	27.6%	23.8%	23.4%	19.9%	6.5%	3.2%	1.2%
75～79歳 (n=330)	40.0%	33.1%	27.9%	22.8%	22.9%	23.3%	8.2%	3.5%	2.6%
80歳以上 (n=375)	28.5%	30.0%	22.3%	19.4%	21.1%	32.3%	5.6%	2.0%	4.2%
無回答 (n=21)	14.4%	28.0%	43.2%	24.0%	28.8%	24.0%	4.8%	9.6%	0.0%

※回答を見やすくするよう、回答率40%以上に濃い影、20%以上40%未満に薄い影をつけました。

② 「外国住民への認識」×「居住地区」

居住地区別にみると、市内に外国住民が多いことについて、「お互いの言葉や文化の違いによりトラブルが起こる恐れがある」と回答した市民の割合は、多くの地区で 40%を超えており、松平が 53.3%と最も高く、次いで益富が 52.9%、猿投台が 50.8%となっています。

図表5-9-3 外国住民への認識(居住地区別)

	こり文お るト化互 恐ラのい れブ達の がルいい 言がに葉 る起よや	恐治 れ安 がが あ悪 る化 する	えを化様 る知・々 る言な 機葉国 会・の が習文 増慣	るの地 人域と で交様 流々で なき国	が持地 る・域 発経 展済 にの つ維 な	わ か ら な い	る脅日 か本 す人 恐の 雇 れ用 あを	そ の 他	無 回 答
全体 (n=3,445)	47.0%	40.6%	33.4%	27.8%	22.3%	15.8%	8.8%	3.4%	1.0%
逢妻 (n=241)	44.8%	38.2%	24.5%	21.6%	21.6%	20.7%	10.0%	2.9%	0.4%
朝日丘 (n=223)	47.5%	40.4%	34.1%	25.6%	23.8%	14.3%	12.6%	5.8%	0.9%
井郷 (n=115)	47.0%	42.6%	32.2%	26.1%	16.5%	13.0%	6.1%	3.5%	2.6%
石野 (n=87)	48.3%	39.1%	35.6%	36.8%	17.2%	16.1%	13.8%	1.1%	1.1%
梅坪台 (n=89)	47.2%	42.7%	30.3%	29.2%	29.2%	13.5%	12.4%	2.2%	1.1%
上郷 (n=156)	47.4%	34.0%	25.0%	21.2%	19.2%	21.2%	9.0%	4.5%	1.9%
猿投 (n=106)	44.3%	28.3%	35.8%	29.2%	25.5%	17.9%	1.9%	3.8%	0.0%
猿投台 (n=122)	50.8%	45.1%	34.4%	28.7%	24.6%	17.2%	5.7%	1.6%	1.6%
浄水 (n=123)	46.3%	44.7%	39.8%	32.5%	21.1%	12.2%	10.6%	6.5%	0.8%
末野原 (n=199)	44.2%	42.2%	33.7%	28.6%	26.1%	16.6%	9.0%	2.5%	2.0%
崇化館 (n=185)	48.6%	45.9%	34.1%	27.0%	22.2%	16.8%	9.7%	3.8%	1.1%
高岡(若林) (n=165)	46.7%	43.6%	34.5%	26.1%	24.2%	15.8%	12.1%	3.6%	0.0%
高橋 (n=185)	47.0%	42.2%	34.6%	32.4%	20.5%	15.7%	5.9%	1.6%	1.1%
豊南 (n=237)	50.2%	41.4%	36.3%	32.1%	19.0%	13.1%	9.3%	3.0%	0.8%
保見 (n=98)	45.9%	38.8%	33.7%	25.5%	15.3%	17.3%	5.1%	7.1%	0.0%
前林 (n=149)	46.3%	39.6%	33.6%	28.2%	21.5%	14.1%	6.7%	2.7%	0.7%
益富 (n=102)	52.9%	41.2%	37.3%	38.2%	25.5%	12.7%	9.8%	0.0%	1.0%
松平 (n=107)	53.3%	31.8%	33.6%	22.4%	25.2%	17.8%	8.4%	1.9%	0.9%
美里 (n=159)	48.4%	40.9%	37.7%	23.3%	20.8%	15.1%	12.6%	3.1%	0.6%
竜神 (n=200)	50.5%	44.5%	33.5%	26.5%	22.5%	13.0%	10.5%	4.0%	1.5%
若園 (n=125)	50.4%	47.2%	35.2%	33.6%	26.4%	9.6%	8.0%	2.4%	0.8%
旭 (n=111)	36.0%	29.7%	31.5%	27.9%	21.6%	26.1%	5.4%	0.9%	0.0%
足助 (n=107)	37.4%	32.7%	36.4%	27.1%	24.3%	23.4%	4.7%	2.8%	0.9%
稲武 (n=92)	27.2%	29.3%	40.2%	39.1%	34.8%	22.8%	6.5%	3.3%	0.0%
小原 (n=97)	39.2%	33.0%	27.8%	27.8%	17.5%	23.7%	6.2%	3.1%	2.1%
下山 (n=106)	47.2%	39.6%	27.4%	26.4%	17.0%	16.0%	10.4%	1.9%	0.9%
藤岡 (n=109)	42.2%	39.4%	32.1%	28.4%	26.6%	15.6%	5.5%	2.8%	1.8%
藤岡南 (n=63)	47.6%	39.7%	30.2%	33.3%	20.6%	9.5%	4.8%	3.2%	0.0%
無回答 (n=39)	23.1%	33.3%	38.5%	23.1%	20.5%	20.5%	7.7%	10.3%	2.6%

※回答を見やすくするよう、回答率 40%以上に濃い影、20%以上 40%未満に薄い影をつけました。

3 豊田市のまちづくり

(1) 施策に対する満足度

問 20	あなたは、現状の豊田市のまちにどの程度満足していますか。満足度を7段階でお答えください。(各設問とも○はひとつ)
------	--

ここでは、市の取組に対して、市民がどの程度満足しているのか(=満足度)を把握します。
満足度は図表 5-10-1 のとおり、7段階で評価し、施策ごとに平均値を出しています。この
評点を指標として、満足度の分析を行いました。

図表 5-10-1 施策に対する満足度の数値

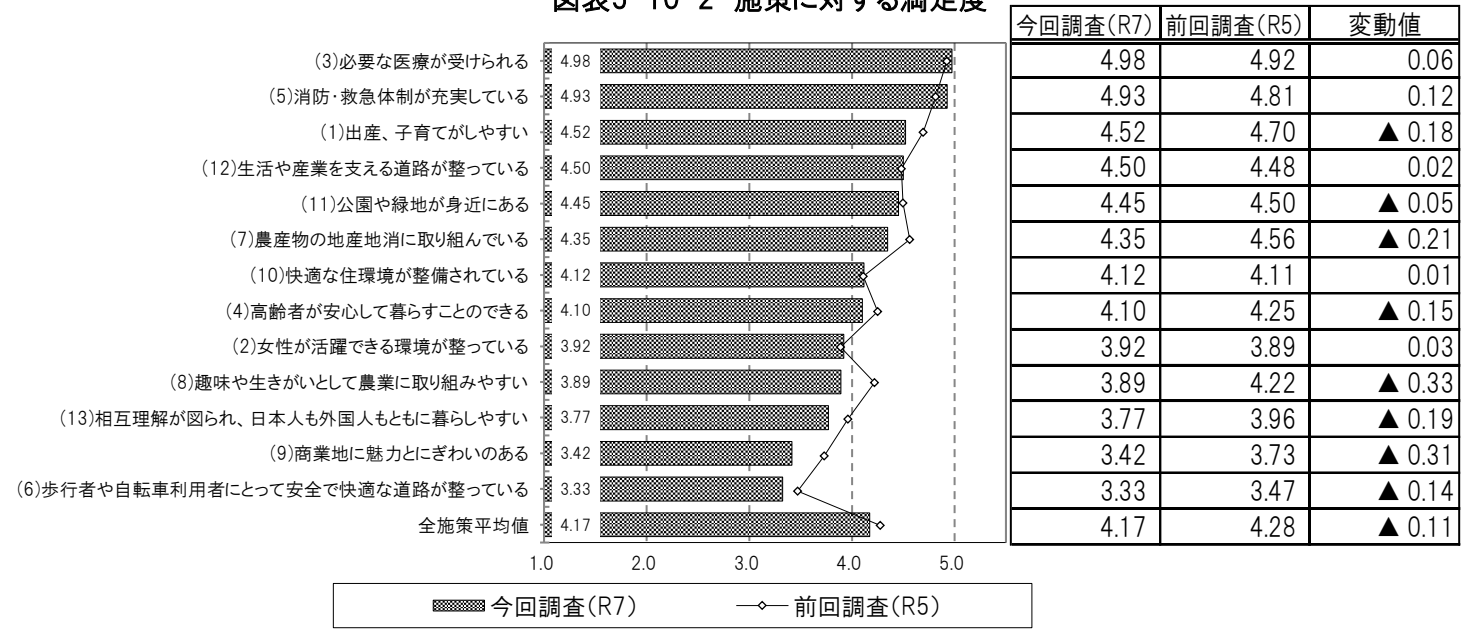
		高い ← どちらとも言えない → 低い							わからない
1	出産、子育てがしやすいまち	7	6	5	4	3	2	1	0
2	学校教育が充実したまち	7	6	5	4	3	2	1	0
3	地域で若者が活動しているまち	7	6	5	4	3	2	1	0

判断できない(わからない) 場合は「0」

1) 全体集計結果

満足度の平均値は 4.17 となっており、前回調査と比較すると、0.11 ポイント減少しています。各施策の満足度及び前回調査との比較は図表 5-10-2 のとおりです。

図表5-10-2 施策に対する満足度



図表5-10-3 施策に対する満足度で変動が大きい施策

順位	数値が増加した施策	変動値	順位	数値が減少した施策	変動値
1	(5)消防・救急体制が充実している	+0.12	1	(8)趣味や生きがいとして農業に取り組みやすい	-0.33
2	(3)必要な医療が受けられる	+0.06	2	(9)商業地に魅力とにぎわいのある	-0.31
3	(2)女性が活躍できる環境が整っている	+0.03	3	(7)農産物の地産地消に取り組んでいる	-0.21
4	(12)生活や産業を支える道路が整っている	+0.02	4	(13)相互理解が図られ、日本人も外国人もともに暮らしやすい	-0.19
5	(10)快適な住環境が整備されている	+0.01	5	(1)出産、子育てがしやすい	-0.18

【参考資料】単純集計結果(調査票A)

(SA)問1. あなたの性別をお答えください。(1つに○)

1	男	1,666	47.9
2	女	1,780	51.1
3	その他	18	0.5
4	無回答	16	0.5
合計		3,481	100.0

(SA)問2. あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

1	18～19歳	62	1.8
2	20～24歳	153	4.4
3	25～29歳	184	5.3
4	30～34歳	214	6.1
5	35～39歳	219	6.3
6	40～44歳	231	6.6
7	45～49歳	257	7.4
8	50～54歳	315	9.1
9	55～59歳	289	8.3
10	60～64歳	276	7.9
11	65～69歳	280	8.0
12	70～74歳	272	7.8
13	75～79歳	336	9.6
14	80歳以上	382	11.0
15	無回答	11	0.3
合計		3,481	100.0

(SA)問3. あなたのお住まいは、どの地区(中学校区)にありますか。(1つに○)

1	逢妻	234	6.7
2	朝日丘	221	6.3
3	井郷	113	3.2
4	石野	35	1.0
5	梅坪台	97	2.8
6	上郷	150	4.3
7	猿投	100	2.9
8	猿投台	131	3.8
9	浄水	136	3.9
10	末野原	216	6.2
11	黒化館	189	5.4
12	意岡(若林)	173	5.0
13	高橋	188	5.4
14	豊南	232	6.7
15	保見	104	3.0
16	前林	157	4.5
17	基畠	109	3.1
18	松平	89	2.6
19	美里	128	3.7
20	龍神	203	5.8
21	若園	114	3.3
22	旭	23	0.7
23	足助	62	1.8
24	稲武	20	0.6
25	小原	31	0.9
26	下山	37	1.1
27	藤岡	93	2.7
28	藤岡南	68	2.0
29	無回答	28	0.8
合計		3,481	100.0

(SA)問4. あなたのお住まいの形態をお答えください。(1つに○)

1	持ち家(一戸建)	2,652	76.2
2	持ち家(分譲マンション)	275	7.9
3	借家(民間一戸建)	25	0.7
4	借家(民間アパート、マンション)	408	11.7
5	公営住宅	64	1.8
6	官公舎、社宅、寮	32	0.9
7	その他	13	0.4
8	無回答	12	0.4
合計		3,481	100.0

(SA)問5. あなたの主たる職業をお答えください。(1つに○)

1	農林漁業	42	1.2
2	会社員・公務員、教員などの勤め人	1,325	38.1
3	自営業	149	4.3
4	パート・アルバイト	572	16.4
5	専業主婦(夫)	409	11.8
6	学生	104	3.0
7	無職	759	21.8
8	その他	107	3.1
9	無回答	14	0.4
合計		3,481	100.0

(SA)問6. あなたの通勤・通学先はどちらですか。(1つに○)

1	豊田市内	1,684	48.4
2	名古屋市内	123	3.5
3	日進市内	17	0.5
4	岡崎市内	93	2.7
5	みよし市内	78	2.2
6	知立市内	26	0.8
7	安城市内	51	1.5
8	長久手市内	15	0.4
9	刈谷市内	59	1.7
10	その他県内	75	2.2
11	愛知県外	40	1.2
12	通勤・通学していない	1,063	30.5
13	無回答	155	4.5
合計		3,481	100.0

(SA)問7. あなたの出生地(お生まれ)はどちらですか。(1つに○)

1	豊田市	1,475	42.4
2	愛知県内(豊田市を除く)	741	21.3
3	愛知県外(国も含む)	1,213	34.9
4	無回答	51	1.5
合計		3,481	100.0

(SA)問8. 問7で「2」または「3」とお答えの方にお聞きします。

あなたは、豊田市にお住まいになって何年になりますか。(1つに○)

1	1年未満	12	0.6
2	1年以上3年未満	90	4.1
3	3年以上5年未満	77	4.0
4	5年以上10年未満	123	6.3
5	10年以上20年未満	301	15.4
6	20年以上	1,354	69.3
7	無回答	7	0.3
合計		1,955	100.0

(SA)問9. あなたの同居している家族構成をお答えください。(1つに○)

1	単身	403	11.6
2	夫婦のみ	852	24.5
3	親子(2世代)	1,709	49.1
4	親・子・孫(3世代)	381	11.0
5	その他	111	3.2
6	無回答	25	0.7
合計		3,481	100.0

(MA)問10. あなたの同居の家族に次の方はいますか。(当てはまるものを全てに○)

1	就学前(0～5歳)	320	9.2
2	小学生	381	10.9
3	中学生	287	8.2
4	65歳～74歳	646	18.6
5	75歳以上	801	23.0
6	無回答	1,514	43.5
合計		3,481	100.0

(SA)問11. あなたは、豊田市を住みよいまちだと思いますか。(1つに○)

1	住みよい	968	27.8
2	どちらかといえば住みよい	1,877	53.9
3	どちらかといえば住みにくい	481	13.8
4	住みにくい	132	3.8
5	無回答	24	0.7
合計		3,481	100.0

(SA)問12. あなたは、今住んでいるところに、これからも長く住みたいと思いますか。(1つに○)

1	今のところに住みたい	2,279	65.5
2	豊田市内の別のところに住みたい	299	8.6
3	豊田市内外へ移りたい	283	8.1
4	わからない	601	17.3
5	無回答	18	0.5
合計		3,481	100.0

(SA)問13. あなたは、豊田市やお住まいの地域に対して愛着を感じていますか。(1つに○)

1	感じている	1,437	41.3
2	やや感じている	1,259	36.2
3	あまり感じていない	614	17.6
4	感じていない	159	4.6
5	無回答	11	0.3
合計		3,481	100.0

(SA)問14. あなたは、豊田市の歴史・文化に愛着や誇りを持っていますか。(1つに○)

1	持っている	508	14.6
2	どちらかといえば持っている	1,226	35.2
3	どちらかといえば持っていない	552	15.9
4	持っていない	461	13.3
5	わからない	714	20.5
6	無回答	18	0.5
合計		3,481	100.0

(SA)問15. あなたは、近所とのつきあいがどれくらいありますか。(1つに○)

1	普段から行き来がある	582	16.7
2	困ったことがあれば協力し合う	586	16.8
3	会った時にあいさつする程度	2,006	57.6
4	つきあいはない	290	8.3
5	無回答	16	0.5
合計		3,481	100.0

(SA)問16. あなたは、日頃の生活の中で生きがいを感じていますか。(1つに○)

1	感じている	790	22.7
2	どちらかといえば感じている	1,807	51.9
3	どちらかといえば感じていない	667	19.2
4	感じていない	199	5.7
5	無回答	17	0.5
合計		3,481	100.0

(SA)問17. あなたは、暮らしの中で人や地域とのつながりがあると感じていますか。(1つに○)

1	感じている	651	18.7
2	どちらかというと感じている	1,414	40.6
3	どちらかというと感じていない	988	28.4
4	感じていない	413	11.9
5	無回答	14	0.4
合計		3,481	100.0

(SA)問18. あなたは、家、学校、職場以外に、自分らしく過ごせる場所がありますか。(1つに○)

1	ある	1,897	54.5
2	ない	1,558	44.8
3	無回答	26	0.8
合計		3,481	100.0

(SA)問19. あなたは、自分と関わりのあるこどもの意見を尊重していますか。(1つに○)

1	尊重している	1,178	33.8
2	どちらかといえば尊重している	1,511	43.4
3	どちらかといえば尊重していない	87	2.5
4	尊重していない	26	0.8
5	子どもと関わりがない	653	18.8
6	無回答	25	0.7
合計		3,481	100.0

(SA)問20. あなたは、障がい者・外国人・高齢者・子どもなどへ情報発信や会話をする際に、分かりやすい表現や伝え方を意識していますか。(1つに○)

1	意識している	1,115	32.0
2	どちらかと言えば意識している	1,632	46.9
3	どちらかと言えば意識していない	185	5.3
4	意識していない	160	4.6
5	障がい者・外国人・高齢者・子どもなどに関わりがない	363	10.4
6	無回答	23	0.7
合計		3,481	100.0

(SA)問21. あなたは、どれくらい食料、飲料水(冷蔵庫や倉庫などに保管している食料、飲料水も含む。)を備蓄していますか。(1つに○)

1	2日以下(備蓄なしも含む)	1,258	36.1
2	3日分程度	1,457	41.9
3	1週間分程度	606	17.4
4	1週間分以上	146	4.2
5	無回答	14	0.4
合計		3,481	100.0

(SA)問22. あなたは、家具(例:タンス、棚、書庫、テレビ、冷蔵庫、ピアノなど)の転倒防止対策を行っていますか。(1つに○)

1	大部分対策している	403	11.6
2	一部対策している	1,722	49.5
3	対策していない	1,251	35.9
4	対策が必要な家具等がない	95	2.7
5	無回答	10	0.3
合計		3,481	100.0

(SA)問23. あなたは、自宅周辺の災害リスク(浸水、土砂災害など)や危険箇所について、ハザードマップ等により把握していますか。(1つに○)

1	把握している	2,067	59.4
2	把握していない	1,397	40.1
3	無回答	16	0.5
合計		3,481	100.0

(SA)問24. あなたは、災害発生の恐れがあるときに市が発表する「警戒レベル」や「避難情報(避難指示、高齢者等避難など)」について緊急度の違いやとるべき行動を知っていますか。(1つに○)

1	知っている	1,713	49.2
2	知らない	1,722	49.5
3	無回答	45	1.3
合計		3,481	100.0

(SA)問25. あなたは、地域で実施している防災訓練に参加していますか。(1つに○)

1	いつも参加している	256	7.4
2	参加したことがある	1,237	35.6
3	参加したことがない	1,957	56.2
4	無回答	30	0.9
合計		3,481	100.0

(SA)問26. あなたは、地域の活動に参加していますか。(1つに○)

1	よく参加している	450	12.9
2	ときどき参加してる	976	28.0
3	あまり参加していない	800	23.0
4	参加していない	1,230	35.3
5	無回答	25	0.7
合計		3,481	100.0

(SA)問27. あなたは、ボランティア活動やNPO活動などに参加していますか。(1つに○)

1	よく参加している	156	4.5
2	ときどき参加してる	368	10.6
3	ほとんど参加していない	704	20.2
4	参加していない	2,227	64.0
5	無回答	26	0.7
合計		3,481	100.0

(SA)問28. あなたは、この1年以内に新たな活動や学びの機会に参加しましたか。(1つに○)

1	活動を始めた／参加した	1,015	29.2
2	活動をしていない／参加していない	2,434	69.9
3	無回答	32	0.9
合計		3,481	100.0

(SA)問29. あなたは、ご自身が希望する働き方を実現できていると感じていますか。(1つに○)

1	実現できている	387	11.1
2	どちらかというと実現できている	1,171	33.7
3	どちらかというと実現できていない	607	17.4
4	実現できていない	362	10.4
5	就労していない	883	25.4
6	無回答	69	2.0
合計		3,481	100.0

(SA)問30. あなたはデジタル化によって豊田市の行政サービスが便利になったと感じますか。(1つに○)

1	思う	387	11.1
2	どちらかといえば思う	1,109	31.9
3	どちらかといえば思わない	442	12.7
4	思わない	494	14.2
5	わからない	1,017	29.2
6	無回答	32	0.9
合計		3,481	100.0

(SA)問31. あなたは、豊田市について「出産・子育てがしやすいまち」だと思いますか。(1つに○)

1	思う	395	11.4
2	どちらかといえば思う	1,156	33.2
3	どちらかといえば思わない	302	8.7
4	思わない	275	7.9
5	わからない	1,312	37.7
6	無回答	41	1.2
合計		3,481	100.0

(SA)問32. あなたは、豊田市について「地震や風水害に対して安心なまち」だと思いますか。(1つに○)

1	思う	302	8.7
2	どちらかといえば思う	1,172	33.7
3	どちらかといえば思わない	478	13.7
4	思わない	343	9.9
5	わからない	1,158	33.3
6	無回答	27	0.8
合計		3,481	100.0

(SA)問33. あなたは、豊田市について「快適な住環境が整備されているまち」だと思いますか。(1つに○)

1	思う	307	8.8
2	どちらかといえば思う	1,456	41.8
3	どちらかといえば思わない	567	16.3
4	思わない	488	14.0
5	わからない	637	18.3
6	無回答	25	0.7
合計		3,481	100.0

(SA)問34. あなたは、豊田市について「利用しやすい公共交通が整っているまち」だと思いますか。(1つに○)

1	思う	165	4.8
2	どちらかといえば思う	694	19.9
3	どちらかといえば思わない	860	24.7
4	思わない	1,473	42.3
5	わからない	267	7.7
6	無回答	22	0.6
合計		3,481	100.0

(SA)問35. あなたは、豊田市の中心市街地(名鉄豊田市駅の周辺)ににぎわいや魅力があると思いますか。(1つに○)

1	思う	189	5.4
2	どちらかといえば思う	820	23.6
3	どちらかといえば思わない	1,026	29.5
4	思わない	963	27.7
5	わからない	468	13.4
6	無回答	13	0.4
合計		3,481	100.0

(SA)問36. あなたは、豊田市について「市民と行政が役割分担をしながらまちづくりを進めているまち」だと思いますか。(1つに○)

1	思う	131	3.8
2	どちらかといえば思う	792	22.7
3	どちらかといえば思わない	542	15.6
4	思わない	528	15.2
5	わからない	1,471	42.3
6	無回答	16	0.4
合計		3,481	100.0

(SA)問37. あなたは、豊田市について「公共施設(建物、道路、公園、上下水道、河川施設など)が適切に維持・管理されているまち」だと思いますか。(1つに○)

1	思う	466	13.4
2	どちらかといえば思う	1,661	47.7
3	どちらかといえば思わない	376	10.8
4	思わない	362	10.4
5	わからない	605	17.4
6	無回答	11	0.3
合計		3,481	100.0

【参考資料】単純集計結果(調査票B)

(SA)問1. あなたの性別をお答えください。(1つに○)

1 男	1,654	48.0
2 女	1,722	50.0
3 その他	37	1.1
4 無回答	32	0.9
合計	3,445	100.0

(SA)問2. あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

1 18～19歳	54	1.6
2 20～24歳	153	4.4
3 25～29歳	177	5.1
4 30～34歳	185	5.4
5 35～39歳	193	5.6
6 40～44歳	254	7.4
7 45～49歳	274	8.0
8 50～54歳	282	8.2
9 55～59歳	304	8.8
10 60～64歳	277	8.0
11 65～69歳	287	8.3
12 70～74歳	279	8.1
13 75～79歳	330	9.6
14 80歳以上	375	10.9
15 無回答	21	0.6
合計	3,445	100.0

(SA)問3. あなたのお住まいは、どの地区(中学校区)にありますか。(1つに○)

1 滝葉	241	7.0
2 朝日丘	223	6.5
3 井郷	115	3.3
4 石野	35	1.0
5 梅坪台	89	2.6
6 上郷	156	4.5
7 猿投	89	2.6
8 猿投台	122	3.5
9 浄水	123	3.6
10 末野原	199	5.8
11 美化館	185	5.4
12 常岡(若林)	165	4.8
13 高橋	185	5.4
14 豊原	237	6.9
15 保見	98	2.8
16 前林	149	4.3
17 益高	102	3.0
18 松平	90	2.6
19 美里	159	4.6
20 龍神	200	5.8
21 若岡	125	3.6
22 旭	23	0.7
23 足助	66	1.9
24 稲武	17	0.5
25 小原	29	0.8
26 下山	28	0.8
27 藤岡	52	1.5
28 藤岡南	63	1.8
29 無回答	39	1.1
合計	3,445	100.0

(SA)問4. あなたのお住まいの形態をお答えください。(1つに○)

1 持ち家(一戸建)	2,611	75.8
2 持ち家(分譲マンション)	277	8.0
3 借家(民間一戸建)	20	0.6
4 借家(民間アパート、マンション)	381	11.1
5 公営住宅	67	2.0
6 官公舎、社宅、寮	43	1.3
7 その他	23	0.7
8 無回答	22	0.6
合計	3,445	100.0

(SA)問5. あなたのまたる職業をお答えください。(1つに○)

1 農林漁業	39	1.1
2 会社員、公務員、教員などの勤め人	1,287	37.4
3 自営業	166	4.8
4 パート・アルバイト	572	16.6
5 専業主婦(夫)	411	11.9
6 学生	90	2.6
7 無職	771	22.4
8 その他	79	2.3
9 無回答	29	0.8
合計	3,445	100.0

(SA)問6. あなたの通勤・通学先はどちらですか。(1つに○)

1 豊田市内	1,664	48.3
2 名古屋市内	129	3.8
3 日進市内	17	0.5
4 岡崎市内	67	1.9
5 みよし市内	78	2.3
6 知立市内	13	0.4
7 安城市内	50	1.5
8 長久手市内	10	0.3
9 刈谷市内	54	1.6
10 その他県内	84	2.4
11 愛知県外	43	1.3
12 通勤、通学していない	1,045	30.4
13 無回答	187	5.4
合計	3,445	100.0

(SA)問7. あなたの出生地(お生まれ)はどちらですか。(1つに○)

1 豊田市	1,475	42.8
2 愛知県内(豊田市を除く)	716	20.8
3 愛知県外(国外含む)	1,191	34.6
4 無回答	63	1.8
合計	3,445	100.0

(SA)問8. 問7で「2」または「3」とお答えの方にお聞きします。

あなたは、豊田市にお住まいになって何年になりますか。(1つに○)		
1 1年未満	13	0.7
2 1年以上3年未満	83	4.4
3 3年以上5年未満	66	3.5
4 5年以上10年未満	148	7.8
5 10年以上20年未満	287	15.0
6 20年以上	1,298	68.1
7 無回答	11	0.6
合計	1,906	100.0

(SA)問9. あなたの同居している家族構成をお答えください。(1つに○)

1 単身	392	11.4
2 夫婦のみ	872	25.3
3 親子(2世代)	1,644	47.7
4 親・子・孫(3世代)	388	11.3
5 その他	112	3.3
6 無回答	37	1.1
合計	3,445	100.0

(MA)問10. あなたの同居の家族に次の方はいますか。(当てはまるもの全てに○)

1 就学前(0～5歳)	314	9.1
2 小学生	398	11.6
3 中学生	288	8.3
4 65歳～74歳	639	18.5
5 75歳以上	812	23.6
6 無回答	1,476	42.8
合計	3,445	100.0

(MA)問11. あなたは、日ごろ健康づくりのため、どのようなことに取り組んでいますか。(当てはまるもの全てに○)

1 規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている	2,205	64.0
2 薄味のもの食べている	760	22.1
3 栄養バランスのとれた食事をとっている	1,181	34.3
4 食べ過ぎないようにしている	1,436	41.7
5 ストレスをためないようにしている	1,151	33.4
6 睡眠を十分にとっている	1,406	40.8
7 適度に運動(スポーツを含む)をするか体を動かしている	1,424	41.3
8 だばを吸わない	2,182	63.3
9 お酒を飲みすぎないようにしている	1,527	44.3
10 外出するようにしている	1,429	41.5
11 人と交流するようにしている	1,158	33.6
12 その他	104	3.0
13 特に何もしない	258	7.5
14 無回答	13	0.4
合計	3,445	100.0

(SA)問12. あなたは、かかりつけ医を決めていますか。(1つに○)

1 決めている	2,283	66.3
2 決めていない	1,137	33.0
3 無回答	25	0.7
合計	3,445	100.0

(SA)問13. あなたは、夜間や休日に医療機関を受診するかどうか判断に迷った時、どうしますか。(1つに○)

(※責備がない場合やけいれんが止まらない等明らかに重症であるとと思われる場合を除く)		
1 受診が必要な症状が観る	1,525	44.3
2 電話相談窓口(とよた急病・子育てコール24～育救さんコール～:0120-	696	20.2
医療機関、家族などに相談する		
3 特に観べたり相談したりすることなく医療機関を受診する	738	21.4
4 救急車を呼ぶ	299	8.7
5 その他	107	3.1
6 無回答	81	2.3
合計	3,445	100.0

(SA)問14. あなたは、市内で採れた農産物を購入するよう心がけていますか。(1つに○)

1 心がけている	489	14.2
2 どちらかといえば心がけている	1,283	37.2
3 どちらかといえば心がけていない	726	21.1
4 心がけていない	926	26.9
5 無回答	21	0.6
合計	3,445	100.0

(SA)問15. あなたは、近所で児童虐待を受けていると思われることを見つけたとき、市役所(こども家庭課)、児童相談所または警察等に連絡できますか。(1つに○)

1 できる	2,443	70.9
2 できない	932	27.0
3 無回答	70	2.0
合計	3,445	100.0

(SA)問16. あなたは、自転車損害賠償保険等に加入していますか。(1つに○)

1 自転車に乗らない	2,495	72.4
2 加入している火災保険や自動車保険、総合共済、団体保険などの付帯保険(個人賠償責任保険等)が自転車による損害賠償に対応している	462	13.4
3 自転車保険(個人タイプ・ファミリータイプなど)に加入している	166	4.8
4 販売店等で自転車の点検・整備を受け、「TSMマーク付帯保険」に加入している(1年間有効期間内のもの)	69	2.0
5 自転車に乗るが、いずれにも加入していない	111	3.2
6 わからない	94	2.7
7 無回答	48	1.4
合計	3,445	100.0

(SA)問17. あなたは、この1年以内に、小中学校の活動または児童生徒とともに行う地域の活動に参加しましたか。(1つに○)

1 参加した	625	18.1
2 参加していない	2,801	81.3
3 無回答	19	0.5
合計	3,445	100.0

(MA)問18. あなたは、国際交流に関する活動に参加したことがありますか。(1つに○)

1 1年以内に参加した	77	2.2
2 1年以内に参加していないが、それより前に参加したことがある	334	9.7
3 これまで参加したことはないが、機会があれば参加したい	1,108	32.2
4 これまで参加したことはないが、これからも参加したいと思わない	1,812	52.6
5 その他	80	2.3
6 無回答	33	0.9
合計	3,445	100.0

(MA)問19. 豊田市は、県内でも外国人人口の多い自治体で、約2万人が居住されています。

あなたは、市内に外国人住民が多いことについて、どう思いますか。(当てはまるもの全てに○)		
1 様々な国の文化・言葉・習慣を知る機会が増える	1,150	33.4
2 地域で様々な国の人と交流できる	959	27.8
3 地域経済の維持・発展につながる	769	22.3
4 お互いの言葉や文化の違いによりトラブルが起こる恐れがある	1,618	47.0
5 治安が悪化する恐れがある	1,397	40.6
6 日本人の雇用を脅かす恐れがある	305	8.8
7 その他	116	3.4
8 わからない	544	15.8
9 無回答	35	1.0
合計	3,445	100.0

問20. あなたは、現状の豊田市のまちにどの程度満足していますか。満足度を7段階でお答えください。(1つに○)

(SA)11. -出産、子育てがしやすいまち

1 満足度が低い(1)	70	2.0
2 満足度が低い(2)	116	3.4
3 満足度が低い(3)	257	7.5
4 どちらとも言えない(4)	698	20.3
5 満足度が高い(5)	645	18.7
6 満足度が高い(6)	349	10.1
7 満足度が高い(7)	191	5.5
0 わからない(0)	1,030	29.9
無回答	88	2.6
合計	3,445	100.0

問20. あなたは、現状の豊田市のまちにどの程度満足していますか。満足度を7段階でお答えください。(1つに○)

(SA)12. -女性が活躍できる環境が整っているまち

1 満足度が低い(1)	104	3.0
2 満足度が低い(2)	195	5.7
3 満足度が低い(3)	400	11.6
4 どちらとも言えない(4)	928	26.9
5 満足度が高い(5)	422	12.2
6 満足度が高い(6)	151	4.4
7 満足度が高い(7)	66	1.9
0 わからない(0)	1,097	31.8
無回答	82	2.4
合計	3,445	100.0

問20. あなたは、現状の豊田市のまちにどの程度満足していますか。満足度を7段階でお答えください。(1つに○)

(SA)13. -必要な医療が受けられるまち

1 満足度が低い(1)	59	1.7
2 満足度が低い(2)	107	3.1
3 満足度が低い(3)	246	7.2
4 どちらとも言えない(4)	696	20.2
5 満足度が高い(5)	884	25.7
6 満足度が高い(6)	741	21.5
7 満足度が高い(7)	465	13.5
0 わからない(0)	199	5.8
無回答	48	1.4
合計	3,445	100.0

問20. あなたは、現状の豊田市のまちにどの程度満足していますか。満足度を7段階でお答えください。(1つに○)

(SA)14. -高齢者が安心して暮らすことのできるまち

1 満足度が低い(1)	187	5.4
2 満足度が低い(2)	287	8.3
3 満足度が低い(3)	395	11.5
4 どちらとも言えない(4)	837	24.3
5 満足度が高い(5)	617	17.9
6 満足度が高い(6)	338	9.8
7 満足度が高い(7)	175	5.1
0 わからない(0)	565	16.4
無回答	44	1.3
合計	3,445	100.0

問20. あなたは、現状の豊田市のまちにどの程度満足していますか。満足度を7段階でお答えください。(1つに○)

(SA)15. -消防・救急体制が充実しているまち

1 満足度が低い(1)	39	1.1
2 満足度が低い(2)	75	2.2
3 満足度が低い(3)	203	5.9
4 どちらとも言えない(4)	780	22.6
5 満足度が高い(5)	847	24.6
6 満足度が高い(6)	588	17.1
7 満足度が高い(7)	388	11.2
0 わからない(0)	479	13.9
無回答	46	1.3
合計	3,445	100.0

問20. あなたは、現状の豊田市のまちにどの程度満足していますか。満足度を7段階でお答えください。(1つに○)

(SA)16. -歩行者や自転車利用者にとって安全で快適な道路が整っているまち

1 満足度が低い(1)	462	13.4
2 満足度が低い(2)	548	15.9
3 満足度が低い(3)	819	23.8
4 どちらとも言えない(4)	801	23.3
5 満足度が高い(5)	446	13.0
6 満足度が高い(6)	157	4.5
7 満足度が高い(7)	80	2.3
0 わからない(0)	285	8.3
無回答	47	1.4
合計	3,445	100.0

問20. あなたは、現状の豊田市のまちにどの程度満足していますか。満足度を7段階でお答えください。(1つに○)

(SA)17. -農産物の地産地消に取り組んでいるまち

1 満足度が低い(1)	78	2.3
2 満足度が低い(2)	153	4.4
3 満足度が低い(3)	324	9.4
4 どちらとも言えない(4)	895	26.0
5 満足度が高い(5)	696	20.2
6 満足度が高い(6)	317	9.2
7 満足度が高い(7)	146	4.2
0 わからない(0)	779	22.6
無回答	58	1.7
合計	3,445	100.0

問20. あなたは、現状の豊田市のまちにどの程度満足していますか。満足度を7段階でお答えください。(1つに○)

(SA)18. -趣味や生きがいとして農業に取り組みやすいまち

1 満足度が低い(1)	144	4.2
2 満足度が低い(2)	225	6.5
3 満足度が低い(3)	358	10.4
4 どちらとも言えない(4)	857	24.9
5 満足度が高い(5)	442	12.8
6 満足度が高い(6)	175	5.1
7 満足度が高い(7)	67	1.9
0 わからない(0)	1,110	32.2
無回答	69	2.0
合計	3,445	100.0

問20. あなたは、現状の豊田市のまちにどの程度満足していますか。満足度を7段階でお答えください。(1つに○)

(SA)19. -商業地に魅力とにぎわいのあるまち

1 満足度が低い(1)	376	10.9
2 満足度が低い(2)	499	14.5
3 満足度が低い(3)	614	17.8
4 どちらとも言えない(4)	821	23.8
5 満足度が高い(5)	440	12.8
6 満足度が高い(6)	164	4.8
7 満足度が高い(7)	76	2.2
0 わからない(0)	387	11.2
無回答	67	1.9
合計	3,445	100.0

問20. あなたは、現状の豊田市のまちにどの程度満足していますか。満足度を7段階でお答えください。(1つに○)

(SA)10. -快適な住環境が整備されているまち

1 満足度が低い(1)	161	4.7
2 満足度が低い(2)	268	7.8
3 満足度が低い(3)	471	13.7
4 どちらとも言えない(4)	975	28.3
5 満足度が高い(5)	768	22.3
6 満足度が高い(6)	327	9.5
7 満足度が高い(7)	143	4.1
0 わからない(0)	263	7.6
無回答	70	2.0
合計	3,445	100.0

問20. あなたは、現状の豊田市のまちにどの程度満足していますか。満足度を7段階でお答えください。(1つに○)

(SA)11. -公園や緑地が身近にあるまち

1 満足度が低い(1)	168	4.9
2 満足度が低い(2)	218	6.3
3 満足度が低い(3)	378	11.0
4 どちらとも言えない(4)	795	23.1
5 満足度が高い(5)	853	24.8
6 満足度が高い(6)	501	14.6
7 満足度が高い(7)	307	8.9
0 わからない(0)	171	5.0
無回答	54	1.6
合計	3,445	100.0

問20. あなたは、現状の豊田市のまちにどの程度満足していますか。満足度を7段階でお答えください。(1つに○)

(SA)12. -生活や産業を支える道路が整っているまち

1 満足度が低い(1)	170	4.9
2 満足度が低い(2)	213	6.2
3 満足度が低い(3)	338	9.8
4 どちらとも言えない(4)	764	22.2
5 満足度が高い(5)	841	24.4
6 満足度が高い(6)	579	16.8
7 満足度が高い(7)	292	8.5
0 わからない(0)	190	5.5
無回答	58	1.7
合計	3,445	100.0

問20. あなたは、現状の豊田市のまちにどの程度満足していますか。満足度を7段階でお答えください。(1つに○)

(SA)13. -相互理解が図られ、日本人も外国人もともに暮らしやすいまち

1 満足度が低い(1)	163	4.7
2 満足度が低い(2)	241	7.0
3 満足度が低い(3)	482	14.0
4 どちらとも言えない(4)	980	28.5
5 満足度が高い(5)	438	12.7
6 満足度が高い(6)	133	3.8
7 満足度が高い(7)	59	1.7
0 わからない(0)	894	25.9
無回答	54	1.6
合計	3,445	100.0

豊田市からの大切なお願い

第 25 回市民意識調査 <ご回答期限：6 月 26 日（木）>

あなたの 5 分がとよたのミライをつくれます！

豊田市は、2025 年 4 月に、「第 9 次豊田市総合計画」を策定し、新たなづくりを進めています。この調査は、市民のみなさまのお考えをお聞き今後のまちづくりに役立てることを目的としています。



インターネット（スマホ）で回答する



スマホでらくらく回答！

手順①

手順②

手順③



左の二次元
コードから
専用フォーム
にアクセス

整理番号

整理番号
貼付欄

回答開始画面に
左の整理番号（※）
を入力

回答を入力し
送信すれば
完了！

（※）整理番号は重複回答を避けるためにランダムに割り当てたものであり、個人を特定するものではありません。

二次元コードが読み取れない方はこちらから <https://forms.gle/KCLjx875DZvccWV8>

郵送（紙）で回答する

この調査表に直接記入し、同封の返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。

この調査（アンケート）について

- 宛名のご本人がお答えください。**ご本人が回答できない場合は、ご家族などに代筆していただくか、ご本人の意思を尊重した代理回答をお願いいたします。
- この調査票は、18 歳以上の市民のみなさまの中から**無作為に選ばれた 6,500 人の方を対象**にお送りしています。
- この調査は、無記名でお答えいただき、調査結果は統計的に処理しますので、**各個人を特定することはありません。**

【お問合せ】

企画政策部企画課 計画調整担当
〒471-8501 豊田市西町 3 丁目 60 番地
メール：kikaku@city.toyota.aichi.jp
電 話：(0565) 34-6602

豊田市の“新たなまちづくり”

については、コチラから！

「とよたミライ BOOK」



あなた自身のことについて伺います。

問1：あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | |
|---------------|
| 1. 男 |
| 2. 女 |
| 3. その他／答えたくない |

問 2：あなたの年齢をお答えください。(1 つに○)

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 18～19 歳 | 6. 40～44 歳 | 11. 65～69 歳 |
| 2. 20～24 歳 | 7. 45～49 歳 | 12. 70～74 歳 |
| 3. 25～29 歳 | 8. 50～54 歳 | 13. 75～79 歳 |
| 4. 30～34 歳 | 9. 55～59 歳 | 14. 80 歳以上 |
| 5. 35～39 歳 | 10. 60～64 歳 | |

問3：あなたのお住まいは、どの地区（中学校区）にありますか。（1つに○）

- | | | | |
|--------|------------|--------|---------|
| 1. 逢妻 | 8. 猿投台 | 15. 保見 | 22. 旭 |
| 2. 朝日丘 | 9. 浄水 | 16. 前林 | 23. 足助 |
| 3. 井郷 | 10. 末野原 | 17. 益富 | 24. 稻武 |
| 4. 石野 | 11. 崇化館 | 18. 松平 | 25. 小原 |
| 5. 梅坪台 | 12. 高岡（若林） | 19. 美里 | 26. 下山 |
| 6. 上郷 | 13. 高橋 | 20. 竜神 | 27. 藤岡 |
| 7. 猿投 | 14. 豊南 | 21. 若園 | 28. 藤岡南 |

*地区がわからない場合は町名を記入してください→ 町 (丁目)

問 4：あなたのお住まいの形態をお答えください。(1 つに○)

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 持ち家（一戸建） | 5. 公営住宅 |
| 2. 持ち家（分譲マンション） | 6. 官公舎、社宅、寮 |
| 3. 借家（民間一戸建） | 7. その他（ ） |
| 4. 借家（民間アパート、マンション） | |

問5：あなたの主たる職業をお答えください。(1つに○)

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 農林漁業 | 5. 専業主婦（夫） |
| 2. 会社員、公務員、教員などの勤め人 | 6. 学生 |
| 3. 自営業 | 7. 無職 |
| 4. パートタイマー・アルバイト | 8. その他（ ） |

問 6：あなたの通勤・通学先はどちらですか。（1 つに○）

- | | |
|---------|--|
| 1. 豊田市 | 7. 安城市 |
| 2. 名古屋市 | 8. 長久手市 |
| 3. 日進市 | 9. 刈谷市 |
| 4. 岡崎市 | 10. その他県内（市町村名： ） |
| 5. みよし市 | 11. 愛知県外（県名： ） |
| 6. 知立市 | 12. 通勤・通学していない |

問 7：あなたの出生地（お生まれ）はどちらですか。（1 つに○）

- | |
|--------------------------|
| 1. 豊田市 →【問 9 へ】 |
| 2. 愛知県内（豊田市を除く） →【問 8 へ】 |
| 3. 愛知県外（国外含む） →【問 8 へ】 |

問 8：⇒前問で「2」または「3」とお答えの方にお聞きします。

あなたは、豊田市にお住まいになって何年になりますか。（1 つに○）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 1 年未満 | 4. 5 年以上 10 年未満 |
| 2. 1 年以上 3 年未満 | 5. 10 年以上 20 年未満 |
| 3. 3 年以上 5 年未満 | 6. 20 年以上 |

問 9：あなたの同居している家族構成をお答えください。（1 つに○）

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| 1. 単身 →【問 11 へ】 | 4. 親・子・孫（3 世代） |
| 2. 夫婦のみ | 5. その他（ ） |
| 3. 親子（2 世代） | |

問 10：あなたの同居の家族に次の方はいますか。（当てはまるもの全てに○）

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 就学前（0～5 歳） | 4. 65～74 歳 |
| 2. 小学生 | 5. 75 歳以上 |
| 3. 中学生 | |

豊田市のまち全般についてお伺いします。

問 11：あなたは、豊田市を住みよいまちだと思いますか。（1 つに○）

- | |
|------------------|
| 1. 住みよい |
| 2. どちらかといえば住みよい |
| 3. どちらかといえば住みにくい |
| 4. 住みにくい |

問 12：あなたは、今住んでいるところに、これからも長く住みたいと思いますか。

(1 つに○)

1. 今のところに住みたい
2. 豊田市内の別のところに住みたい
3. 豊田市外へ移りたい
4. わからない

問 13：あなたは、豊田市やお住まいの地域に対して愛着を感じていますか。(1 つに○)

1. 感じている
2. やや感じている
3. あまり感じていない
4. 感じていない

問 14：あなたは、豊田市の歴史・文化に愛着や誇りを持っていますか。(1 つに○)

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. 持っている | 4. 持っていない |
| 2. どちらかといえば持っている | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば持っていない | |

あなたの普段の生活についてお伺いします。

問 15：あなたは、近所とのつきあいがどれくらいありますか。(1 つに○)

1. 普段から行き来がある
2. 困ったことがあれば協力し合う
3. 会った時にあいさつする程度
4. つきあいはない

問 16：あなたは、日頃の生活の中で生きがいを感じていますか。(1 つに○)

1. 感じている
2. どちらかといえば感じている
3. どちらかといえば感じていない
4. 感じていない

問 17：あなたは、暮らしの中で人や地域とのつながりがあると感じていますか。(1 つに○)

1. 感じている
2. どちらかというと感じている
3. どちらかというと感じていない
4. 感じていない

問 18：あなたは、家、学校、職場以外に、自分らしく過ごせる場所がありますか。

(1 つに○)

- | |
|-------|
| 1. ある |
| 2. ない |

問 19：あなたは、自分と関わりのあるこどもの意見を尊重していますか。(1 つに○)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 尊重している | 4. 尊重していない |
| 2. どちらかといえば尊重している | 5. こどもと関わりがない |
| 3. どちらかといえば尊重していない | |

問 20：あなたは、障がい者・外国人・高齢者・こどもなどへ情報発信や会話をする際に、分かりやすい表現や伝え方を意識していますか。(1 つに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 意識している | 4. 意識していない |
| 2. どちらかといえば意識している | 5. 障がい者・外国人・高齢者・こども |
| 3. どちらかといえば意識していない | などに関わりがない |

あなたの災害への備えについてお伺いします。

問 21：あなたは、どれくらい食料、飲料水（冷蔵庫や倉庫などに保管している食料、飲料水も含む。）を備蓄していますか。(1 つに○)

- | |
|--------------------|
| 1. 2 日分以下（備蓄なしも含む） |
| 2. 3 日分程度 |
| 3. 1 週間分程度 |
| 4. 1 週間分以上 |

問 22：あなたは、家具（例：タンス、棚、書庫、テレビ、冷蔵庫、ピアノなど）の転倒防止対策を行っていますか。(1 つに○)

- | |
|-----------------|
| 1. 大部分対策している |
| 2. 一部対策している |
| 3. 対策していない |
| 4. 対策が必要な家具等がない |

問 23：あなたは、自宅周辺の災害リスク（浸水、土砂災害など）や危険箇所について、ハザードマップ等により把握していますか。(1 つに○)

- | |
|------------|
| 1. 把握している |
| 2. 把握していない |

問 24：あなたは、災害発生の恐れがあるときに市が発表する「警戒レベル」や「避難情報（避難指示、高齢者等避難など）」について緊急度の違いやとるべき行動（※）を知っていますか。（1 つに○）

- 1. 知っている
- 2. 知らない

※豊田市では、浸水害や土砂災害の危険度に応じた市民のとるべき避難行動等について、警戒レベル3～5を付した避難情報を発令し、緊急メールとよたなどの情報伝達手段により避難のタイミングをお伝えしています。

問 25：あなたは、地域で実施している防災訓練に参加していますか。（1 つに○）

- 1. いつも参加している
- 2. 参加したことがある
- 3. 参加したことがない

あなたの活動等についてお伺いします。

問 26：あなたは、地域の活動に参加していますか。（1 つに○）

※「地域の活動」とは、地区コミュニティ会議、自治区、子ども会など地域の団体が主体となって行われる活動のこと

- 1. よく参加している
- 2. ときどき参加している
- 3. あまり参加していない
- 4. 参加していない

問 27：あなたは、ボランティア活動や NPO 活動などに参加していますか。（1 つに○）

- 1. よく参加している
- 2. ときどき参加している
- 3. ほとんど参加していない
- 4. 参加していない

問 28：あなたは、この1年以内に新たな活動や学びの機会に参加しましたか。（1 つに○）

※「新たな活動や学びの機会」とは、スポーツ、文化活動、ボランティア活動、勉強・資格取得、趣味などを含む様々な場や機会のこと

- 1. 活動を始めた／参加した
- 2. 活動をしていない／参加していない

問 29：あなたは、ご自身が希望する働き方を実現できていると感じていますか。(1 つに○)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 実現できている | 4. 実現できていない |
| 2. どちらかという実現できている | 5. 就労していない |
| 3. どちらかという実現できていない | |

豊田市のまちづくりについてお伺いします。

問 30：あなたは、デジタル化によって豊田市の行政サービスが便利になったと感じますか。

※デジタル化の例：電子申請、キャッシュレス決済、チャットボット、公共施設等の予約など(1 つに○)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 思う | 4. 思わない |
| 2. どちらかといえば思う | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば思わない | |

問 31：あなたは、豊田市について「出産・子育てがしやすいまち」だと思いますか。

(1 つに○)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 思う | 4. 思わない |
| 2. どちらかといえば思う | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば思わない | |

問 32：あなたは、豊田市について「地震や風水害に対して安心なまち」だと思いますか。

(1 つに○)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 思う | 4. 思わない |
| 2. どちらかといえば思う | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば思わない | |

問 33：あなたは、豊田市について「快適な住環境が整備されているまち」だと思いますか。

(1 つに○)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 思う | 4. 思わない |
| 2. どちらかといえば思う | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば思わない | |

問 34：あなたは、豊田市について「利用しやすい公共交通が整っているまち」だと思いますか。(1 つに○)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 思う | 4. 思わない |
| 2. どちらかといえば思う | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば思わない | |

問 35：あなたは、豊田市の中心市街地（名鉄豊田市駅の周辺）ににぎわいや魅力があると思いますか。（1 つに○）

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 思う | 4. 思わない |
| 2. どちらかといえば思う | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば思わない | |

問 36：あなたは、豊田市について「市民と行政が役割分担をしながらまちづくりを進めているまち」だと思いますか。（1 つに○）

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 思う | 4. 思わない |
| 2. どちらかといえば思う | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば思わない | |

問 37：あなたは、豊田市について「公共施設（建物、道路、公園、上下水道、河川施設など）が適切に維持・管理されているまち」だと思いますか。（1 つに○）

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 思う | 4. 思わない |
| 2. どちらかといえば思う | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば思わない | |

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

郵送で回答される方は、返信用の封筒に入れ、**6月26日（木）までに**ご投函ください。

豊田市からの大切なお願い

第 25 回市民意識調査 <ご回答期限：6 月 26 日（木）>

あなたの 5 分がとよたのミライをつくれます！

豊田市は、2025 年 4 月に、「第 9 次豊田市総合計画」を策定し、新たなづくりを進めています。この調査は、市民のみなさまのお考えをお聞き今後のまちづくりに役立てることを目的としています。



インターネット（スマホ）で回答する



スマホでらくらく回答！

手順①

手順②

手順③



左の二次元
コードから
専用フォーム
にアクセス

整理番号

整理番号
貼付欄

回答開始画面に
左の整理番号（※）
を入力

回答を入力し
送信すれば
完了！

（※）整理番号は重複回答を避けるためにランダムに割り当てたものであり、個人を特定するものではありません。

二次元コードが読み取れない方はこちらから <https://forms.gle/7UJJ2gxubE5EKe827>

郵送（紙）で回答する

この調査表に直接記入し、同封の返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。

この調査（アンケート）について

- **宛名のご本人がお答えください。** ご本人が回答できない場合は、ご家族などに代筆していただくか、ご本人の意思を尊重した代理回答をお願いいたします。
- この調査票は、18 歳以上の市民のみなさまの中から **無作為に選ばれた 6,500 人の方を対象**にお送りしています。
- この調査は、無記名でお答えいただき、調査結果は統計的に処理しますので、**各個人を特定することはありません。**

【お問合せ】

企画政策部企画課 計画調整担当
〒471-8501 豊田市西町 3 丁目 60 番地
メール：kikaku@city.toyota.aichi.jp
電 話：(0565) 34-6602

豊田市の“新たなまちづくり”

については、コチラから！

「とよたミライ BOOK」



あなた自身のことについてお伺いします

問 1 : あなたの性別をお答えください。(1 つに○)

- | |
|---------------|
| 1. 男 |
| 2. 女 |
| 3. その他／答えたくない |

問2：あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 18～19 歳 | 6. 40～44 歳 | 11. 65～69 歳 |
| 2. 20～24 歳 | 7. 45～49 歳 | 12. 70～74 歳 |
| 3. 25～29 歳 | 8. 50～54 歳 | 13. 75～79 歳 |
| 4. 30～34 歳 | 9. 55～59 歳 | 14. 80 歳以上 |
| 5. 35～39 歳 | 10. 60～64 歳 | |

問3：あなたのお住まいは、どの地区（中学校区）にありますか。（1つに○）

- | | | | |
|--------|------------|--------|---------|
| 1. 逢妻 | 8. 猿投台 | 15. 保見 | 22. 旭 |
| 2. 朝日丘 | 9. 浄水 | 16. 前林 | 23. 足助 |
| 3. 井郷 | 10. 末野原 | 17. 益富 | 24. 稻武 |
| 4. 石野 | 11. 崇化館 | 18. 松平 | 25. 小原 |
| 5. 梅坪台 | 12. 高岡（若林） | 19. 美里 | 26. 下山 |
| 6. 上郷 | 13. 高橋 | 20. 竜神 | 27. 藤岡 |
| 7. 猿投 | 14. 豊南 | 21. 若園 | 28. 藤岡南 |

*地区がわからない場合は町名を記入してください→ 町 (丁目)

問 4：あなたのお住まいの形態をお答えください。(1 つに○)

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 持ち家（一戸建） | 5. 公営住宅 |
| 2. 持ち家（分譲マンション） | 6. 官公舎、社宅、寮 |
| 3. 借家（民間一戸建） | 7. その他（ ） |
| 4. 借家（民間アパート、マンション） | |

問5：あなたの主たる職業をお答えください。(1つに○)

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 農林漁業 | 5. 専業主婦（夫） |
| 2. 会社員、公務員、教員などの勤め人 | 6. 学生 |
| 3. 自営業 | 7. 無職 |
| 4. パートタイマー・アルバイト | 8. その他（ ） |

問 6：あなたの通勤・通学先はどちらですか。（1 つに○）

- | | |
|---------|--|
| 1. 豊田市 | 7. 安城市 |
| 2. 名古屋市 | 8. 長久手市 |
| 3. 日進市 | 9. 刈谷市 |
| 4. 岡崎市 | 10. その他県内（市町村名： ） |
| 5. みよし市 | 11. 愛知県外（県名： ） |
| 6. 知立市 | 12. 通勤・通学していない |

問 7：あなたの出生地（お生まれ）はどちらですか。（1 つに○）

- | |
|--------------------------|
| 1. 豊田市 →【問 9 へ】 |
| 2. 愛知県内（豊田市を除く） →【問 8 へ】 |
| 3. 愛知県外（国外含む） →【問 8 へ】 |

問 8：⇒前問で「2」または「3」とお答えの方にお聞きします。

あなたは、豊田市にお住まいになって何年になりますか。（1 つに○）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 1 年未満 | 4. 5 年以上 10 年未満 |
| 2. 1 年以上 3 年未満 | 5. 10 年以上 20 年未満 |
| 3. 3 年以上 5 年未満 | 6. 20 年以上 |

問 9：あなたの同居している家族構成をお答えください。（1 つに○）

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| 1. 単身 →【問 11 へ】 | 4. 親・子・孫（3 世代） |
| 2. 夫婦のみ | 5. その他（ ） |
| 3. 親子（2 世代） | |

問 10：あなたの同居の家族に次の方はいますか。（当てはまるもの全てに○）

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 就学前（0～5 歳） | 4. 65～74 歳 |
| 2. 小学生 | 5. 75 歳以上 |
| 3. 中学生 | |

あなたの普段の生活についてお伺いします。

11: あなたは、日頃健康づくりのため、どのようなことに取り組んでいますか。(当てはまるもの全てに○)

1. 規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている
2. 薄味のもの食べている
3. 栄養バランスのとれた食事をとっている
4. 食べ過ぎないようにしている
5. ストレスをためないようにしている
6. 睡眠を十分にとっている
7. 適度に運動（スポーツを含む）をするか体を動かしている
8. たばこを吸わない
9. お酒を飲みすぎないようにしている
10. 外出するようにしている
11. 人と交流するようにしている
12. その他（ ）
13. 特に何もしない

12: あなたは、かかりつけ医を決めていますか。(1 つに○)

1. 決めている
 2. 決めていない

13：あなたは、夜間や休日に医療機関を受診するかどうか判断に迷ったとき、どうしますか（※意識がない場合やけいれんが止まらない等明らかに重症であると思われる場合を除く。）。（1 つに○）

1. 受診が必要な症状か調べる
2. 電話相談窓口（とよた急病・子育てコール 24～育救さんコール～：0120-799192）
や医療機関、家族などに相談する
3. 特に調べたり相談したりすることなく医療機関を受診する
4. 救急車を呼ぶ
5. その他（ ）

14：あなたは、市内で採れた農産物を購入するよう心がけていますか。(1 つに○)

1. 心がけている
2. どちらかといえば心がけている
3. どちらかといえば心がけていない
4. 心がけていない

問 15：あなたは、近所で児童虐待を受けていると思われるこどもを見つけたとき、市役所（こども相談課）、児童相談所または警察に連絡できますか。（1 つに○）

1. できる
2. できない

問 16：あなたは、自転車損害賠償保険等（※）に加入していますか。

1. 自転車に乗らない
2. 加入している火災保険や自動車保険、総合共済、団体保険などの付帯保険（個人賠償責任保険等）が自転車による損害賠償に対応している
3. 自転車保険（個人タイプ・ファミリータイプなど）に加入している
4. 販売店等で自転車の点検・整備を受け、「TSマーク付帯保険」に加入している（1年間の有効期間内のもの）
5. 自転車に乗るが、いずれにも加入していない
6. わからない

(※)「**豊田市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例**」において、自転車を利用する場合は自転車損害賠償保険等に加入することが義務付けられています。

あなたの活動等について伺います。

問 17：あなたは、この 1 年以内に、小中学校の活動または児童生徒とともに行う地域の活動に参加しましたか。(1 つに○)

1. 参加した
2. 参加していない

問 18：あなたは、国際交流に関する活動に参加したことがありますか。(1 つに○)

1. 1年以内に参加した
2. 1年以内には参加していないが、それより前に参加したことがある
3. これまで参加したことはないが、機会があれば参加したい
4. これまで参加したことはなく、これからも参加したいと思わない
5. その他（ ）

(当てはまるもの全てに○)

- 豊田市のまちづくりについて伺います。**

【回答例】

どちらとも言えない場合は「4」

判断できない（わからない）場合は「0」

175

		満足度が 高い ← ————— → 低い							わから ない
7	農産物の地産地消に取り組んでいるまち	7	6	5	4	3	2	1	0
8	趣味や生きがいとして農業に取り組みやすいまち	7	6	5	4	3	2	1	0
9	商業地に魅力とにぎわいのあるまち	7	6	5	4	3	2	1	0
10	快適な住環境が整備されているまち	7	6	5	4	3	2	1	0
11	公園や緑地が身近にあるまち	7	6	5	4	3	2	1	0
12	生活や産業を支える道路が整っているまち	7	6	5	4	3	2	1	0
13	相互理解が図られ、日本人も外国人もともに暮らしやすいまち	7	6	5	4	3	2	1	0

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

郵送で回答される方は、返信用の封筒に入れ、**6月26日（木）までに**ご投函ください。

第 25 回 市民意識調査報告書

<令和 7 年 11 月>

発 行／豊田市 企画政策部 企画課

〒471-8501 愛知県豊田市西町 3 丁目 6 0 番地

電話番号 0565-31-1212（代表）

0565-34-6602（直通）

FAX 番号 0565-34-2192

E-mail kikaku@city.toyota.aichi.jp